

平成 28 年度 老人保健事業推進費等補助金

老人保健健康増進等事業

介護サービスにおける機能訓練の実態調査 報告書

平成 29(2017)年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

介護サービスにおける機能訓練の実態調査 報告書

■ 目次 ■

第1章 事業実施概要	1
第2章 回収状況	3
第3章 調査結果の詳細	4
I 事業所票調査結果	4
第1節 通所介護事業所	4
1. 事業所の基本情報	4
2. 職員体制	8
3. 利用登録者数と延べ利用回数	12
4. 加算の届出状況	13
第2節 認知症対応型通所介護事業所	24
1. 事業所の基本情報	24
2. 職員体制	28
3. 利用登録者数と延べ利用回数	31
4. 加算の届出状況	32
第3節 特別養護老人ホーム	35
1. 施設の基本情報	35
2. 職員体制	38
3. 入所者数	42
4. 加算の届出状況	43
第4節 短期入所生活介護事業所	45
1. 事業所の基本情報	45
2. 職員体制	48
3. 利用登録者数と延べ利用回数	51
4. 加算の届出状況	52
第5節 特定施設入居者生活介護	56
1. 事業所の基本情報	56
2. 職員体制	60
3. 利用登録者数と延べ利用回数	63
4. 加算の届出状況	64

Ⅱ 職員票調査結果.....	66
第1節 通所介護事業所.....	66
1. 回答者の属性.....	66
2. 機能訓練に関連して実施している業務.....	82
第2節 認知症対応型通所介護事業所.....	120
1. 回答者の属性.....	120
2. 機能訓練に関連して実施している業務.....	137
第3節 特別養護老人ホーム.....	179
1. 回答者の属性.....	179
2. 機能訓練に関連して実施している業務.....	198
第4節 短期入所生活介護事業所.....	240
1. 回答者の属性.....	240
2. 機能訓練に関連して実施している業務.....	259
第5節 特定施設入居者生活介護.....	301
1. 回答者の属性.....	301
2. 機能訓練に関連して実施している業務.....	320
調査票.....	363

第1章 事業実施概要

1 事業の目的

平成27年度改定検証において、リハビリテーションと機能訓練の機能分化とその在り方についての調査が行われた。本事業では、通所リハビリテーションと通所介護を中心とした分析によるリハビリテーションや機能訓練のマネジメントの実態が明らかになったところである。

本事業では、介護保険における機能訓練実施施設・事業所（特別養護老人ホーム、指定通所介護、指定認知症対応型通所介護、特定施設入居者生活介護、短期入所生活介護）における機能訓練の詳細を把握するための調査を行うことを目的とする。特に、機能訓練指導員の要件は幅広いため、有する資格等の違いにより、個々のサービス類型において、どのように機能訓練のマネジメントを行っているかの実態とともに、具体的な訓練内容・実施の状況等を調査することとした。

2 調査実施概要

（1）調査対象

介護保険における機能訓練実施施設・事業所である特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、指定通所介護、指定認知症対応型通所介護、特定施設入居者生活介護、短期入所生活介護を調査の対象とした。

対象地域は全国とした。

また、これらの施設・事業所に勤務する職員を対象として調査を行うこととした。

（2）調査方法

調査票を用いた郵送法（郵送配付、郵送回収）による調査とした。

調査票は、「施設・事業所票」と「職員票」の二部構成で作成した。

（3）調査客体の抽出方法、抽出数

調査の対象とする施設・事業所は施設・事業所種類別に、介護サービス情報公表システムに掲載の施設・事業所から無作為に抽出した。

抽出数は以下のとおり。

- ・通所介護事業所・地域密着型通所介護事業所 1,500 か所
- ・認知症対応型通所介護事業所 500 か所
- ・介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設 1,000 か所
- ・短期入所生活介護事業所 500 か所
- ・特定施設入居者生活介護 500 か所

職員票は、通所介護事業所の調査では、対象となった事業所において、機能訓練指導員または機能訓練指導員以外で機能訓練を実施することがある職員を合わせて最大4名まで任意に抽出した。

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、指定通所介護、指定認知症対応型通所介護、特定施設入居者生活介護、短期入所生活介護の調査では、対象となった施設・事業所において、機能訓練指導員または機能訓練指導員以外で機能訓練を実施することがある職員を合わせて最大2名まで任意に抽出した。

（４）調査期間

平成29年1月13日～平成29年2月3日

ただし、回収状況を勘案し、2月13日回収分までを有効票として取り扱った。

（５）主な調査項目

①施設・事業所票

- ・施設・事業所の基本情報
- ・事業所の職員体制
- ・利用者数・利用回数
- ・加算の届出の有無・算定人数等

②職員票

- ・回答者の基本属性
- ・職種・勤務状況
- ・機能訓練に関連して実施している業務
 - －ニーズ把握・情報収集
 - －アセスメント・評価
 - －機能訓練計画の作成状況
 - －利用者または家族等への説明
 - －機能訓練の実施状況
 - －機能訓練を実施する際の留意点等（基礎疾患の把握、認知症の場合の留意点の把握、バイタル確認の状況、ヒヤリハットの経験等）

第2章 回収状況

回収状況は、以下の通りであった。

調査票名	発出数	有効回収数	有効回収率
通所介護事業所	1,500	454	30.3%
認知症対応型通所介護事業所	500	169	33.8%
特別養護老人ホーム	1,000	340	34.0%
短期入所生活介護事業所	500	160	32.0%
特定施設入居者生活介護	500	163	32.6%

調査対象	職員票の回収数
通所介護事業所	1,304
認知症対応型通所介護事業所	262
特別養護老人ホーム	495
短期入所生活介護事業所	240
特定施設入居者生活介護	243

第3章 調査結果の詳細

I 事業所票調査結果

第1節 通所介護事業所

1. 事業所の基本情報

(1) 所在地

所在地は、「東京都」が39件（8.6%）で最も多く、「大阪府」が33件（7.3%）、「神奈川県」「福岡県」がそれぞれ26件（5.7%）、「愛知県」が25件（5.5%）であった。

図表 I-1-1 所在地（文字記入）1.1)¹ n=454

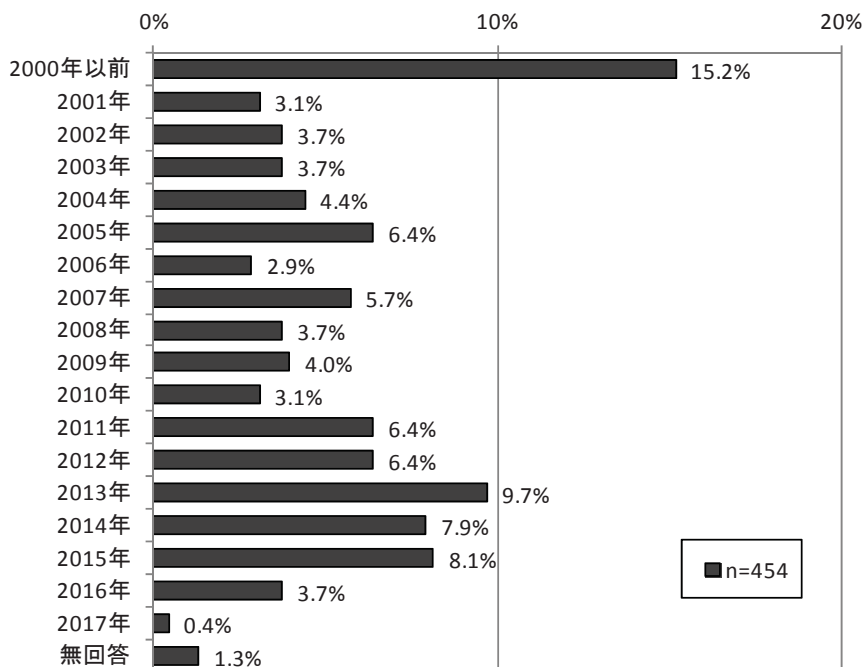
No.	カテゴリー名	n	%	No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道	19	4.2%	31	鳥取県	3	0.7%
2	青森県	7	1.5%	32	島根県	4	0.9%
3	岩手県	8	1.8%	33	岡山県	8	1.8%
4	宮城県	6	1.3%	34	広島県	13	2.9%
5	秋田県	3	0.7%	35	山口県	3	0.7%
6	山形県	4	0.9%	36	徳島県	4	0.9%
7	福島県	11	2.4%	37	香川県	3	0.7%
8	茨城県	6	1.3%	38	愛媛県	6	1.3%
9	栃木県	7	1.5%	39	高知県	3	0.7%
10	群馬県	11	2.4%	40	福岡県	26	5.7%
11	埼玉県	15	3.3%	41	佐賀県	3	0.7%
12	千葉県	17	3.7%	42	長崎県	8	1.8%
13	東京都	39	8.6%	43	熊本県	7	1.5%
14	神奈川県	26	5.7%	44	大分県	6	1.3%
15	新潟県	12	2.6%	45	宮崎県	3	0.7%
16	富山県	2	0.4%	46	鹿児島県	6	1.3%
17	石川県	2	0.4%	47	沖縄県	4	0.9%
18	福井県	5	1.1%		無回答	0	0.0%
19	山梨県	4	0.9%		全体	454	100.0%
20	長野県	14	3.1%				
21	岐阜県	11	2.4%				
22	静岡県	15	3.3%				
23	愛知県	25	5.5%				
24	三重県	8	1.8%				
25	滋賀県	4	0.9%				
26	京都府	4	0.9%				
27	大阪府	33	7.3%				
28	兵庫県	18	4.0%				
29	奈良県	2	0.4%				
30	和歌山県	6	1.3%				

¹ タイトルの後の番号は、問番号を示す

（２）事業開始年

事業開始年は、「2000 年以前」が 15.2%、2001 年から 2005 年が合わせて 21.4%、2006 年から 2010 年が合わせて 19.4%、2011 年以降が 42.7%であった。

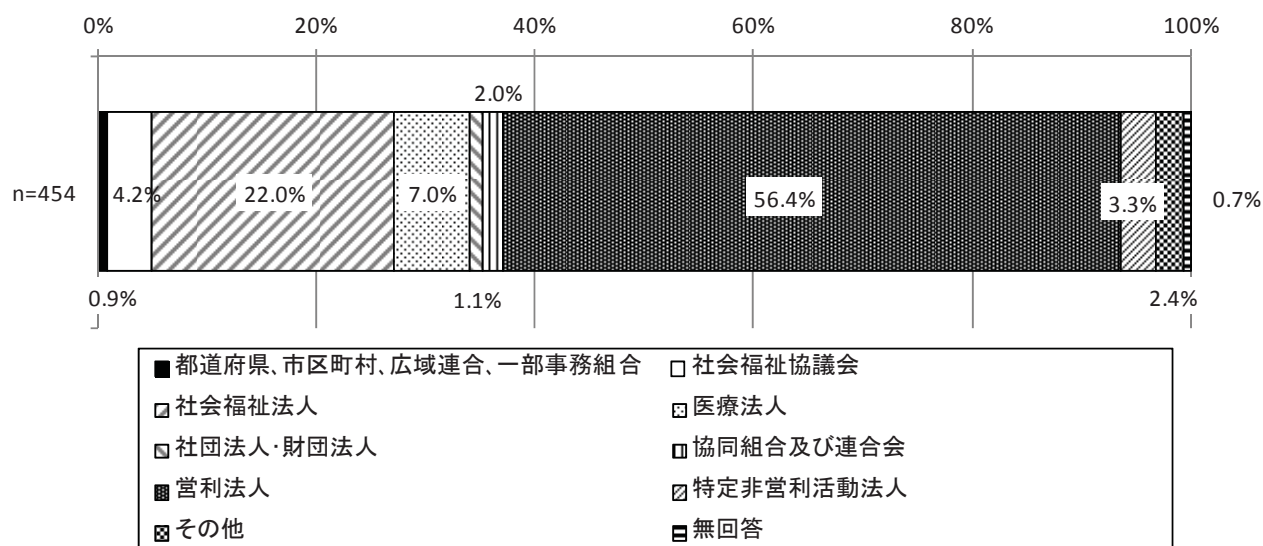
図表 I -1-2 事業開始年（数値回答）1.2）n=454



（３）開設主体

開設主体は、「営利法人」が 56.4%で最も割合が高く、次いで「社会福祉法人」が 22.0%であった。

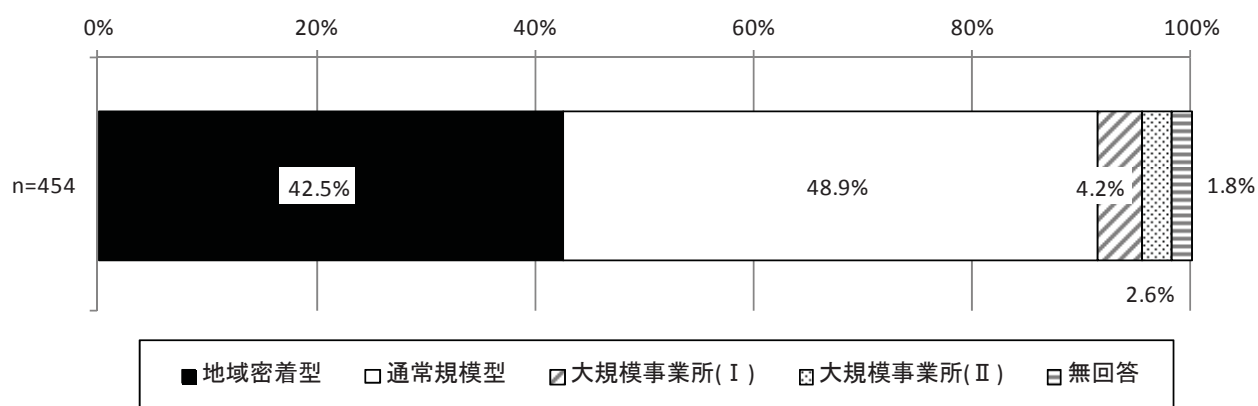
図表 I -1-3 開設主体（単数回答）1.3）n=454



(4) 規模等

規模等は、「地域密着型」が 42.5%、「通常規模型」が 48.9%を占めていた。

図表 I-1-4 規模等（単数回答）1.4) n=454



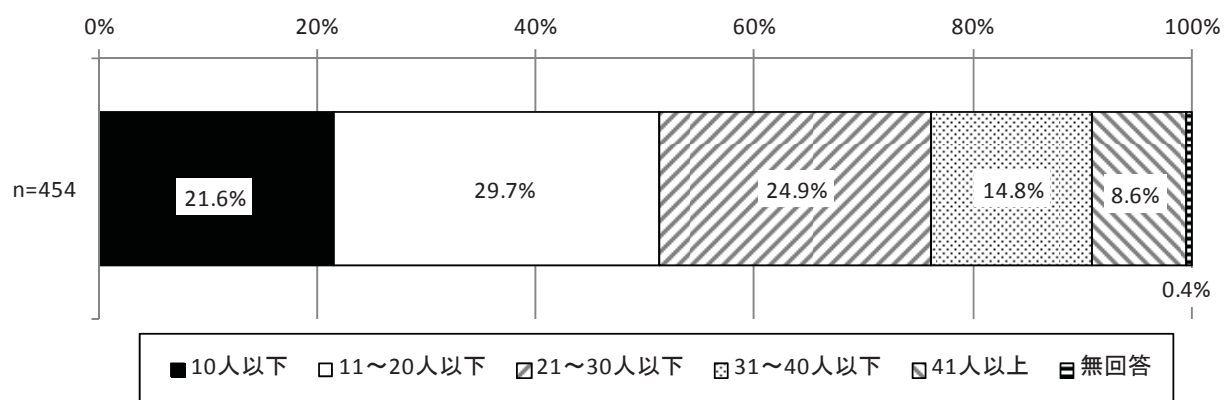
(5) 1日あたりの定員

1日あたりの定員の平均値は 24.1 人であった。

階層で見ると、「10 人以下」が 21.6%、「11～20 人以下」が 29.7%、「21～30 人以下」が 24.9%であった。

図表 I-1-5 1日あたりの定員（数値回答）1.5)

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
452	24.1	13.8	20.0

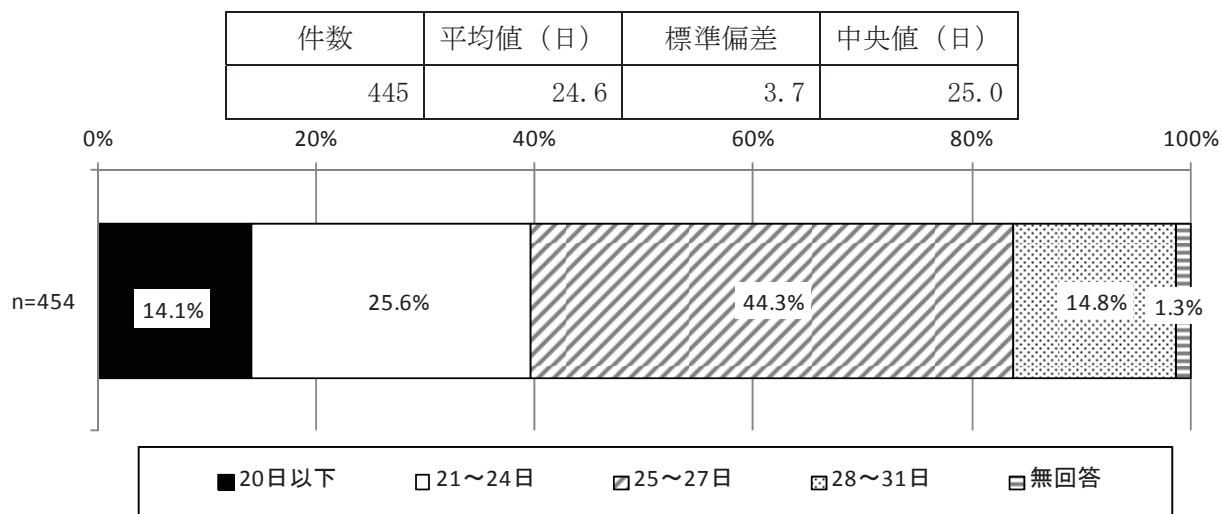


（６）平成 28 年 12 月の通所介護の実施日数

平成 28 年 12 月の通所介護の実施日数の平均値は 24.6 日であった。

階層でみると、「25～27 日」が 44.3%で最も割合が高く、次いで「21～24 日」が 25.6%であった。

図表 I-1-6 平成 28 年 12 月の通所介護の実施日数（数値回答）1. 6) n=445



2. 職員体制

(1) 職員数

①職種別職員数（実人数・常勤換算数）

職種別職員数について、実人数の平均値をみると、機能訓練指導員は 2.5 人、看護職員は 2.0 人、介護職員は 6.9 人、その他の職員は 2.1 人であった。

常勤換算数の平均値をみると、機能訓練指導員は 0.8 人、看護職員は 0.8 人、介護職員は 4.3 人、その他の職員は 1.1 人であった。

図表 I-1-7 職種別職員数：実人数（数値記入）2.

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	442	1,093	2.5	1.6	2.0
看護職員	442	870	2.0	1.4	2.0
介護職員	442	3,036	6.9	4.7	6.0
その他の職員	442	944	2.1	2.5	2.0

図表 I-1-8 職種別職員数：常勤換算数（数値記入）2. n=442

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	442	370.2	0.8	0.8	0.7
看護職員	442	354.7	0.8	0.7	0.8
介護職員	442	1,891.1	4.3	3.6	3.7
その他の職員	442	481.6	1.1	1.3	1.0

②機能訓練指導員が有する資格別人数（実人数）

機能訓練指導員が有する資格別人数について、実人数の平均値をみると、看護師は 0.9 人、准看護師は 0.9 人、理学療法士は 0.1 人、作業療法士は 0.1 人、言語聴覚士は 0.0 人、柔道整復師は 0.2 人、あん摩マッサージ指圧師は 0.2 人であった。

図表 I-1-9 職種別職員数：実人数（数値記入）2.

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
看護師	437	404	0.9	1.0	1.0
准看護師	437	375	0.9	1.1	1.0
理学療法士	437	64	0.1	0.5	0.0
作業療法士	437	44	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	437	8	0.0	0.2	0.0
柔道整復師	437	107	0.2	0.6	0.0
あん摩マッサージ指圧師	437	87	0.2	0.6	0.0

③職員全体の資格別人数（実人数）

職員全体の資格別人数について、実人数の平均値をみると、介護福祉士は 3.5 人、社会福祉士は 0.2 人、精神保健福祉士は 0.0 人、鍼灸師は 0.2 人、介護職員実務者研修修了者は 0.6 人、介護職員初任者研修修了者は 1.8 人、健康運動指導士は 0.0 人であった。

図表 I -1-10 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=446

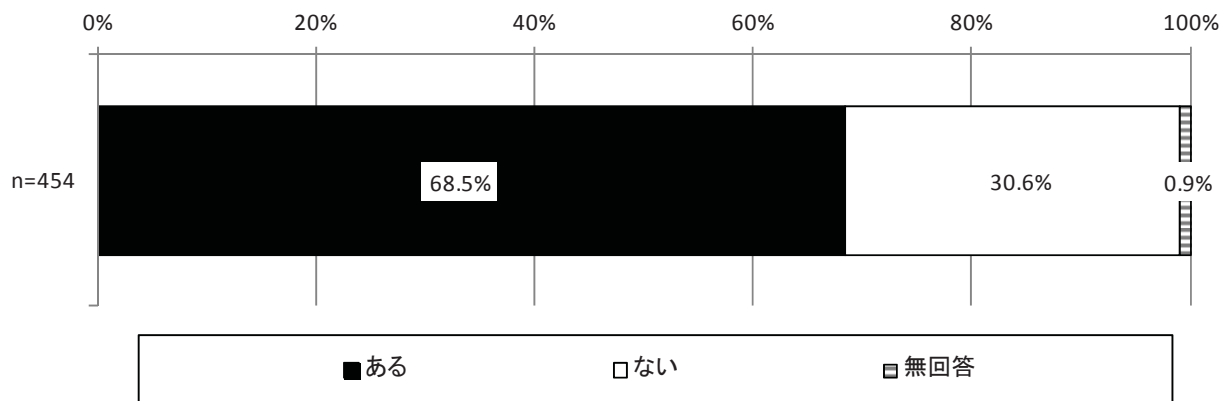
	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
介護福祉士	446	1,542	3.5	2.7	3.0
社会福祉士	446	104	0.2	0.6	0.0
精神保健福祉士	446	11	0.0	0.2	0.0
鍼灸師	446	75	0.2	0.6	0.0
介護職員実務者研修 修了者	446	268	0.6	1.2	0.0
介護職員初任者研修 修了者	446	804	1.8	2.9	1.0
健康運動指導士	446	17	0.0	0.2	0.0

（２）機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施状況

①機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無は、「ある」が 68.5%を占めていた。

図表 I-1-11 機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無（単数回答）2. n=454



②機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数について、実人数の平均値をみると、5.8 人であった。

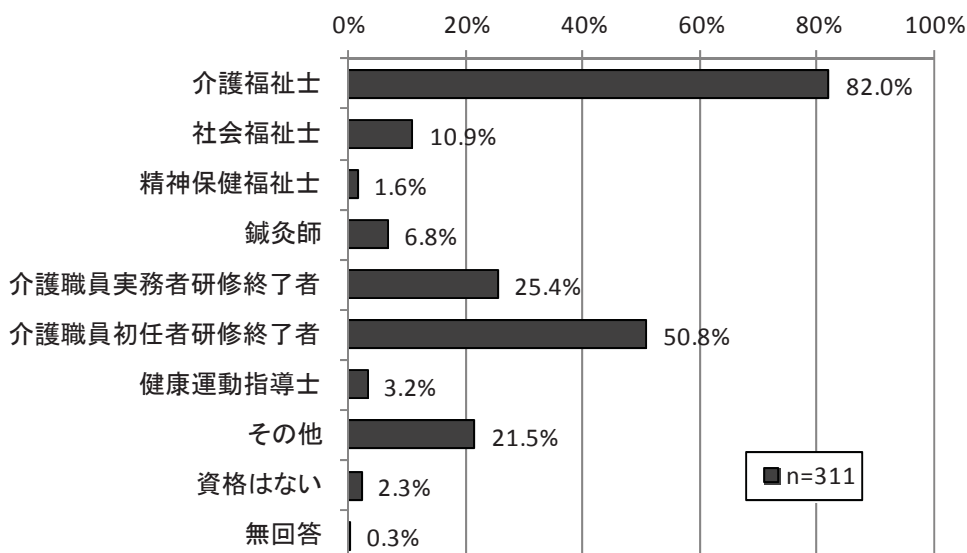
図表 I-1-12 機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数（数値回答）2.

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
275	5.8	4.9	5.0

③機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施する場合の実施者が保有する資格

機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施することがある場合、実施者が保有する資格は、「介護福祉士」が82.0%で最も割合が高く、次いで「介護職員初任者研修終了者」が50.8%、「介護職員実務者研修終了者」が25.4%であった。

図表 I-1-13 実施者が保有する資格（複数回答）2. n=311



3. 利用登録者数と延べ利用回数

(1) 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）

利用登録者数の平均値をみると、要支援 1 は 6.7 人、要支援 2 は 8.9 人、要介護 1 は 15.4 人、要介護 2 は 12.9 人、要介護 3 は 6.6 人、要介護 4 は 3.7 人、要介護 5 は 2.0 人、申請中は 1.0 人であった。

図表 I-1-14 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）（数値記入）3. n=443

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
要支援 1	443	6.7	10.7	3.0
要支援 2	443	8.9	12.0	6.0
要介護 1	443	15.4	14.4	12.0
要介護 2	443	12.9	13.6	10.0
要介護 3	443	6.6	6.5	5.0
要介護 4	443	3.7	4.2	3.0
要介護 5	443	2.0	3.0	1.0
申請中	443	1.0	5.9	0.0

(2) 延べ利用回数（平成 28 年 12 月分）

延べ利用回数の平均値をみると、要支援 1 は 26.4 人回、要支援 2 は 56.9 人回、要介護 1 は 134.0 人回、要介護 2 は 117.7 人回、要介護 3 は 64.6 人回、要介護 4 は 37.0 人回、要介護 5 は 19.4 人回、申請中は 12.6 人回であった。

図表 I-1-15 利用登録者数（平成 28 年 12 月分）（数値記入）3.

	件数	平均値（人回）	標準偏差	中央値（人回）
要支援 1	434	26.4	41.4	15.0
要支援 2	434	56.9	67.3	37.5
要介護 1	434	134.0	147.9	104.0
要介護 2	434	117.7	104.3	97.0
要介護 3	434	64.6	59.2	51.5
要介護 4	434	37.0	46.4	24.0
要介護 5	434	19.4	32.3	9.0
申請中	434	12.6	86.2	0.0

4. 加算の届出状況

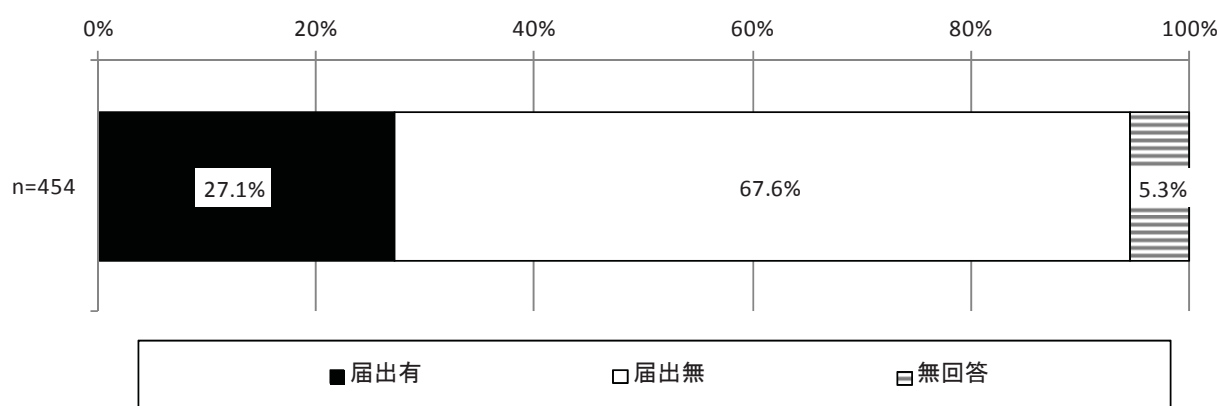
(1) 要介護

①個別機能訓練加算 I

1) 届出状況

要介護の利用者について、個別機能訓練加算 I の届出状況は、「届出有」は 27.1%であった。

図表 I-1-16 要介護：個別機能訓練加算 I：届出状況（数値記入）4. (1) 1) n=454



2) 算定人数・延べ回数

個別機能訓練加算 I の算定人数の平均値は 58.1 人、延べ回数の平均値は 373.6 回であった。

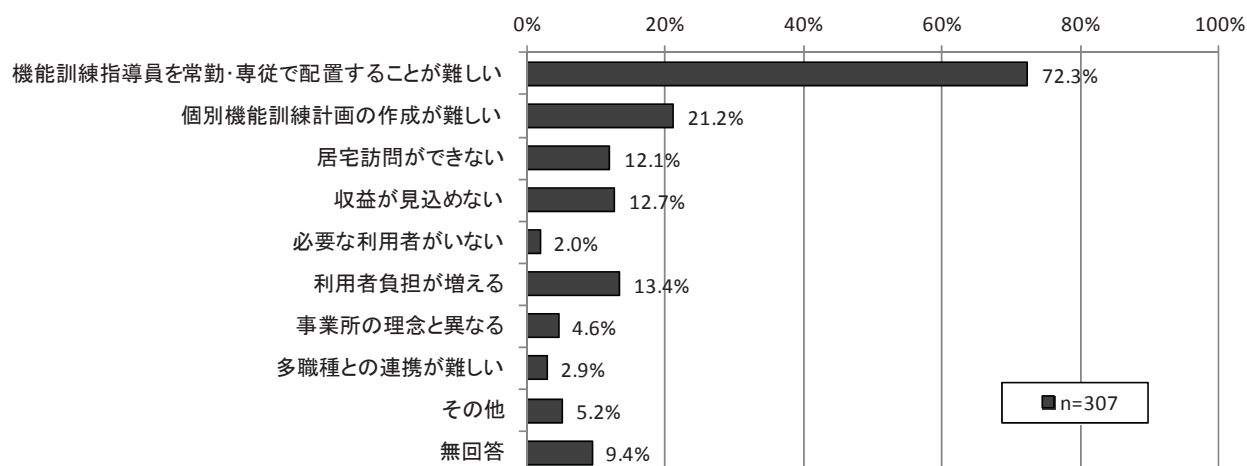
図表 I-1-17 要介護：個別機能訓練加算 I：算定人数・延べ回数（数値記入）4. (1) 1)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	106	58.1	89.8	40.5
延べ回数（回）	105	373.6	337.3	283.0

3) 届出をしていない場合の理由

要介護の利用者について、個別機能訓練加算 I の届出をしていない場合の理由は、「機能訓練指導員を常勤・専従で配置することが難しい」が 72.3%で最も割合が高かった。

図表 1-18 届出をしていない場合の理由（複数回答）4. (1) 1)-① n=307

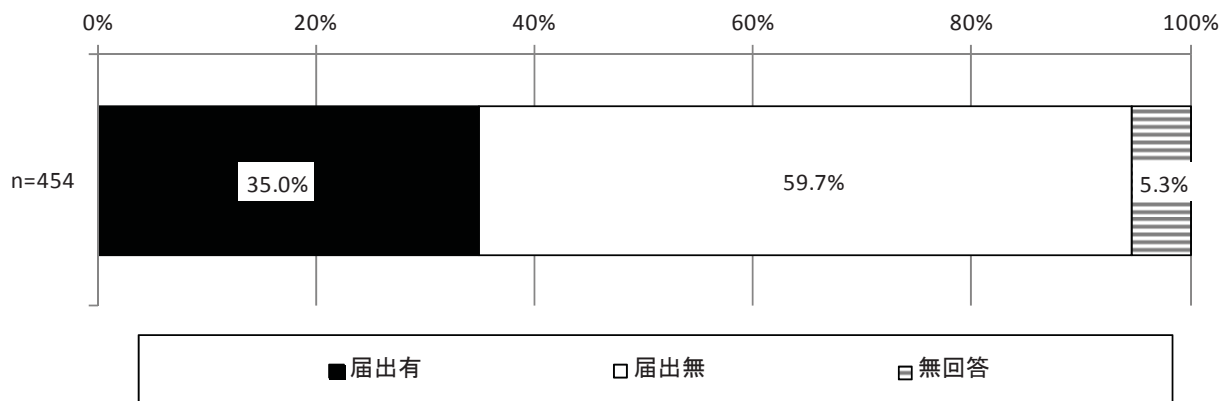


②個別機能訓練加算Ⅱ

1) 届出状況

要介護の利用者について、個別機能訓練加算Ⅱの届出状況は、「届出有」は35.0%であった。

図表Ⅰ-1-19 要介護：個別機能訓練加算Ⅱ：届出状況（数値記入）4. (1)2) n=454



2) 算定人数・延べ回数

個別機能訓練加算Ⅱの算定人数の平均値は37.8人、延べ回数の平均値は243.0回であった。

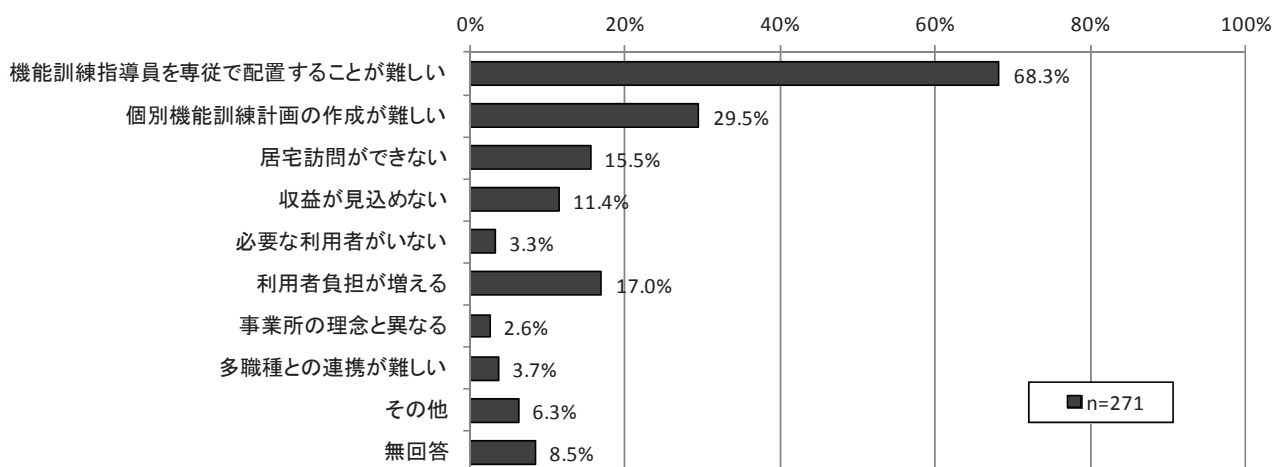
図表Ⅰ-1-20 要介護：個別機能訓練加算Ⅱ：算定人数・延べ回数（数値記入）4. (1)1)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	138	37.8	48.4	25.5
延べ回数（回）	133	243.0	222.6	185.0

3) 届出をしていない場合の理由

要介護の利用者について、個別機能訓練加算Ⅱの届出をしていない場合の理由は、「機能訓練指導員を専従で配置することが難しい」が68.3%で最も割合が高く、次いで「個別機能訓練計画の作成が難しい」が29.5%となっていた。

図表1-21 届出をしていない場合の理由（複数回答）4. (1)2)-① n=271

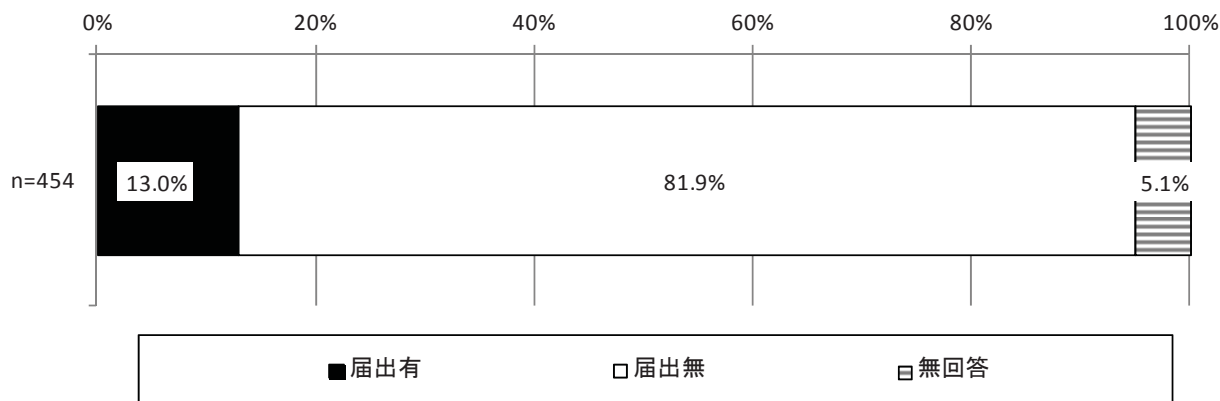


③口腔機能向上加算

1) 届出状況

要介護の利用者について、口腔機能向上加算の届出状況は、「届出有」は13.0%であった。

図表 I-1-22 要介護：口腔機能向上加算：届出状況（数値記入）4. (1)3 n=454



2) 算定人数

口腔機能向上加算の算定人数の平均値は9.8人であった。

図表 I-1-23 要介護：口腔機能向上加算：算定人数（数値記入）4. (1)3 n=51

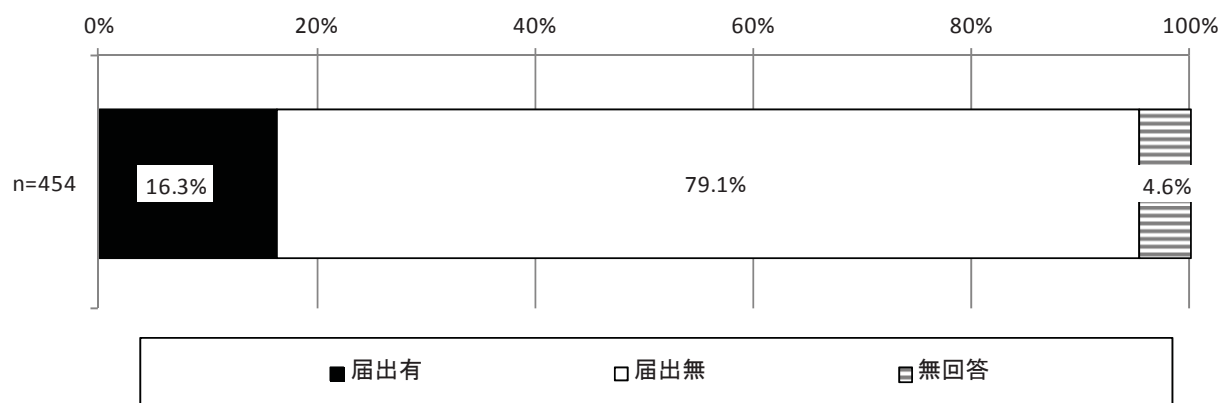
	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	51	9.8	17.1	1.0

④中重度者ケア体制加算

1) 届出状況

要介護の利用者について、中重度者ケア体制加算の届出状況は、「届出有」は16.3%であった。

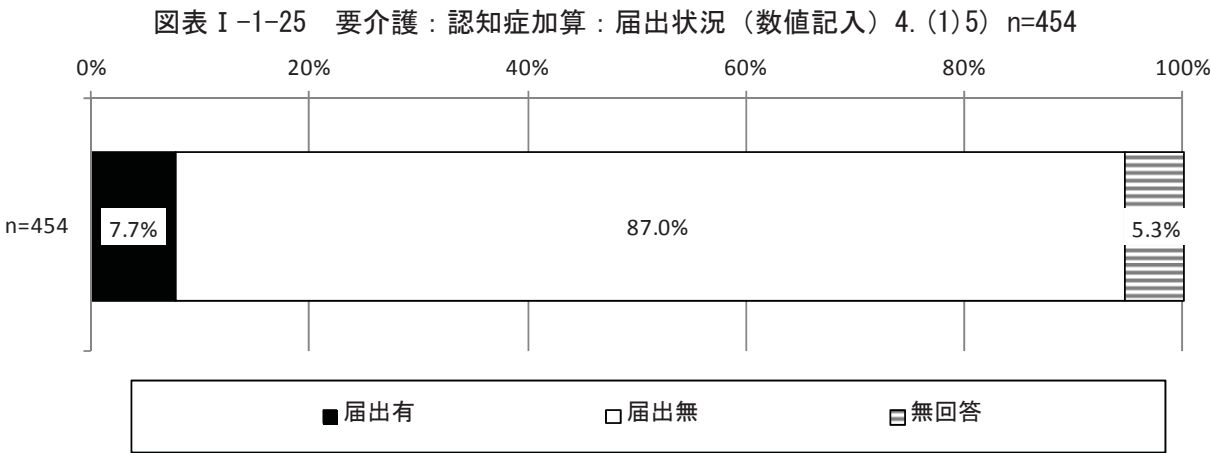
図表 I-1-24 要介護：中重度者ケア体制加算：届出状況（数値記入）4. (1)4 n=454



⑤認知症加算

1) 届出状況

要介護の利用者について、認知症加算の届出状況は、「届出有」は 7.7%であった。



2) 算定人数

認知症加算の算定人数の平均値は 16.3 人であった。

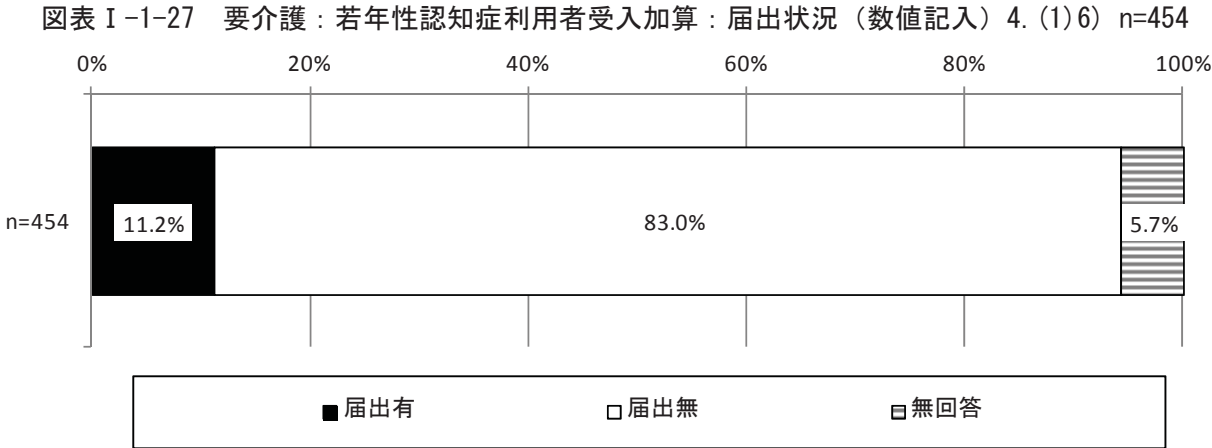
図表 I -1-26 要介護：認知症加算：算定人数（数値記入）4. (1)5) n=27

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	27	16.3	12.4	15.0

⑥若年性認知症利用者受入加算

1) 届出状況

要介護の利用者について、若年性認知症利用者受入加算の届出状況は、「届出有」は 11.2%であった。



2) 算定人数

若年性認知症利用者受入加算の算定人数の平均値は 0.1 人であった。

図表 I-1-28 要介護：若年性認知症利用者受入加算：算定人数（数値記入）4. (1)5)

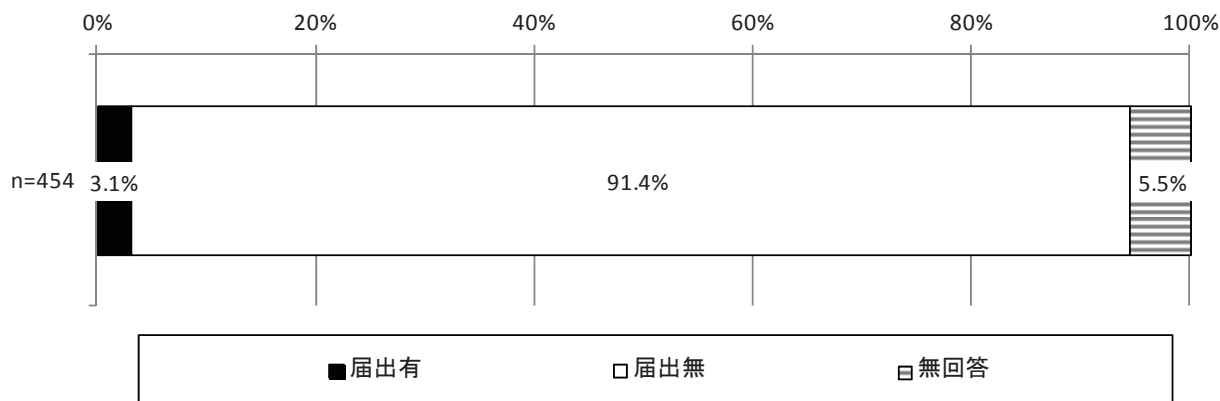
	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	49	0.1	0.4	0.0

⑦栄養改善加算

1) 届出状況

要介護の利用者について、栄養改善加算の届出状況は、「届出有」は3.1%であった。

図表 I-1-29 要介護：栄養改善加算：届出状況（数値記入）4. (1)7) n=454



2) 算定人数

栄養改善加算の算定人数の平均値は3.2人であった。

図表 I-1-30 要介護：栄養改善加算：算定人数（数値記入）4. (1)5) n=13

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	13	3.2	9.0	0.0

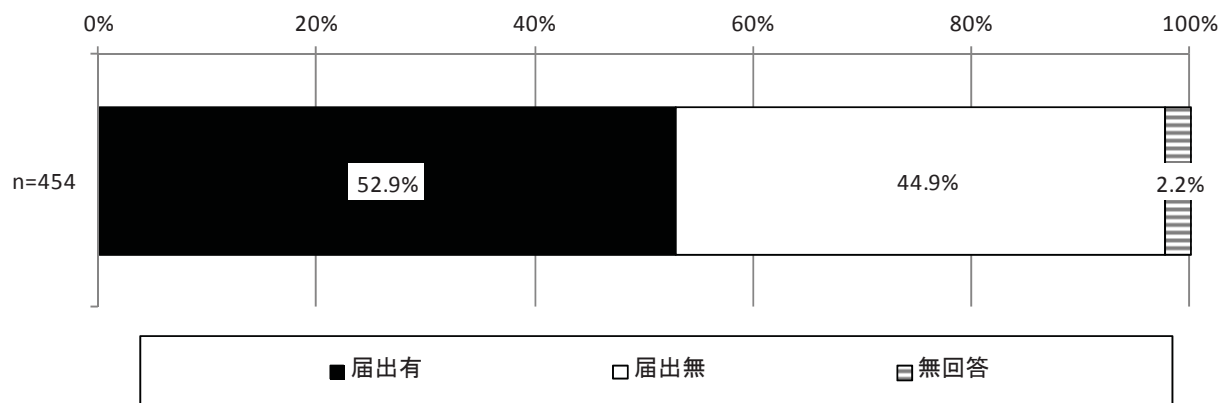
(2) 要支援

①運動器機能向上加算

1) 届出状況

要支援の利用者について、運動器機能向上加算の届出状況は、「届出有」は52.9%であった。

図表 I-1-31 要支援：運動器機能向上加算：届出状況（数値記入）4. (2) 1) n=454



2) 算定人数

運動器機能向上加算の算定人数の平均値は22.5人であった。

図表 I-1-32 要支援：運動器機能向上加算：算定人数（数値記入）4. (2) 1)

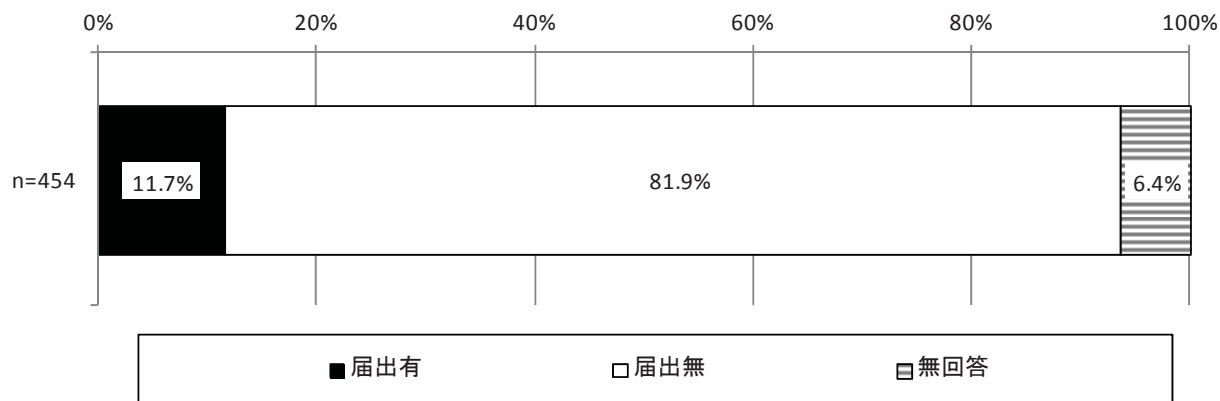
	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	192	22.5	32.0	13.0

②口腔機能向上加算

1) 届出状況

要支援の利用者について、口腔機能向上加算の届出状況は、「届出有」は 11.7%であった。

図表 I-1-33 要支援：口腔機能向上加算：届出状況（数値記入）4. (2) 2) n=454



2) 算定人数

口腔機能向上加算の算定人数の平均値は 1.0 人であった。

図表 I-1-34 要支援：口腔機能向上加算：算定人数（数値記入）4. (2) 2)

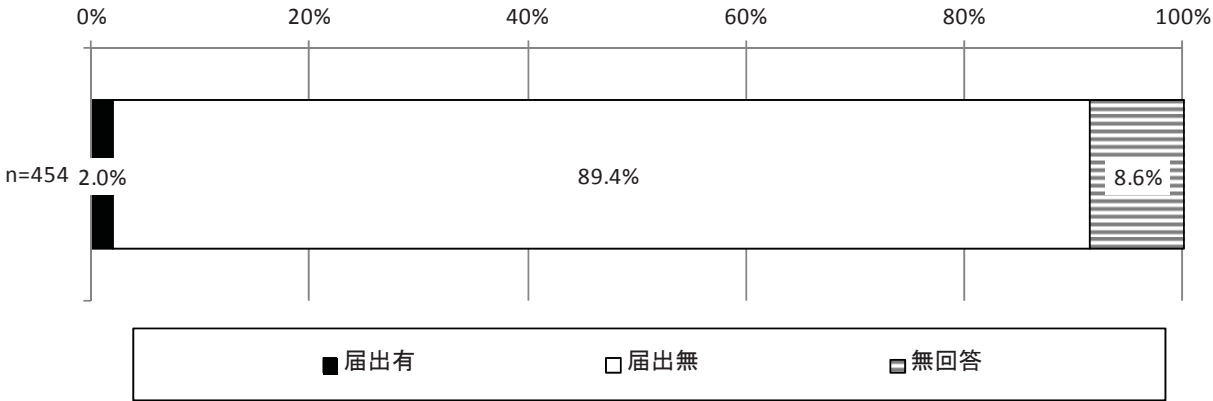
	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	48	1.0	2.4	0.0

③選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び栄養改善

1) 届出状況

要支援の利用者について、選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び栄養改善の届出状況は、「届出有」は2.0%であった。

図表Ⅰ-1-35 要支援：選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び栄養改善：届出状況（数値記入）4. (2)3 n=454



2) 算定人数

選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び栄養改善の算定人数の平均値は0.0人であった。

図表Ⅰ-1-36 要支援：選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び栄養改善：算定人数（数値記入）4. (2)3

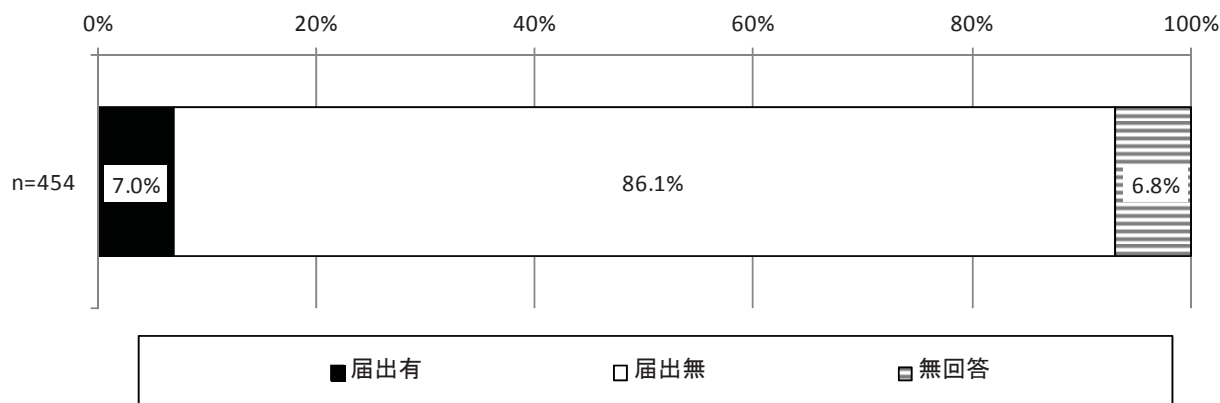
	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	8	0.0	0.0	0.0

④選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び口腔機能向上

1) 届出状況

要支援の利用者について、選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び口腔機能向上の届出状況は、「届出有」は7.0%であった。

図表Ⅰ-1-37 要支援：選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び口腔機能向上：届出状況（数値記入）4. (2) 3) n=454



2) 算定人数

選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び口腔機能向上の算定人数の平均値は3.3人であった。

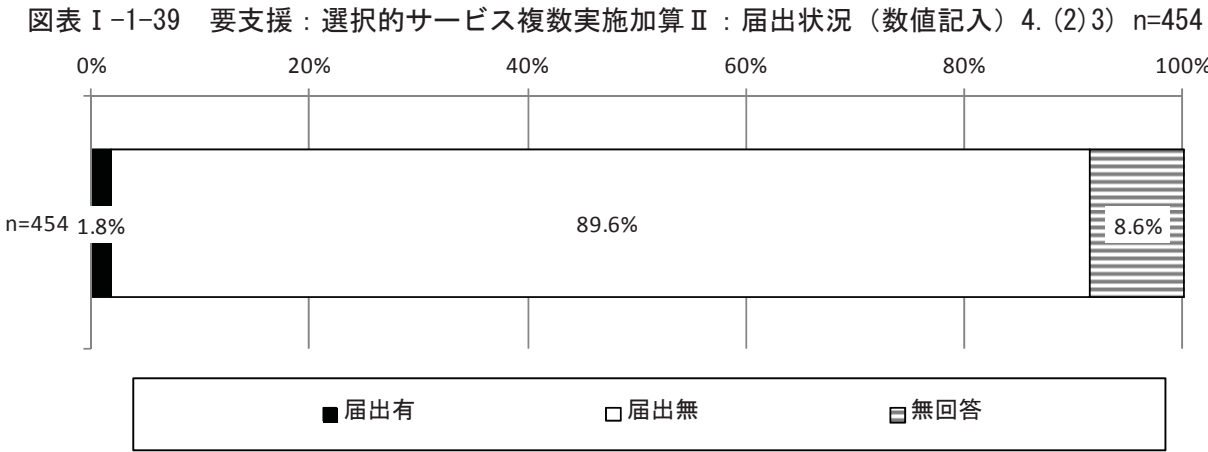
図表Ⅰ-1-38 要支援：選択的サービス複数実施加算Ⅰ：運動器向上及び口腔機能向上：算定人数（数値記入）4. (2) 3)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	28	3.3	3.9	2.0

⑤選択的サービス複数実施加算Ⅱ

1) 届出状況

要支援の利用者について、選択的サービス複数実施加算Ⅱの届出状況は、「届出有」は1.8%であった。



2) 算定人数・延べ回数

選択的サービス複数実施加算Ⅱの算定人数の平均値は0.4人であった。

図表 I-1-40 要支援：選択的サービス複数実施加算Ⅱ：届出状況（数値記入）4. (2) 3) n=8

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	8	0.4	1.1	0.0

第2節 認知症対応型通所介護事業所

1. 事業所の基本情報

(1) 所在地

所在地は、「東京都」が19件（11.2%）で最も多く、「愛知県」が11件（6.5%）、「神奈川県」と「大阪府」がそれぞれ10件（5.9%）であった。

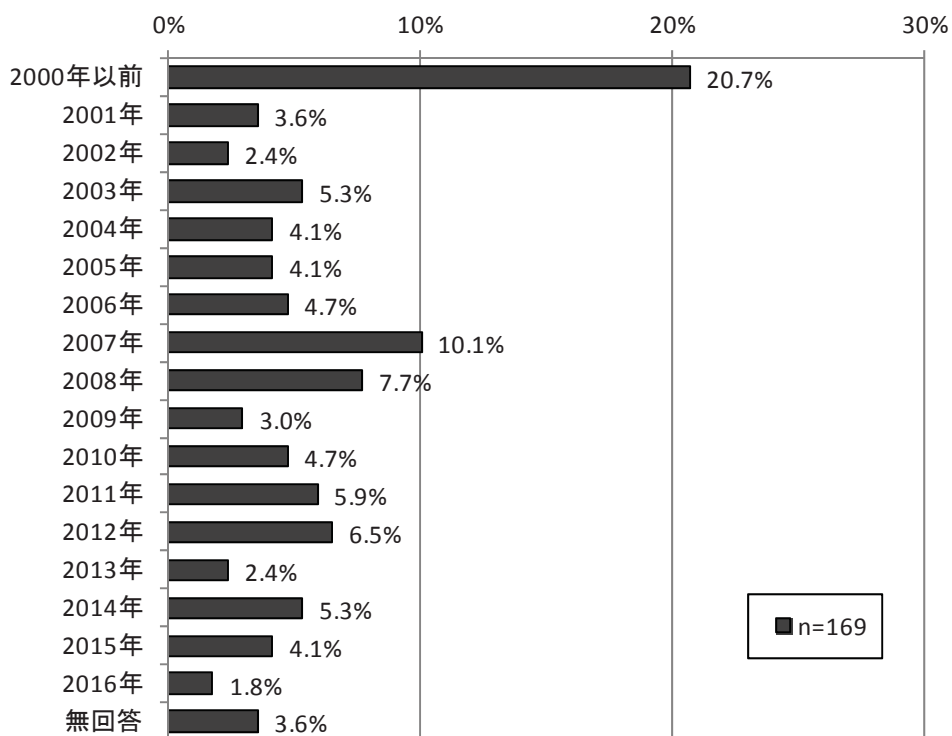
図表 I-2-1 所在地（文字記入）1.1) n=169

No.	カテゴリー名	n	%	No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道	6	3.6%	31	鳥取県	0	0.0%
2	青森県	3	1.8%	32	島根県	3	1.8%
3	岩手県	5	3.0%	33	岡山県	6	3.6%
4	宮城県	2	1.2%	34	広島県	5	3.0%
5	秋田県	1	0.6%	35	山口県	5	3.0%
6	山形県	4	2.4%	36	徳島県	0	0.0%
7	福島県	5	3.0%	37	香川県	1	0.6%
8	茨城県	1	0.6%	38	愛媛県	0	0.0%
9	栃木県	1	0.6%	39	高知県	1	0.6%
10	群馬県	3	1.8%	40	福岡県	4	2.4%
11	埼玉県	4	2.4%	41	佐賀県	1	0.6%
12	千葉県	5	3.0%	42	長崎県	3	1.8%
13	東京都	19	11.2%	43	熊本県	2	1.2%
14	神奈川県	10	5.9%	44	大分県	0	0.0%
15	新潟県	5	3.0%	45	宮崎県	1	0.6%
16	富山県	4	2.4%	46	鹿児島県	2	1.2%
17	石川県	3	1.8%	47	沖縄県	1	0.6%
18	福井県	2	1.2%		無回答	1	0.6%
19	山梨県	1	0.6%		全体	169	100.0%
20	長野県	5	3.0%				
21	岐阜県	2	1.2%				
22	静岡県	4	2.4%				
23	愛知県	11	6.5%				
24	三重県	1	0.6%				
25	滋賀県	5	3.0%				
26	京都府	5	3.0%				
27	大阪府	10	5.9%				
28	兵庫県	4	2.4%				
29	奈良県	1	0.6%				
30	和歌山県	1	0.6%				

（２）事業開始年

事業開始年は、「2000 年以前」が 20.7%、2001 年から 2005 年が合わせて 19.5%、2006 年から 2010 年が合わせて 30.2%、2011 年以降が 26.0%であった。

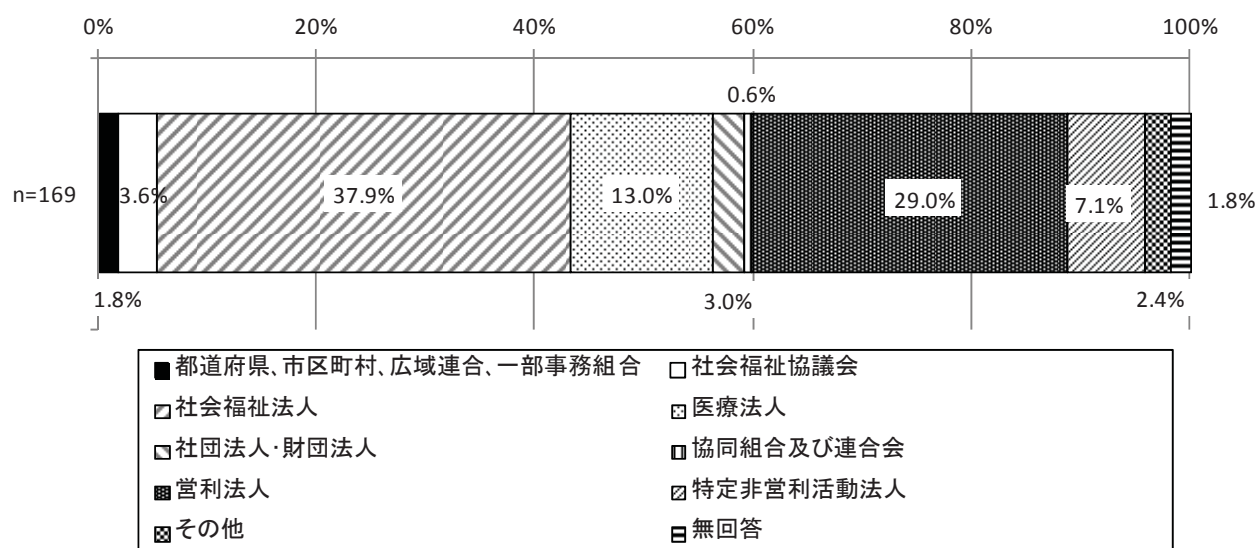
図表 I -2-2 事業開始年（数値回答）1.2）n=169



（３）開設主体

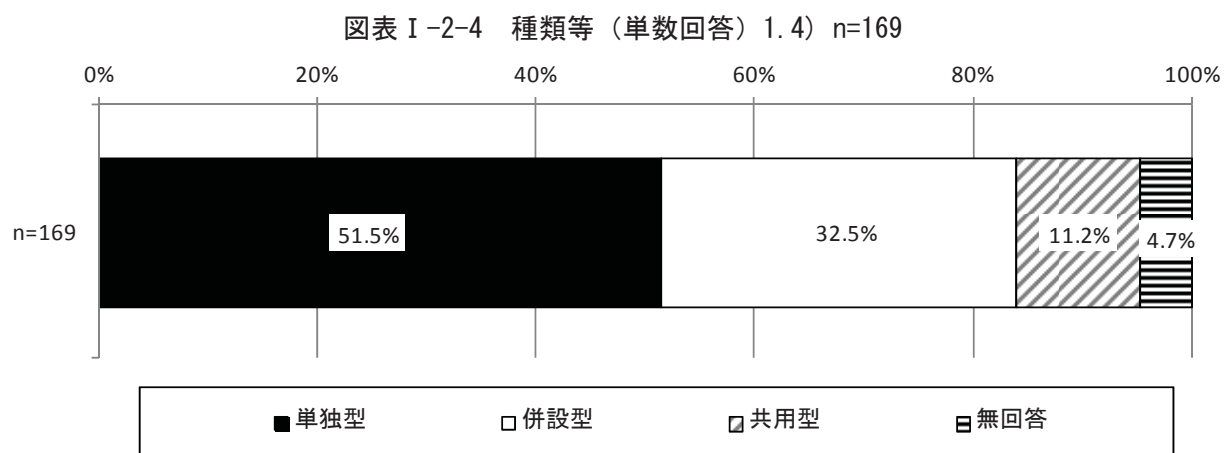
開設主体は、「社会福祉法人」が 37.9%で最も割合が高く、次いで「営利法人」が 29.0%であった。

図表 I -2-3 開設主体（単数回答）1.3）n=169



(4) 種類等

種類等は、「単独型」が 51.5%、「併設型」が 32.5%を占めていた。



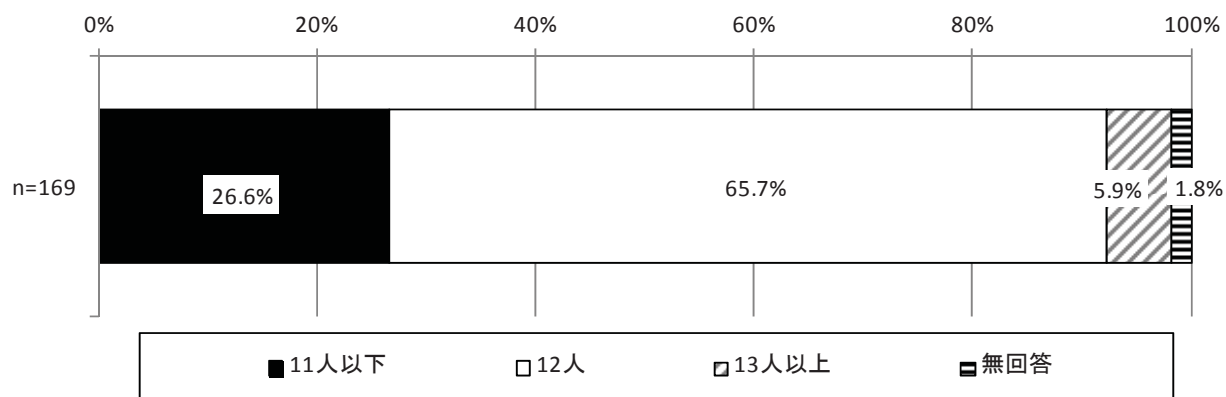
(5) 1日あたりの定員

1日あたりの定員の平均値は 11.3 人であった。

階層で見ると、「11 人以下」が 26.6%、「12 人」が 65.7%、「13 人以上」が 5.9%であった。

図表 I-2-5 1日あたりの定員（数値回答）2.5) n=166

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
166	11.3	4.3	12.0

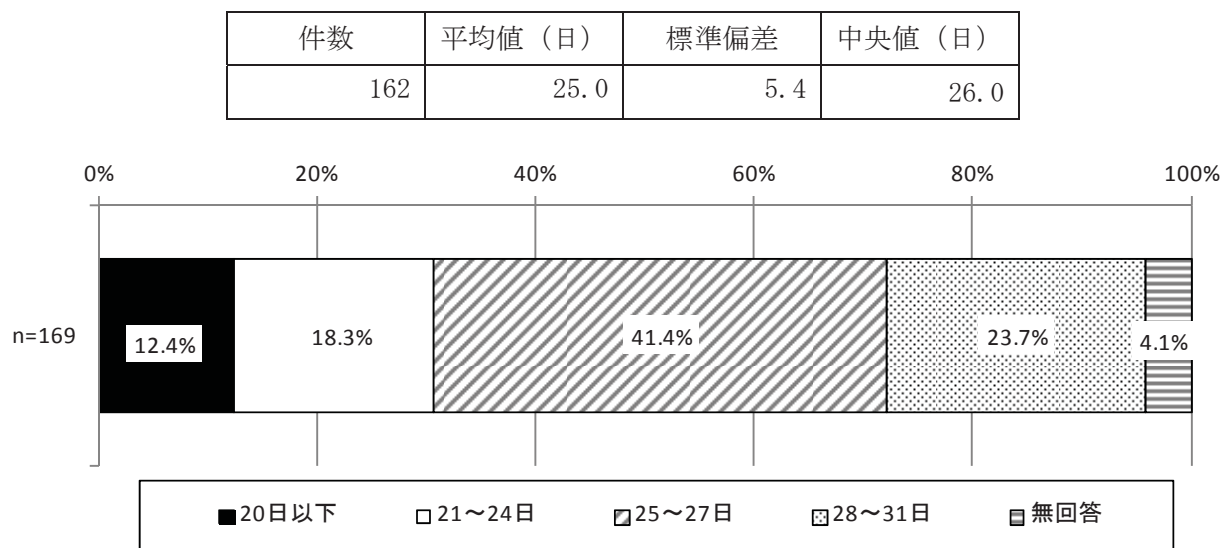


（６）平成 28 年 12 月の認知症対応型通所介護の実施日数

平成 28 年 12 月の認知症対応型通所介護の実施日数の平均値は 25.0 日であった。

階層で見ると、「25～27 日」が 41.4%で最も割合が高く、次いで「28～31 日」が 23.7%であった。

図表 I -2-6 平成 28 年 12 月の認知症対応型通所介護の実施日数（数値回答）2. 6) n=162



2. 職員体制

(1) 職員数

①職種別職員数（実人数・常勤換算数）

職種別職員数について、実人数の平均値をみると、機能訓練指導員は 2.0 人、看護職員は 1.4 人、介護職員は 6.6 人、その他の職員は 1.8 人であった。

常勤換算数の平均値をみると、機能訓練指導員は 0.4 人、看護職員は 0.5 人、介護職員は 4.1 人、その他の職員は 0.9 人であった。

図表 I-2-7 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=150

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	150	303	2.0	2.3	1.0
看護職員	150	209	1.4	1.6	1.0
介護職員	150	994	6.6	4.3	6.0
その他の職員	150	275	1.8	2.5	1.0

図表 I-2-8 職種別職員数：常勤換算数（数値記入）2. n=150

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	150	67.2	0.4	0.6	0.3
看護職員	150	73.8	0.5	0.7	0.2
介護職員	150	622.4	4.1	3.5	3.2
その他の職員	150	137.6	0.9	0.9	1.0

②機能訓練指導員が有する資格別人数（実人数）

機能訓練指導員が有する資格別人数について、実人数の平均値をみると、看護師は 1.0 人、准看護師は 0.7 人、理学療法士は 0.1 人、作業療法士は 0.1 人、言語聴覚士は 0.0 人、柔道整復師は 0.1 人、あん摩マッサージ指圧師は 0.1 人であった。

図表 I-2-9 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=146

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
看護師	146	145	1.0	1.2	1.0
准看護師	146	95	0.7	0.9	0.0
理学療法士	146	15	0.1	0.5	0.0
作業療法士	146	13	0.1	0.3	0.0
言語聴覚士	146	3	0.0	0.1	0.0
柔道整復師	146	12	0.1	0.5	0.0
あん摩マッサージ指圧師	146	18	0.1	0.5	0.0

③職員全体の資格別人数（実人数）

職員全体の資格別人数について、実人数の平均値をみると、介護福祉士は 4.6 人、社会福祉士は 0.3 人、精神保健福祉士は 0.0 人、鍼灸師は 0.0 人、介護職員実務者研修修了者は 0.7 人、介護職員初任者研修修了者は 1.4 人、健康運動指導士は 0.0 人であった。

図表 I -2-10 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=162

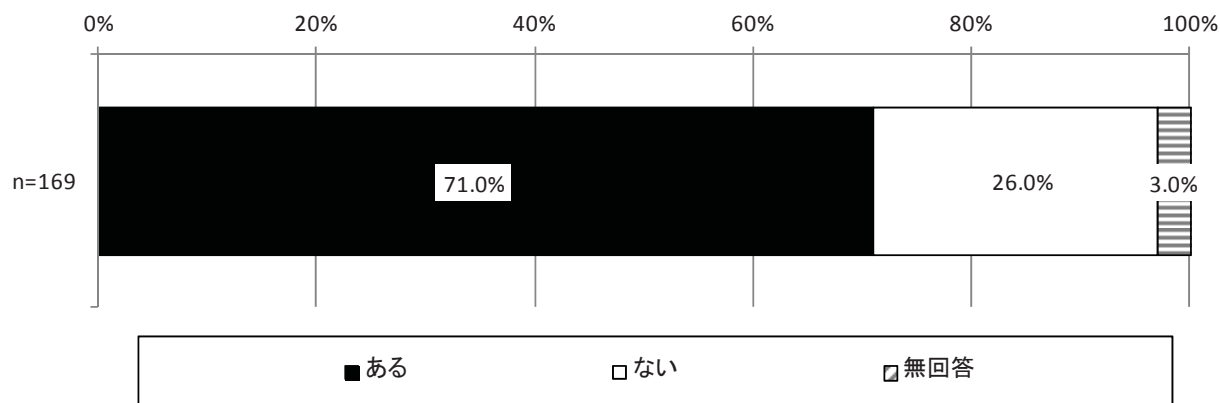
	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
介護福祉士	162	753	4.6	3.2	4.0
社会福祉士	162	45	0.3	0.6	0.0
精神保健福祉士	162	5	0.0	0.2	0.0
鍼灸師	162	5	0.0	0.2	0.0
介護職員実務者研修 修了者	162	113	0.7	1.2	0.0
介護職員初任者研修 修了者	162	229	1.4	2.3	0.5
健康運動指導士	162	4	0.0	0.2	0.0

（２）機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施状況

①機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無は、「ある」が 71.0%を占めていた。

図表 I-2-11 機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無（単数回答）2. n=169



②機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数について、実人数の平均値をみると、5.4 人であった。

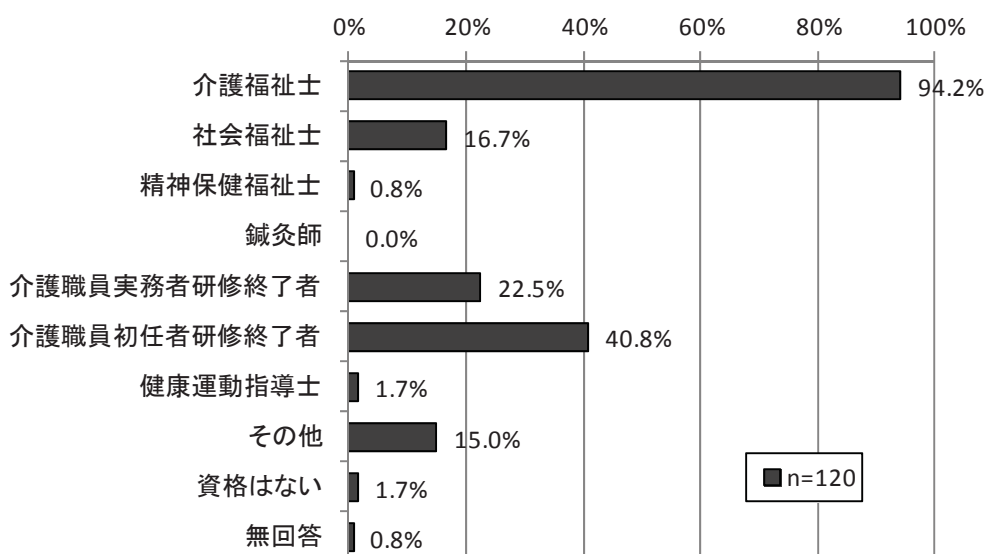
図表 I-2-12 実施することがある場合の職員数（数値回答）2.

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
116	5.4	3.9	5.0

③機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施する場合の実施者が保有する資格

機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施することがある場合、実施者が保有する資格は、「介護福祉士」が 94.2%で最も割合が高く、次いで「介護職員初任者研修終了者」が 40.8%、「介護職員実務者研修終了者」が 22.5%であった。

図表 I-2-13 実施者が保有する資格（複数回答）2. n=120



3. 利用登録者数と延べ利用回数

(1) 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）

利用登録者数の平均値をみると、要支援 1 は 0.1 人、要支援 2 は 0.2 人、要介護 1 は 4.0 人、要介護 2 は 4.5 人、要介護 3 は 4.3 人、要介護 4 は 2.3 人、要介護 5 は 1.9 人、申請中は 0.3 人であった。

図表 I-2-14 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）（数値記入）3. n=162

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
要支援 1	162	0.1	0.5	0.0
要支援 2	162	0.2	0.7	0.0
要介護 1	162	4.0	4.0	3.0
要介護 2	162	4.5	4.0	4.0
要介護 3	162	4.3	3.2	4.0
要介護 4	162	2.3	2.0	2.0
要介護 5	162	1.9	2.0	1.0
申請中	162	0.3	1.8	0.0

(2) 延べ利用回数（平成 28 年 12 月分）

利用登録者数の平均値をみると、要支援 1 は 0.8 人回、要支援 2 は 1.7 人回、要介護 1 は 35.8 人回、要介護 2 は 44.6 人回、要介護 3 は 47.2 人回、要介護 4 は 25.6 人回、要介護 5 は 21.6 人回、申請中は 2.0 人回であった。

図表 I-2-15 利用登録者数（平成 28 年 12 月分）（数値記入）3. n=158

	件数	平均値（人回）	標準偏差	中央値（人回）
要支援 1	158	0.8	3.0	0.0
要支援 2	158	1.7	5.6	0.0
要介護 1	158	35.8	39.6	26.0
要介護 2	158	44.6	37.0	40.5
要介護 3	158	47.2	38.4	39.0
要介護 4	158	25.6	26.7	19.5
要介護 5	158	21.6	26.4	14.0
申請中	158	2.0	14.9	0.0

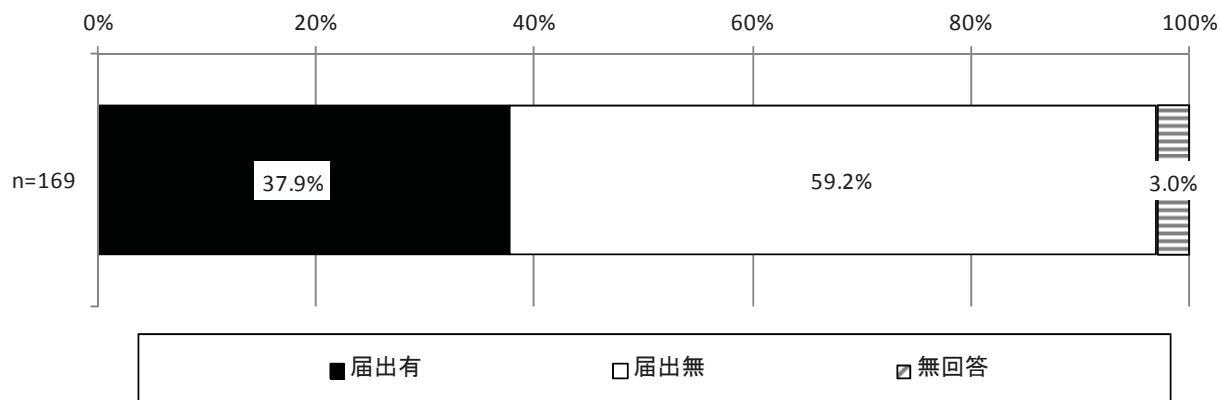
4. 加算の届出状況

(1) 個別機能訓練加算

①届出状況

個別機能訓練加算の届出状況は、「届出有」は37.9%であった。

図表 I-2-16 個別機能訓練加算：届出状況（数値記入）4.1) n=169



②算定人数・延べ回数

個別機能訓練加算の算定人数の平均値は18.2人、延べ回数の平均値は139.5回であった。

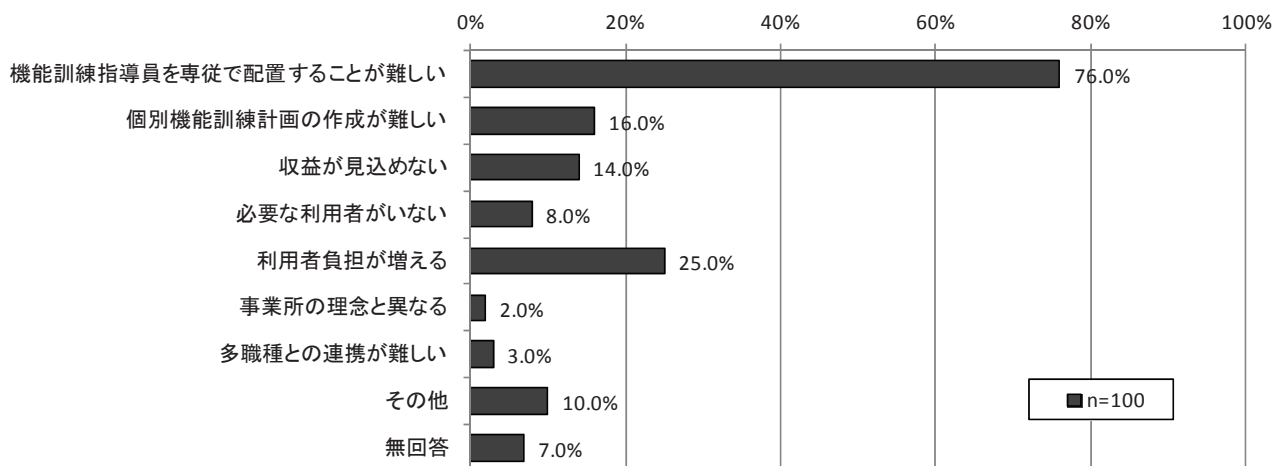
図表 I-2-17 個別機能訓練加算：算定人数・延べ回数（数値記入）4.1)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	55	18.2	25.8	15.0
延べ回数（回）	52	139.5	103.1	133.5

③届出をしていない場合の理由

個別機能訓練加算の届出をしていない場合の理由は、「機能訓練指導員を専従で配置することが難しい」が76.0%で最も割合が高くなっていた。

図表 I-2-18 届出をしていない場合の理由（複数回答）4. (1)1)-① n=100

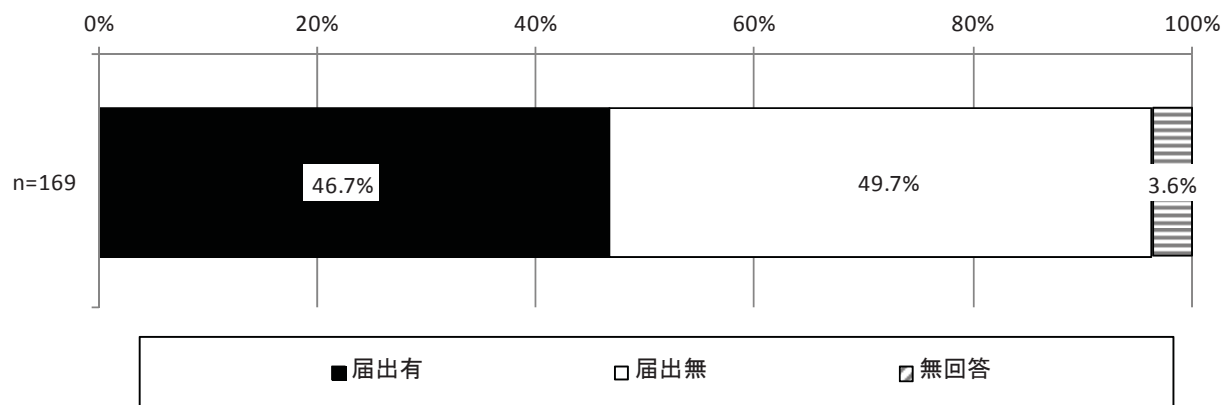


(2) 若年性認知症利用者受入加算

①届出状況

若年性認知症利用者受入加算の届出状況は、「届出有」は46.7%であった。

図表 I -2-19 若年性認知症利用者受入加算：届出状況（数値記入）4.2) n=169

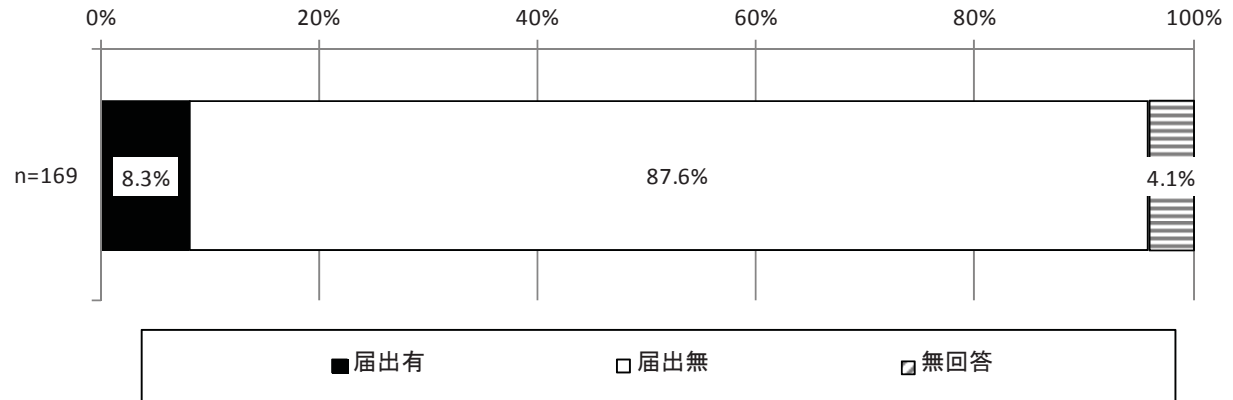


(3) 口腔機能向上加算

①届出状況

口腔機能向上加算の届出状況は、「届出有」は8.3%であった。

図表 I -2-20 口腔機能向上加算：届出状況（数値記入）4.3）n=169



②算定人数

口腔機能向上加算の算定人数の平均値は3.5人であった。

図表 I -2-21 口腔機能向上加算：算定人数（数値記入）4.3）n=14

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	14	3.5	4.1	2.0

第3節 特別養護老人ホーム

1. 施設の基本情報

(1) 所在地

所在地は、「東京都」が24件（7.1％）で最も多く、「北海道」「大阪府」がそれぞれ16件（4.7％）、「千葉県」「新潟県」「愛知県」「兵庫県」がそれぞれ14件（4.1％）であった。

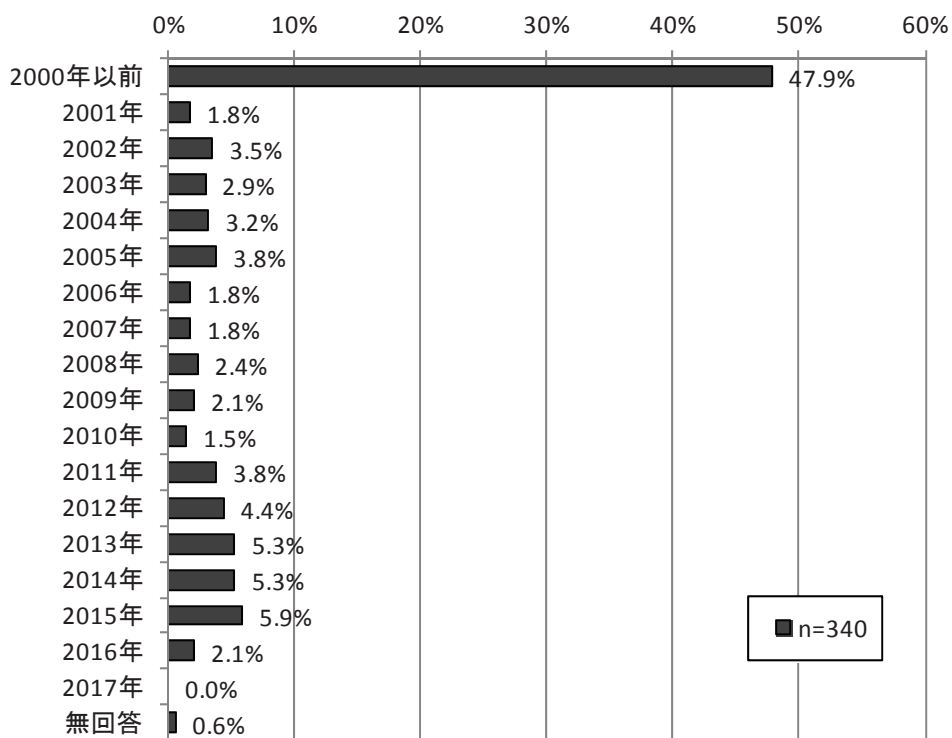
図表 I-3-1 所在地（文字記入）1.1) n=340

No.	カテゴリー名	n	%	No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道	16	4.7%	31	鳥取県	1	0.3%
2	青森県	4	1.2%	32	島根県	2	0.6%
3	岩手県	7	2.1%	33	岡山県	7	2.1%
4	宮城県	10	2.9%	34	広島県	7	2.1%
5	秋田県	5	1.5%	35	山口県	3	0.9%
6	山形県	3	0.9%	36	徳島県	2	0.6%
7	福島県	8	2.4%	37	香川県	2	0.6%
8	茨城県	9	2.6%	38	愛媛県	5	1.5%
9	栃木県	4	1.2%	39	高知県	3	0.9%
10	群馬県	7	2.1%	40	福岡県	12	3.5%
11	埼玉県	13	3.8%	41	佐賀県	3	0.9%
12	千葉県	14	4.1%	42	長崎県	8	2.4%
13	東京都	24	7.1%	43	熊本県	8	2.4%
14	神奈川県	11	3.2%	44	大分県	0	0.0%
15	新潟県	14	4.1%	45	宮崎県	2	0.6%
16	富山県	7	2.1%	46	鹿児島県	8	2.4%
17	石川県	6	1.8%	47	沖縄県	2	0.6%
18	福井県	4	1.2%		無回答	0	0.0%
19	山梨県	2	0.6%		全体	340	100.0%
20	長野県	6	1.8%				
21	岐阜県	9	2.6%				
22	静岡県	11	3.2%				
23	愛知県	14	4.1%				
24	三重県	5	1.5%				
25	滋賀県	6	1.8%				
26	京都府	12	3.5%				
27	大阪府	16	4.7%				
28	兵庫県	14	4.1%				
29	奈良県	4	1.2%				
30	和歌山県	0	0.0%				

（２）事業開始年

事業開始年は、「2000 年以前」が 47.9%、2001 年から 2005 年が合わせて 15.3%、2006 年から 2010 年が合わせて 9.4%、2011 年以降が 26.8%であった。

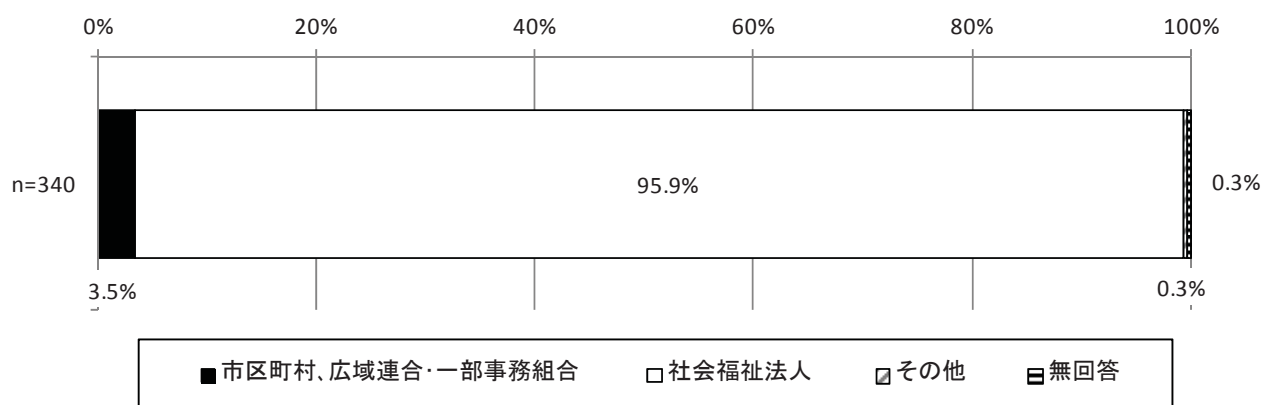
図表 I -3-2 事業開始年（数値回答）1.2）n=340



（３）開設主体

開設主体は、「社会福祉法人」が 95.9%を占めていた。

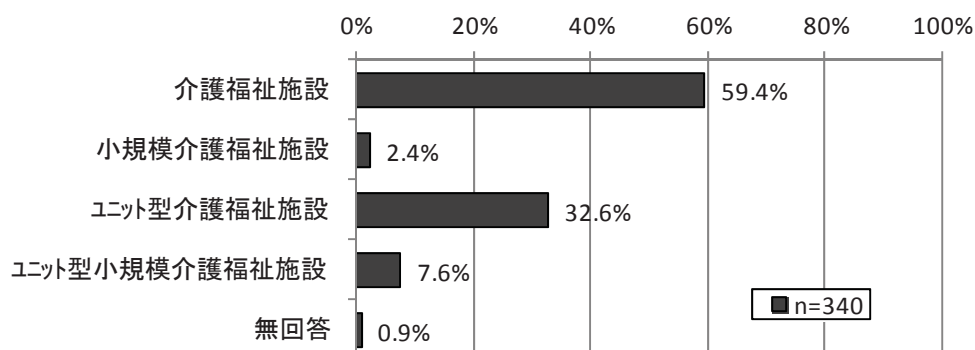
図表 I -3-3 開設主体（単数回答）1.3）n=340



(4) 介護報酬上の届出

介護報酬上の届出は、「介護福祉施設」が 59.4%で最も割合が高く、次いで「ユニット型介護福祉施設」が 32.6%であった。

図表 I-3-4 介護報酬上の届出（複数回答）1.4) n=340



(5) 入所定員

1日あたりの入所定員の平均値は 67.5 人であった。

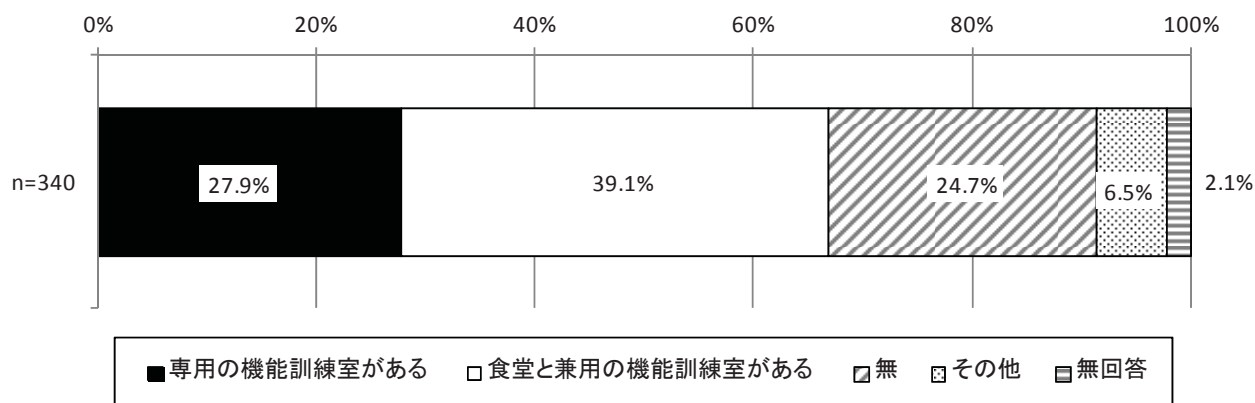
図表 I-3-5 入所定員（数値回答）1.5) n=338

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
338	67.5	33.2	60.0

(6) 機能訓練室の有無

機能訓練室の有無は、「専用の機能訓練室がある」が 27.9%、「食堂と兼用の機能訓練室がある」が 39.1%、「無」が 24.7%であった。

図表 I-3-6 機能訓練室の有無（単数回答）1.6) n=340



2. 職員体制

(1) 職員数

①職種別職員数（実人数・常勤換算数）

職種別職員数について、実人数の平均値をみると、機能訓練指導員は 2.1 人、看護職員は 4.7 人、介護職員は 33.2 人、その他の職員は 10.1 人であった。

常勤換算数の平均値をみると、機能訓練指導員は 0.9 人、看護職員は 3.8 人、介護職員は 28.6 人、その他の職員は 8.0 人であった。

図表 I-3-7 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=326

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	326	686	2.1	2.1	1.0
看護職員	326	1,537	4.7	2.5	4.0
介護職員	326	10,830	33.2	18.1	31.0
その他の職員	326	3,305	10.1	8.3	9.0

図表 I-3-8 職種別職員数：常勤換算数（数値記入）2. n=324

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	324	289.5	0.9	0.8	1.0
看護職員	324	1,216.0	3.8	2.0	3.9
介護職員	324	9,255.0	28.6	16.9	26.9
その他の職員	324	2,600.2	8.0	6.8	7.0

②機能訓練指導員が有する資格別人数（実人数）

機能訓練指導員が有する資格別人数について、実人数の平均値をみると、看護師は 0.9 人、准看護師は 0.7 人、理学療法士は 0.3 人、作業療法士は 0.1 人、言語聴覚士は 0.0 人、柔道整復師は 0.1 人、あん摩マッサージ指圧師は 0.1 人であった。

図表 I-3-9 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=329

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
看護師	329	281	0.9	1.9	0.0
准看護師	329	243	0.7	1.1	0.0
理学療法士	329	84	0.3	0.6	0.0
作業療法士	329	45	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	329	8	0.0	0.2	0.0
柔道整復師	329	29	0.1	0.3	0.0
あん摩マッサージ指圧師	329	36	0.1	0.3	0.0

③職員全体の資格別人数（実人数）

職員全体の資格別人数について、実人数の平均値をみると、介護福祉士は 21.9 人、社会福祉士は 1.3 人、精神保健福祉士は 0.1 人、鍼灸師は 0.1 人、介護職員実務者研修修了者は 1.9 人、介護職員初任者研修修了者は 5.6 人、健康運動指導士は 0.0 人であった。

図表 I -3-10 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=326

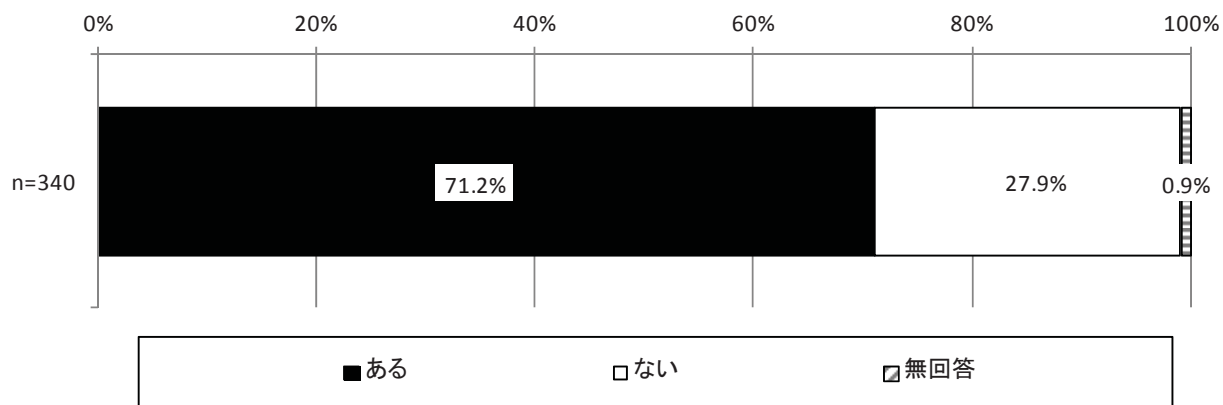
	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
介護福祉士	326	7,128	21.9	13.1	20.0
社会福祉士	326	416	1.3	1.4	1.0
精神保健福祉士	326	39	0.1	0.4	0.0
鍼灸師	326	17	0.1	0.2	0.0
介護職員実務者研修 修了者	326	606	1.9	3.3	1.0
介護職員初任者研修 修了者	326	1,816	5.6	7.5	3.0
健康運動指導士	326	3	0.0	0.1	0.0

（２）機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施状況

①機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無は、「ある」が 71.2%を占めていた。

図表 I-3-11 機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無（単数回答）2. n=340



②機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数について、実人数の平均値をみると、26.6人であった。

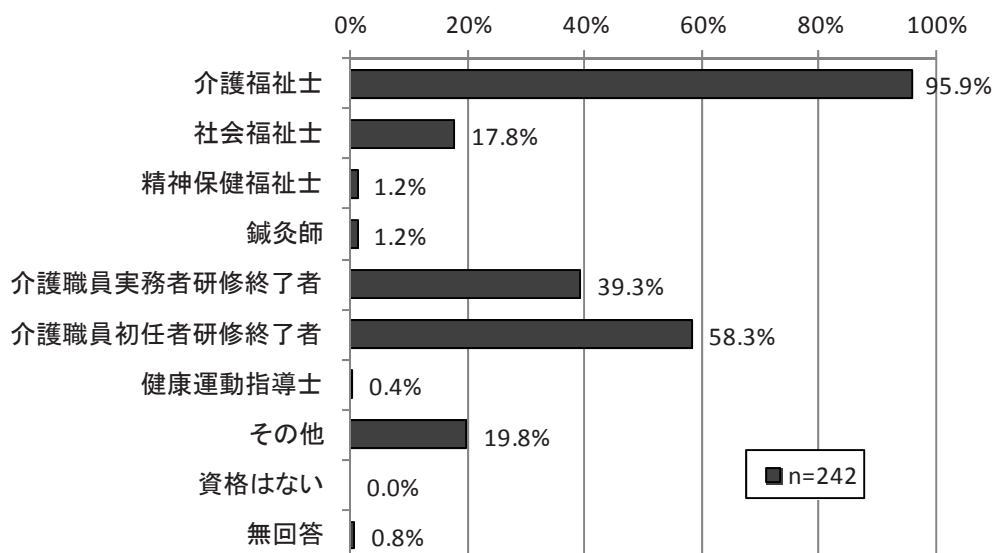
図表 I-3-12 実施することがある場合の職員数（数値回答）2. n=187

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
187	26.6	19.7	22.0

③機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施する場合の実施者が保有する資格

機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施することがある場合、実施者が保有する資格は、「介護福祉士」が95.9%で最も割合が高く、次いで「介護職員初任者研修終了者」が58.3%、「介護職員実務者研修終了者」が39.3%であった。

図表 I -3-13 実施者が保有する資格（複数回答）2. n=242



3. 入所者数

入所者数の平均値をみると、要支援 1 は 1.5 人、要支援 2 は 4.1 人、要介護 1 は 15.2 人、要介護 2 は 23.4 人、要介護 3 は 20.6 人、要介護 4 は 2.0 人、要介護 5 は 1.5 人、申請中は 4.1 人であった。

図表 I-3-14 入所者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）（数値記入）3. n=327

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
要支援 1	327	1.5	2.7	1.0
要支援 2	327	4.1	4.8	2.0
要介護 1	327	15.2	10.1	13.0
要介護 2	327	23.4	12.6	22.0
要介護 3	327	20.6	12.2	18.0
要介護 4	327	2.0	13.5	0.0
要介護 5	327	1.5	2.7	1.0
申請中	327	4.1	4.8	2.0

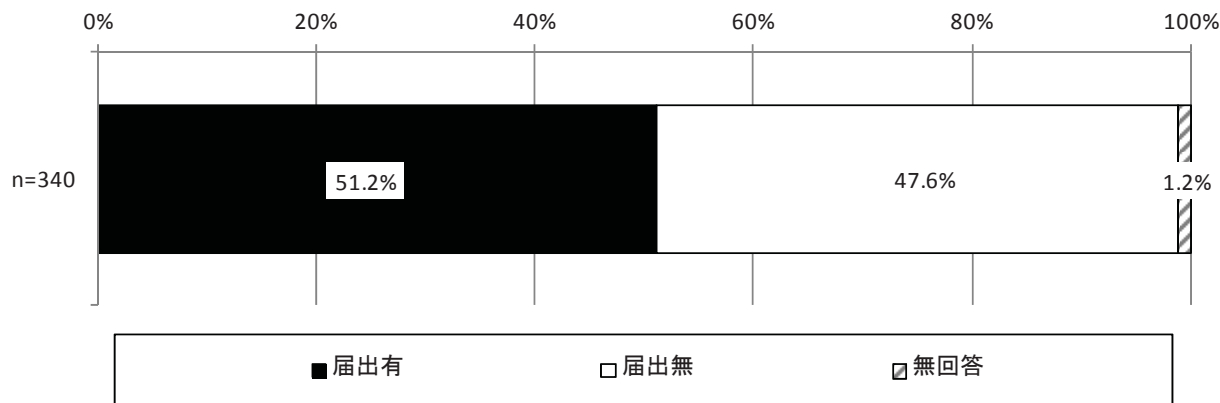
4. 加算の届出状況

(1) 個別機能訓練加算

①届出状況

個別機能訓練加算の届出状況は、「届出有」は51.2%であった。

図表 I-3-15 個別機能訓練加算：届出状況（数値記入）4.1) n=340



②算定人数・延べ回数

個別機能訓練加算の算定人数の平均値は74.9人、延べ回数の平均値は1,896.2回であった。

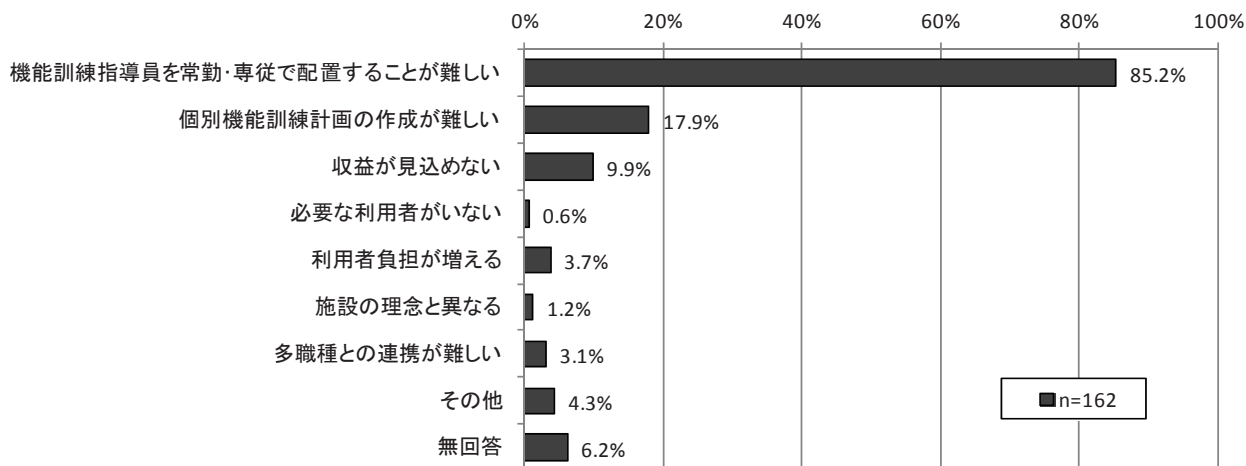
図表 I-3-16 個別機能訓練加算：算定人数・延べ回数（数値記入）4.1)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	166	74.9	33.8	79.0
延べ回数（回）	143	1,896.2	1,214.7	1,845.0

③届出をしていない場合の理由

個別機能訓練加算の届出をしていない場合の理由は、「機能訓練指導員を常勤・専従で配置することが難しい」が85.2%で最も割合が高くなっていた。

図表 I-3-17 届出をしていない場合の理由（複数回答）4. (1)1)-① n=162



(2) 在宅復帰支援機能加算

①算定人数

在宅復帰支援機能加算の算定人数の平均値は 0.0 人であった。

図表 I-3-18 在宅復帰支援機能加算：算定人数（数値記入）4.2）n=259

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	259	0.0	0.0	0.0

(3) 経口移行加算

①算定人数

経口移行加算の算定人数の平均値は 0.0 人であった

図表 I-3-19 経口移行加算：算定人数（数値記入）4.2）n=257

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	257	0.0	0.4	0.0

(4) 経口維持加算

①算定人数

経口維持加算の算定人数の平均値は 5.3 人であった。

図表 I-3-20 経口維持加算：算定人数（数値記入）4.2）n=261

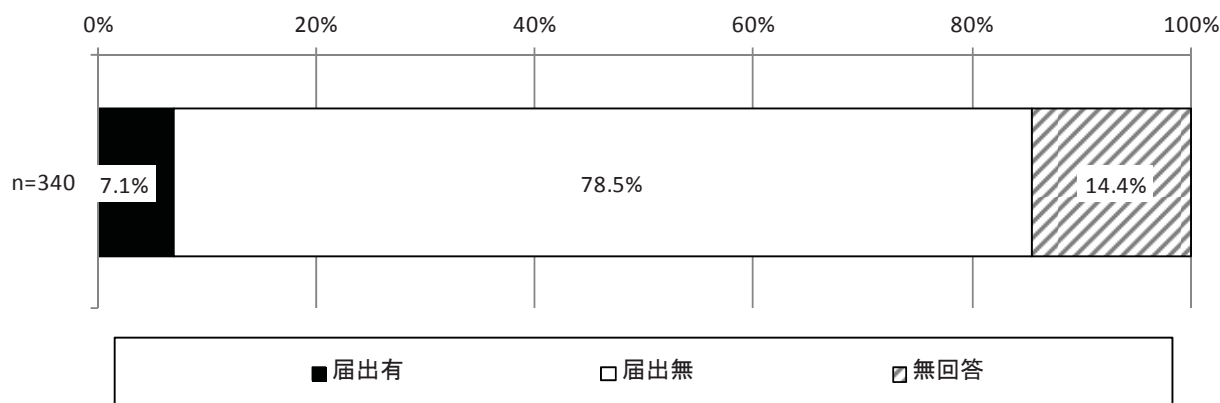
	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	261	5.3	12.5	0.0

(5) 認知症専門ケア加算

①届出状況

口腔機能向上加算の届出状況は、「届出有」は 7.1%であった。

図表 I-3-21 口腔機能向上加算：届出状況（数値記入）4.3）n=340



第4節 短期入所生活介護事業所

1. 事業所の基本情報

(1) 所在地

所在地は、「北海道」が10件（6.3%）で最も多く、大阪府が9件（5.6%）であった。

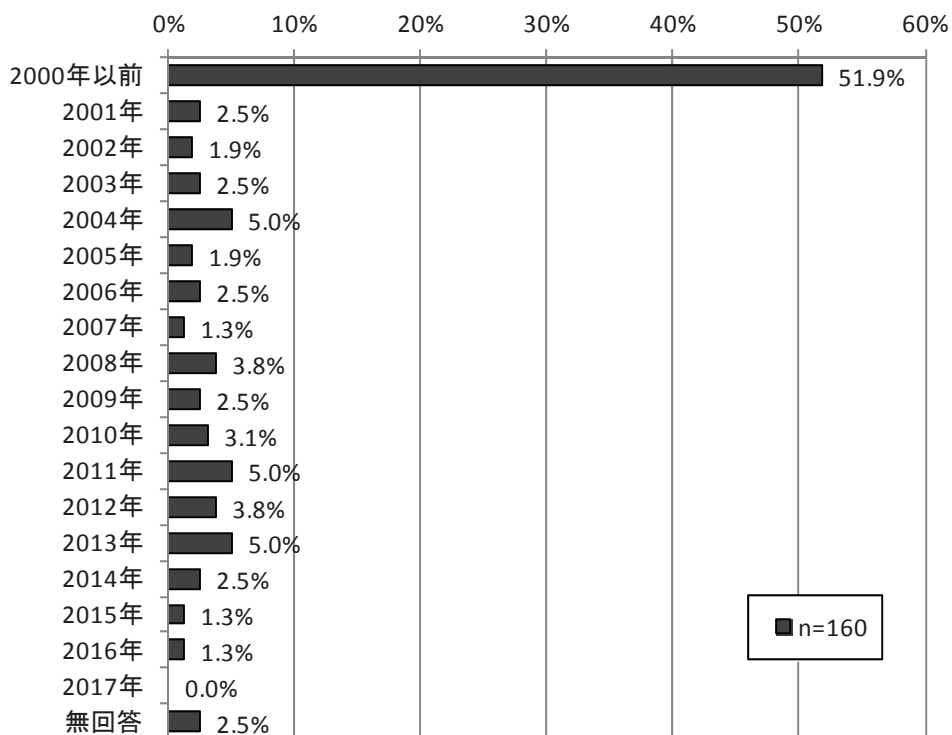
図表 I-4-1 所在地（文字記入）1.1) n=160

No.	カテゴリー名	n	%	No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道	10	6.3%	31	鳥取県	3	1.9%
2	青森県	4	2.5%	32	島根県	3	1.9%
3	岩手県	1	0.6%	33	岡山県	2	1.3%
4	宮城県	4	2.5%	34	広島県	4	2.5%
5	秋田県	6	3.8%	35	山口県	4	2.5%
6	山形県	1	0.6%	36	徳島県	2	1.3%
7	福島県	2	1.3%	37	香川県	5	3.1%
8	茨城県	2	1.3%	38	愛媛県	6	3.8%
9	栃木県	3	1.9%	39	高知県	0	0.0%
10	群馬県	2	1.3%	40	福岡県	4	2.5%
11	埼玉県	6	3.8%	41	佐賀県	3	1.9%
12	千葉県	5	3.1%	42	長崎県	3	1.9%
13	東京都	5	3.1%	43	熊本県	1	0.6%
14	神奈川県	7	4.4%	44	大分県	0	0.0%
15	新潟県	5	3.1%	45	宮崎県	3	1.9%
16	富山県	2	1.3%	46	鹿児島県	3	1.9%
17	石川県	2	1.3%	47	沖縄県	1	0.6%
18	福井県	2	1.3%		無回答	0	0.0%
19	山梨県	2	1.3%		全体	160	100.0%
20	長野県	5	3.1%				
21	岐阜県	5	3.1%				
22	静岡県	3	1.9%				
23	愛知県	7	4.4%				
24	三重県	2	1.3%				
25	滋賀県	1	0.6%				
26	京都府	2	1.3%				
27	大阪府	9	5.6%				
28	兵庫県	7	4.4%				
29	奈良県	0	0.0%				
30	和歌山県	1	0.6%				

（２）事業開始年

事業開始年は、「2000 年以前」が 51.9%、2001 年から 2005 年が合わせて 13.8%、2006 年から 2010 年が合わせて 13.1%、2011 年以降が 18.8%であった。

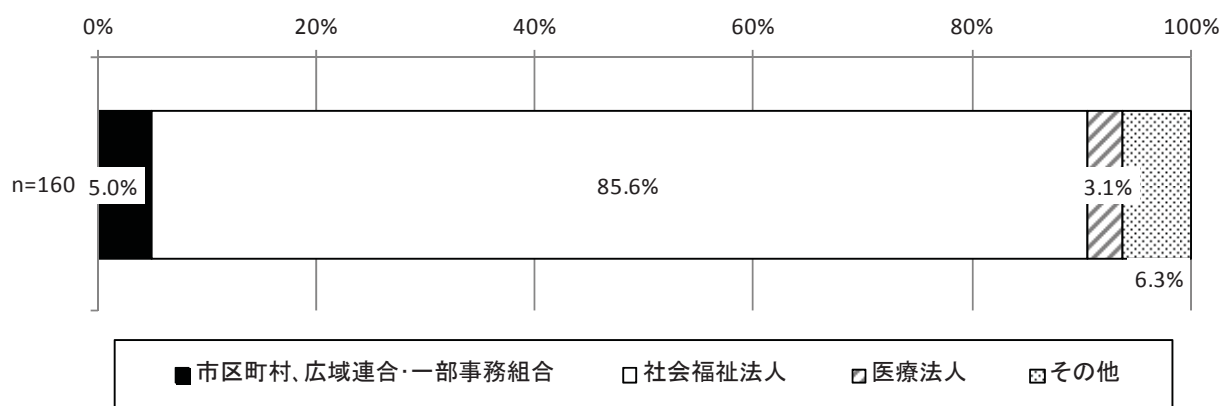
図表 I -4-2 事業開始年（数値回答）1.2) n=160



（３）開設主体

開設主体は、「社会福祉法人」が 85.6%を占めていた。

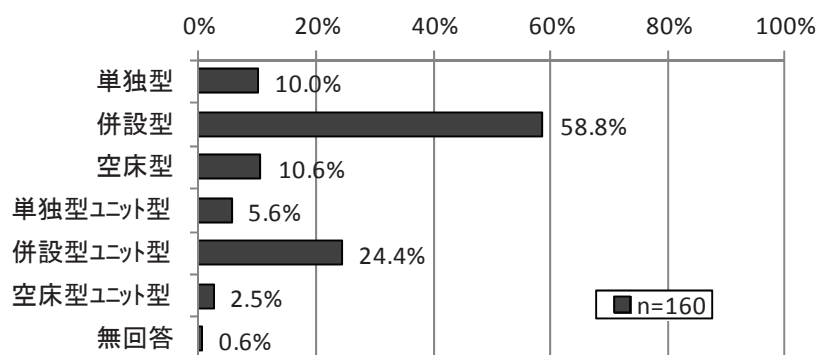
図表 I -4-3 開設主体（単数回答）1.3) n=160



(4) 設置形態

設置形態は、「併設型」が 58.8%で最も割合が高く、次いで「併設型ユニット型」が 24.4%であった。

図表 I-4-4 設置形態（複数回答）1.4) n=160



(5) 利用定員

利用定員の平均値は 16.5 人であった。

図表 I-4-5 利用定員（数値回答）2.5) n=153

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
153	16.5	12.5	12.0

2. 職員体制

(1) 職員数

①職種別職員数（実人数・常勤換算数）

職種別職員数について、実人数の平均値をみると、機能訓練指導員は 1.7 人、看護職員は 3.4 人、介護職員は 20.3 人、その他の職員は 6.3 人であった。

常勤換算数の平均値をみると、機能訓練指導員は 0.6 人、看護職員は 2.4 人、介護職員は 16.2 人、その他の職員は 4.2 人であった。

図表 I-4-6 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=155

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	155	260	1.7	1.3	1.0
看護職員	155	530	3.4	2.3	3.0
介護職員	155	3,152	20.3	15.1	19.0
その他の職員	155	972	6.3	7.8	3.0

図表 I-4-7 職種別職員数：常勤換算数（数値記入）2. n=154

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	154	86.8	0.6	0.6	0.4
看護職員	154	375.3	2.4	2.1	2.0
介護職員	154	2,490.6	16.2	13.5	11.5
その他の職員	154	642.1	4.2	5.5	1.2

②機能訓練指導員が有する資格別人数（実人数）

機能訓練指導員が有する資格別人数について、実人数の平均値をみると、看護師は 0.6 人、准看護師は 0.7 人、理学療法士は 0.1 人、作業療法士は 0.1 人、言語聴覚士は 0.0 人、柔道整復師は 0.1 人、あん摩マッサージ指圧師は 0.1 人であった。

図表 I-4-8 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=147

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
看護師	147	84	0.6	0.8	0.0
准看護師	147	109	0.7	0.9	1.0
理学療法士	147	18	0.1	0.4	0.0
作業療法士	147	16	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	147	1	0.0	0.1	0.0
柔道整復師	147	12	0.1	0.3	0.0
あん摩マッサージ指圧師	147	13	0.1	0.3	0.0

③職員全体の資格別人数（実人数）

職員全体の資格別人数について、実人数の平均値をみると、介護福祉士は 14.4 人、社会福祉士は 0.9 人、精神保健福祉士は 0.1 人、鍼灸師は 0.0 人、介護職員実務者研修修了者は 1.4 人、介護職員初任者研修修了者は 3.3 人、健康運動指導士は 0.0 人であった。

図表 I -4-9 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=155

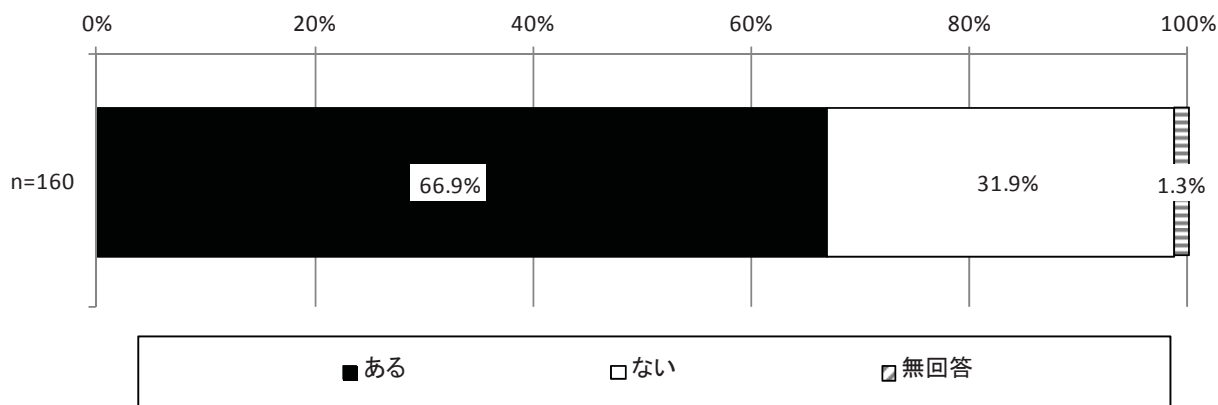
	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
介護福祉士	155	2,233	14.4	11.0	13.0
社会福祉士	155	134	0.9	1.0	1.0
精神保健福祉士	155	13	0.1	0.3	0.0
鍼灸師	155	3	0.0	0.1	0.0
介護職員実務者研修修了者	155	218	1.4	3.3	0.0
介護職員初任者研修修了者	155	510	3.3	5.1	1.0
健康運動指導士	155	1	0.0	0.1	0.0

（２）機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施状況

①機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無は、「ある」が 66.9%を占めていた。

図表 I-4-10 機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無（単数回答）2. n=160



②機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数について、実人数の平均値をみると、11.1人であった。

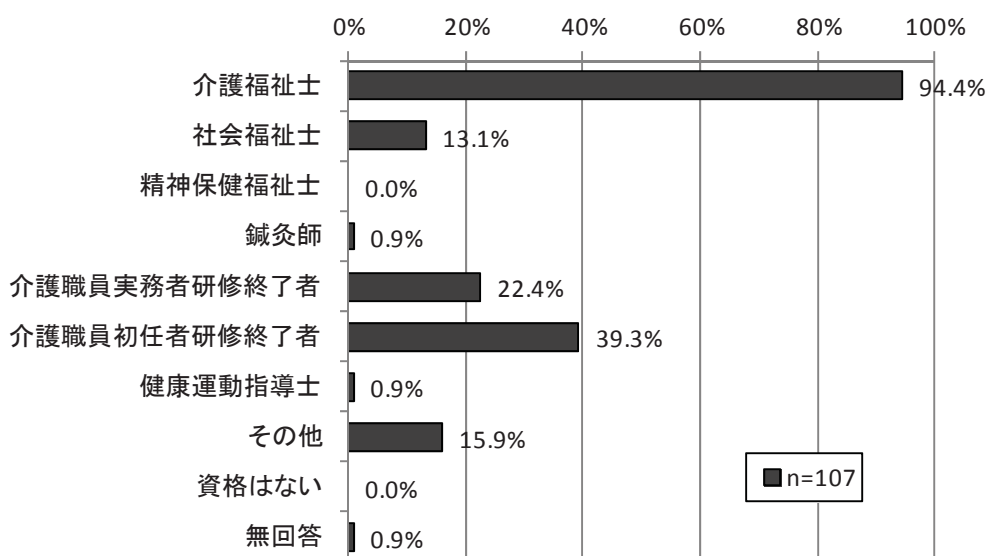
図表 I-4-11 実施することがある場合の職員数（数値回答）2. n=95

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
95	11.1	9.5	9.0

③機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施する場合の実施者が保有する資格

機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施することがある場合、実施者が保有する資格は、「介護福祉士」が 94.4%で最も割合が高く、次いで「介護職員初任者研修終了者」が 39.3%、「介護職員実務者研修終了者」が 22.4%であった。

図表 I-4-12 実施者が保有する資格（複数回答）2. n=107



3. 利用登録者数と延べ利用回数

(1) 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）

利用登録者数の平均値をみると、要支援 1 は 0.7 人、要支援 2 は 1.2 人、要介護 1 は 6.5 人、要介護 2 は 9.2 人、要介護 3 は 9.7 人、要介護 4 は 7.1 人、要介護 5 は 4.5 人、申請中は 0.3 人であった。

図表 I-4-13 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）（数値記入）3. n=150

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
要支援 1	150	0.7	3.2	0.0
要支援 2	150	1.2	3.1	0.0
要介護 1	150	6.5	17.1	3.0
要介護 2	150	9.2	18.1	5.0
要介護 3	150	9.7	14.6	6.0
要介護 4	150	7.1	9.8	4.0
要介護 5	150	4.5	6.0	2.5
申請中	150	0.3	1.3	0.0

(2) 延べ利用回数（平成 28 年 12 月分）

延べ利用回数の平均値をみると、要支援 1 は 1.8 人回、要支援 2 は 4.5 人回、要介護 1 は 36.5 人回、要介護 2 は 67.7 人回、要介護 3 は 108.5 人回、要介護 4 は 82.9 人回、要介護 5 は 49.8 人回、申請中は 2.2 人回であった。

図表 I-4-14 延べ利用回数（平成 28 年 12 月分）（数値記入）3. n=147

	件数	平均値（人回）	標準偏差	中央値（人回）
要支援 1	147	1.8	5.0	0.0
要支援 2	147	4.5	10.4	0.0
要介護 1	147	36.5	43.8	19.0
要介護 2	147	67.7	65.5	48.0
要介護 3	147	108.5	103.8	82.0
要介護 4	147	82.9	106.7	58.0
要介護 5	147	49.8	68.4	28.0
申請中	147	2.2	11.8	0.0

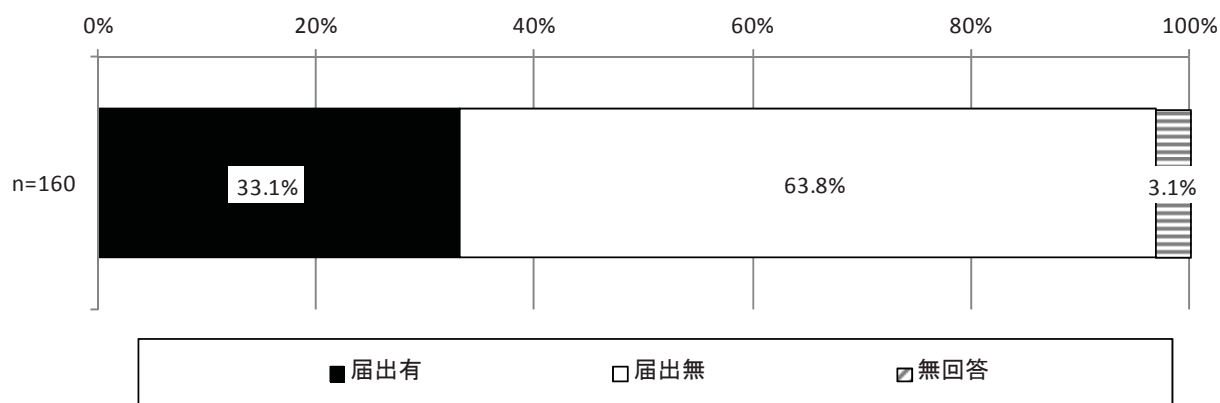
4. 加算の届出状況

(1) 機能訓練指導加算

①届出状況

機能訓練指導加算の届出状況は、「届出有」は33.1%であった。

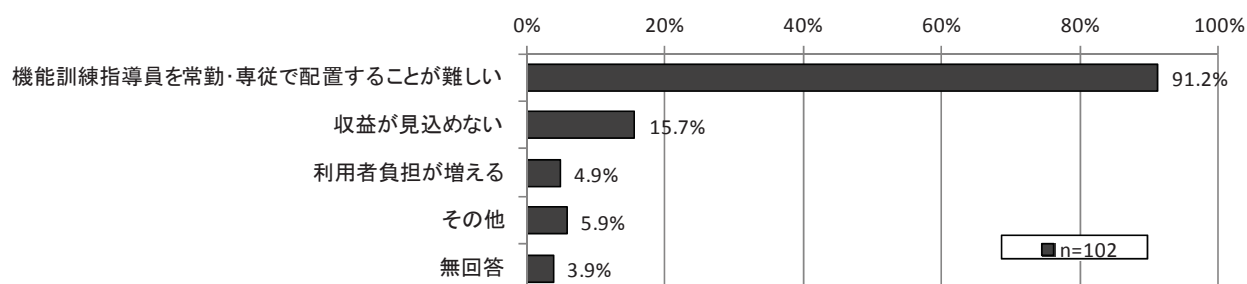
図表 I-4-15 機能訓練指導加算：届出状況（数値記入）4.1) n=160



②届出をしていない場合の理由

機能訓練指導加算の届出をしていない場合の理由は、「機能訓練指導員を常勤・専従で配置すること難しい」が91.2%で最も割合が高くなっていた。

図表 I-4-16 届出をしていない場合の理由（複数回答）4. (1) 1)-① n=102

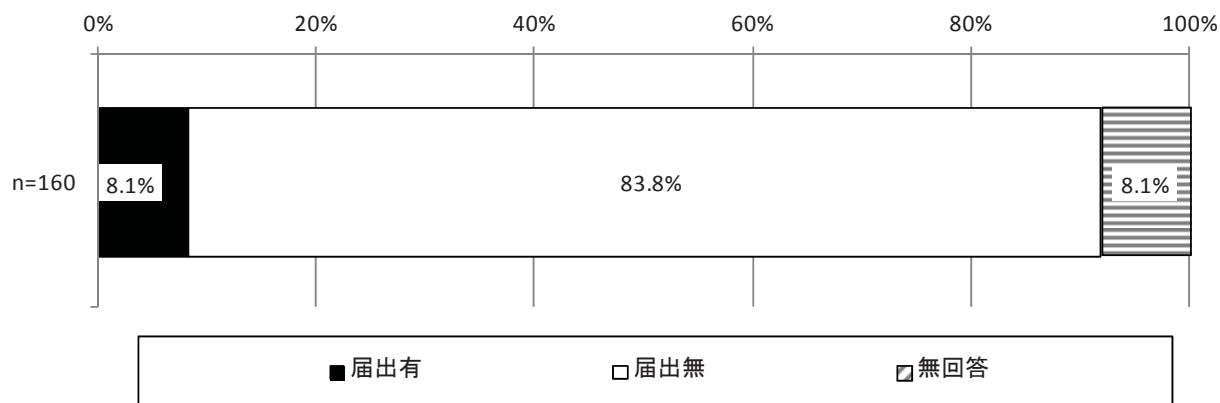


(2) 個別機能訓練加算

①届出状況

個別機能訓練加算の届出状況は、「届出有」は8.1%であった。

図表 I-4-17 個別機能訓練加算：届出状況（数値記入）4.2）n=160



②算定人数・延べ回数

個別機能訓練加算の算定人数の平均値は18.8人、延べ回数の平均値は180.7回であった。

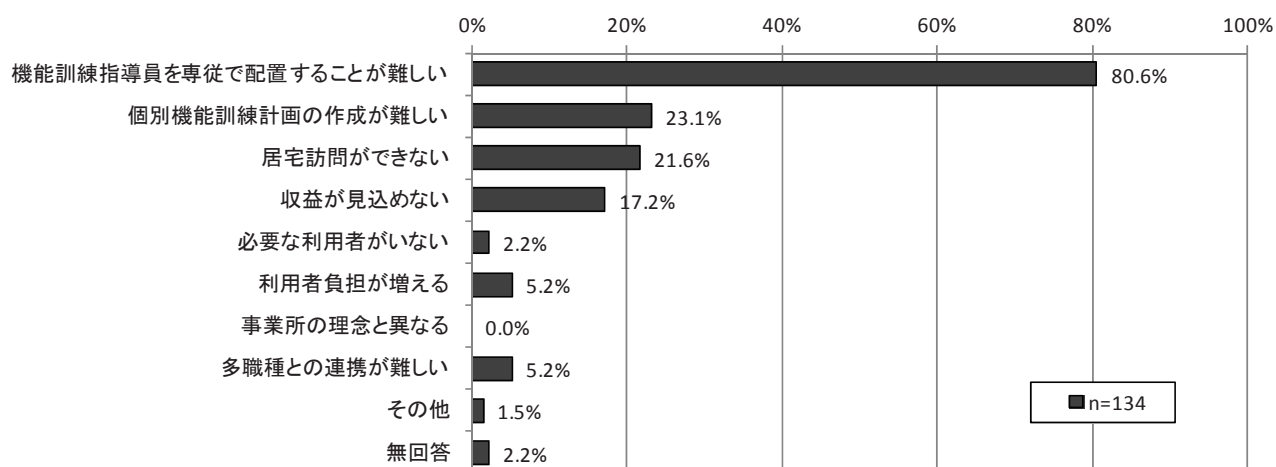
図表 I-4-18 個別機能訓練加算：算定人数・延べ回数（数値記入）4.2）n=12

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	12	18.8	18.8	14.0
延べ回数（回）	12	180.7	207.6	105.0

③届出をしていない場合の理由

個別機能訓練加算の届出をしていない場合の理由は、「機能訓練指導員を専従で配置することが難しい」が80.6%で最も割合が高くなっていた。

図表 I-4-19 届出をしていない場合の理由（複数回答）4.2）-① n=134

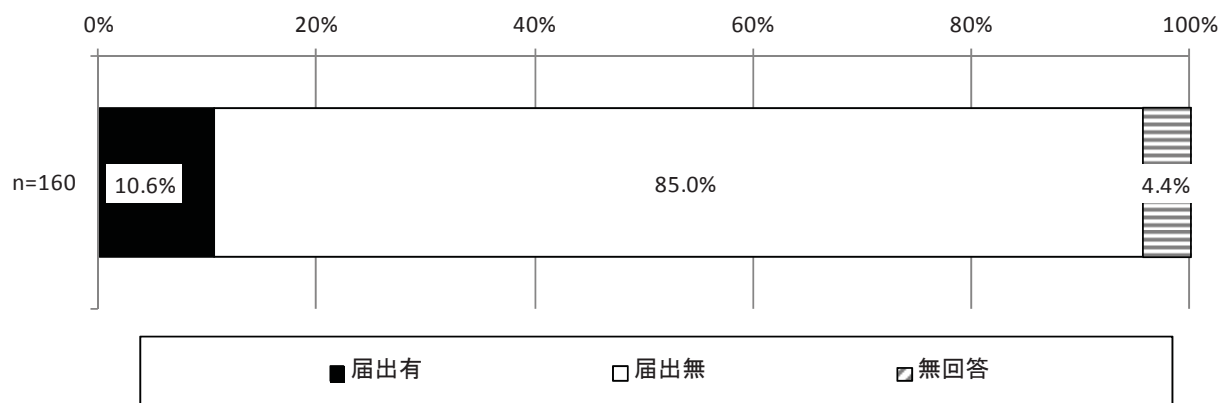


(3) 医療連携強化加算

①届出状況

医療連携強化加算の届出状況は、「届出有」は10.6%であった。

図表 I-4-20 医療連携強化加算：届出状況（数値記入）4.3) n=160



②算定人数

医療連携強化加算の算定人数の平均値は2.6人であった。

図表 I-4-21 医療連携強化加算：算定人数（数値記入）4.3) n=16

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	16	2.6	3.6	1.0

(4) 認知症行動・心理症状緊急対応加算

①算定人数

認知症行動・心理症状緊急対応加算の算定人数の平均値は0.0人であった。

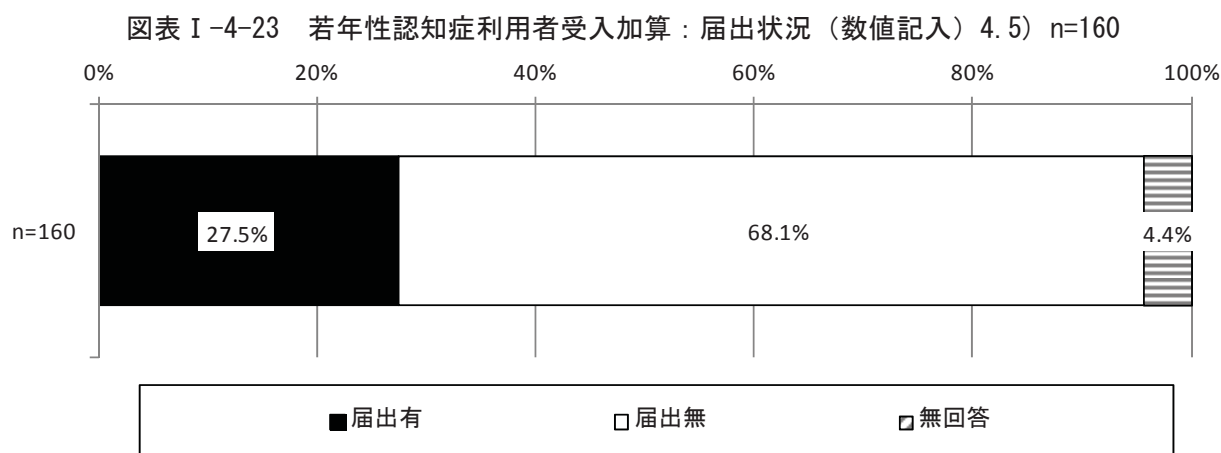
図表 I-4-22 認知症行動・心理症状緊急対応加算：算定人数（数値記入）4.4) n=116

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	116	0.0	0.0	0.0

(5) 若年性認知症利用者受入加算

①届出状況

若年性認知症利用者受入加算の届出状況は、「届出有」は 27.5%であった。



②算定人数

若年性認知症利用者受入加算の算定人数の平均値は 0.1 人であった。

図表 I-4-24 若年性認知症利用者受入加算：算定人数（数値記入）4.5) n=42

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	42	0.1	0.3	0.0

(6) 緊急短期入所受入加算

①算定人数

緊急短期入所受入加算の算定人数の平均値は 0.4 人であった。

図表 I-4-25 緊急短期入所受入加算：算定人数（数値記入）4.5) n=120

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	120	0.4	1.3	0.0

第5節 特定施設入居者生活介護

1. 事業所の基本情報

(1) 所在地

所在地は、「神奈川県」が19件(11.7%)で最も多く、「東京都」、「愛知県」がそれぞれ11件(6.7%)、「埼玉県」が10件(6.1%)であった。

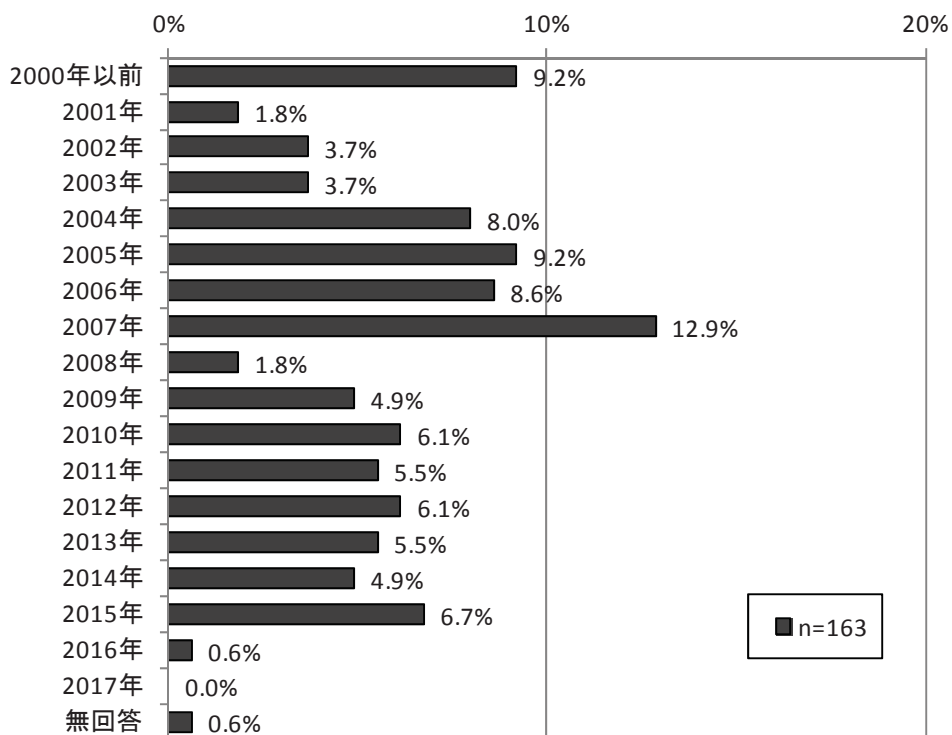
図表 I-5-1 所在地（文字記入）1.1) n=163

No.	カテゴリー名	n	%	No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道	8	4.9%	31	鳥取県	0	0.0%
2	青森県	0	0.0%	32	島根県	1	0.6%
3	岩手県	3	1.8%	33	岡山県	5	3.1%
4	宮城県	3	1.8%	34	広島県	2	1.2%
5	秋田県	3	1.8%	35	山口県	1	0.6%
6	山形県	2	1.2%	36	徳島県	0	0.0%
7	福島県	3	1.8%	37	香川県	1	0.6%
8	茨城県	3	1.8%	38	愛媛県	1	0.6%
9	栃木県	2	1.2%	39	高知県	2	1.2%
10	群馬県	1	0.6%	40	福岡県	9	5.5%
11	埼玉県	10	6.1%	41	佐賀県	0	0.0%
12	千葉県	9	5.5%	42	長崎県	3	1.8%
13	東京都	11	6.7%	43	熊本県	1	0.6%
14	神奈川県	19	11.7%	44	大分県	1	0.6%
15	新潟県	4	2.5%	45	宮崎県	2	1.2%
16	富山県	0	0.0%	46	鹿児島県	2	1.2%
17	石川県	3	1.8%	47	沖縄県	2	1.2%
18	福井県	1	0.6%		無回答	0	0.0%
19	山梨県	0	0.0%		全体	163	100.0%
20	長野県	3	1.8%				
21	岐阜県	3	1.8%				
22	静岡県	4	2.5%				
23	愛知県	11	6.7%				
24	三重県	3	1.8%				
25	滋賀県	0	0.0%				
26	京都府	3	1.8%				
27	大阪府	8	4.9%				
28	兵庫県	7	4.3%				
29	奈良県	3	1.8%				
30	和歌山県	0	0.0%				

（２）事業開始年

事業開始年は、「2000 年以前」が 9.2%、2001 年から 2005 年が合わせて 26.4%、2006 年から 2010 年が合わせて 34.4%、2011 年以降が 29.4%であった。

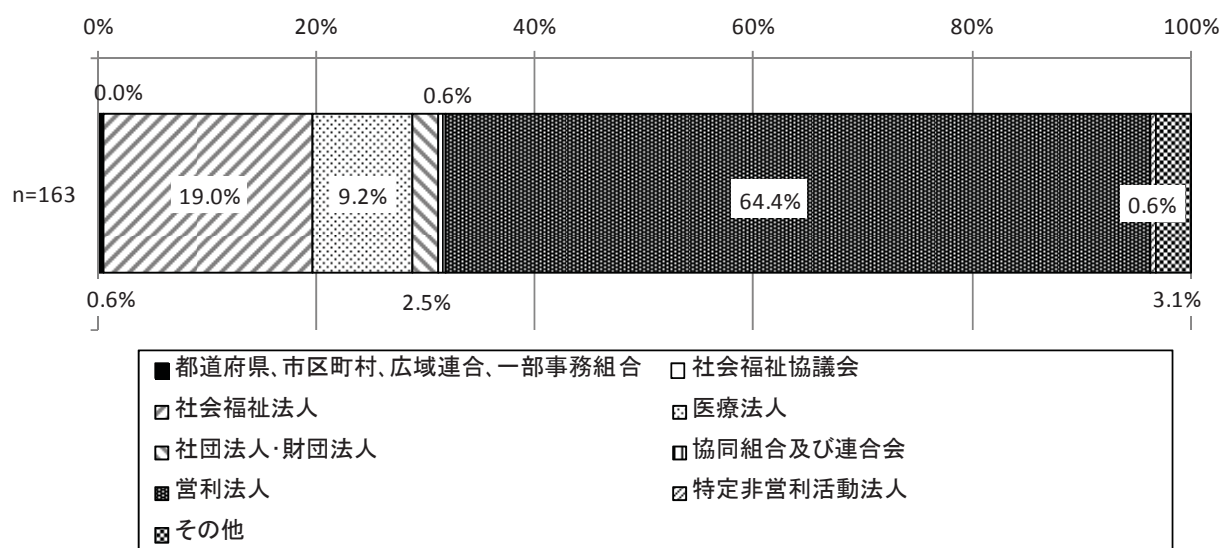
図表 I -5-2 事業開始年（数値回答）1.2）n=163



（３）開設主体

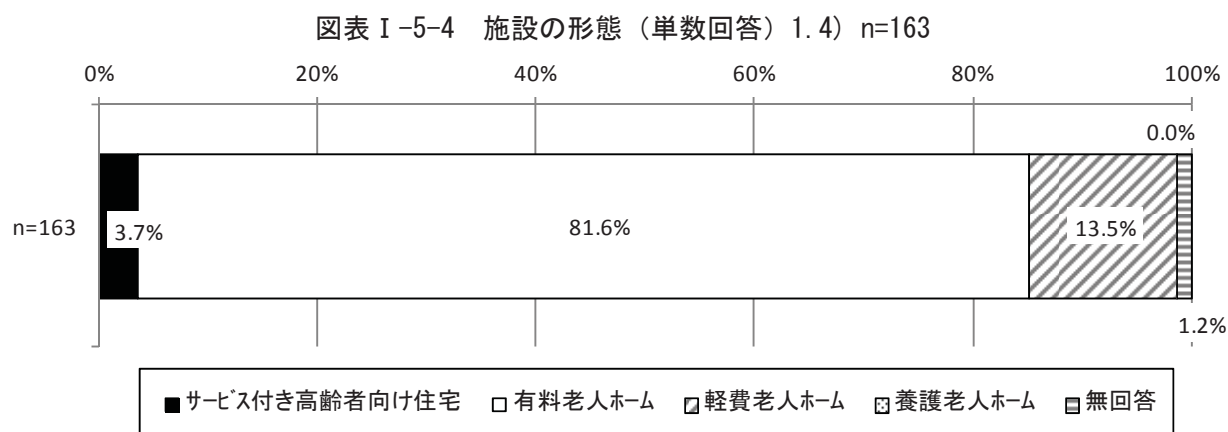
開設主体は、「営利法人」が 64.4%、「社会福祉法人」が 19.0%を占めていた。

図表 I -5-3 開設主体（単数回答）1.3）n=163



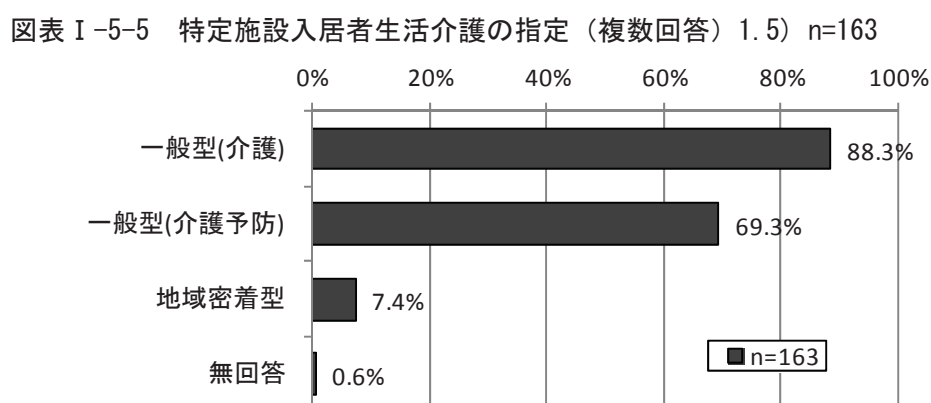
(4) 施設の形態

施設の形態は、「有料老人ホーム」が81.6%を占めていた。



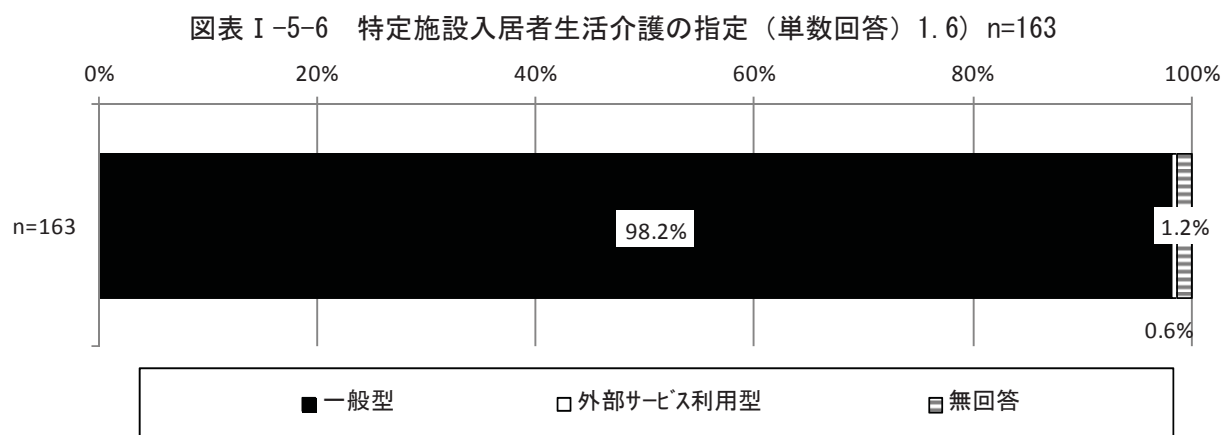
(5) 特定施設入居者生活介護の指定

特定施設入居者生活介護の指定状況は、「一般型（介護）」が88.3%、「一般型（介護予防）」が69.3%であった。



(6) 指定の種類

指定の種類は、「一般型」が98.2%を占めていた。



(7) 利用定員

利用定員の平均値は 64.0 人であった。

図表 I -5-7 利用定員（数値回答）2.7) n=161

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
161	64.0	76.7	50.0

2. 職員体制

(1) 職員数

①職種別職員数（実人数・常勤換算数）

職種別職員数について、実人数の平均値をみると、機能訓練指導員は 2.0 人、看護職員は 4.3 人、介護職員は 21.7 人、その他の職員は 7.2 人であった。

常勤換算数の平均値をみると、機能訓練指導員は 0.7 人、看護職員は 3.0 人、介護職員は 18.2 人、その他の職員は 5.2 人であった。

図表 I-5-8 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=149

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	149	295	2.0	2.0	1.0
看護職員	149	639	4.3	3.3	3.0
介護職員	149	3,233	21.7	14.0	18.0
その他の職員	149	1,066	7.2	7.4	5.0

図表 I-5-9 職種別職員数：常勤換算数（数値記入）2. n=149

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
機能訓練指導員	149	110.7	0.7	0.7	0.6
看護職員	149	447.5	3.0	2.0	2.5
介護職員	149	2,716.5	18.2	11.9	15.0
その他の職員	149	774.3	5.2	5.8	3.8

②機能訓練指導員が有する資格別人数（実人数）

機能訓練指導員が有する資格別人数について、実人数の平均値をみると、看護師は 0.8 人、准看護師は 0.5 人、理学療法士は 0.3 人、作業療法士は 0.1 人、言語聴覚士は 0.0 人、柔道整復師は 0.1 人、あん摩マッサージ指圧師は 0.1 人であった。

図表 I-5-10 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=157

	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
看護師	157	131	0.8	1.7	0.0
准看護師	157	80	0.5	0.8	0.0
理学療法士	157	45	0.3	0.7	0.0
作業療法士	157	17	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	157	3	0.0	0.1	0.0
柔道整復師	157	17	0.1	0.3	0.0
あん摩マッサージ指圧師	157	15	0.1	0.3	0.0

③職員全体の資格別人数（実人数）

職員全体の資格別人数について、実人数の平均値をみると、介護福祉士は 11.1 人、社会福祉士は 0.6 人、精神保健福祉士は 0.1 人、鍼灸師は 0.0 人、介護職員実務者研修修了者は 1.4 人、介護職員初任者研修修了者は 7.6 人、健康運動指導士は 0.0 人であった。

図表 I-5-11 職種別職員数：実人数（数値記入）2. n=154

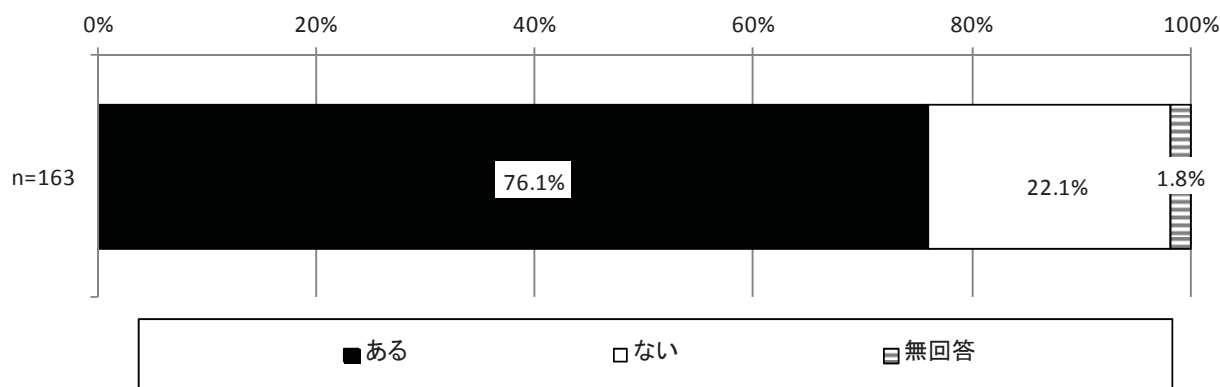
	件数	合計	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
介護福祉士	154	1,708	11.1	9.5	9.0
社会福祉士	154	87	0.6	1.0	0.0
精神保健福祉士	154	13	0.1	0.3	0.0
鍼灸師	154	7	0.0	0.3	0.0
介護職員実務者研修修了者	154	211	1.4	2.2	0.5
介護職員初任者研修修了者	154	1,164	7.6	8.5	5.0
健康運動指導士	154	3	0.0	0.1	0.0

（２）機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施状況

①機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無は、「ある」が 76.1%を占めていた。

図表 I-5-12 機能訓練指導員以外の職員による機能訓練の実施有無（単数回答）2. n=163



②機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数

機能訓練指導員以外の職員による機能訓練を実施することがある場合の職員数について、実人数の平均値をみると、13.9 人であった。

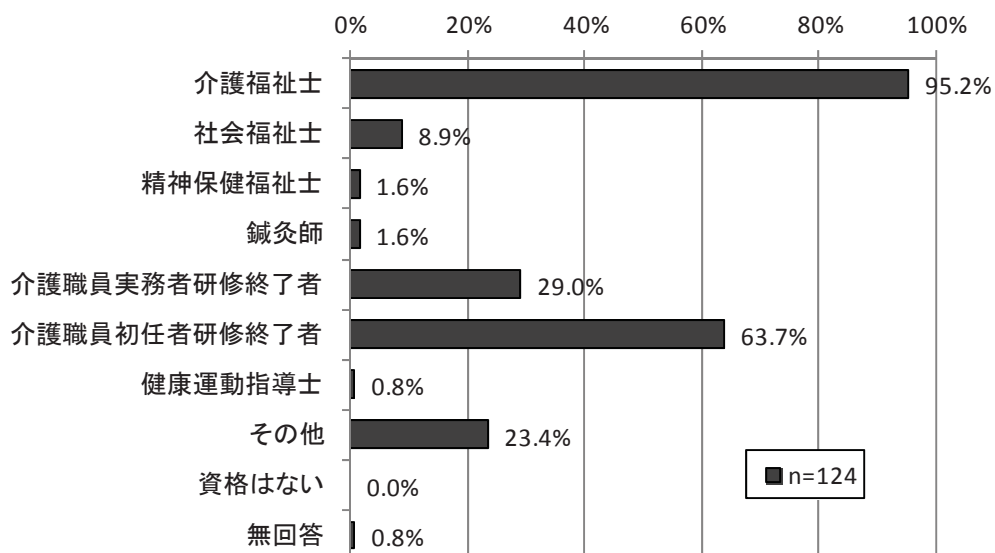
図表 I-5-13 実施することがある場合の職員数（数値回答）2. n=103

件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
103	13.9	11.1	12.0

③機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施する場合の実施者が保有する資格

機能訓練指導員以外の職員が機能訓練を実施することがある場合、実施者が保有する資格は、「介護福祉士」が95.2%で最も割合が高く、次いで「介護職員初任者研修終了者」が63.7%、「介護職員実務者研修終了者」が29.0%であった。

図表 I -5-14 実施者が保有する資格（複数回答）2. n=124



3. 利用登録者数と延べ利用回数

(1) 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）

利用登録者数の平均値をみると、要支援 1 は 2.5 人、要支援 2 は 2.8 人、要介護 1 は 9.5 人、要介護 2 は 8.6 人、要介護 3 は 7.1 人、要介護 4 は 8.0 人、要介護 5 は 5.7 人、申請中は 0.4 人であった。

図表 I-5-15 利用登録者数（平成 29 年 1 月 11 日時点）（数値記入）3. n=156

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値（人）
要支援 1	156	2.5	2.8	2.0
要支援 2	156	2.8	2.9	2.0
要介護 1	156	9.5	7.1	8.0
要介護 2	156	8.6	5.5	7.0
要介護 3	156	7.1	4.7	6.0
要介護 4	156	8.0	7.6	7.0
要介護 5	156	5.7	5.1	5.0
申請中	156	0.4	2.3	0.0

(2) 延べ利用回数（平成 28 年 12 月分）

延べ利用回数の平均値をみると、要支援 1 は 56.1 人回、要支援 2 は 63.9 人回、要介護 1 は 212.7 人回、要介護 2 は 198.3 人回、要介護 3 は 152.7 人回、要介護 4 は 164.1 人回、要介護 5 は 111.5 人回、申請中は 11.2 人回であった。

図表 I-5-16 利用登録者数（平成 28 年 12 月分）（数値記入）3. n=123

	件数	平均値（人回）	標準偏差	中央値（人回）
要支援 1	123	56.1	83.4	24.0
要支援 2	123	63.9	92.2	31.0
要介護 1	123	212.7	228.6	155.0
要介護 2	123	198.3	187.9	155.0
要介護 3	123	152.7	139.4	113.0
要介護 4	123	164.1	162.3	132.0
要介護 5	123	111.5	127.4	62.0
申請中	123	11.2	79.1	0.0

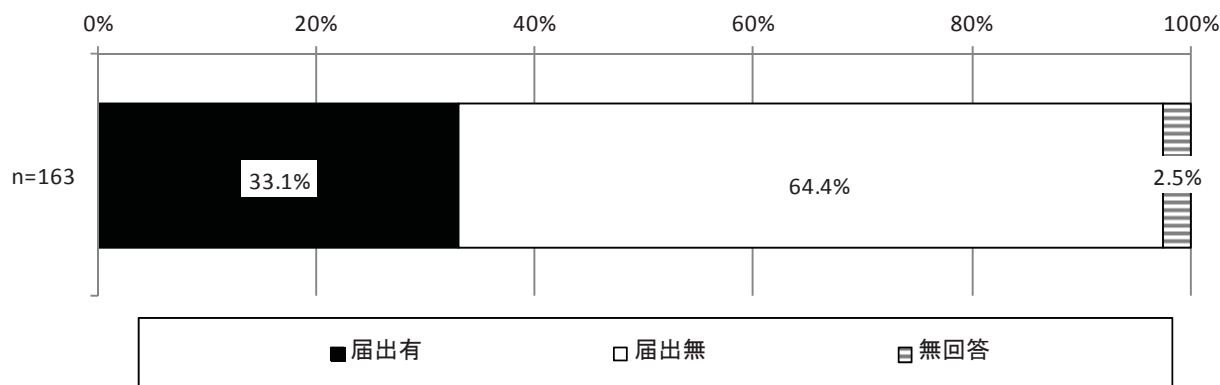
4. 加算の届出状況

(1) 個別機能訓練加算

①届出状況

個別機能訓練加算の届出状況は、「届出有」は33.1%であった。

図表 I-5-17 個別機能訓練加算：届出状況（数値記入）4.1) n=163



②算定人数・延べ回数

個別機能訓練加算の算定人数の平均値は50.4人、延べ回数の平均値は1,279.3回であった。

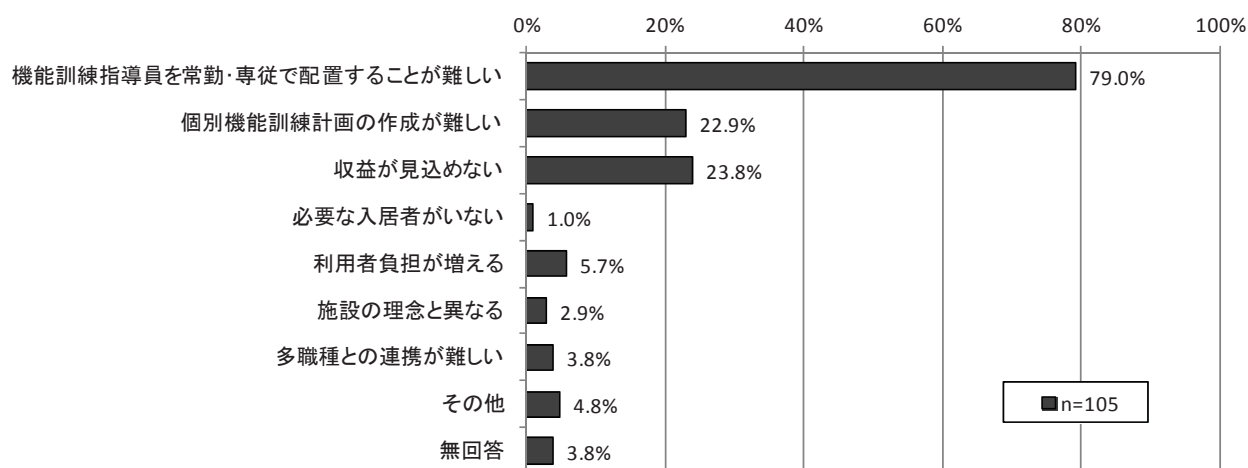
図表 I-5-18 個別機能訓練加算：算定人数・延べ回数（数値記入）4.1)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
算定人数（人）	43	50.4	22.3	51.0
延べ回数（回）	40	1,279.3	1,532.0	924.0

③届出をしていない場合の理由

個別機能訓練加算の届出をしていない場合の理由は、「機能訓練指導員を常勤・専従で配置することが難しい」が79.0%で最も割合が高くなっていた。

図表 I-5-19 届出をしていない場合の理由（複数回答）4.2)-① n=105

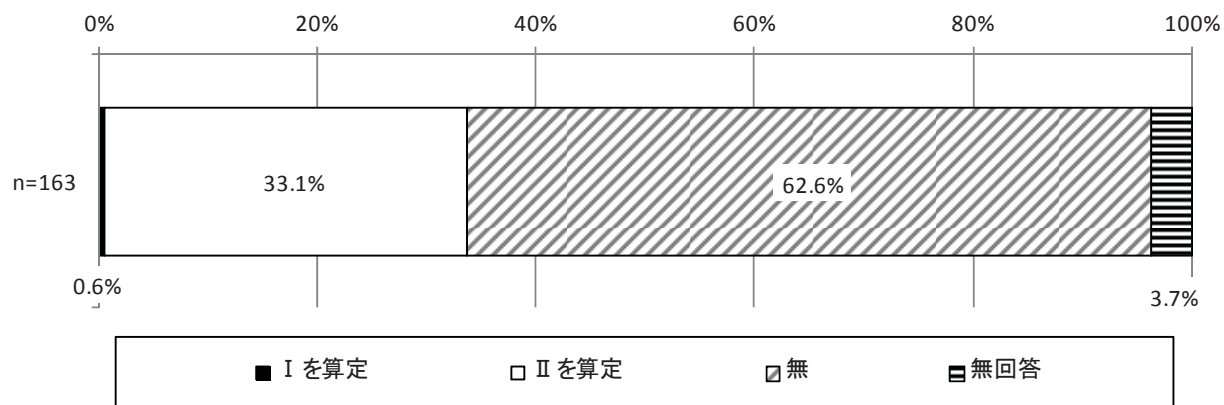


(2) 認知症専門ケア加算

①届出状況

認知症専門ケア加算の届出状況は、「Ⅰを算定」は0.6%、「Ⅱを算定」は33.1%であった。

図表Ⅰ-5-20 認知症専門ケア加算：届出状況（数値記入）4.2）n=163



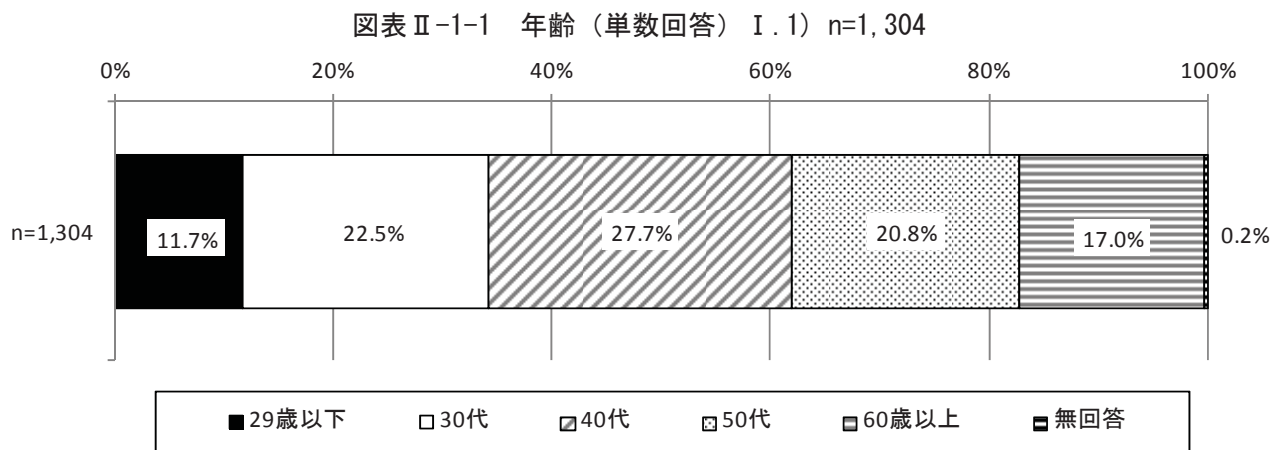
Ⅱ 職員票調査結果

第 1 節 通所介護事業所

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年齢は、「40代」が27.7%、「50代」が20.8%、「30代」が22.5%であった。



保有している資格別に年齢をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」は「29 歳以下」「30 代」、「看護職員」は「60 歳以上」、「鍼灸師」は「29 歳以下」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-2 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.1）n=1,304

	合計	29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上	無回答
全体	1,304 100.0%	153 11.7%	294 22.5%	361 27.7%	271 20.8%	222 17.0%	3 0.2%
リハビリ職員	120 100.0%	26 21.7%	55 45.8%	26 21.7%	10 8.3%	3 2.5%	0 0.0%
看護職員	511 100.0%	13 2.5%	77 15.1%	130 25.4%	133 26.0%	156 30.5%	2 0.4%
柔道整復師	96 100.0%	25 26.0%	32 33.3%	19 19.8%	16 16.7%	4 4.2%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	10 15.9%	9 14.3%	18 28.6%	11 17.5%	15 23.8%	0 0.0%
鍼灸師	53 100.0%	11 20.8%	10 18.9%	19 35.8%	6 11.3%	7 13.2%	0 0.0%
介護福祉士	305 100.0%	31 10.2%	89 29.2%	104 34.1%	59 19.3%	22 7.2%	0 0.0%
社会福祉士	23 100.0%	4 17.4%	7 30.4%	8 34.8%	2 8.7%	2 8.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	11 12.4%	18 20.2%	31 34.8%	21 23.6%	8 9.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	26 18.3%	22 15.5%	46 32.4%	30 21.1%	17 12.0%	1 0.7%
健康運動指導士	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	16 20.0%	18 22.5%	25 31.3%	11 13.8%	10 12.5%	0 0.0%
なし	46 100.0%	11 23.9%	11 23.9%	9 19.6%	8 17.4%	7 15.2%	0 0.0%
無回答	30 100.0%	5 16.7%	7 23.3%	7 23.3%	7 23.3%	4 13.3%	0 0.0%

注)

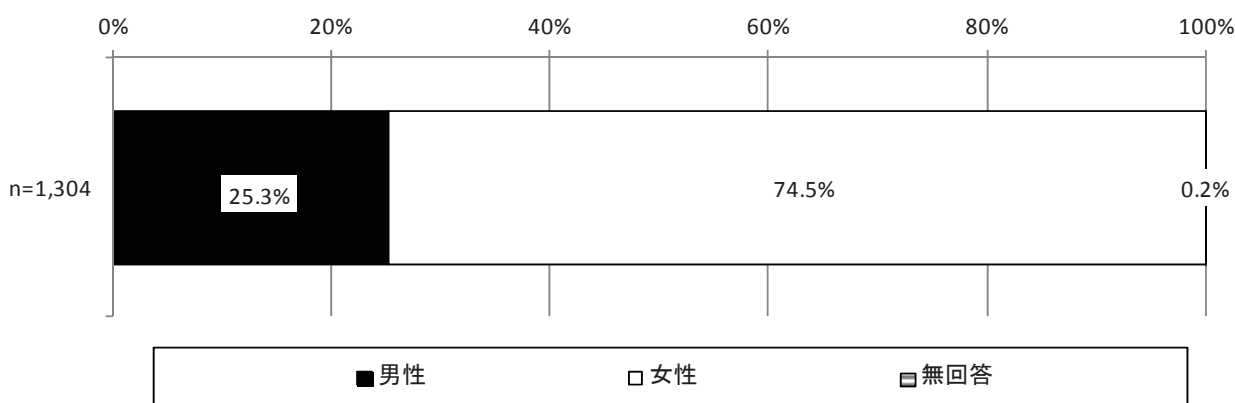
「保有している資格」は、調査票において複数回答での設問であったが、ここでは以下の順番で早い順を優先してクロス軸に用いた。

- 1 理学療法士・2 作業療法士・3 言語聴覚士→リハビリ職員
- 4 看護師・5 准看護師 →看護職員
- 6 柔道整復師
- 7 あん摩マッサージ指圧師
- 11 鍼灸師
- 8 介護福祉士
- 9 社会福祉士
- 10 精神保健福祉士
- 12 介護職員実務者研修修了
- 13 介護職員初任者研修修了
- 14 健康運動指導士
- 15 その他
- 16 なし

(2) 性別

性別は、「男性」が 25.3%、「女性」が 74.5%であった。

図表Ⅱ-1-3 性別（単数回答）Ⅰ.2）n=1,304



保有している資格別に性別をみると、「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」「社会福祉士」は「男性」、「看護職員」「介護福祉士」「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「女性」の割合が高くなっていた。「リハビリ職員」は「男性」「女性」がほぼ半数ずつであった。

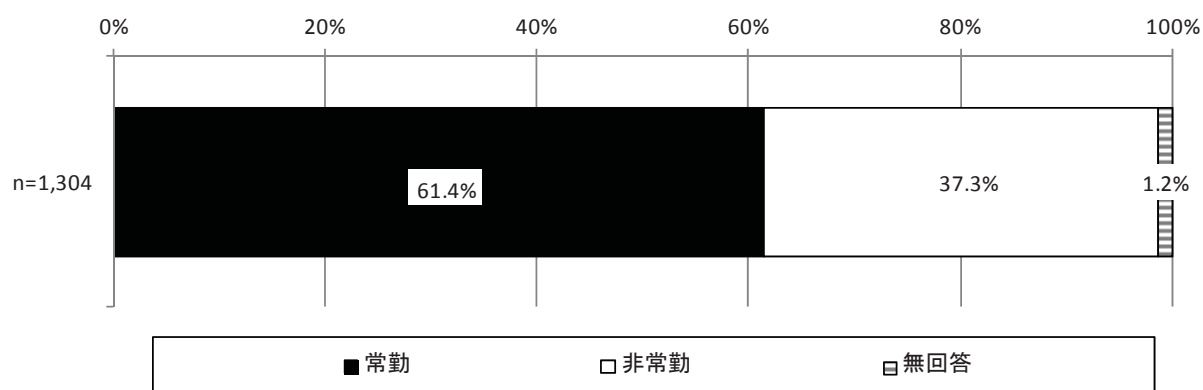
図表Ⅱ-1-4 保有している資格別 性別（単数回答）Ⅰ.2）n=1,304

	合計	男性	女性	無回答
全体	1,304 100.0%	330 25.3%	972 74.5%	2 0.2%
リハビリ職員	120 100.0%	55 45.8%	65 54.2%	0 0.0%
看護職員	511 100.0%	12 2.3%	499 97.7%	0 0.0%
柔道整復師	96 100.0%	81 84.4%	15 15.6%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	41 65.1%	22 34.9%	0 0.0%
鍼灸師	53 100.0%	37 69.8%	16 30.2%	0 0.0%
介護福祉士	305 100.0%	75 24.6%	229 75.1%	1 0.3%
社会福祉士	23 100.0%	13 56.5%	10 43.5%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	22 24.7%	67 75.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	36 25.4%	105 73.9%	1 0.7%
健康運動指導士	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	29 36.3%	51 63.8%	0 0.0%
なし	46 100.0%	17 37.0%	29 63.0%	0 0.0%
無回答	30 100.0%	11 36.7%	19 63.3%	0 0.0%

(3) 勤務形態

勤務形態は、「常勤」が61.4%、「非常勤」が37.3%であった。

図表Ⅱ-1-5 勤務形態（単数回答）Ⅰ.3）n=1,304



保有している資格別に勤務形態をみると、全体と比較して、「柔道整復師」「介護福祉士」「介護職員実務者研修修了」は「常勤」、「看護職員」「あん摩マッサージ指圧師」は「非常勤」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-6 保有している資格別 勤務形態（単数回答）Ⅰ.3）n=1,304

	合計	常勤	非常勤	無回答
全体	1,304 100.0%	801 61.4%	487 37.3%	16 1.2%
リハビリ職員	120 100.0%	81 67.5%	39 32.5%	0 0.0%
看護職員	511 100.0%	213 41.7%	290 56.8%	8 1.6%
柔道整復師	96 100.0%	73 76.0%	22 22.9%	1 1.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	30 47.6%	32 50.8%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	34 64.2%	19 35.8%	0 0.0%
介護福祉士	305 100.0%	248 81.3%	55 18.0%	2 0.7%
社会福祉士	23 100.0%	16 69.6%	6 26.1%	1 4.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	71 79.8%	18 20.2%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	98 69.0%	41 28.9%	3 2.1%
健康運動指導士	8 100.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	54 67.5%	25 31.3%	1 1.3%
なし	46 100.0%	35 76.1%	11 23.9%	0 0.0%
無回答	30 100.0%	24 80.0%	6 20.0%	0 0.0%

（４）１週間あたりの平均的な勤務時間

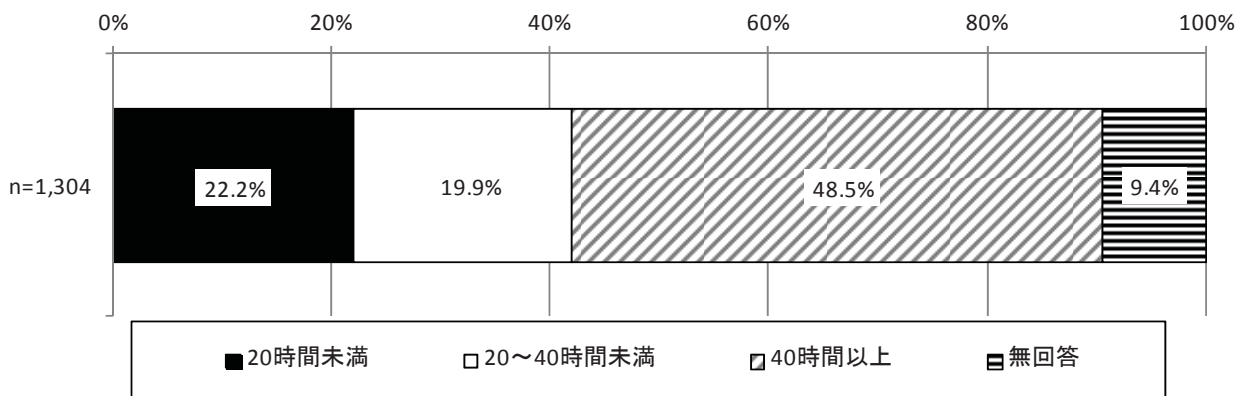
「１週間あたりの平均的な勤務時間」の平均値は、30.7 時間であった。「１週間あたりの平均的な勤務時間」は「40 時間以上」が 48.5%、「20 時間未満」が 22.2%で、「20～40 時間未満」が 19.9%であった。

図表Ⅱ-1-7 １週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4) n=1181

件数	平均値	標準偏差	中央値
1, 181	30. 7	13. 0	40. 0

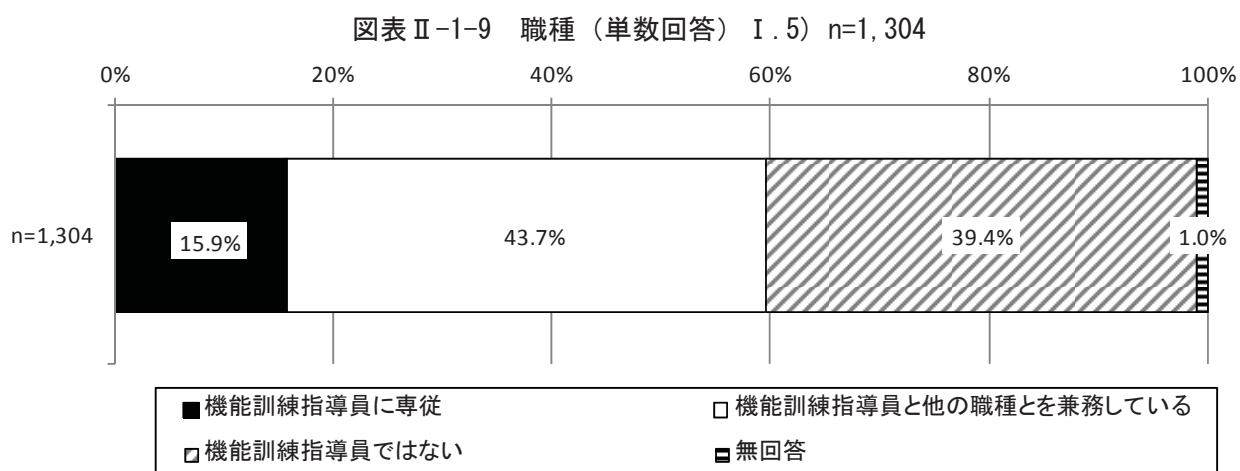
	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1, 181	30. 7	13. 0	40. 0
リハビリ職員	111	30. 4	14. 8	40. 0
看護職員	469	27. 2	13. 0	30. 0
柔道整復師	86	31. 1	14. 6	40. 0
あん摩マッサージ指圧師	56	24. 0	14. 1	20. 0
鍼灸師	48	26. 9	14. 7	32. 0
介護福祉士	278	35. 5	10. 2	40. 0
社会福祉士	22	27. 9	15. 6	40. 0
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	82	34. 4	12. 3	40. 0
介護職員初任者研修修了	125	32. 9	11. 7	40. 0
健康運動指導士	7	37. 4	4. 4	40. 0
その他	72	32. 7	11. 9	40. 0
なし	39	34. 6	11. 3	40. 0
無回答	26	36. 5	8. 3	40. 0

図表Ⅱ-1-8 １週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4) n=1, 304



(5) 職種

職種は、「機能訓練指導員に専従」は 15.9%、「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」は 43.7%であった。



保有している資格別に職種をみると、「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「機能訓練指導員に専従」、「看護職員」は「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」、「介護福祉士」「社会福祉士」「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「機能訓練指導員ではない」の割合が高くなっていた。

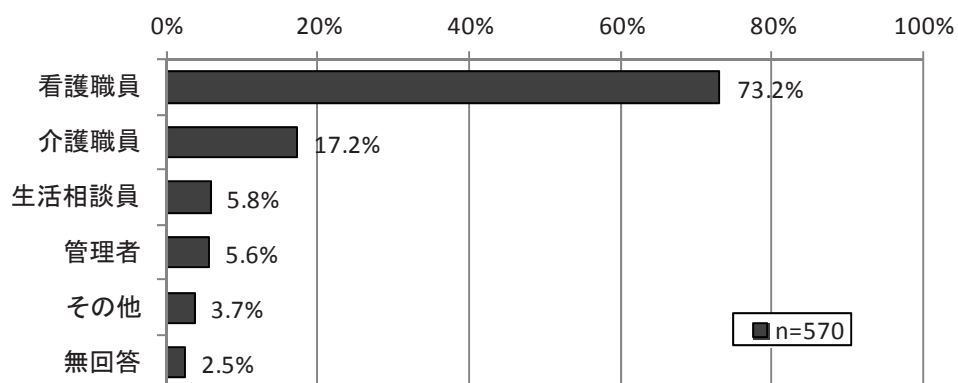
図表Ⅱ-1-10 保有している資格別 職種（単数回答） I.5) n=1,304

	合計	機能訓練 指導員に 専従	機能訓練 指導員と 他の職種 とを兼務 している	機能訓練 指導員で はない	無回答
全体	1,304 100.0%	207 15.9%	570 43.7%	514 39.4%	13 1.0%
リハビリ職員	120 100.0%	70 58.3%	35 29.2%	14 11.7%	1 0.8%
看護職員	511 100.0%	29 5.7%	435 85.1%	45 8.8%	2 0.4%
柔道整復師	96 100.0%	69 71.9%	27 28.1%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	41 65.1%	15 23.8%	7 11.1%	0 0.0%
鍼灸師	53 100.0%	25 47.2%	16 30.2%	12 22.6%	0 0.0%
介護福祉士	305 100.0%	7 2.3%	56 18.4%	239 78.4%	3 1.0%
社会福祉士	23 100.0%	2 8.7%	4 17.4%	16 69.6%	1 4.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	4 4.5%	15 16.9%	68 76.4%	2 2.2%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	4 2.8%	27 19.0%	111 78.2%	0 0.0%
健康運動指導士	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	5 62.5%	0 0.0%
その他	80 100.0%	4 5.0%	23 28.8%	52 65.0%	1 1.3%
なし	46 100.0%	1 2.2%	4 8.7%	39 84.8%	2 4.3%
無回答	30 100.0%	0 0.0%	2 6.7%	27 90.0%	1 3.3%

（６）機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種は、「看護職員」が 73.2%、「介護職員」が 17.2%であった。

図表Ⅱ-1-11 機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答）Ⅰ.5)① n=570



保有している資格別に、機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種をみると、「リハビリ職員」は「介護職員」「管理者」、「看護職員」は「看護職員」、「柔道整復師」「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「介護職員」、「介護福祉士」は「介護職員」「生活相談員」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-12 保有している資格別

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答） I.5)① n=570

	合計	看護職員	介護職員	生活相談員	管理者	その他	無回答
全体	570 100.0%	417 73.2%	98 17.2%	33 5.8%	32 5.6%	21 3.7%	14 2.5%
リハビリ職員	35 100.0%	7 20.0%	12 34.3%	0 0.0%	8 22.9%	7 20.0%	1 2.9%
看護職員	435 100.0%	416 95.6%	21 4.8%	13 3.0%	10 2.3%	2 0.5%	10 2.3%
柔道整復師	27 100.0%	0 0.0%	10 37.0%	4 14.8%	4 14.8%	10 37.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	15 100.0%	5 33.3%	4 26.7%	0 0.0%	3 20.0%	3 20.0%	0 0.0%
鍼灸師	16 100.0%	4 25.0%	4 25.0%	1 6.3%	4 25.0%	4 25.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	12 21.4%	29 51.8%	13 23.2%	8 14.3%	1 1.8%	3 5.4%
社会福祉士	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	15 100.0%	3 20.0%	10 66.7%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%
介護職員初任者研修修了	27 100.0%	3 11.1%	22 81.5%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	23 100.0%	12 52.2%	6 26.1%	3 13.0%	2 8.7%	0 0.0%	3 13.0%
なし	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（７）機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）

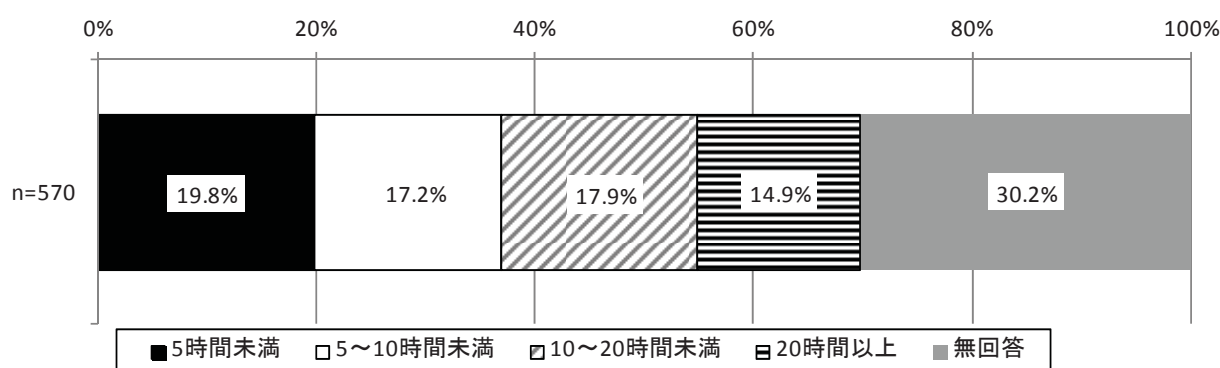
「機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）」の平均値は、11.9時間であった。「機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）」は「５時間未満」が19.8%、「10～20時間未満」が17.9%で、「5～10時間未満」が17.2%であった。

図表Ⅱ-1-13 機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

件数	平均値	標準偏差	中央値
398	11.9	10.9	8.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	398	11.9	10.9	8.0
リハビリ職員	26	20.1	14.0	19.0
看護職員	300	11.2	9.8	8.0
柔道整復師	23	17.7	14.2	16.0
あん摩マッサージ指圧師	13	14.0	10.0	15.0
鍼灸師	13	19.2	13.2	20.0
介護福祉士	43	12.0	13.3	6.0
社会福祉士	3	8.2	6.5	7.5
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	7	4.3	1.3	5.0
介護職員初任者研修修了	16	6.2	4.5	5.0
健康運動指導士	2	16.5	19.1	16.5
その他	21	15.0	14.5	8.0
なし	2	4.5	4.9	4.5
無回答	2	20.3	25.1	20.3

図表Ⅱ-1-14 機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)② n=570



保有している資格別に、「機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）」をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」は「20 時間以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-15 保有している資格別

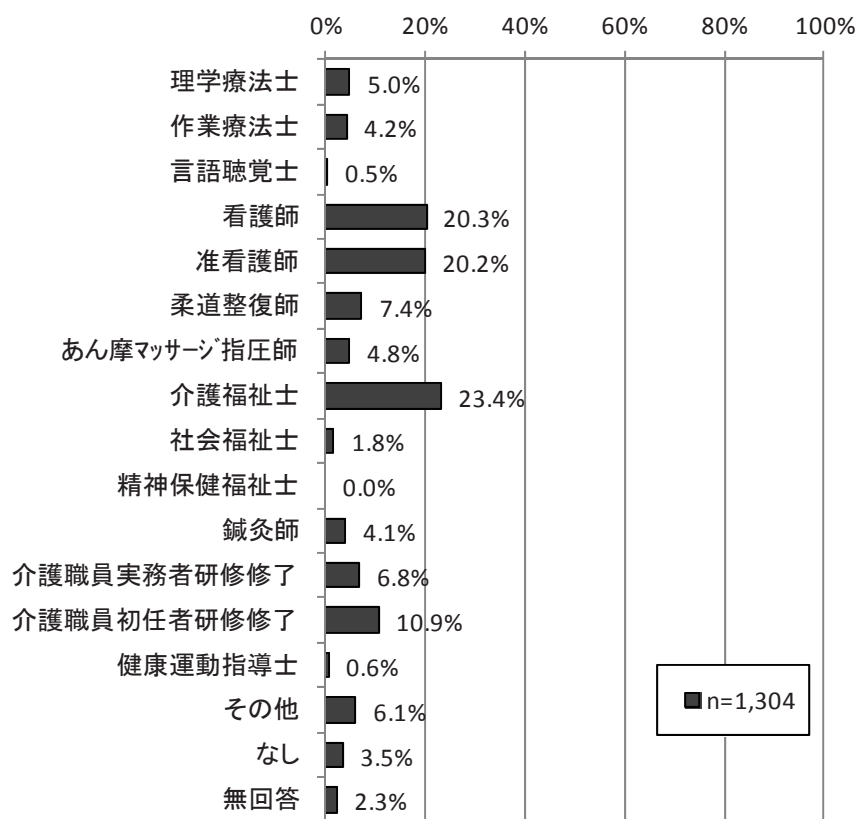
機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)② n=570

	合計	5 時間未 満	5～10 時 間未満	10～20 時 間未満	20 時間以 上	無回答
全体	570 100.0%	113 19.8%	98 17.2%	102 17.9%	85 14.9%	172 30.2%
リハビリ職員	35 100.0%	3 8.6%	6 17.1%	4 11.4%	13 37.1%	9 25.7%
看護職員	435 100.0%	88 20.2%	70 16.1%	86 19.8%	56 12.9%	135 31.0%
柔道整復師	27 100.0%	5 18.5%	4 14.8%	4 14.8%	10 37.0%	4 14.8%
あん摩マッサージ 指圧師	15 100.0%	2 13.3%	4 26.7%	2 13.3%	5 33.3%	2 13.3%
鍼灸師	16 100.0%	2 12.5%	2 12.5%	2 12.5%	7 43.8%	3 18.8%
介護福祉士	56 100.0%	13 23.2%	14 25.0%	7 12.5%	9 16.1%	13 23.2%
社会福祉士	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	15 100.0%	3 20.0%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	8 53.3%
介護職員初任者研修 修了	27 100.0%	7 25.9%	4 14.8%	5 18.5%	0 0.0%	11 40.7%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	23 100.0%	3 13.0%	9 39.1%	3 13.0%	6 26.1%	2 8.7%
なし	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
無回答	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

（８）保有している資格

保有している資格は、「介護福祉士」が 23.4%、「看護師」が 20.3%、「准看護師」が 20.2%であった。
「理学療法士」が 5.0%、「作業療法士」が 4.2%、「言語聴覚士」が 0.5%であった。

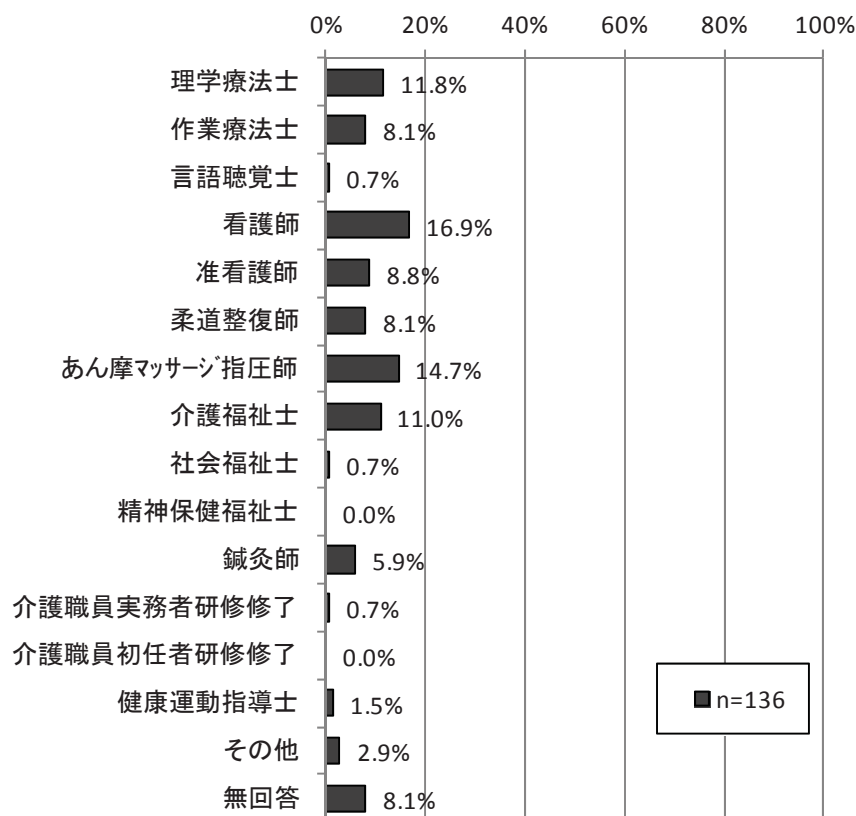
図表Ⅱ-1-16 保有している資格（複数回答）Ⅰ.6) n=1,304



（９）機能訓練を実施する上で役立っている資格

複数の資格を有している場合、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、をたずねたところ、回答が得られた 136 人について、その資格は、「看護師」が 16.9%で最も割合が高く、次いで「あん摩マッサージ指圧師」が 14.7%、「理学療法士」が 11.8%、「介護福祉士」が 11.0%であった。

図表Ⅱ-1-17 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=136



保有している資格別に、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、をたずねたところ、「リハビリ職員」は「理学療法士」が 53.3%、「作業療法士」が 36.7%であった。「看護職員」は「看護師」が 46.9%、「准看護師」が 24.5%であった。

「柔道整復師」で「柔道整復師」を選択した割合は 64.7%であった。「あん摩マッサージ指圧師」で「あん摩マッサージ指圧師」を選択した割合は 64.5%であった。「鍼灸師」で「鍼灸師」を選択した割合は 22.9%であった。「介護福祉士」で「介護福祉士」を選択した割合は 31.3%であった。

図表Ⅱ-1-18 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格(単数回答)Ⅰ.6) n=136

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	准看護師	柔道整復師
全体	136 100.0%	16 11.8%	11 8.1%	1 0.7%	23 16.9%	12 8.8%	11 8.1%
リハビリ職員	30 100.0%	16 53.3%	11 36.7%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	49 100.0%	4 8.2%	3 6.1%	0 0.0%	23 46.9%	12 24.5%	0 0.0%
柔道整復師	17 100.0%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 64.7%
あん摩マッサージ指圧師	31 100.0%	1 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	1 3.2%
鍼灸師	35 100.0%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.7%	0 0.0%	3 8.6%
介護福祉士	48 100.0%	5 10.4%	5 10.4%	1 2.1%	3 6.3%	7 14.6%	4 8.3%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	18 100.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	3 16.7%
健康運動指導士	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	26 100.0%	4 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	5 19.2%	1 3.8%	2 7.7%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格

(単数回答) I.6) n=136

	合計	あん摩マッ サージ指圧 師	介護福祉 士	社会福祉 士	精神保健 福祉士	鍼灸師	介護職員 実務者研 修修了
全体	136 100.0%	20 14.7%	15 11.0%	1 0.7%	0 0.0%	8 5.9%	1 0.7%
リハビリ職員	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	49 100.0%	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	31 100.0%	20 64.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 16.1%	0 0.0%
鍼灸師	35 100.0%	17 48.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 22.9%	0 0.0%
介護福祉士	48 100.0%	0 0.0%	15 31.3%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	14 100.0%	1 7.1%	8 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
介護職員初任者研修 修了	18 100.0%	1 5.6%	6 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%
健康運動指導士	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	26 100.0%	1 3.8%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格

(単数回答) I.6) n=136

	合計	介護職員 初任者研 修修了	健康運動 指導士	その他	無回答
全体	136 100.0%	0 0.0%	2 1.5%	4 2.9%	11 8.1%
リハビリ職員	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%
看護職員	49 100.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%	3 6.1%
柔道整復師	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%
あん摩マッサージ指圧師	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.7%
鍼灸師	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 11.4%
介護福祉士	48 100.0%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	4 8.3%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%
介護職員初任者研修 修了	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%
健康運動指導士	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%
その他	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 15.4%	3 11.5%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

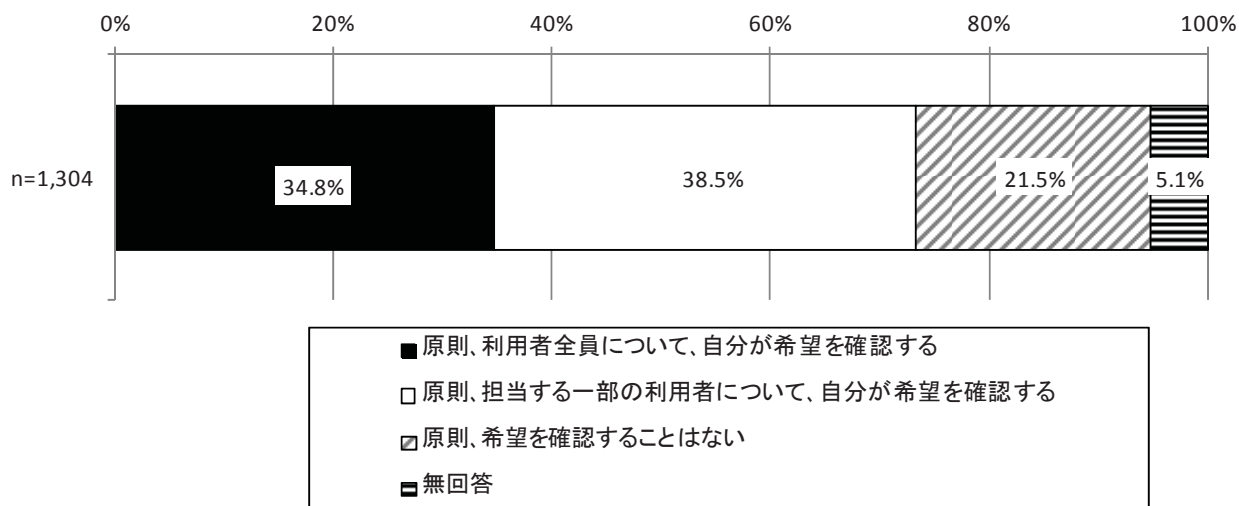
2. 機能訓練に関連して実施している業務

(1) ニーズ把握・情報収集

①機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」は34.8%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する」は38.5%、「原則、希望を確認することはない」は21.5%であった。

図表Ⅱ-1-19 機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=1,304



保有している資格別に、機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-20 保有している資格別

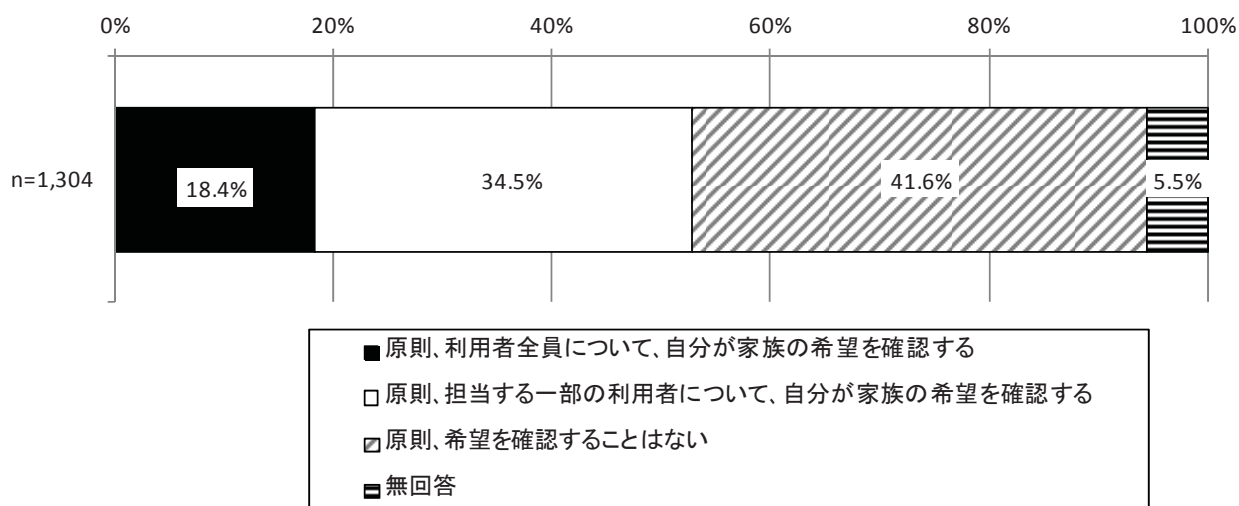
機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=1,304

	合計	原則、利用者全員について、自分が希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	1,304 100.0%	454 34.8%	502 38.5%	281 21.5%	67 5.1%
リハビリ職員	120 100.0%	59 49.2%	51 42.5%	6 5.0%	4 3.3%
看護職員	511 100.0%	164 32.1%	231 45.2%	103 20.2%	13 2.5%
柔道整復師	96 100.0%	48 50.0%	41 42.7%	7 7.3%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	40 63.5%	16 25.4%	6 9.5%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	33 62.3%	17 32.1%	2 3.8%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	90 29.5%	108 35.4%	85 27.9%	22 7.2%
社会福祉士	23 100.0%	9 39.1%	8 34.8%	6 26.1%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	25 28.1%	30 33.7%	25 28.1%	9 10.1%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	47 33.1%	36 25.4%	43 30.3%	16 11.3%
健康運動指導士	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	25 31.3%	33 41.3%	19 23.8%	3 3.8%
なし	46 100.0%	6 13.0%	14 30.4%	23 50.0%	3 6.5%
無回答	30 100.0%	8 26.7%	7 23.3%	7 23.3%	8 26.7%

②機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」は18.4%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」は34.5%、「原則、希望を確認することはない」は41.6%であった。

図表Ⅱ-1-21 機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ（1）. 8） n=1,304



保有している資格別に、機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」、「柔道整復師」「鍼灸師」は「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」、「あん摩マッサージ指圧師」は「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-22 保有している資格別

機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ（1）.8） n=1,304

	合計	原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	1,304 100.0%	240 18.4%	450 34.5%	542 41.6%	72 5.5%
リハビリ職員	120 100.0%	34 28.3%	47 39.2%	36 30.0%	3 2.5%
看護職員	511 100.0%	75 14.7%	186 36.4%	231 45.2%	19 3.7%
柔道整復師	96 100.0%	29 30.2%	44 45.8%	23 24.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	11 17.5%	29 46.0%	22 34.9%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	16 30.2%	24 45.3%	12 22.6%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	69 22.6%	93 30.5%	118 38.7%	25 8.2%
社会福祉士	23 100.0%	8 34.8%	7 30.4%	8 34.8%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	12 13.5%	31 34.8%	36 40.4%	10 11.2%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	23 16.2%	31 21.8%	75 52.8%	13 9.2%
健康運動指導士	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	18 22.5%	28 35.0%	31 38.8%	3 3.8%
なし	46 100.0%	4 8.7%	9 19.6%	30 65.2%	3 6.5%
無回答	30 100.0%	5 16.7%	10 33.3%	8 26.7%	7 23.3%

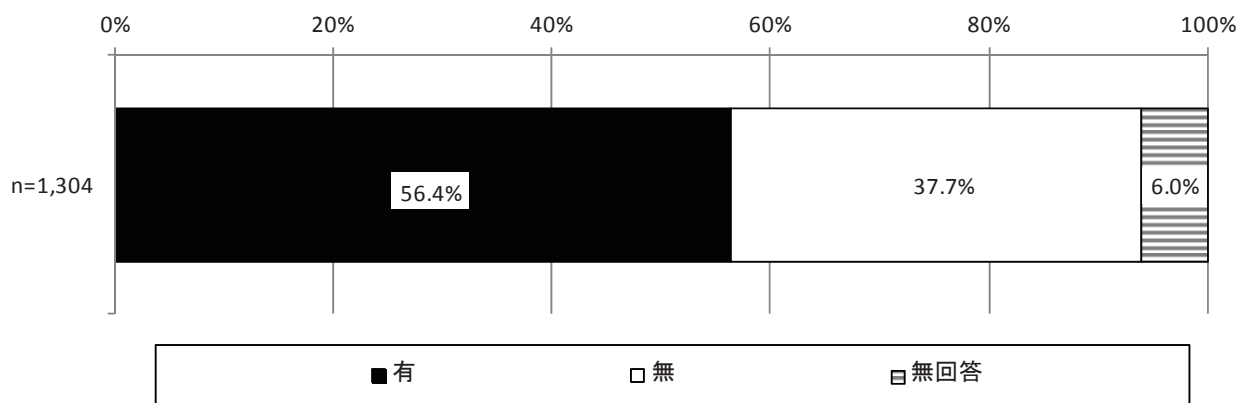
(2) アセスメント・評価

①機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをたずねたところ、「有」が56.4%、「無」が37.7%であった。

図表Ⅱ-1-23 機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

(単数回答) Ⅱ(2).9) n=1,304



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「有」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-24 保有している資格別

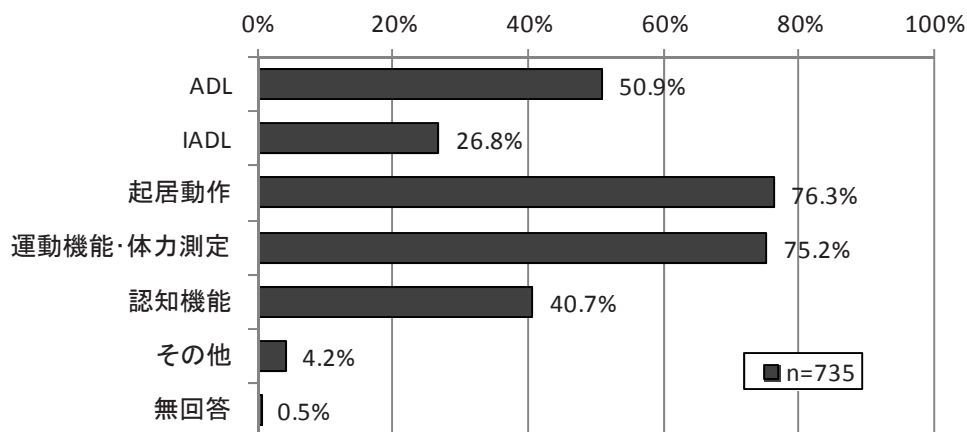
機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況（単数回答）Ⅱ(2)．9) n=1,304

	合計	有	無	無回答
全体	1,304 100.0%	735 56.4%	491 37.7%	78 6.0%
リハビリ職員	120 100.0%	109 90.8%	7 5.8%	4 3.3%
看護職員	511 100.0%	309 60.5%	185 36.2%	17 3.3%
柔道整復師	96 100.0%	87 90.6%	9 9.4%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	50 79.4%	13 20.6%	0 0.0%
鍼灸師	53 100.0%	46 86.8%	7 13.2%	0 0.0%
介護福祉士	305 100.0%	120 39.3%	155 50.8%	30 9.8%
社会福祉士	23 100.0%	12 52.2%	10 43.5%	1 4.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	42 47.2%	35 39.3%	12 13.5%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	56 39.4%	76 53.5%	10 7.0%
健康運動指導士	8 100.0%	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%
その他	80 100.0%	54 67.5%	24 30.0%	2 2.5%
なし	46 100.0%	14 30.4%	29 63.0%	3 6.5%
無回答	30 100.0%	5 16.7%	15 50.0%	10 33.3%

②機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをたずねたところ、「起居動作」が76.3%、「運動機能・体力測定」が75.2%、「ADL」が50.9%、「認知機能」が40.7%であった。

図表Ⅱ-1-25 機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=735



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「運動機能・体力測定」「認知機能」、「柔道整復師」は「運動機能・体力測定」、「あん摩マッサージ指圧師」は「起居動作」、「鍼灸師」は「運動機能・体力測定」、「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「認知機能」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-26 保有している資格別

機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=735

	合計	ADL	IADL	起居動作
全体	735 100.0%	374 50.9%	197 26.8%	561 76.3%
リハビリ職員	109 100.0%	65 59.6%	29 26.6%	89 81.7%
看護職員	309 100.0%	154 49.8%	75 24.3%	239 77.3%
柔道整復師	87 100.0%	45 51.7%	27 31.0%	70 80.5%
あん摩マッサージ指圧師	50 100.0%	27 54.0%	14 28.0%	45 90.0%
鍼灸師	46 100.0%	24 52.2%	15 32.6%	39 84.8%
介護福祉士	120 100.0%	64 53.3%	40 33.3%	80 66.7%
社会福祉士	12 100.0%	4 33.3%	3 25.0%	9 75.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	42 100.0%	19 45.2%	14 33.3%	30 71.4%
介護職員初任者研修修了	56 100.0%	23 41.1%	19 33.9%	45 80.4%
健康運動指導士	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	4 57.1%
その他	54 100.0%	30 55.6%	17 31.5%	34 63.0%
なし	14 100.0%	9 64.3%	4 28.6%	10 71.4%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%

(つづき) 保有している資格別

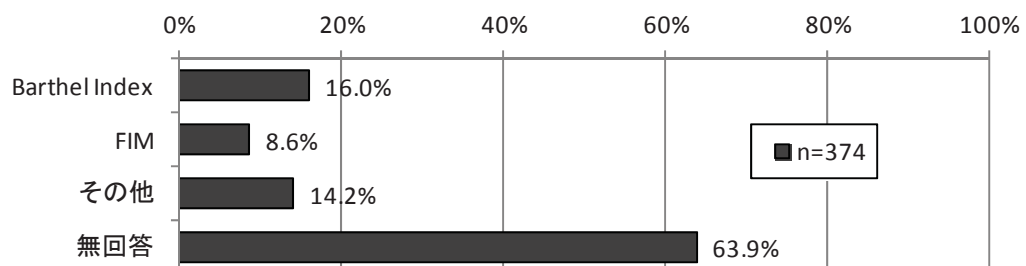
機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目(複数回答)Ⅱ(2).9)① n=735

	合計	運動機能・体力測定	認知機能	その他	無回答
全体	735 100.0%	553 75.2%	299 40.7%	31 4.2%	4 0.5%
リハビリ職員	109 100.0%	94 86.2%	55 50.5%	7 6.4%	0 0.0%
看護職員	309 100.0%	224 72.5%	128 41.4%	10 3.2%	2 0.6%
柔道整復師	87 100.0%	79 90.8%	25 28.7%	2 2.3%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	50 100.0%	41 82.0%	22 44.0%	3 6.0%	0 0.0%
鍼灸師	46 100.0%	41 89.1%	22 47.8%	5 10.9%	0 0.0%
介護福祉士	120 100.0%	73 60.8%	51 42.5%	5 4.2%	1 0.8%
社会福祉士	12 100.0%	7 58.3%	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	42 100.0%	31 73.8%	21 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	56 100.0%	32 57.1%	31 55.4%	5 8.9%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	6 85.7%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%
その他	54 100.0%	42 77.8%	21 38.9%	4 7.4%	0 0.0%
なし	14 100.0%	11 78.6%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	4 80.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%

③ A D L の評価に活用している評価指標

A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Barthel Index」は 16.0%、「FIM」は 8.6%であった。

図表Ⅱ-1-27 A D L の評価に活用している評価指標(複数回答)Ⅱ(2).9)① n=374



保有している資格別に、ADLを活用して利用者の状態の評価を行っている場合の活用している評価指標をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「Barthel Index」「FIM」、「あん摩マッサージ指圧師」は「Barthel Index」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-28 保有している資格別

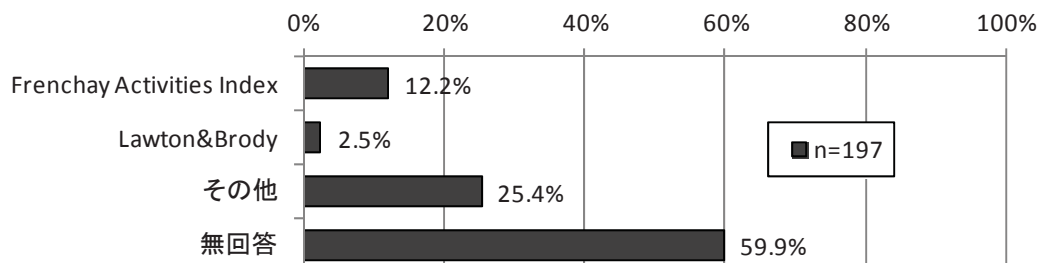
ADLの評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=374

	合計	Barthel Index	FIM	その他	無回答
全体	374 100.0%	60 16.0%	32 8.6%	53 14.2%	239 63.9%
リハビリ職員	65 100.0%	21 32.3%	12 18.5%	12 18.5%	23 35.4%
看護職員	154 100.0%	9 5.8%	10 6.5%	12 7.8%	125 81.2%
柔道整復師	45 100.0%	8 17.8%	7 15.6%	11 24.4%	20 44.4%
あん摩マッサージ指圧師	27 100.0%	12 44.4%	1 3.7%	6 22.2%	8 29.6%
鍼灸師	24 100.0%	7 29.2%	3 12.5%	8 33.3%	7 29.2%
介護福祉士	64 100.0%	8 12.5%	3 4.7%	9 14.1%	46 71.9%
社会福祉士	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	19 100.0%	3 15.8%	1 5.3%	5 26.3%	13 68.4%
介護職員初任者研修 修了	23 100.0%	3 13.0%	1 4.3%	6 26.1%	16 69.6%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	30 100.0%	3 10.0%	1 3.3%	7 23.3%	19 63.3%
なし	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	5 55.6%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

④ I A D Lの評価に活用している評価指標

I A D Lを活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Frenchay Activities Index」は12.2%、「Lawton&Brody」は2.5%であった。

図表Ⅱ-1-29 I A D Lの評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=197



図表Ⅱ-1-30 保有している資格別

I A D Lの評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=197

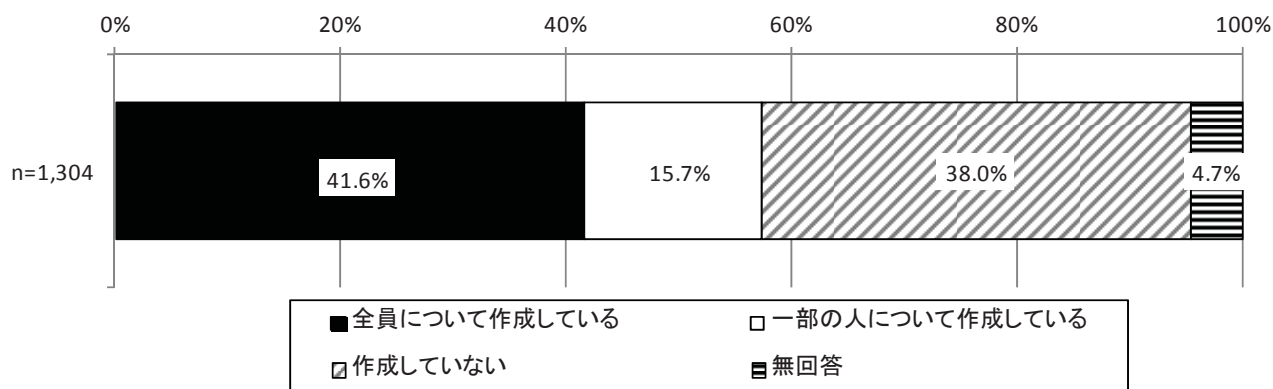
	合計	Frenchay Activities Index	Lawton&Brody	その他	無回答
全体	197 100.0%	24 12.2%	5 2.5%	50 25.4%	118 59.9%
リハビリ職員	29 100.0%	5 17.2%	0 0.0%	11 37.9%	13 44.8%
看護職員	75 100.0%	3 4.0%	4 5.3%	13 17.3%	55 73.3%
柔道整復師	27 100.0%	5 18.5%	0 0.0%	13 48.1%	9 33.3%
あん摩マッサージ指圧師	14 100.0%	5 35.7%	1 7.1%	4 28.6%	4 28.6%
鍼灸師	15 100.0%	4 26.7%	0 0.0%	6 40.0%	5 33.3%
介護福祉士	40 100.0%	5 12.5%	0 0.0%	9 22.5%	26 65.0%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%	9 64.3%
介護職員初任者研修修了	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 31.6%	13 68.4%
健康運動指導士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	17 100.0%	2 11.8%	0 0.0%	6 35.3%	9 52.9%
なし	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 機能訓練計画の作成

①事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況

事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをたずねたところ、「全員について作成している」は 41.6%、「一部の人について作成している」は 15.7%、「作成していない」は 38.0%であった。

図表Ⅱ-1-31 事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況(単数回答)Ⅱ(3).10) n=1,304



保有している資格別に、事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「全員について作成している」、「介護福祉士」「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「作成していない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-32 保有している資格別

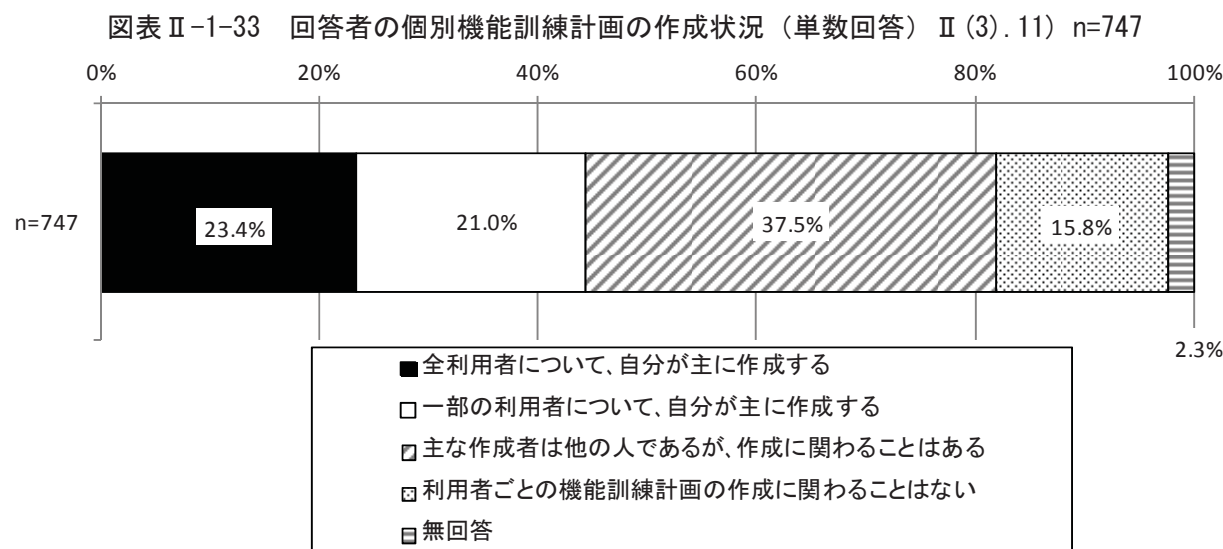
事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=1,304

	合計	全員について作成している	一部の人のについて作成している	作成していない	無回答
全体	1,304 100.0%	542 41.6%	205 15.7%	496 38.0%	61 4.7%
リハビリ職員	120 100.0%	86 71.7%	18 15.0%	12 10.0%	4 3.3%
看護職員	511 100.0%	196 38.4%	106 20.7%	194 38.0%	15 2.9%
柔道整復師	96 100.0%	71 74.0%	12 12.5%	13 13.5%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	40 63.5%	9 14.3%	14 22.2%	0 0.0%
鍼灸師	53 100.0%	40 75.5%	5 9.4%	8 15.1%	0 0.0%
介護福祉士	305 100.0%	92 30.2%	48 15.7%	145 47.5%	20 6.6%
社会福祉士	23 100.0%	10 43.5%	5 21.7%	8 34.8%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	28 31.5%	12 13.5%	42 47.2%	7 7.9%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	42 29.6%	12 8.5%	74 52.1%	14 9.9%
健康運動指導士	8 100.0%	5 62.5%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%
その他	80 100.0%	43 53.8%	12 15.0%	23 28.8%	2 2.5%
なし	46 100.0%	17 37.0%	3 6.5%	25 54.3%	1 2.2%
無回答	30 100.0%	10 33.3%	2 6.7%	8 26.7%	10 33.3%

②回答者の個別機能訓練計画の作成状況

回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをたずねたところ、「全利用者について、自分が主に作成する」は23.4%、「一部の利用者について、自分が主に作成する」は21.0%、「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」は37.5%、「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」は15.8%であった。

回答者が主に計画を作成した利用者数の平均値は13.3人であった。



図表Ⅱ-1-34 回答者が主に計画を作成した利用者数（数値回答）Ⅱ(3).11) n=128

件数	平均値	標準偏差	中央値
128	13.3	14.9	9.5

図表Ⅱ-1-35 保有している資格別 回答者が主に計画を作成した利用者数（数値回答）Ⅱ(3).11)

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	128	13.3	14.9	9.5
リハビリ職員	29	18.2	15.5	15.0
看護職員	56	13.0	17.3	7.5
柔道整復師	19	12.5	11.1	7.0
あん摩マッサージ指圧師	6	8.7	8.7	6.0
鍼灸師	8	5.4	3.2	6.0
介護福祉士	14	5.3	4.5	4.0
社会福祉士	4	7.5	6.6	5.5
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	3	7.7	0.6	8.0
介護職員初任者研修修了	2	20.0	19.8	20.0
健康運動指導士	1	40.0		40.0
その他	11	15.4	14.3	10.0
なし	3	6.0	4.6	5.0

保有している資格別に、回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「全利用者について、自分が主に作成する」「一部の利用者について、自分が主に作成する」、「柔道整復師」は「全利用者について、自分が主に作成する」、「介護職員実務者研修修了」は「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」、「介護職員初任者研修修了」は「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-36 保有している資格別

回答者の個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).11) n=747

	合計	全利用者について、自分が主に作成する	一部の利用者について、自分が主に作成する	主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある	利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない	無回答
全体	747 100.0%	175 23.4%	157 21.0%	280 37.5%	118 15.8%	17 2.3%
リハビリ職員	104 100.0%	46 44.2%	32 30.8%	22 21.2%	4 3.8%	0 0.0%
看護職員	302 100.0%	53 17.5%	71 23.5%	126 41.7%	45 14.9%	7 2.3%
柔道整復師	83 100.0%	37 44.6%	21 25.3%	21 25.3%	3 3.6%	1 1.2%
あん摩マッサージ指圧師	49 100.0%	15 30.6%	8 16.3%	21 42.9%	4 8.2%	1 2.0%
鍼灸師	45 100.0%	14 31.1%	9 20.0%	18 40.0%	3 6.7%	1 2.2%
介護福祉士	140 100.0%	27 19.3%	20 14.3%	58 41.4%	32 22.9%	3 2.1%
社会福祉士	15 100.0%	4 26.7%	4 26.7%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	40 100.0%	7 17.5%	4 10.0%	18 45.0%	10 25.0%	1 2.5%
介護職員初任者研修修了	54 100.0%	9 16.7%	5 9.3%	26 48.1%	13 24.1%	1 1.9%
健康運動指導士	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	55 100.0%	7 12.7%	11 20.0%	24 43.6%	12 21.8%	1 1.8%
なし	20 100.0%	0 0.0%	3 15.0%	8 40.0%	9 45.0%	0 0.0%
無回答	12 100.0%	1 8.3%	0 0.0%	3 25.0%	5 41.7%	3 25.0%

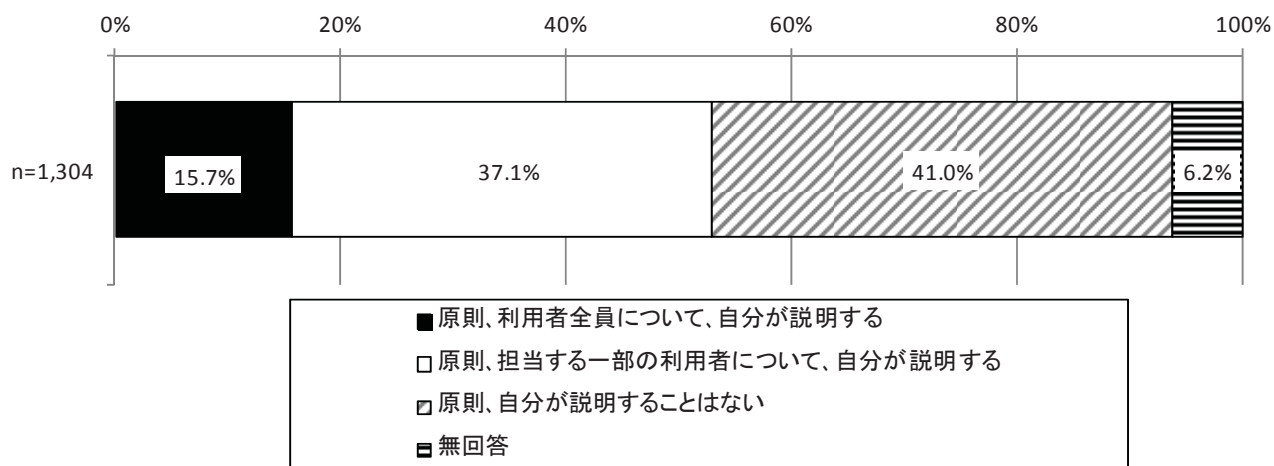
(4) 利用者または家族等への説明

①回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況

回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が説明する」は15.7%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する」は37.1%、「原則、自分が説明することはない」は41.0%であった。

図表Ⅱ-1-37 回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）

Ⅱ(4).12) n=1,304



保有している資格別に、回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「原則、利用者全員について、自分が説明する」、「鍼灸師」は「原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する」、「介護職員初任者研修修了」は「原則、自分が説明することはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-38 保有している資格別

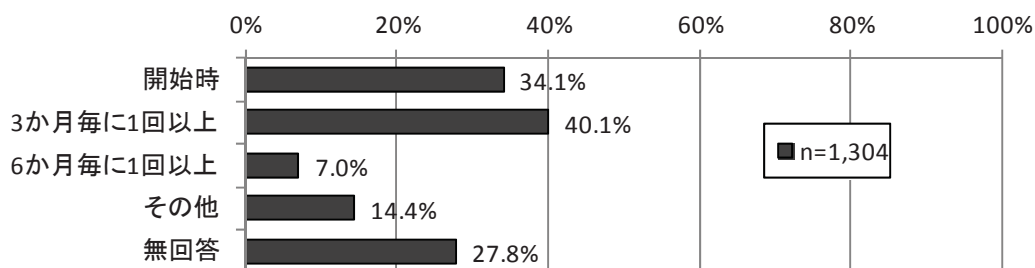
回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）Ⅱ(4)．12) n=1,304

	合計	原則、利用者全員について、自分が説明する	原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する	原則、自分が説明することはない	無回答
全体	1,304 100.0%	205 15.7%	484 37.1%	534 41.0%	81 6.2%
リハビリ職員	120 100.0%	34 28.3%	53 44.2%	27 22.5%	6 5.0%
看護職員	511 100.0%	76 14.9%	199 38.9%	209 40.9%	27 5.3%
柔道整復師	96 100.0%	31 32.3%	45 46.9%	19 19.8%	1 1.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	11 17.5%	28 44.4%	21 33.3%	3 4.8%
鍼灸師	53 100.0%	12 22.6%	28 52.8%	11 20.8%	2 3.8%
介護福祉士	305 100.0%	43 14.1%	108 35.4%	130 42.6%	24 7.9%
社会福祉士	23 100.0%	6 26.1%	6 26.1%	9 39.1%	2 8.7%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	11 12.4%	35 39.3%	34 38.2%	9 10.1%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	15 10.6%	36 25.4%	84 59.2%	7 4.9%
健康運動指導士	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	13 16.3%	37 46.3%	27 33.8%	3 3.8%
なし	46 100.0%	2 4.3%	7 15.2%	36 78.3%	1 2.2%
無回答	30 100.0%	2 6.7%	4 13.3%	12 40.0%	12 40.0%

②利用者や家族等への説明頻度

利用者や家族等への説明の頻度は、「3 か月毎に1 回以上」が 40.1%、「開始時」が 34.1%であった。

図表Ⅱ-1-39 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=1,304



保有している資格別に、利用者や家族等への説明の頻度をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」は「開始時」「3 か月毎に1 回以上」、「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「3 か月毎に1 回以上」、「社会福祉士」は「開始時」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-40 保有している資格別 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=1,304

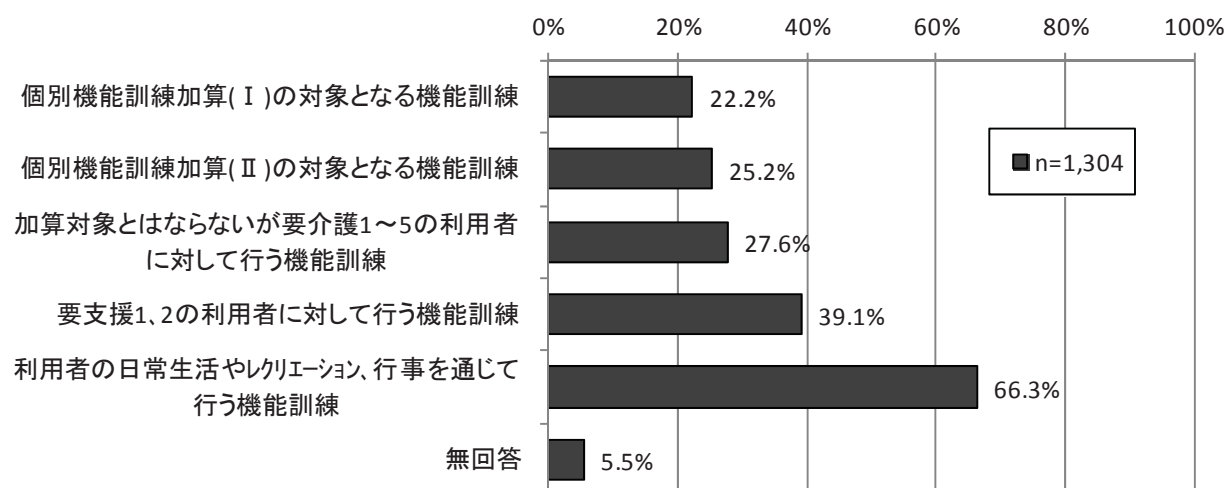
	合計	開始時	3 か月毎に1 回以上	6 か月毎に1 回以上	その他	無回答
全体	1,304 100.0%	445 34.1%	523 40.1%	91 7.0%	188 14.4%	363 27.8%
リハビリ職員	120 100.0%	60 50.0%	84 70.0%	12 10.0%	9 7.5%	12 10.0%
看護職員	511 100.0%	184 36.0%	198 38.7%	38 7.4%	70 13.7%	140 27.4%
柔道整復師	96 100.0%	49 51.0%	64 66.7%	3 3.1%	16 16.7%	8 8.3%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	22 34.9%	32 50.8%	1 1.6%	8 12.7%	14 22.2%
鍼灸師	53 100.0%	23 43.4%	32 60.4%	0 0.0%	6 11.3%	8 15.1%
介護福祉士	305 100.0%	96 31.5%	101 33.1%	30 9.8%	41 13.4%	98 32.1%
社会福祉士	23 100.0%	11 47.8%	8 34.8%	3 13.0%	5 21.7%	5 21.7%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	25 28.1%	27 30.3%	8 9.0%	12 13.5%	32 36.0%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	27 19.0%	30 21.1%	10 7.0%	31 21.8%	57 40.1%
健康運動指導士	8 100.0%	5 62.5%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
その他	80 100.0%	32 40.0%	34 42.5%	7 8.8%	11 13.8%	18 22.5%
なし	46 100.0%	11 23.9%	14 30.4%	2 4.3%	11 23.9%	13 28.3%
無回答	30 100.0%	3 10.0%	4 13.3%	1 3.3%	3 10.0%	21 70.0%

(5) 機能訓練の実施状況

①回答者が実施することがある機能訓練

回答者が実施することがある機能訓練は、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」が 66.3%で最も割合が高く、次いで「要支援 1、2 の利用者に対して行う機能訓練」が 39.1%、「加算対象とはならないが要介護 1～5 の利用者に対して行う機能訓練」が 27.6%、「個別機能訓練加算(Ⅱ)の対象となる機能訓練」が 25.2%、「個別機能訓練加算(Ⅰ)の対象となる機能訓練」が 22.2%であった。

図表Ⅱ-1-41 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ(5).14) n=1,304



保有している資格別に回答者が実施することがある機能訓練をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」「鍼灸師」は「個別機能訓練加算（Ⅰ）の対象となる機能訓練」「個別機能訓練加算（Ⅱ）の対象となる機能訓練」「要支援 1、2 の利用者に対して行う機能訓練」、「あん摩マッサージ指圧師」は「個別機能訓練加算（Ⅱ）の対象となる機能訓練」「要支援 1、2 の利用者に対して行う機能訓練」、「介護福祉士」「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-42 保有している資格別

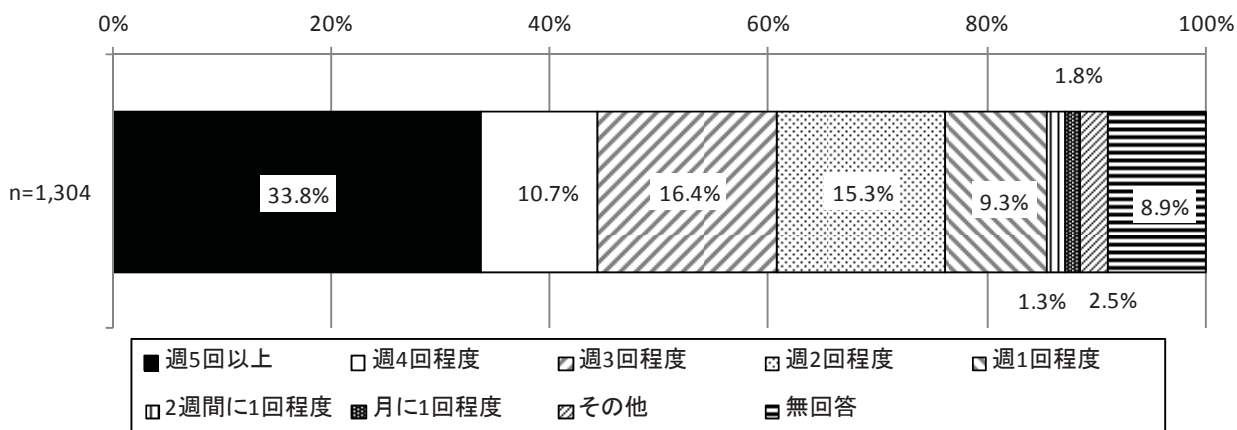
回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ(5).14) n=1,304

	合計	個別機能 訓練加算 （Ⅰ）の対 象となる 機能訓練	個別機能 訓練加算 （Ⅱ）の対 象となる 機能訓練	加算対象 とはなら ないが要 介護 1～5 の利用者 に対して 行う機能 訓練	要支援 1、 2 の利用 者に対し て行う機 能訓練	利用者の 日常生活 やレクリエ ーション、行事 を通じて 行う機能 訓練	無回答
全体	1,304 100.0%	290 22.2%	329 25.2%	360 27.6%	510 39.1%	864 66.3%	72 5.5%
リハビリ職員	120 100.0%	63 52.5%	65 54.2%	27 22.5%	65 54.2%	61 50.8%	5 4.2%
看護職員	511 100.0%	101 19.8%	158 30.9%	159 31.1%	210 41.1%	320 62.6%	27 5.3%
柔道整復師	96 100.0%	54 56.3%	50 52.1%	12 12.5%	56 58.3%	29 30.2%	2 2.1%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	19 30.2%	29 46.0%	19 30.2%	38 60.3%	22 34.9%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	22 41.5%	23 43.4%	13 24.5%	35 66.0%	24 45.3%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	48 15.7%	29 9.5%	89 29.2%	93 30.5%	262 85.9%	15 4.9%
社会福祉士	23 100.0%	4 17.4%	5 21.7%	7 30.4%	10 43.5%	20 87.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	9 10.1%	7 7.9%	23 25.8%	19 21.3%	70 78.7%	5 5.6%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	14 9.9%	15 10.6%	34 23.9%	39 27.5%	119 83.8%	7 4.9%
健康運動指導士	8 100.0%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	6 75.0%	6 75.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	19 23.8%	13 16.3%	32 40.0%	45 56.3%	54 67.5%	1 1.3%
なし	46 100.0%	4 8.7%	3 6.5%	12 26.1%	14 30.4%	32 69.6%	6 13.0%
無回答	30 100.0%	2 6.7%	1 3.3%	7 23.3%	6 20.0%	17 56.7%	10 33.3%

②回答者が機能訓練に関わる頻度

回答者が機能訓練に関わる頻度は、「週 5 回以上」が 33.8%、「週 3 回程度」が 16.4%、「週 2 回程度」が 15.3%であった。

図表Ⅱ-1-43 回答者が機能訓練に関わる頻度（単数回答）Ⅱ (5). 15) n=1,304



保有している資格別に、回答者が機能訓練に関わる頻度をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「週5回以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-44 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度（単数回答）Ⅱ(5)．15) n=1,304

	合計	週5回以上	週4回程度	週3回程度	週2回程度	週1回程度
全体	1,304 100.0%	441 33.8%	139 10.7%	214 16.4%	200 15.3%	121 9.3%
リハビリ職員	120 100.0%	65 54.2%	9 7.5%	11 9.2%	16 13.3%	12 10.0%
看護職員	511 100.0%	119 23.3%	56 11.0%	125 24.5%	101 19.8%	45 8.8%
柔道整復師	96 100.0%	65 67.7%	7 7.3%	5 5.2%	8 8.3%	7 7.3%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	31 49.2%	3 4.8%	10 15.9%	5 7.9%	10 15.9%
鍼灸師	53 100.0%	30 56.6%	3 5.7%	6 11.3%	5 9.4%	5 9.4%
介護福祉士	305 100.0%	89 29.2%	40 13.1%	41 13.4%	50 16.4%	34 11.1%
社会福祉士	23 100.0%	3 13.0%	3 13.0%	6 26.1%	4 17.4%	5 21.7%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	28 31.5%	9 10.1%	9 10.1%	18 20.2%	6 6.7%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	42 29.6%	17 12.0%	21 14.8%	17 12.0%	15 10.6%
健康運動指導士	8 100.0%	3 37.5%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%
その他	80 100.0%	35 43.8%	8 10.0%	14 17.5%	6 7.5%	9 11.3%
なし	46 100.0%	16 34.8%	3 6.5%	8 17.4%	5 10.9%	1 2.2%
無回答	30 100.0%	10 33.3%	4 13.3%	3 10.0%	0 0.0%	1 3.3%

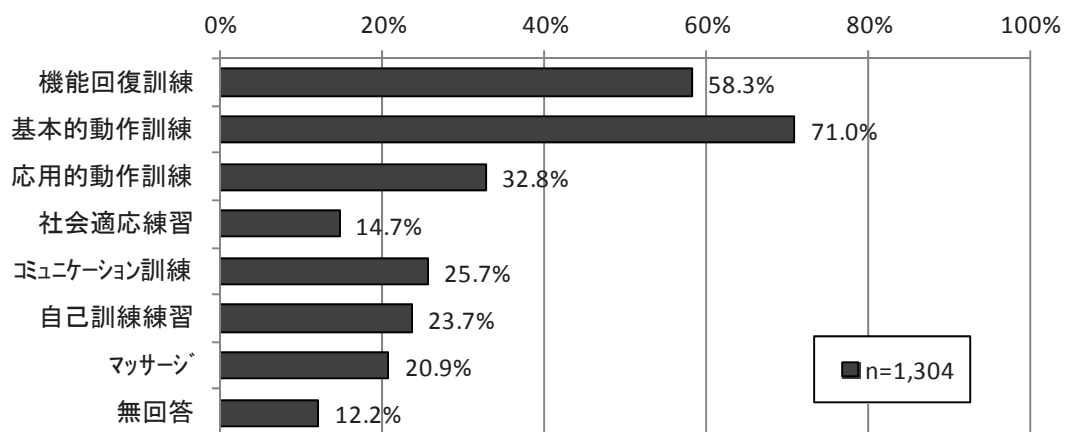
(つづき) 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度 (単数回答) II (5). 15) n=1,304

	合計	2週間に1 回程度	月に1回 程度	その他	無回答
全体	1,304 100.0%	23 1.8%	17 1.3%	33 2.5%	116 8.9%
リハビリ職員	120 100.0%	2 1.7%	0 0.0%	1 0.8%	4 3.3%
看護職員	511 100.0%	11 2.2%	7 1.4%	14 2.7%	33 6.5%
柔道整復師	96 100.0%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	2 2.1%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	3 4.8%
鍼灸師	53 100.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	3 5.7%
介護福祉士	305 100.0%	6 2.0%	5 1.6%	6 2.0%	34 11.1%
社会福祉士	23 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 4.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	1 1.1%	1 1.1%	4 4.5%	13 14.6%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	2 1.4%	2 1.4%	7 4.9%	19 13.4%
健康運動指導士	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	1 1.3%	2 2.5%	0 0.0%	5 6.3%
なし	46 100.0%	1 2.2%	1 2.2%	3 6.5%	8 17.4%
無回答	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 40.0%

③回答者が実施した機能訓練の具体的内容

回答者が平成 28 年 10～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容は、「基本的動作訓練」が 71.0%で最も割合が高く、次いで「機能回復訓練」が 58.3%、「応用的動作訓練」が 32.8%であった。

図表Ⅱ-1-45 回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=1,304



保有している資格別に、回答者が平成28年10～12月に実施した機能訓練の具体的な内容をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」「応用的動作訓練」「自己訓練練習」「マッサージ」、「柔道整復師」は「機能回復訓練」「自己訓練練習」「マッサージ」、「あん摩マッサージ指圧師」は「機能回復訓練」「マッサージ」、「鍼灸師」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」「自己訓練練習」「マッサージ」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-46 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的な内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=1,304

	合計	機能回復 訓練	基本的動 作訓練	応用的動 作訓練	社会適応 練習
全体	1,304 100.0%	760 58.3%	926 71.0%	428 32.8%	192 14.7%
リハビリ職員	120 100.0%	105 87.5%	106 88.3%	72 60.0%	24 20.0%
看護職員	511 100.0%	323 63.2%	399 78.1%	155 30.3%	63 12.3%
柔道整復師	96 100.0%	85 88.5%	76 79.2%	38 39.6%	8 8.3%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	46 73.0%	48 76.2%	23 36.5%	5 7.9%
鍼灸師	53 100.0%	45 84.9%	44 83.0%	19 35.8%	5 9.4%
介護福祉士	305 100.0%	120 39.3%	196 64.3%	98 32.1%	58 19.0%
社会福祉士	23 100.0%	14 60.9%	17 73.9%	6 26.1%	3 13.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	41 46.1%	59 66.3%	24 27.0%	14 15.7%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	64 45.1%	76 53.5%	47 33.1%	30 21.1%
健康運動指導士	8 100.0%	8 100.0%	8 100.0%	2 25.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	55 68.8%	60 75.0%	32 40.0%	15 18.8%
なし	46 100.0%	22 47.8%	28 60.9%	6 13.0%	7 15.2%
無回答	30 100.0%	9 30.0%	10 33.3%	2 6.7%	2 6.7%

(つづき) 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容 (複数回答) Ⅱ (5). 16) n=1, 304

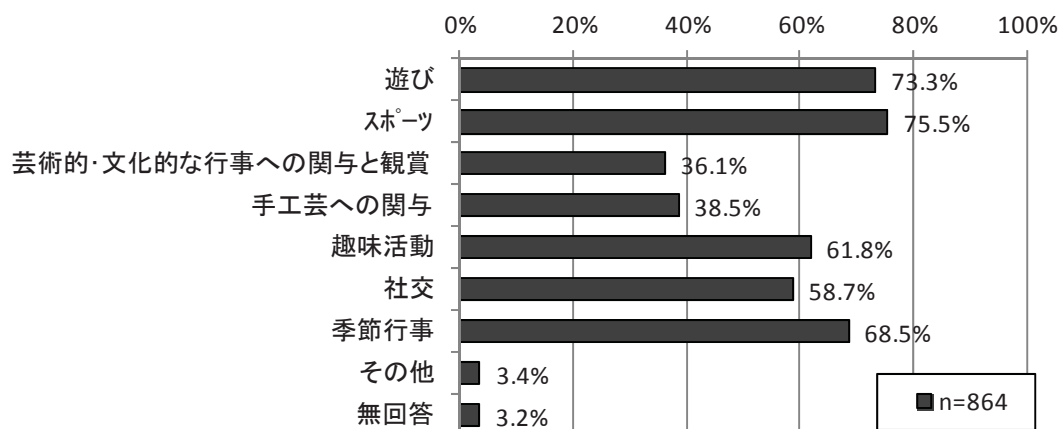
	合計	コミュニケーション訓練	自己訓練 練習	マッサージ	無回答
全体	1, 304 100. 0%	335 25. 7%	309 23. 7%	272 20. 9%	159 12. 2%
リハビリ職員	120 100. 0%	34 28. 3%	65 54. 2%	51 42. 5%	5 4. 2%
看護職員	511 100. 0%	105 20. 5%	104 20. 4%	72 14. 1%	38 7. 4%
柔道整復師	96 100. 0%	14 14. 6%	35 36. 5%	65 67. 7%	1 1. 0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100. 0%	11 17. 5%	19 30. 2%	57 90. 5%	1 1. 6%
鍼灸師	53 100. 0%	10 18. 9%	18 34. 0%	41 77. 4%	1 1. 9%
介護福祉士	305 100. 0%	90 29. 5%	56 18. 4%	23 7. 5%	55 18. 0%
社会福祉士	23 100. 0%	9 39. 1%	7 30. 4%	3 13. 0%	1 4. 3%
精神保健福祉士	0 0. 0%	0 0. 0%	0 0. 0%	0 0. 0%	0 0. 0%
介護職員実務者研修 修了	89 100. 0%	26 29. 2%	18 20. 2%	11 12. 4%	15 16. 9%
介護職員初任者研修 修了	142 100. 0%	51 35. 9%	27 19. 0%	15 10. 6%	32 22. 5%
健康運動指導士	8 100. 0%	1 12. 5%	3 37. 5%	3 37. 5%	0 0. 0%
その他	80 100. 0%	21 26. 3%	21 26. 3%	15 18. 8%	10 12. 5%
なし	46 100. 0%	14 30. 4%	9 19. 6%	5 10. 9%	8 17. 4%
無回答	30 100. 0%	10 33. 3%	3 10. 0%	1 3. 3%	13 43. 3%

④利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練（指導）

回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等は、「スポーツ」が 75.5%で最も割合が高く、次いで「遊び」が 73.3%、「季節行事」が 68.5%、「趣味活動」が 61.8%であった。

図表Ⅱ-1-47 要支援1または2の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）

（複数回答）Ⅱ(5).17) n=864



保有している資格別に、回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等をみると、全体と比較して、「介護福祉士」は「社交」、「社会福祉士」は「趣味活動」「社交」「季節行事」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-48 保有している資格別 要支援１または２の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）
（複数回答）Ⅱ(5).17) n=864

	合計	遊び	スポーツ	芸術的・ 文化的な 行事への 関与と観 賞	手工芸へ の関与	趣味活動
全体	864 100.0%	633 73.3%	652 75.5%	312 36.1%	333 38.5%	534 61.8%
リハビリ職員	61 100.0%	34 55.7%	46 75.4%	19 31.1%	22 36.1%	34 55.7%
看護職員	320 100.0%	222 69.4%	251 78.4%	110 34.4%	128 40.0%	186 58.1%
柔道整復師	29 100.0%	13 44.8%	19 65.5%	3 10.3%	1 3.4%	7 24.1%
あん摩マッサージ指圧師	22 100.0%	10 45.5%	14 63.6%	3 13.6%	4 18.2%	8 36.4%
鍼灸師	24 100.0%	13 54.2%	17 70.8%	2 8.3%	2 8.3%	7 29.2%
介護福祉士	262 100.0%	211 80.5%	208 79.4%	113 43.1%	116 44.3%	181 69.1%
社会福祉士	20 100.0%	16 80.0%	14 70.0%	9 45.0%	9 45.0%	15 75.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	70 100.0%	48 68.6%	49 70.0%	26 37.1%	26 37.1%	44 62.9%
介護職員初任者研修 修了	119 100.0%	98 82.4%	84 70.6%	43 36.1%	48 40.3%	73 61.3%
健康運動指導士	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%
その他	54 100.0%	43 79.6%	43 79.6%	22 40.7%	24 44.4%	36 66.7%
なし	32 100.0%	28 87.5%	20 62.5%	16 50.0%	12 37.5%	21 65.6%
無回答	17 100.0%	15 88.2%	13 76.5%	6 35.3%	4 23.5%	12 70.6%

(つづき) 保有している資格別 要支援 1 または 2 の利用者に対して回答者が行う機能訓練 (指導)

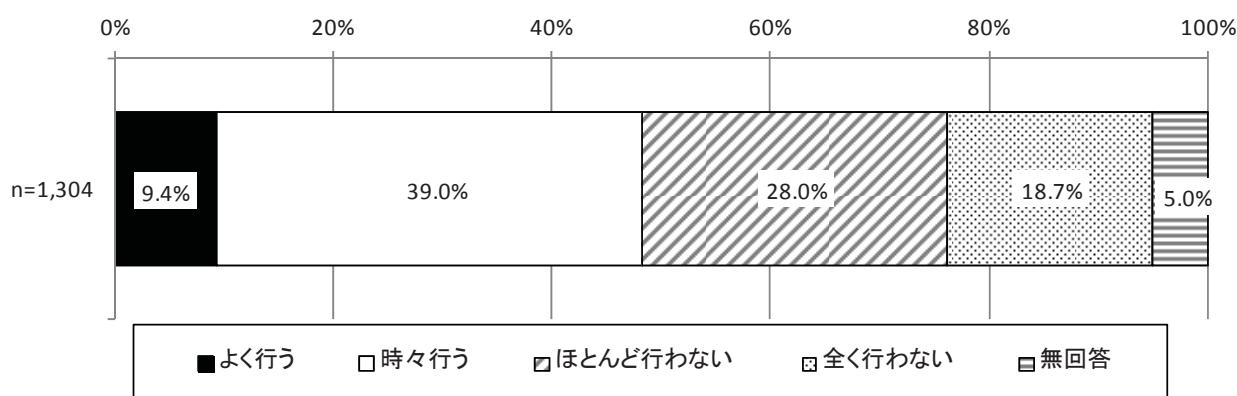
(複数回答) II (5). 17) n=864

	合計	社交	季節行事	その他	無回答
全体	864 100.0%	507 58.7%	592 68.5%	29 3.4%	28 3.2%
リハビリ職員	61 100.0%	27 44.3%	32 52.5%	3 4.9%	3 4.9%
看護職員	320 100.0%	165 51.6%	224 70.0%	7 2.2%	5 1.6%
柔道整復師	29 100.0%	9 31.0%	6 20.7%	2 6.9%	3 10.3%
あん摩マッサージ指圧師	22 100.0%	11 50.0%	8 36.4%	2 9.1%	0 0.0%
鍼灸師	24 100.0%	11 45.8%	7 29.2%	2 8.3%	0 0.0%
介護福祉士	262 100.0%	188 71.8%	198 75.6%	5 1.9%	5 1.9%
社会福祉士	20 100.0%	16 80.0%	16 80.0%	1 5.0%	1 5.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	70 100.0%	41 58.6%	48 68.6%	6 8.6%	7 10.0%
介護職員初任者研修 修了	119 100.0%	69 58.0%	92 77.3%	3 2.5%	3 2.5%
健康運動指導士	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他	54 100.0%	41 75.9%	44 81.5%	2 3.7%	1 1.9%
なし	32 100.0%	21 65.6%	20 62.5%	2 6.3%	2 6.3%
無回答	17 100.0%	11 64.7%	15 88.2%	0 0.0%	1 5.9%

⑤他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況

回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをたずねたところ、「時々行う」が 39.0%、「ほとんど行わない」が 28.0%であった。

図表 II-1-49 他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況 (単数回答) II (5). 18) n=1,304



保有している資格別に、回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「時々行う」、「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「よく行う」「時々行う」、「社会福祉士」は「よく行う」「ほとんど行わない」、「介護職員初任者研修修了」は「全く行わない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-50 保有している資格別

他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=1,304

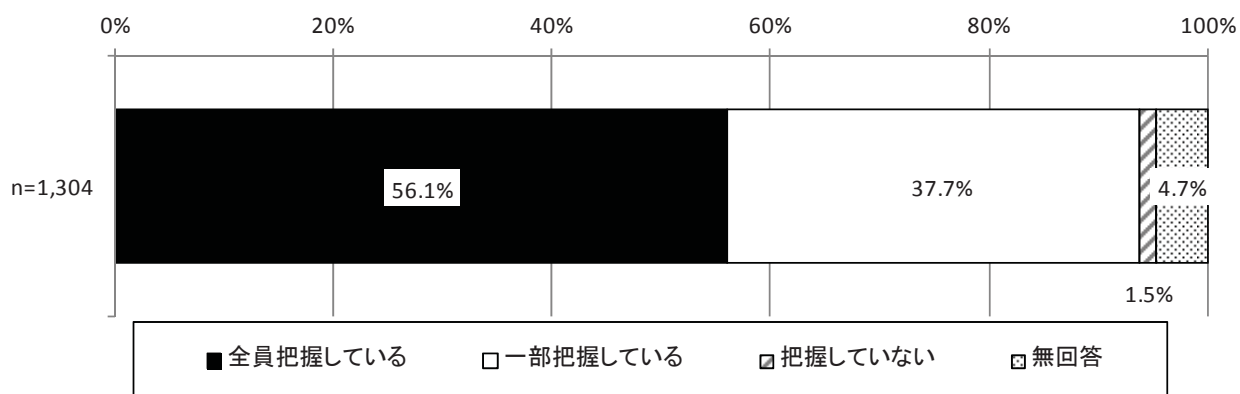
	合計	よく行う	時々行う	ほとんど行わない	全く行わない	無回答
全体	1,304 100.0%	122 9.4%	508 39.0%	365 28.0%	244 18.7%	65 5.0%
リハビリ職員	120 100.0%	19 15.8%	71 59.2%	21 17.5%	5 4.2%	4 3.3%
看護職員	511 100.0%	46 9.0%	217 42.5%	149 29.2%	79 15.5%	20 3.9%
柔道整復師	96 100.0%	22 22.9%	47 49.0%	18 18.8%	8 8.3%	1 1.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	12 19.0%	32 50.8%	10 15.9%	8 12.7%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	12 22.6%	29 54.7%	8 15.1%	3 5.7%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	23 7.5%	107 35.1%	97 31.8%	59 19.3%	19 6.2%
社会福祉士	23 100.0%	5 21.7%	4 17.4%	10 43.5%	4 17.4%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	89 100.0%	7 7.9%	25 28.1%	29 32.6%	22 24.7%	6 6.7%
介護職員初任者研修修了	142 100.0%	8 5.6%	37 26.1%	35 24.6%	55 38.7%	7 4.9%
健康運動指導士	8 100.0%	1 12.5%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	6 7.5%	32 40.0%	26 32.5%	14 17.5%	2 2.5%
なし	46 100.0%	1 2.2%	6 13.0%	18 39.1%	18 39.1%	3 6.5%
無回答	30 100.0%	0 0.0%	5 16.7%	9 30.0%	5 16.7%	11 36.7%

(6) 機能訓練を実施する際の留意点

①対象者の基礎疾患の把握状況

回答者の対象者の基礎疾患の把握状況は、「全員把握している」が 56.1%、「一部把握している」が 37.7%であった。

図表Ⅱ-1-51 対象者の基礎疾患の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).19) n=1,304



保有している資格別に、回答者の対象者の基礎疾患の把握状況をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「全員把握している」、「社会福祉士」は「一部把握している」の割合が高くなっていた。

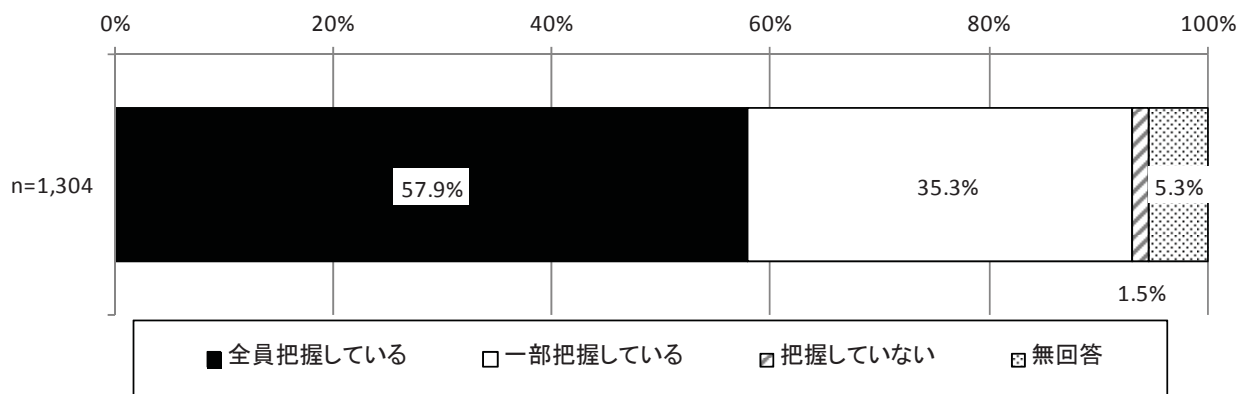
図表Ⅱ-1-52 保有している資格別 対象者の基礎疾患の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).19) n=1,304

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	1,304 100.0%	732 56.1%	492 37.7%	19 1.5%	61 4.7%
リハビリ職員	120 100.0%	79 65.8%	38 31.7%	0 0.0%	3 2.5%
看護職員	511 100.0%	312 61.1%	175 34.2%	2 0.4%	22 4.3%
柔道整復師	96 100.0%	62 64.6%	32 33.3%	1 1.0%	1 1.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	45 71.4%	17 27.0%	0 0.0%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	41 77.4%	11 20.8%	0 0.0%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	148 48.5%	136 44.6%	5 1.6%	16 5.2%
社会福祉士	23 100.0%	12 52.2%	11 47.8%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	47 52.8%	35 39.3%	1 1.1%	6 6.7%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	65 45.8%	62 43.7%	9 6.3%	6 4.2%
健康運動指導士	8 100.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	44 55.0%	33 41.3%	0 0.0%	3 3.8%
なし	46 100.0%	20 43.5%	23 50.0%	2 4.3%	1 2.2%
無回答	30 100.0%	9 30.0%	10 33.3%	0 0.0%	11 36.7%

②対象者が認知症の場合の留意点の把握状況

回答者の対象者が認知症の場合の留意点の把握状況は、「全員把握している」が 57.9%、「一部把握している」が 35.3%であった。

図表Ⅱ-1-53 対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20 n=1,304



保有している資格別に、回答者の対象者が認知症の場合の理由点の把握状況をみると、全体と比較して、「鍼灸師」は「全員把握している」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-54 保有している資格別

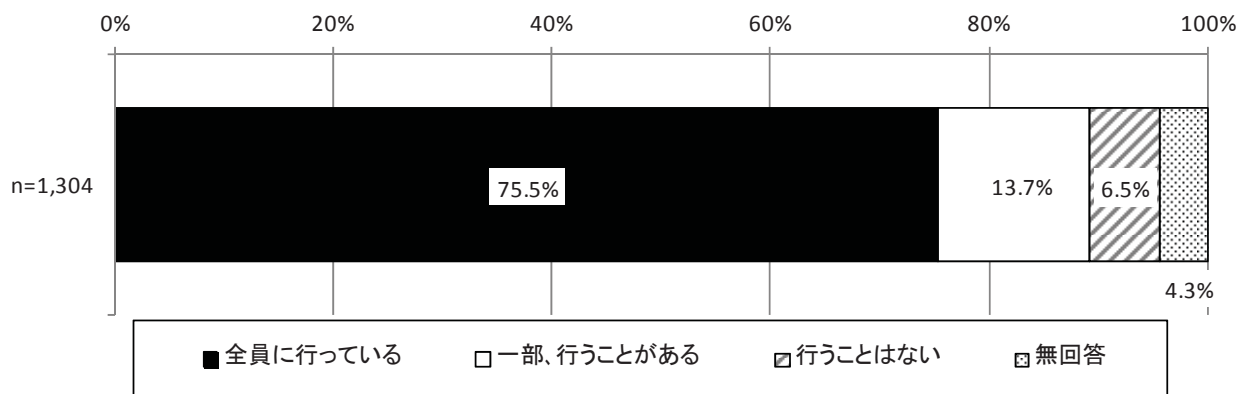
対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6)．20) n=1,304

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	1,304 100.0%	755 57.9%	460 35.3%	20 1.5%	69 5.3%
リハビリ職員	120 100.0%	78 65.0%	39 32.5%	0 0.0%	3 2.5%
看護職員	511 100.0%	311 60.9%	170 33.3%	1 0.2%	29 5.7%
柔道整復師	96 100.0%	57 59.4%	37 38.5%	1 1.0%	1 1.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	41 65.1%	21 33.3%	0 0.0%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	37 69.8%	15 28.3%	0 0.0%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	173 56.7%	111 36.4%	4 1.3%	17 5.6%
社会福祉士	23 100.0%	14 60.9%	9 39.1%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	54 60.7%	28 31.5%	1 1.1%	6 6.7%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	78 54.9%	47 33.1%	10 7.0%	7 4.9%
健康運動指導士	8 100.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	44 55.0%	30 37.5%	2 2.5%	4 5.0%
なし	46 100.0%	17 37.0%	26 56.5%	2 4.3%	1 2.2%
無回答	30 100.0%	10 33.3%	9 30.0%	0 0.0%	11 36.7%

③機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況

回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをたずねたところ、「全員に行っている」が75.5%となっていた。

図表Ⅱ-1-55 機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=1,304



保有している資格別に、回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをみると、全体と比較して、「鍼灸師」は「全員に行っている」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-56 保有している資格別

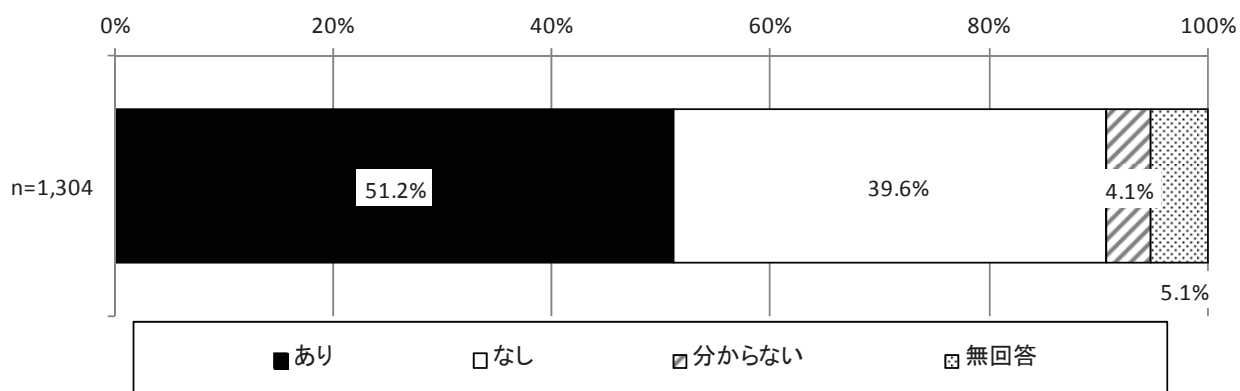
機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=1,304

	合計	全員に行っている	一部、行うことがある	行うことはない	無回答
全体	1,304 100.0%	984 75.5%	179 13.7%	85 6.5%	56 4.3%
リハビリ職員	120 100.0%	93 77.5%	21 17.5%	3 2.5%	3 2.5%
看護職員	511 100.0%	427 83.6%	54 10.6%	11 2.2%	19 3.7%
柔道整復師	96 100.0%	70 72.9%	19 19.8%	6 6.3%	1 1.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	46 73.0%	8 12.7%	8 12.7%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	46 86.8%	3 5.7%	3 5.7%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	203 66.6%	50 16.4%	37 12.1%	15 4.9%
社会福祉士	23 100.0%	15 65.2%	4 17.4%	4 17.4%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	62 69.7%	15 16.9%	7 7.9%	5 5.6%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	102 71.8%	20 14.1%	14 9.9%	6 4.2%
健康運動指導士	8 100.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	64 80.0%	12 15.0%	1 1.3%	3 3.8%
なし	46 100.0%	33 71.7%	6 13.0%	5 10.9%	2 4.3%
無回答	30 100.0%	13 43.3%	3 10.0%	3 10.0%	11 36.7%

④機能訓練の際のヒヤリハットの経験

回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験は、「あり」は 51.2%であった。

図表Ⅱ-1-57 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=1,304



保有している資格別に、回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」「鍼灸師」は「あり」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-1-58 保有している資格別 機能訓練の際のヒヤリハットの経験(単数回答)Ⅱ(6).22) n=1,304

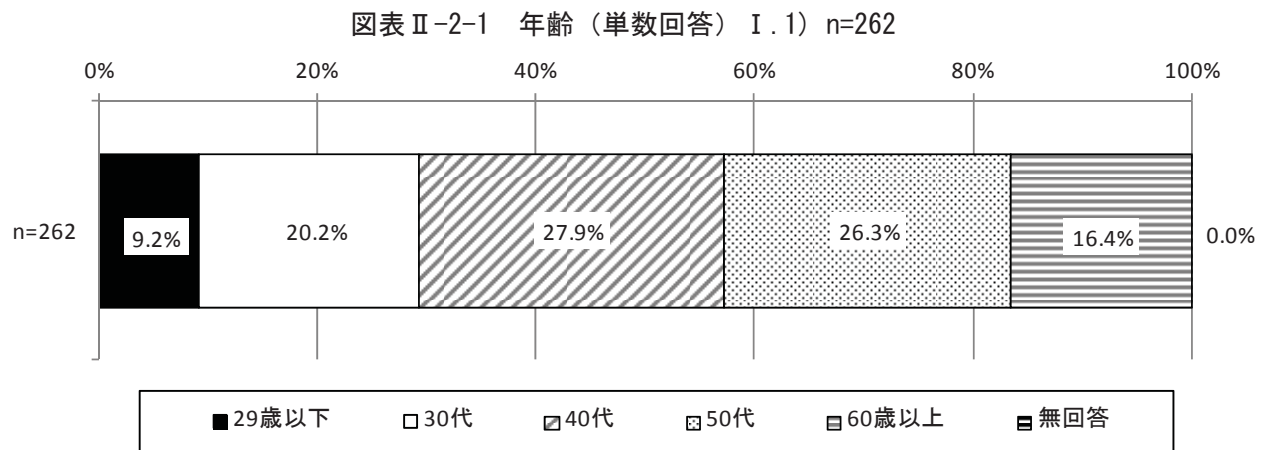
	合計	あり	なし	分からない	無回答
全体	1,304 100.0%	668 51.2%	516 39.6%	53 4.1%	67 5.1%
リハビリ職員	120 100.0%	77 64.2%	38 31.7%	2 1.7%	3 2.5%
看護職員	511 100.0%	241 47.2%	218 42.7%	26 5.1%	26 5.1%
柔道整復師	96 100.0%	63 65.6%	31 32.3%	1 1.0%	1 1.0%
あん摩マッサージ指圧師	63 100.0%	34 54.0%	27 42.9%	1 1.6%	1 1.6%
鍼灸師	53 100.0%	35 66.0%	17 32.1%	0 0.0%	1 1.9%
介護福祉士	305 100.0%	156 51.1%	119 39.0%	12 3.9%	18 5.9%
社会福祉士	23 100.0%	11 47.8%	10 43.5%	2 8.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	89 100.0%	35 39.3%	44 49.4%	4 4.5%	6 6.7%
介護職員初任者研修 修了	142 100.0%	72 50.7%	57 40.1%	5 3.5%	8 5.6%
健康運動指導士	8 100.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	80 100.0%	46 57.5%	30 37.5%	2 2.5%	2 2.5%
なし	46 100.0%	21 45.7%	18 39.1%	5 10.9%	2 4.3%
無回答	30 100.0%	11 36.7%	8 26.7%	0 0.0%	11 36.7%

第2節 認知症対応型通所介護事業所

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年齢は、「40代」が27.9%、「50代」が26.3%、「30代」が20.2%であった。



保有している資格別に年齢をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「30代」、「看護職員」は「50代」「60歳以上」の割合が高くなっていた。

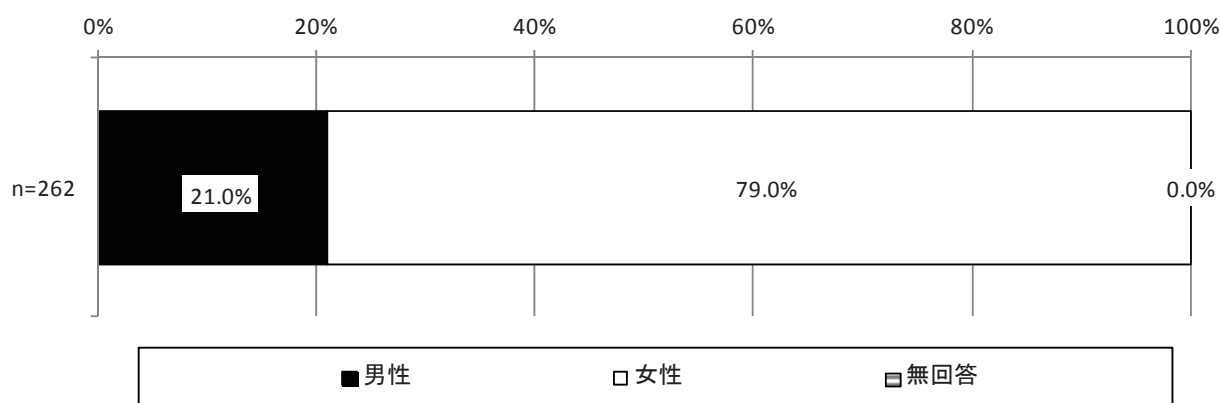
図表Ⅱ-2-2 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.1）n=262

	合計	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
全体	262 100.0%	24 9.2%	53 20.2%	73 27.9%	69 26.3%	43 16.4%	0 0.0%
リハビリ職員	33 100.0%	5 15.2%	11 33.3%	5 15.2%	9 27.3%	3 9.1%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	3 2.5%	7 5.9%	32 27.1%	42 35.6%	34 28.8%	0 0.0%
柔道整復師	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	8 8.3%	30 31.3%	32 33.3%	20 20.8%	6 6.3%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	3 14.3%	8 38.1%	7 33.3%	1 4.8%	2 9.5%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	3 18.8%	5 31.3%	6 37.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	1 5.0%	6 30.0%	6 30.0%	5 25.0%	2 10.0%	0 0.0%
なし	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 性別

性別は、「男性」が 21.0%、「女性」が 79.0%であった。

図表Ⅱ-2-3 年齢（単数回答）Ⅰ.2）n=262



保有している資格別に性別をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「介護職員実務者研修修了」は「男性」、「看護職員」は「女性」の割合が高くなっていた。

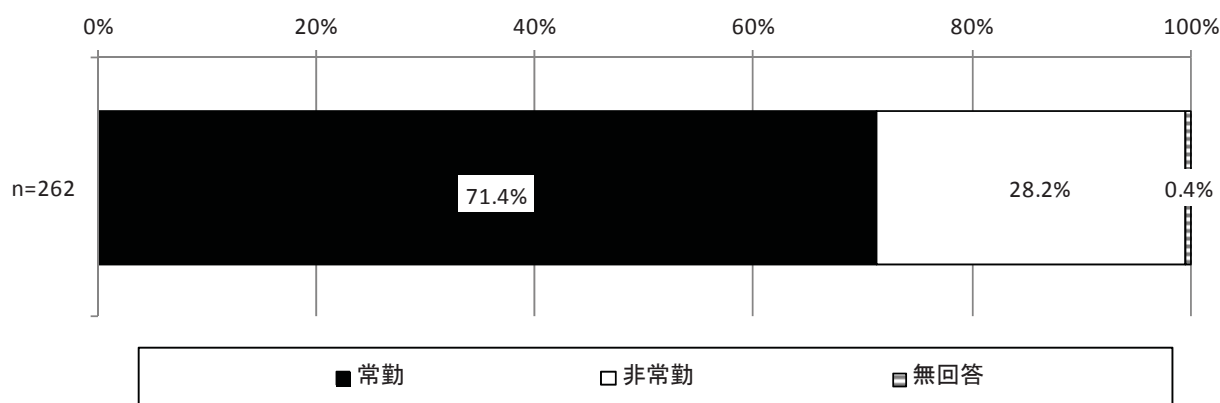
図表Ⅱ-2-4 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.2）n=262

	合計	男性	女性	無回答
全体	262 100.0%	55 21.0%	207 79.0%	0 0.0%
リハビリ職員	33 100.0%	12 36.4%	21 63.6%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	5 4.2%	113 95.8%	0 0.0%
柔道整復師	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	20 20.8%	76 79.2%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	10 47.6%	11 52.4%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	7 43.8%	9 56.3%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	5 25.0%	15 75.0%	0 0.0%
なし	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 勤務形態

勤務形態は、「常勤」が71.4%、「非常勤」が28.2%であった。

図表Ⅱ-2-5 勤務形態（単数回答）Ⅰ.3）n=262



保有している資格別に勤務形態をみると、全体と比較して「介護福祉士」「介護職員実務者研修修了」は「常勤」、「看護職員」は「非常勤」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-6 保有している資格別 勤務形態（単数回答）Ⅰ.3）n=262

	合計	常勤	非常勤	無回答
全体	262 100.0%	187 71.4%	74 28.2%	1 0.4%
リハビリ職員	33 100.0%	26 78.8%	7 21.2%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	67 56.8%	50 42.4%	1 0.8%
柔道整復師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	86 89.6%	10 10.4%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	20 95.2%	1 4.8%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	12 75.0%	4 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%
その他	20 100.0%	16 80.0%	4 20.0%	0 0.0%
なし	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

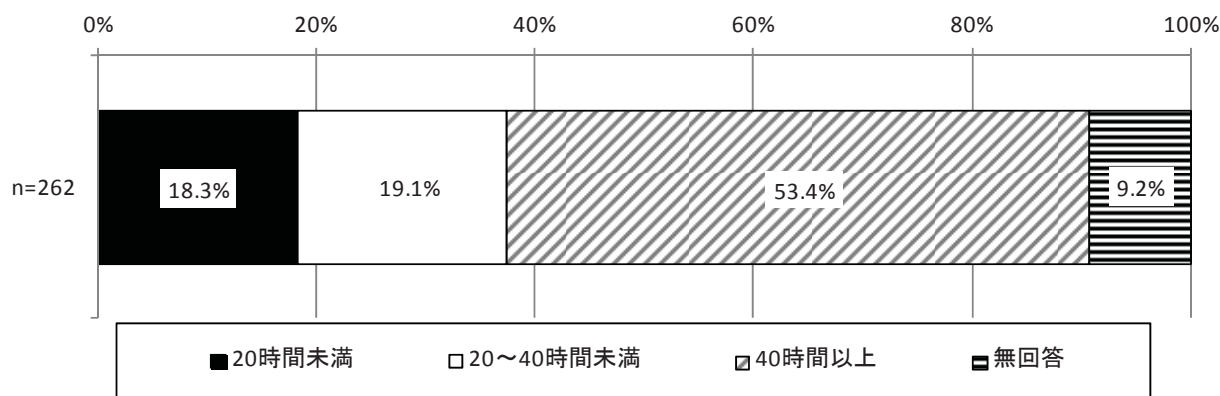
（４）１週間あたりの平均的な勤務時間

「１週間あたりの平均的な勤務時間」の平均値は、32.1 時間であった。「１週間あたりの平均的な勤務時間」は「40 時間以上」が 53.4%、「20～40 時間未満」が 19.1%で、「20 時間未満」が 18.3%であった。

図表Ⅱ-2-7 １週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4）n=238

件数	平均値	標準偏差	中央値
238	32.1	12.8	40.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	238	32.1	12.8	40.0
リハビリ職員	31	33.5	13.1	40.0
看護職員	106	29.0	13.2	37.5
柔道整復師	5	36.8	4.4	40.0
あん摩マッサージ指圧師	7	27.0	15.2	32.0
鍼灸師	2	36.0	5.7	36.0
介護福祉士	88	35.3	10.3	40.0
社会福祉士	9	31.6	15.4	40.0
精神保健福祉士	2	39.4	0.9	39.4
介護職員実務者研修修了	18	33.4	12.5	40.0
介護職員初任者研修修了	16	33.3	11.7	40.0
健康運動指導士	7	40.0		40.0
その他	19	34.9	16.4	40.0
なし	3	40.0		40.0



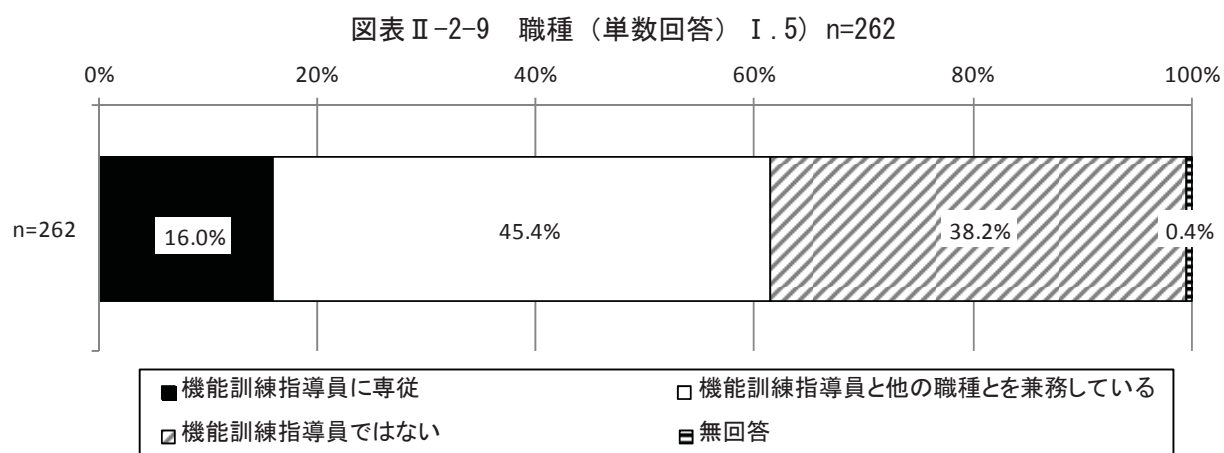
保有している資格別に1週間あたりの平均的な勤務時間をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「介護福祉士」「介護職員初任者研修修了」は「40時間以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-8 保有している資格別 1週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4）n=262

	合計	20時間未満	20～40時間未満	40時間以上	無回答
全体	262 100.0%	48 18.3%	50 19.1%	140 53.4%	24 9.2%
リハビリ職員	33 100.0%	6 18.2%	4 12.1%	21 63.6%	2 6.1%
看護職員	118 100.0%	30 25.4%	27 22.9%	49 41.5%	12 10.2%
柔道整復師	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	10 10.4%	13 13.5%	65 67.7%	8 8.3%
社会福祉士	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	3 14.3%	2 9.5%	13 61.9%	3 14.3%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	2 12.5%	3 18.8%	11 68.8%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	3 15.0%	4 20.0%	12 60.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(5) 職種

職種は、「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」は 45.4%、「機能訓練指導員ではない」は 38.2%であった。



保有している資格別に職種をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「機能訓練指導員に専従」、「看護職員」は「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」、「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「機能訓練指導員ではない」の割合が高くなっていた。

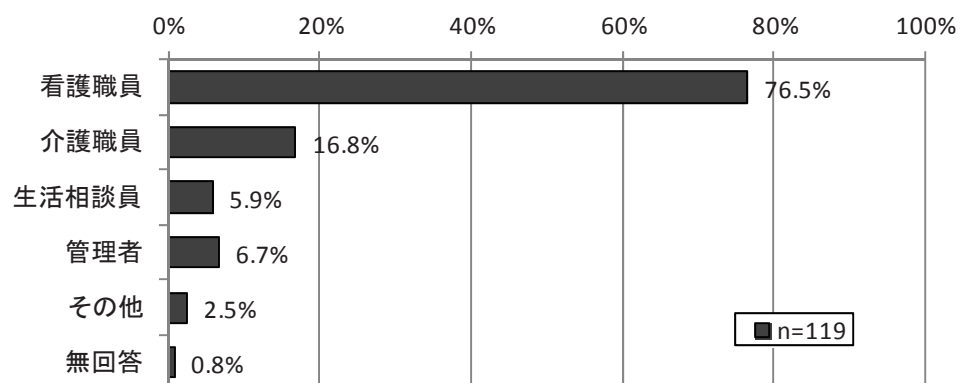
図表Ⅱ-2-10 保有している資格別 職種（単数回答）Ⅰ.5）n=262

	合計	機能訓練 指導員に 専従	機能訓練 指導員と 他の職種 とを兼務 している	機能訓練 指導員で はない	無回答
全体	262 100.0%	42 16.0%	119 45.4%	100 38.2%	1 0.4%
リハビリ職員	33 100.0%	17 51.5%	11 33.3%	4 12.1%	1 3.0%
看護職員	118 100.0%	15 12.7%	95 80.5%	8 6.8%	0 0.0%
柔道整復師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	1 1.0%	17 17.7%	78 81.3%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	0 0.0%	3 14.3%	18 85.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	1 6.3%	2 12.5%	12 75.0%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	0 0.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%
その他	20 100.0%	1 5.0%	7 35.0%	12 60.0%	0 0.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（６）機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種は、「看護職員」が 76.5%、「介護職員」が 16.8%であった。

図表Ⅱ-2-11 機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答）Ⅰ.5)① n=119



保有している資格別に、機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種をみると、「看護職員」は「看護職員」、「介護福祉士」は「介護職員」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-12 保有している資格別

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答） I.5)① n=119

	合計	看護職員	介護職員	生活相談員	管理者	その他	無回答
全体	119 100.0%	91 76.5%	20 16.8%	7 5.9%	8 6.7%	3 2.5%	1 0.8%
リハビリ職員	11 100.0%	4 36.4%	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%
看護職員	95 100.0%	91 95.8%	3 3.2%	1 1.1%	4 4.2%	2 2.1%	1 1.1%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	17 100.0%	2 11.8%	12 70.6%	4 23.5%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（７）機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）

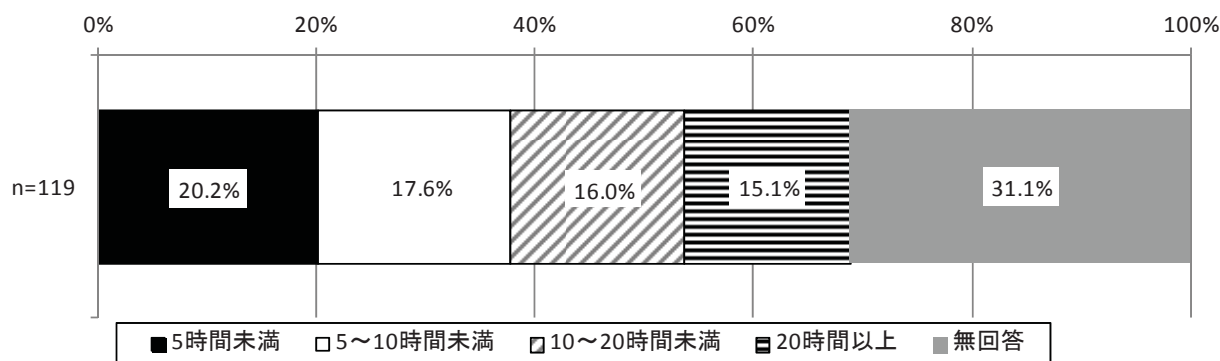
「機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）」の平均値は、11.1時間であった。「機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）」は「５時間未満」が 20.2%、「５～10 時間未満」が 17.6%で、「10～20 時間未満」が 16.0%であった。

図表Ⅱ-2-13 機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

件数	平均値	標準偏差	中央値
82	11.1	10.0	8.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	82	11.1	10.0	8.0
リハビリ職員	6	10.3	15.1	3.5
看護職員	66	11.0	10.1	8.0
柔道整復師	1	20.0		20.0
あん摩マッサージ指圧師	1	5.0		5.0
鍼灸師	0			
介護福祉士	11	15.1	9.7	12.0
社会福祉士	2	16.0	5.7	16.0
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	1	1.0		1.0
介護職員初任者研修修了	1	8.0		8.0
健康運動指導士	0			
その他	4	6.4	9.1	2.3

図表Ⅱ-2-14 機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)② n=119



図表Ⅱ-2-15 保有している資格別

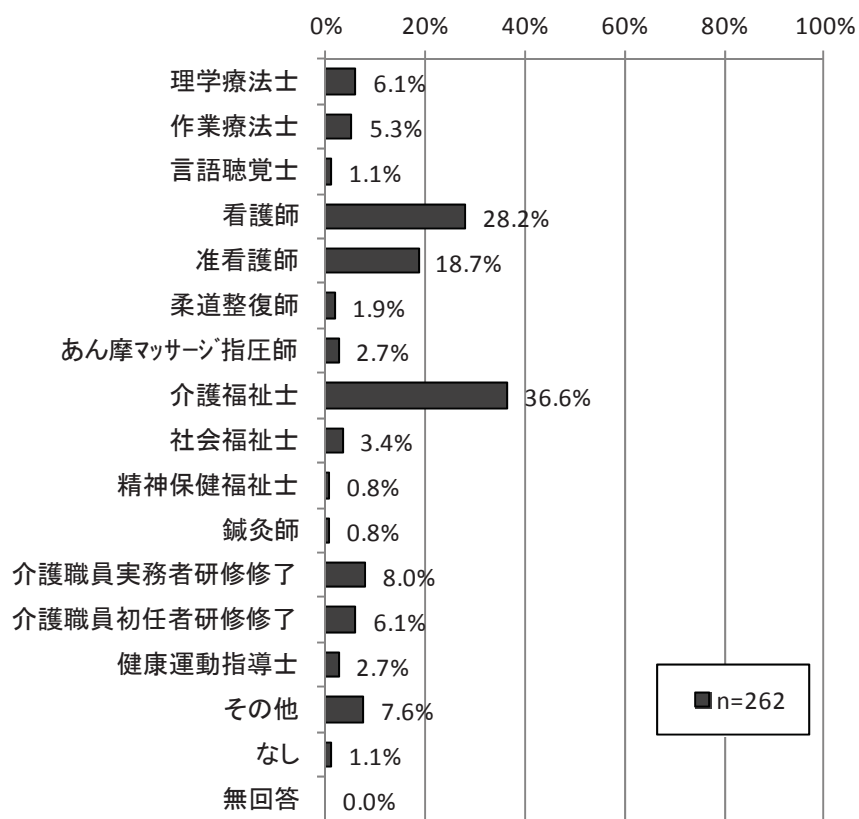
機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)② n=119

	合計	5 時間未 満	5～10 時 間未満	10～20 時 間未満	20 時間以 上	無回答
全体	119 100.0%	24 20.2%	21 17.6%	19 16.0%	18 15.1%	37 31.1%
リハビリ職員	11 100.0%	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	5 45.5%
看護職員	95 100.0%	19 20.0%	18 18.9%	16 16.8%	13 13.7%	29 30.5%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ 指圧師	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	17 100.0%	1 5.9%	2 11.8%	3 17.6%	5 29.4%	6 35.3%
社会福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
健康運動指導士	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
その他	7 100.0%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（８）保有している資格

保有している資格は、「介護福祉士」が 36.6%、「看護師」が 28.2%、「准看護師」が 18.7%であった。

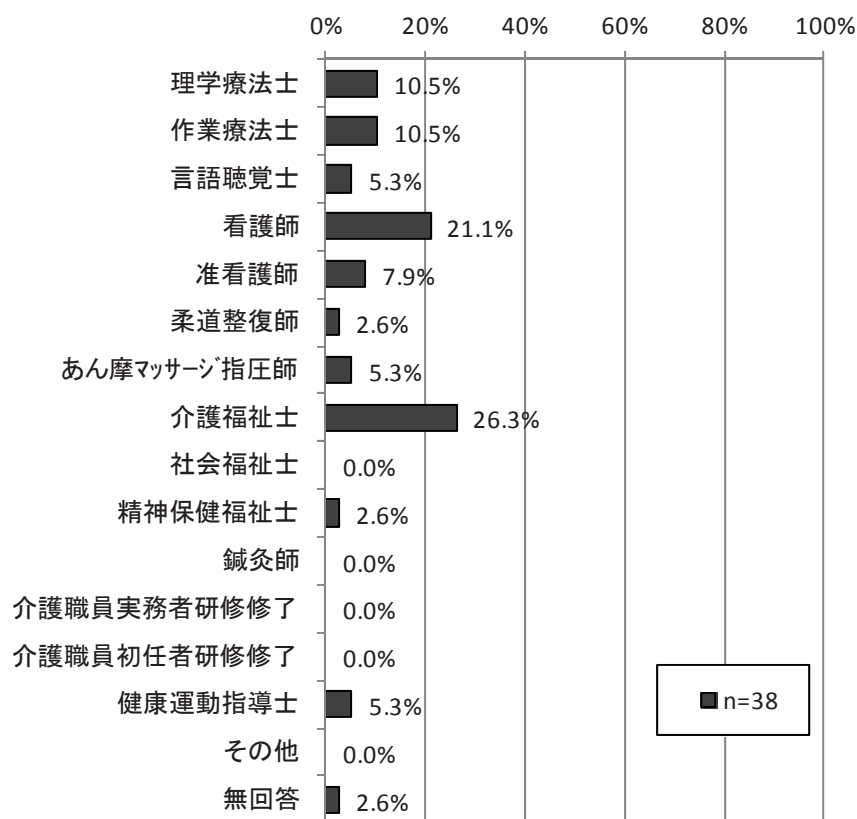
図表Ⅱ-2-16 保有している資格（複数回答）Ⅰ.6) n=262



（９）機能訓練を実施する上で役立っている資格

複数の資格を有している場合、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、をたずねたところ、回答が得られた 38 人について、その資格は、「介護福祉士」が 26.3%で最も割合が高く、次いで「看護師」が 21.1%、「理学療法士」と「作業療法士」が 10.5%であった。

図表Ⅱ-2-17 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=38



図表Ⅱ-2-18 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=38

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	准看護師	柔道整復師
全体	38 100.0%	4 10.5%	4 10.5%	2 5.3%	8 21.1%	3 7.9%	1 2.6%
リハビリ職員	11 100.0%	4 36.4%	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	15 100.0%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	8 53.3%	3 20.0%	0 0.0%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
あん摩マッサージ指圧師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	18 100.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%
社会福祉士	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
健康運動指導士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=38

	合計	あん摩マ ッサージ 指圧 師	介護福祉 士	社会福祉 士	精神保健 福祉士	鍼灸師	介護職員 実務者研 修修了
全体	38 100.0%	2 5.3%	10 26.3%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%
リハビリ職員	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ 指圧師	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	18 100.0%	0 0.0%	10 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	0 0.0%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=38

	合計	介護職員 初任者研 修修了	健康運動 指導士	その他	無回答
全体	38 100.0%	0 0.0%	2 5.3%	0 0.0%	1 2.6%
リハビリ職員	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%
看護職員	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	18 100.0%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%
社会福祉士	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
健康運動指導士	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
その他	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

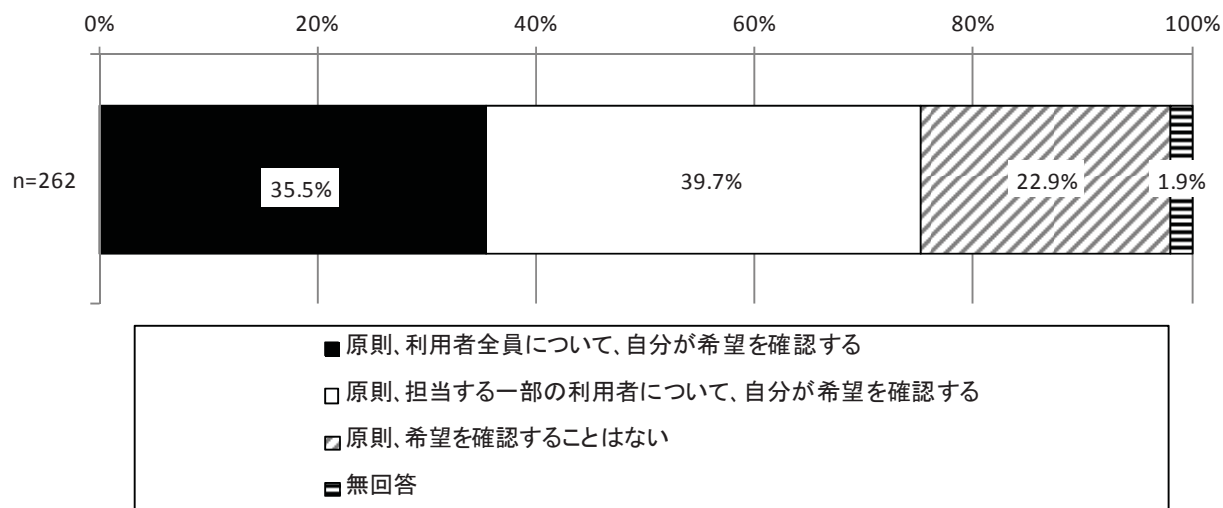
2. 機能訓練に関連して実施している業務

(1) ニーズ把握・情報収集

①機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」は 35.5%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する」は 39.7%、「原則、希望を確認することはない」は 22.9%であった。

図表Ⅱ-2-19 機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=262



図表Ⅱ-2-20 保有している資格別

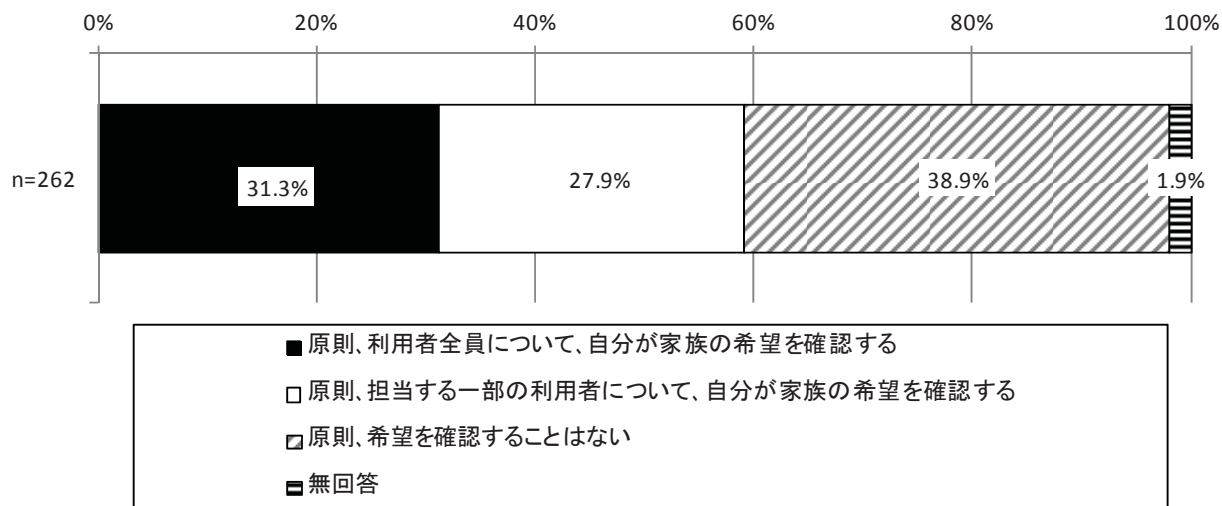
機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=262

	合計	原則、利用者全員について、自分が希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	262 100.0%	93 35.5%	104 39.7%	60 22.9%	5 1.9%
リハビリ職員	33 100.0%	13 39.4%	15 45.5%	5 15.2%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	41 34.7%	47 39.8%	28 23.7%	2 1.7%
柔道整復師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	38 39.6%	31 32.3%	26 27.1%	1 1.0%
社会福祉士	9 100.0%	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	6 28.6%	8 38.1%	4 19.0%	3 14.3%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	4 25.0%	8 50.0%	3 18.8%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	6 85.7%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
その他	20 100.0%	3 15.0%	12 60.0%	4 20.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

②機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」は31.3%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」は27.9%、「原則、希望を確認することはない」は38.9%であった。

図表Ⅱ-2-21 機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=262



保有している資格別に、機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」、「介護福祉士」は「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-22 保有している資格別

機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=262

	合計	原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	262 100.0%	82 31.3%	73 27.9%	102 38.9%	5 1.9%
リハビリ職員	33 100.0%	10 30.3%	13 39.4%	10 30.3%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	28 23.7%	34 28.8%	55 46.6%	1 0.8%
柔道整復師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	41 42.7%	22 22.9%	31 32.3%	2 2.1%
社会福祉士	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	7 33.3%	6 28.6%	5 23.8%	3 14.3%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	6 37.5%	6 37.5%	3 18.8%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	8 40.0%	3 15.0%	8 40.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

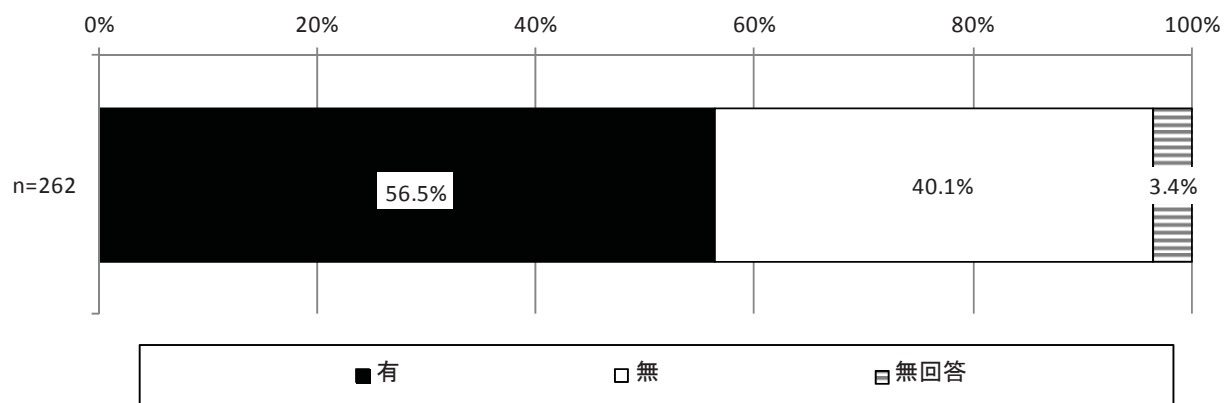
(2) アセスメント・評価

①機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをたずねたところ、「有」が 56.5%、「無」が 40.1%であった。

図表Ⅱ-2-23 機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

(単数回答) Ⅱ(2).9) n=262



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをみると、全体と比較して「介護福祉士」「介護職員実務者研修修了」は「無」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-24 保有している資格別

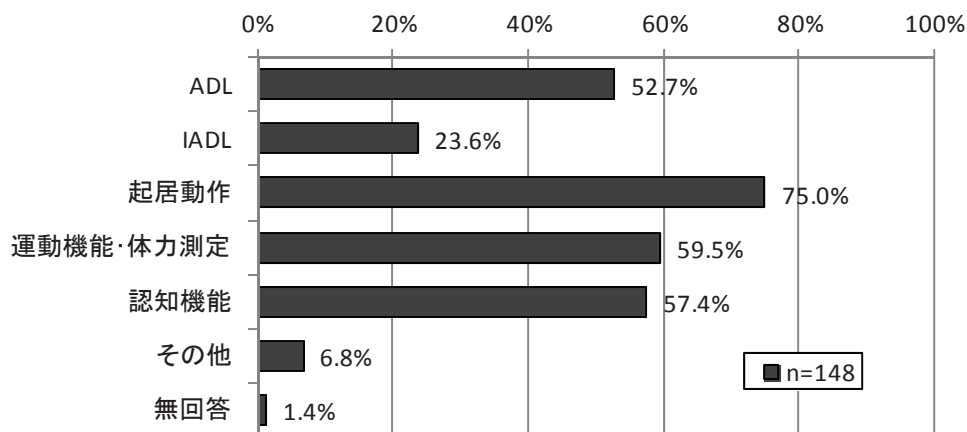
機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況（単数回答）Ⅱ(2).9) n=262

	合計	有	無	無回答
全体	262 100.0%	148 56.5%	105 40.1%	9 3.4%
リハビリ職員	33 100.0%	28 84.8%	4 12.1%	1 3.0%
看護職員	118 100.0%	74 62.7%	42 35.6%	2 1.7%
柔道整復師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	40 41.7%	51 53.1%	5 5.2%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	7 33.3%	11 52.4%	3 14.3%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	6 37.5%	9 56.3%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%
その他	20 100.0%	13 65.0%	5 25.0%	2 10.0%
なし	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

②機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをたずねたところ、「起居動作」が75.0%、「運動機能・体力測定」が59.5%、「認知機能」が57.4%、「ADL」が52.7%であった。

図表Ⅱ-2-25 機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=148



図表Ⅱ-2-26 保有している資格別 機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）

Ⅱ(2).9)① n=148

	合計	ADL	IADL	起居動作
全体	148 100.0%	78 52.7%	35 23.6%	111 75.0%
リハビリ職員	28 100.0%	16 57.1%	7 25.0%	23 82.1%
看護職員	74 100.0%	43 58.1%	18 24.3%	54 73.0%
柔道整復師	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	5 100.0%
あん摩マッサージ指圧師	6 100.0%	6 100.0%	5 83.3%	6 100.0%
鍼灸師	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護福祉士	40 100.0%	16 40.0%	4 10.0%	29 72.5%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%
介護職員実務者研修修了	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	6 85.7%
介護職員初任者研修修了	6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	5 83.3%
健康運動指導士	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
その他	13 100.0%	6 46.2%	3 23.1%	9 69.2%
なし	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目 (複数回答) II

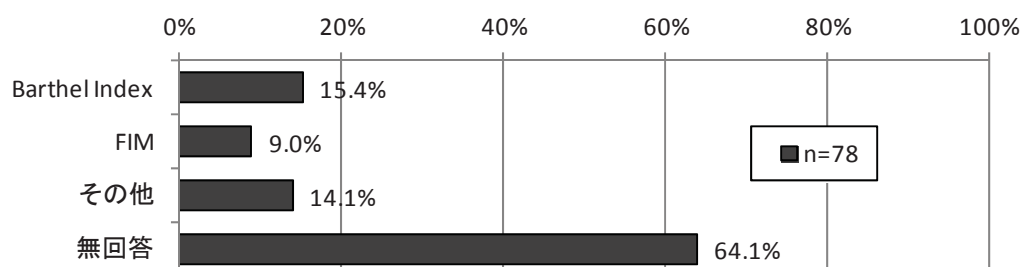
(2).9)① n=148

	合計	運動機能・ 体力測定	認知機能	その他	無回答
全体	148 100.0%	88 59.5%	85 57.4%	10 6.8%	2 1.4%
リハビリ職員	28 100.0%	19 67.9%	16 57.1%	6 21.4%	0 0.0%
看護職員	74 100.0%	47 63.5%	39 52.7%	2 2.7%	1 1.4%
柔道整復師	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	6 100.0%	5 83.3%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%
鍼灸師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	40 100.0%	19 47.5%	29 72.5%	1 2.5%	1 2.5%
社会福祉士	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 了	7 100.0%	3 42.9%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 了	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%
健康運動指導士	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	13 100.0%	5 38.5%	9 69.2%	1 7.7%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③ A D L の評価に活用している評価指標

A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Barthel Index」は 15.4%、「FIM」は 9.0%であった。

図表Ⅱ-2-27 A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=78



図表Ⅱ-2-28 保有している資格別

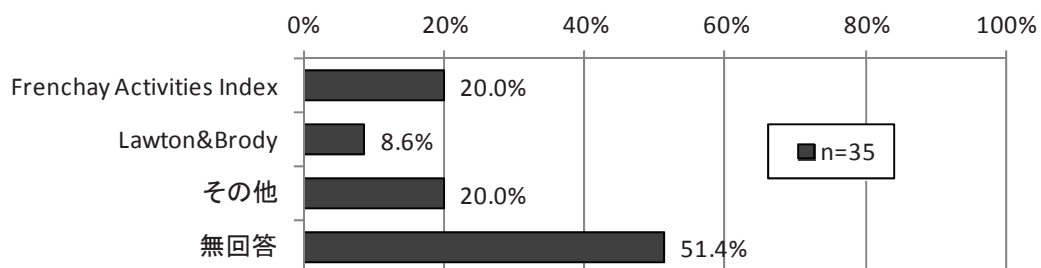
A D Lの評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=78

	合計	Barthel Index	FIM	その他	無回答
全体	78 100.0%	12 15.4%	7 9.0%	11 14.1%	50 64.1%
リハビリ職員	16 100.0%	5 31.3%	2 12.5%	2 12.5%	8 50.0%
看護職員	43 100.0%	4 9.3%	3 7.0%	4 9.3%	32 74.4%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
あん摩マッサージ指圧師	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%
鍼灸師	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	16 100.0%	4 25.0%	1 6.3%	2 12.5%	10 62.5%
社会福祉士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
介護職員初任者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
その他	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④ I A D L の評価に活用している評価指標

I A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Frenchay Activities Index」は 20.0%、「Lawton&Brody」は 8.6%であった。

図表Ⅱ-2-29 I A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=35



図表Ⅱ-2-30 保有している資格別

Ⅰ A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ (2). 9) ① n=35

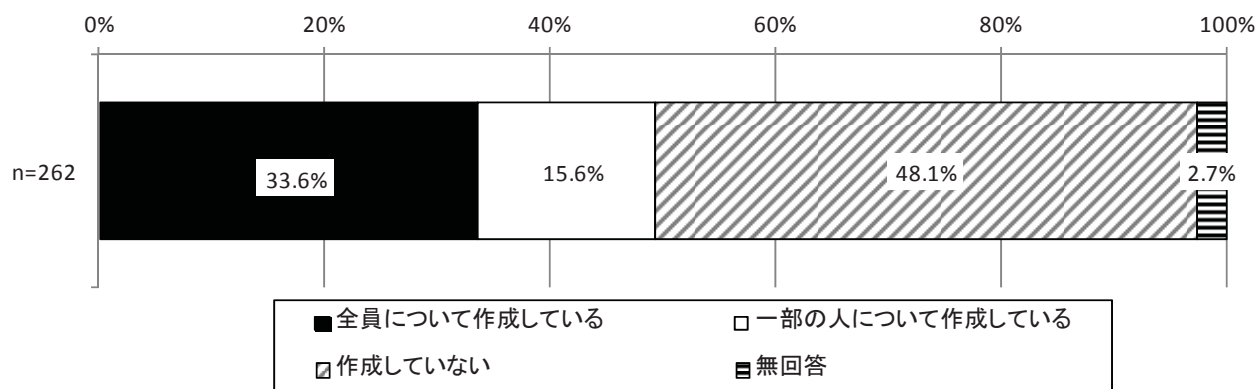
	合計	Frenchay Activities Index	Lawton&Brody	その他	無回答
全体	35 100.0%	7 20.0%	3 8.6%	7 20.0%	18 51.4%
リハビリ職員	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	3 42.9%
看護職員	18 100.0%	4 22.2%	1 5.6%	2 11.1%	11 61.1%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
あん摩マッサージ指 圧師	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%
社会福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者 研修修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者 研修修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 機能訓練計画の作成

①事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況

事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをたずねたところ、「全員について作成している」は 33.6%、「一部の人について作成している」は 15.6%、「作成していない」は 48.1%であった。

図表Ⅱ-2-31 事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=262



保有している資格別に、事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「全員について作成している」「一部の人について作成している」、「介護福祉士」は「作成していない」の割合が高くなっていた。

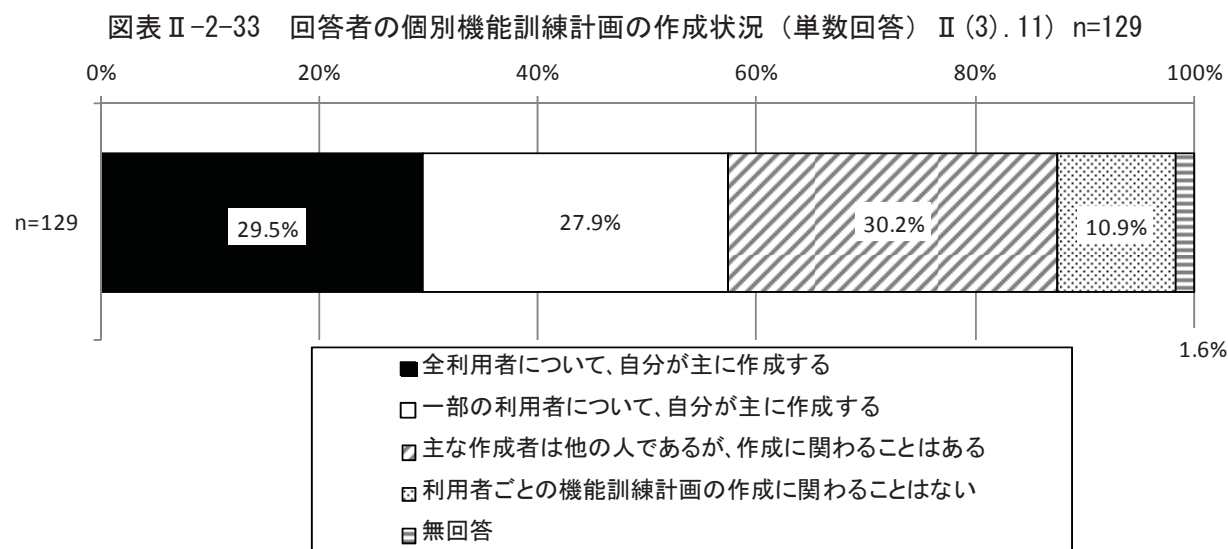
図表Ⅱ-2-32 保有している資格別

事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=262

	合計	全員について作成している	一部の人について作成している	作成していない	無回答
全体	262 100.0%	88 33.6%	41 15.6%	126 48.1%	7 2.7%
リハビリ職員	33 100.0%	17 51.5%	11 33.3%	4 12.1%	1 3.0%
看護職員	118 100.0%	39 33.1%	24 20.3%	54 45.8%	1 0.8%
柔道整復師	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	30 31.3%	5 5.2%	59 61.5%	2 2.1%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	5 55.6%	1 11.1%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	5 23.8%	2 9.5%	11 52.4%	3 14.3%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	1 6.3%	4 25.0%	8 50.0%	3 18.8%
健康運動指導士	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%
その他	20 100.0%	9 45.0%	4 20.0%	6 30.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

②回答者の個別機能訓練計画の作成状況

回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをたずねたところ、「全利用者について、自分が主に作成する」は 29.5%、「一部の利用者について、自分が主に作成する」は 27.9%、「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」は 30.2%、「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」は 10.9%であった。回答者が主に計画を作成した利用者数の平均値は 12.7 人であった。



図表Ⅱ-2-34 回答者が主に計画を作成した利用者数（数値回答）Ⅱ(3).11) n=23

件数	平均値	標準偏差	中央値
23	12.7	26.8	5.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	23	12.7	26.8	5.0
リハビリ職員	6	32.0	49.6	10.5
看護職員	12	5.3	6.5	3.5
柔道整復師	1	7.0		7.0
あん摩マッサージ指圧師	1	1.0		1.0
鍼灸師	0			
介護福祉士	4	7.5	3.3	8.5
社会福祉士	1	7.0		7.0
精神保健福祉士	1	5.0		5.0
介護職員実務者研修修了	1	8.0		8.0
介護職員初任者研修修了	0			
健康運動指導士	0			
その他	3	2.7	1.5	3.0

保有している資格別に、回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「一部の利用者について、自分が主に作成する」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-35 保有している資格別

回答者の個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).11) n=129

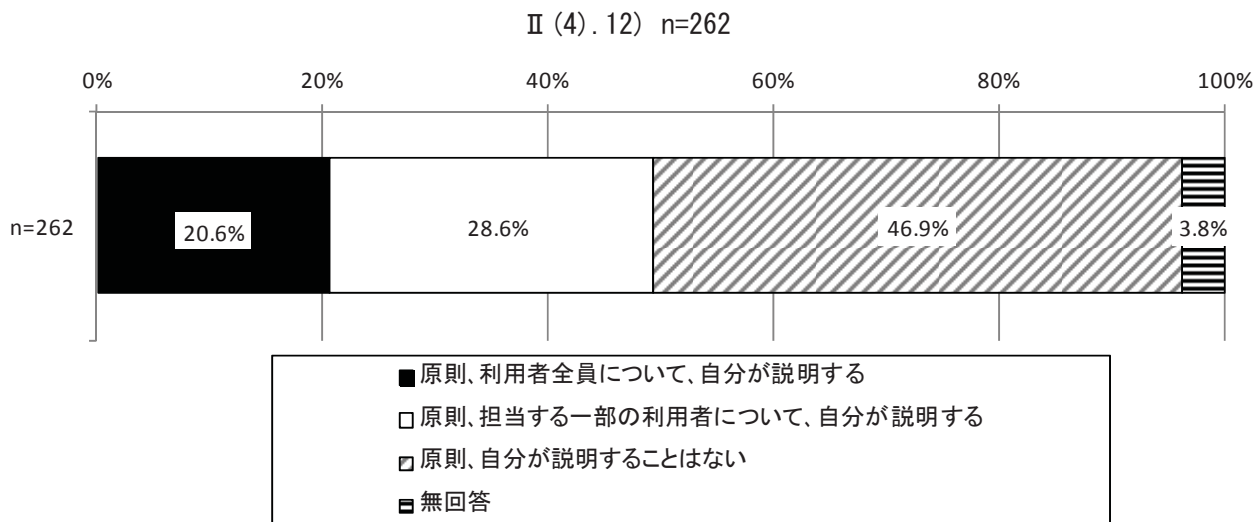
	合計	全利用者について、自分が主に作成する	一部の利用者について、自分が主に作成する	主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある	利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない	無回答
全体	129 100.0%	38 29.5%	36 27.9%	39 30.2%	14 10.9%	2 1.6%
リハビリ職員	28 100.0%	9 32.1%	13 46.4%	6 21.4%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	63 100.0%	16 25.4%	19 30.2%	22 34.9%	4 6.3%	2 3.2%
柔道整復師	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	35 100.0%	13 37.1%	5 14.3%	8 22.9%	9 25.7%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%
健康運動指導士	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	13 100.0%	2 15.4%	4 30.8%	7 53.8%	0 0.0%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 利用者または家族等への説明

①回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況

回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が説明する」は 20.6%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する」は 28.6%、「原則、自分が説明することはない」は 46.9%であった。

図表Ⅱ-2-36 回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）



図表Ⅱ-2-37 保有している資格別

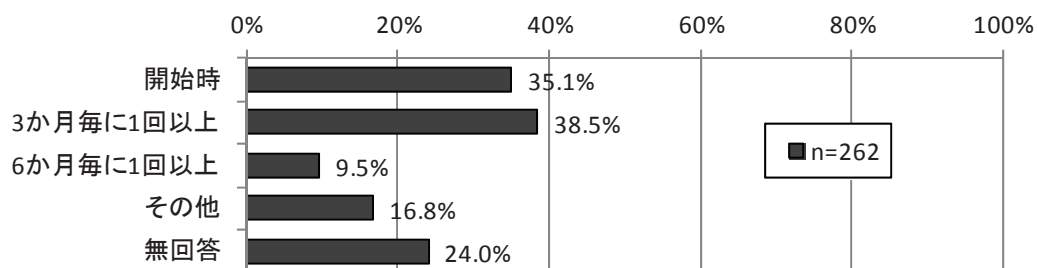
回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）Ⅱ(4).12) n=262

	合計	原則、利用者全員について、自分が説明する	原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する	原則、自分が説明することはない	無回答
全体	262 100.0%	54 20.6%	75 28.6%	123 46.9%	10 3.8%
リハビリ職員	33 100.0%	9 27.3%	12 36.4%	12 36.4%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	22 18.6%	32 27.1%	61 51.7%	3 2.5%
柔道整復師	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	21 21.9%	27 28.1%	44 45.8%	4 4.2%
社会福祉士	9 100.0%	1 11.1%	4 44.4%	3 33.3%	1 11.1%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	4 19.0%	8 38.1%	6 28.6%	3 14.3%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	4 25.0%	6 37.5%	5 31.3%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%
その他	20 100.0%	1 5.0%	7 35.0%	9 45.0%	3 15.0%
なし	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

②利用者や家族等への説明頻度

利用者や家族等への説明の頻度は、「3 か月毎に1 回以上」が 38.5%、「開始時」が 35.1%であった。

図表Ⅱ-2-38 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=262



保有している資格別に、利用者や家族等への説明の頻度をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「3 か月毎に1 回以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-39 保有している資格別 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=262

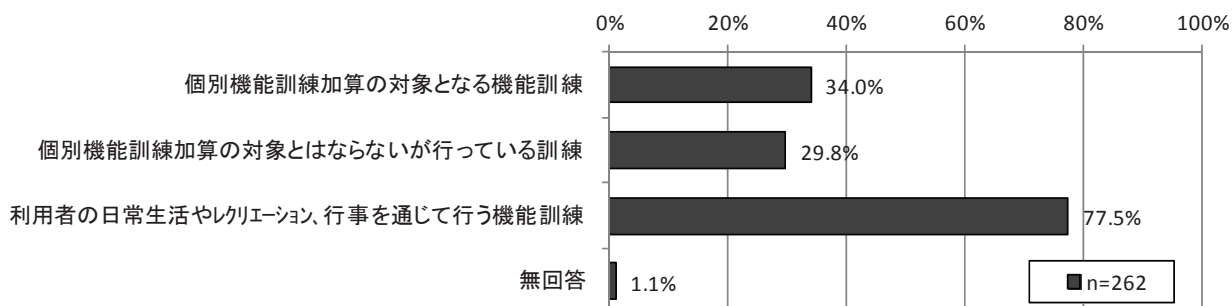
	合計	開始時	3 か月毎 に1 回以上	6 か月毎 に1 回以上	その他	無回答
全体	262 100.0%	92 35.1%	101 38.5%	25 9.5%	44 16.8%	63 24.0%
リハビリ職員	33 100.0%	12 36.4%	22 66.7%	2 6.1%	1 3.0%	5 15.2%
看護職員	118 100.0%	44 37.3%	44 37.3%	11 9.3%	22 18.6%	29 24.6%
柔道整復師	5 100.0%	3 60.0%	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	5 71.4%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%
鍼灸師	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	32 33.3%	34 35.4%	8 8.3%	17 17.7%	24 25.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	4 19.0%	7 33.3%	4 19.0%	4 19.0%	5 23.8%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	5 31.3%	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%	5 31.3%
健康運動指導士	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	3 42.9%	2 28.6%
その他	20 100.0%	8 40.0%	7 35.0%	1 5.0%	4 20.0%	4 20.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(5) 機能訓練の実施状況

①回答者が実施することがある機能訓練

回答者が実施することがある機能訓練は、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」が 77.5%で最も割合が高く、次いで「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」が 34.0%、「個別機能訓練加算の対象とはならないが行っている訓練」が 29.8%であった。

図表Ⅱ-2-40 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ(5).14) n=262



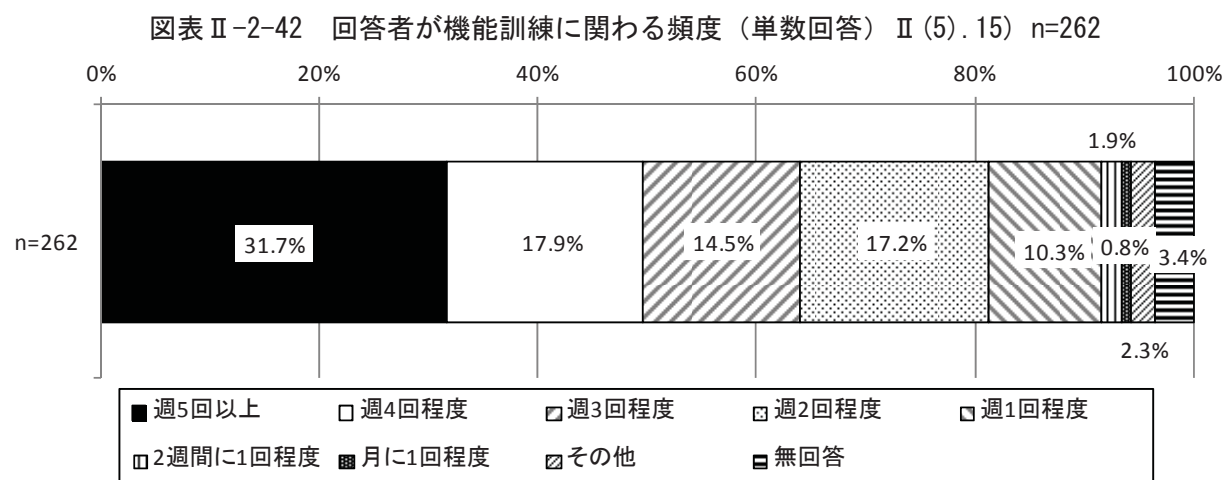
保有している資格別に回答者が実施することがある機能訓練をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「看護職員」は「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」、「介護福祉士」「介護職員実務者研修修了」「介護職員初任者研修修了」は「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-41 保有している資格別 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ（5）. 14） n=262

	合計	個別機能 訓練加算 の対象と なる機能 訓練	個別機能 訓練加算 の対象と はならな いが行っ ている訓 練	利用者の 日常生活 やレクリエ ーション、行事 を通じて 行う機能 訓練	無回答
全体	262 100.0%	89 34.0%	78 29.8%	203 77.5%	3 1.1%
リハビリ職員	33 100.0%	23 69.7%	8 24.2%	19 57.6%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	58 49.2%	41 34.7%	85 72.0%	2 1.7%
柔道整復師	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	4 57.1%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	9 9.4%	24 25.0%	89 92.7%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	8 88.9%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	1 4.8%	3 14.3%	20 95.2%	1 4.8%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	3 18.8%	3 18.8%	15 93.8%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	3 42.9%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%
その他	20 100.0%	3 15.0%	6 30.0%	14 70.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

②回答者が機能訓練に関わる頻度

回答者が機能訓練に関わる頻度は、「週5回以上」が31.7%、「週4回程度」が17.9%、「週2回程度」が17.2%であった。



保有している資格別に、回答者が機能訓練に関わる頻度をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「週5回以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-43 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度（単数回答）Ⅱ(5).15) n=262

	合計	週5回以上	週4回程度	週3回程度	週2回程度	週1回程度
全体	262 100.0%	83 31.7%	47 17.9%	38 14.5%	45 17.2%	27 10.3%
リハビリ職員	33 100.0%	16 48.5%	0 0.0%	5 15.2%	1 3.0%	5 15.2%
看護職員	118 100.0%	33 28.0%	23 19.5%	20 16.9%	25 21.2%	10 8.5%
柔道整復師	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	32 33.3%	17 17.7%	8 8.3%	18 18.8%	14 14.6%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	4 19.0%	4 19.0%	1 4.8%	2 9.5%	2 9.5%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	3 18.8%	7 43.8%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%
その他	20 100.0%	6 30.0%	0 0.0%	4 20.0%	3 15.0%	2 10.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

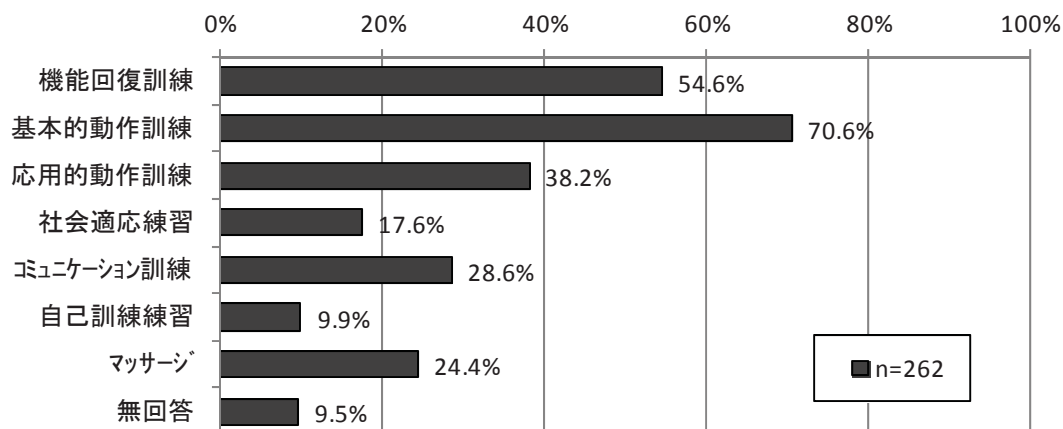
(つづき) 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度 (単数回答) II (5).15) n=262

	合計	2週間に1 回程度	月に1回 程度	その他	無回答
全体	262 100.0%	5 1.9%	2 0.8%	6 2.3%	9 3.4%
リハビリ職員	33 100.0%	3 9.1%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%
看護職員	118 100.0%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	4 3.4%
柔道整復師	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	1 1.0%	0 0.0%	3 3.1%	3 3.1%
社会福祉士	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%	5 23.8%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	2 10.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③回答者が実施した機能訓練の具体的内容

回答者が平成 28 年 10～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容は、「基本的動作訓練」が 70.6%で最も割合が高く、次いで「機能回復訓練」が 54.6%、「応用的動作訓練」が 38.2%、「コミュニケーション訓練」が 28.6%であった。

図表Ⅱ-2-44 回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=262



保有している資格別に、回答者が平成 28 年 10～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「機能回復訓練」「自己訓練練習」「マッサージ」、看護職員は「機能回復訓練」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-45 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=262

	合計	機能回復 訓練	基本的動 作訓練	応用的動 作訓練	社会適応 練習
全体	262 100.0%	143 54.6%	185 70.6%	100 38.2%	46 17.6%
リハビリ職員	33 100.0%	26 78.8%	26 78.8%	15 45.5%	7 21.2%
看護職員	118 100.0%	76 64.4%	92 78.0%	38 32.2%	15 12.7%
柔道整復師	5 100.0%	5 100.0%	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	5 71.4%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	37 38.5%	57 59.4%	43 44.8%	25 26.0%
社会福祉士	9 100.0%	4 44.4%	6 66.7%	3 33.3%	1 11.1%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	7 33.3%	14 66.7%	9 42.9%	3 14.3%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	6 37.5%	11 68.8%	4 25.0%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	2 28.6%
その他	20 100.0%	10 50.0%	13 65.0%	6 30.0%	2 10.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容 (複数回答) II (5). 16) n=262

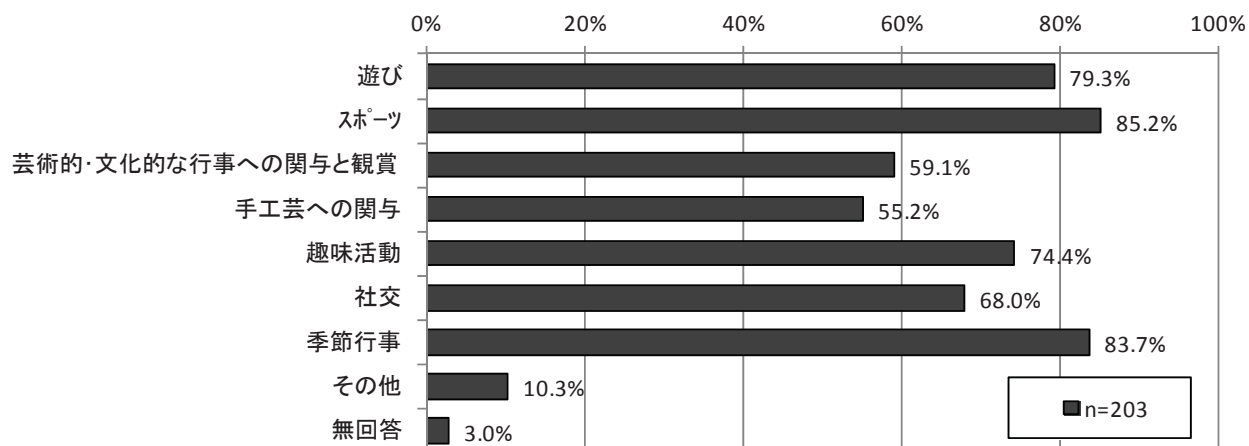
	合計	コミュニケーション訓練	自己訓練 練習	マッサージ	無回答
全体	262 100.0%	75 28.6%	26 9.9%	64 24.4%	25 9.5%
リハビリ職員	33 100.0%	5 15.2%	12 36.4%	14 42.4%	1 3.0%
看護職員	118 100.0%	37 31.4%	5 4.2%	32 27.1%	6 5.1%
柔道整復師	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	7 100.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	33 34.4%	8 8.3%	10 10.4%	14 14.6%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%
精神保健福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	6 28.6%	1 4.8%	3 14.3%	5 23.8%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	6 37.5%	1 6.3%	3 18.8%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%
その他	20 100.0%	4 20.0%	0 0.0%	2 10.0%	2 10.0%
なし	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練（指導）

回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等は、「スポーツ」が 85.2%で最も割合が高く、次いで「季節行事」が 83.7%、「遊び」が 79.3%、「趣味活動」が 74.4%であった。

図表Ⅱ-2-46 要支援1または2の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）

（複数回答）Ⅱ（5）.17） n=203



保有している資格別に、回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「芸術的・文化的な行事への関与と観賞」「社交」、「介護福祉士」は「芸術的・文化的な行事への関与と観賞」「趣味活動」「季節行事」、「介護職員実務者研修了」は「芸術的・文化的な行事への関与と観賞」、「介護職員初任者研修了」は「スポーツ」「芸術的・文化的な行事への関与と観賞」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-47 保有している資格別 要支援１または２の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）
（複数回答）Ⅱ(5).17) n=203

	合計	遊び	スポーツ	芸術的・ 文化的な 行事への 関与と観 賞	手工芸へ の関与	趣味活動
全体	203 100.0%	161 79.3%	173 85.2%	120 59.1%	112 55.2%	151 74.4%
リハビリ職員	19 100.0%	16 84.2%	18 94.7%	14 73.7%	12 63.2%	15 78.9%
看護職員	85 100.0%	60 70.6%	67 78.8%	39 45.9%	37 43.5%	52 61.2%
柔道整復師	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	3 100.0%
あん摩マッサージ指圧師	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	89 100.0%	79 88.8%	80 89.9%	62 69.7%	57 64.0%	76 85.4%
社会福祉士	8 100.0%	6 75.0%	6 75.0%	6 75.0%	7 87.5%	7 87.5%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%
介護職員実務者研修 修了	20 100.0%	15 75.0%	18 90.0%	16 80.0%	9 45.0%	16 80.0%
介護職員初任者研修 修了	15 100.0%	13 86.7%	15 100.0%	11 73.3%	8 53.3%	12 80.0%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	4 100.0%
その他	14 100.0%	13 92.9%	12 85.7%	11 78.6%	7 50.0%	10 71.4%
なし	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	3 100.0%	3 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表Ⅱ-2-48 (つづき) 保有している資格別

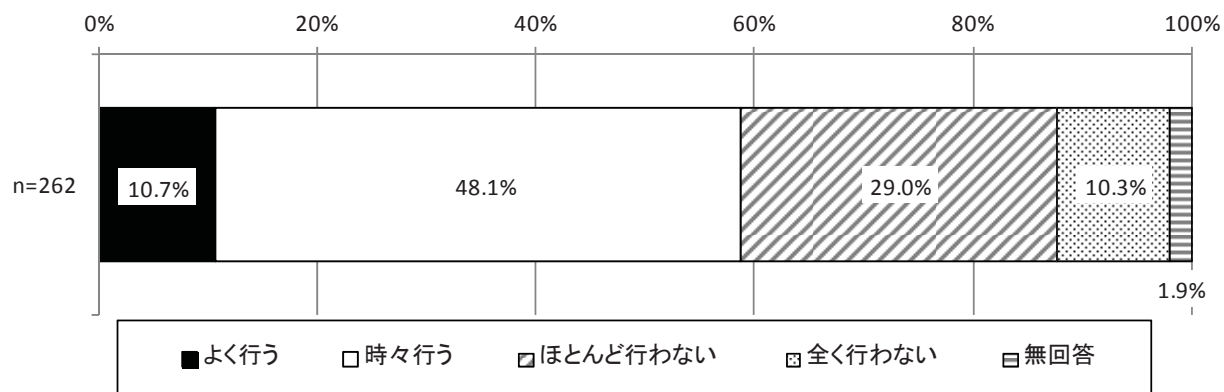
要支援1または2の利用者に対して回答者が行う機能訓練(指導) (複数回答) Ⅱ(5).17) n=203

	合計	社交	季節行事	その他	無回答
全体	203 100.0%	138 68.0%	170 83.7%	21 10.3%	6 3.0%
リハビリ職員	19 100.0%	16 84.2%	15 78.9%	3 15.8%	0 0.0%
看護職員	85 100.0%	53 62.4%	66 77.6%	6 7.1%	3 3.5%
柔道整復師	3 100.0%	2 66.7%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	89 100.0%	67 75.3%	82 92.1%	10 11.2%	2 2.2%
社会福祉士	8 100.0%	7 87.5%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	20 100.0%	12 60.0%	16 80.0%	3 15.0%	1 5.0%
介護職員初任者研修 修了	15 100.0%	10 66.7%	12 80.0%	1 6.7%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	14 100.0%	10 71.4%	12 85.7%	1 7.1%	0 0.0%
なし	3 100.0%	2 66.7%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑤他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況

回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをたずねたところ、「時々行う」が48.1%、「ほとんど行わない」が29.0%であった。

図表Ⅱ-2-49 他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=262



保有している資格別に、回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「時々行う」、「介護職員実務者研修修了」は「ほとんど行わない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-50 保有している資格別

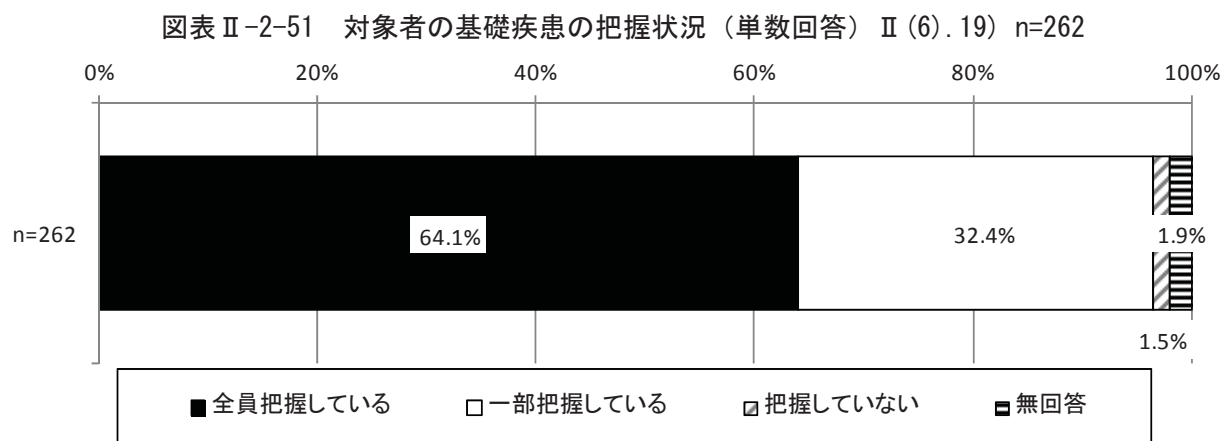
他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=262

	合計	よく行う	時々行う	ほとんど 行わない	全く行わ ない	無回答
全体	262 100.0%	28 10.7%	126 48.1%	76 29.0%	27 10.3%	5 1.9%
リハビリ職員	33 100.0%	3 9.1%	23 69.7%	6 18.2%	1 3.0%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	11 9.3%	65 55.1%	31 26.3%	8 6.8%	3 2.5%
柔道整復師	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	13 13.5%	35 36.5%	32 33.3%	16 16.7%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	2 9.5%	5 23.8%	10 47.6%	2 9.5%	2 9.5%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	1 6.3%	7 43.8%	5 31.3%	2 12.5%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%
その他	20 100.0%	2 10.0%	10 50.0%	7 35.0%	0 0.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(6) 機能訓練を実施する際の留意点

①対象者の基礎疾患の把握状況

回答者の対象者の基礎疾患の把握状況が、「全員把握している」が64.1%、「一部把握している」が32.4%であった。



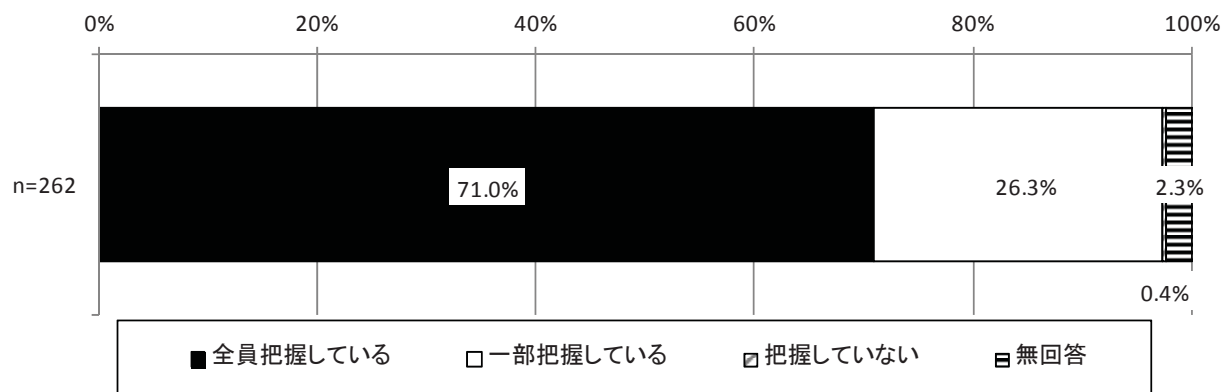
図表Ⅱ-2-52 保有している資格別 対象者の基礎疾患の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).19) n=262

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	262 100.0%	168 64.1%	85 32.4%	4 1.5%	5 1.9%
リハビリ職員	33 100.0%	20 60.6%	13 39.4%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	82 69.5%	32 27.1%	0 0.0%	4 3.4%
柔道整復師	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	61 63.5%	31 32.3%	4 4.2%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	12 57.1%	8 38.1%	0 0.0%	1 4.8%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	8 50.0%	8 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	11 55.0%	8 40.0%	0 0.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

②対象者が認知症の場合の留意点の把握状況

回答者の対象者が認知症の場合の留意点の把握状況は、「全員把握している」が 71.0%、「一部把握している」が 26.3%であった。

図表Ⅱ-2-53 対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20) n=262



保有している資格別に、回答者の対象者が認知症の場合の留意点の把握状況をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「一部把握している」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-54 保有している資格別

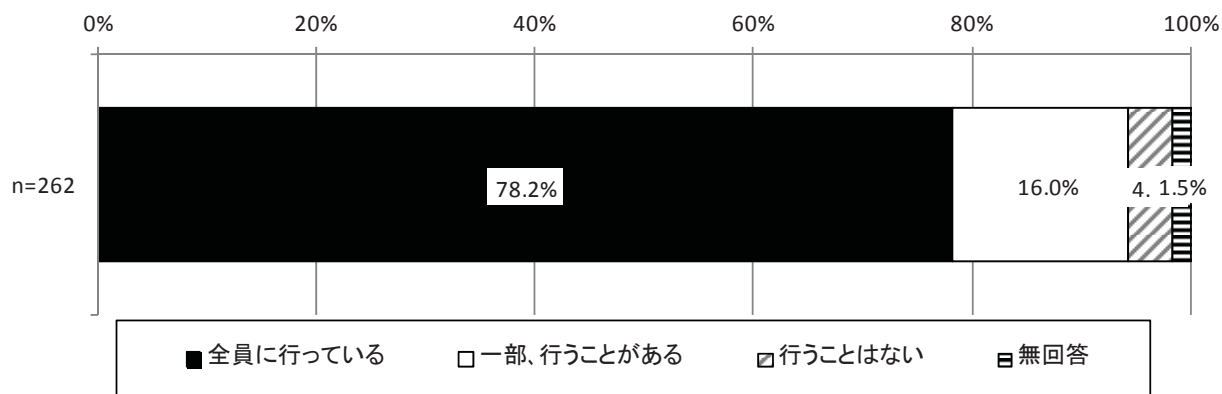
対象者の認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20 n=262

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	262 100.0%	186 71.0%	69 26.3%	1 0.4%	6 2.3%
リハビリ職員	33 100.0%	19 57.6%	13 39.4%	0 0.0%	1 3.0%
看護職員	118 100.0%	88 74.6%	27 22.9%	0 0.0%	3 2.5%
柔道整復師	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	71 74.0%	22 22.9%	1 1.0%	2 2.1%
社会福祉士	9 100.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	10 47.6%	9 42.9%	0 0.0%	2 9.5%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	11 68.8%	4 25.0%	0 0.0%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	12 60.0%	6 30.0%	0 0.0%	2 10.0%
なし	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況

回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをたずねたところ、「全員に行っている」が78.2%、「一部、行うことがある」が16.0%であった。

図表Ⅱ-2-55 機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=262



図表Ⅱ-2-56 保有している資格別

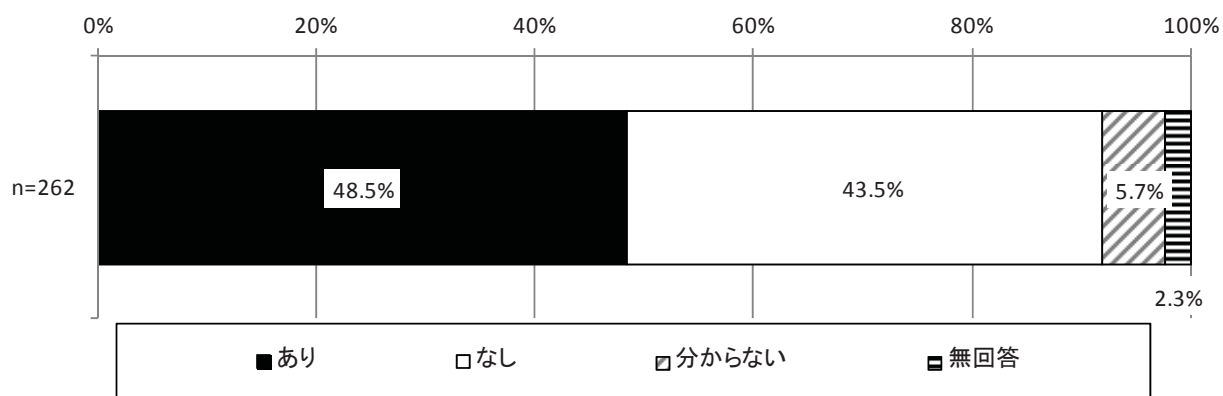
機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=262

	合計	全員に行 っている	一部、行 うことが ある	行うこと はない	無回答
全体	262 100.0%	205 78.2%	42 16.0%	11 4.2%	4 1.5%
リハビリ職員	33 100.0%	27 81.8%	5 15.2%	1 3.0%	0 0.0%
看護職員	118 100.0%	102 86.4%	12 10.2%	1 0.8%	3 2.5%
柔道整復師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	67 69.8%	22 22.9%	7 7.3%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	21 100.0%	13 61.9%	6 28.6%	1 4.8%	1 4.8%
介護職員初任者研修 修了	16 100.0%	10 62.5%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	14 70.0%	3 15.0%	2 10.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④機能訓練の際のヒヤリハットの経験

回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験は、「あり」は48.5%であった。

図表Ⅱ-2-57 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=262



保有している資格別に、回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「介護職員初任者研修修了」は「あり」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-2-58 保有している資格別 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=262

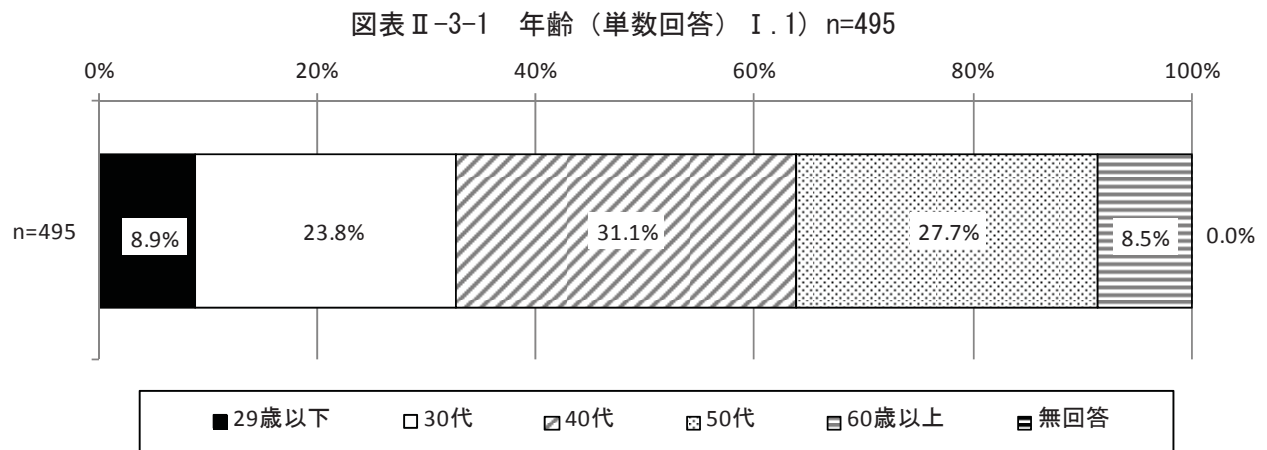
	合計	あり	なし	分からない	無回答
全体	262 100.0%	127 48.5%	114 43.5%	15 5.7%	6 2.3%
リハビリ職員	33 100.0%	27 81.8%	5 15.2%	0 0.0%	1 3.0%
看護職員	118 100.0%	46 39.0%	62 52.5%	7 5.9%	3 2.5%
柔道整復師	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	96 100.0%	51 53.1%	36 37.5%	8 8.3%	1 1.0%
社会福祉士	9 100.0%	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
精神保健福祉士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	21 100.0%	8 38.1%	10 47.6%	2 9.5%	1 4.8%
介護職員初任者研修修了	16 100.0%	11 68.8%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%
健康運動指導士	7 100.0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 100.0%	9 45.0%	9 45.0%	1 5.0%	1 5.0%
なし	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

第3節 特別養護老人ホーム

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年齢は、「40代」が31.1%、「50代」が27.7%、「30代」が23.8%であった。



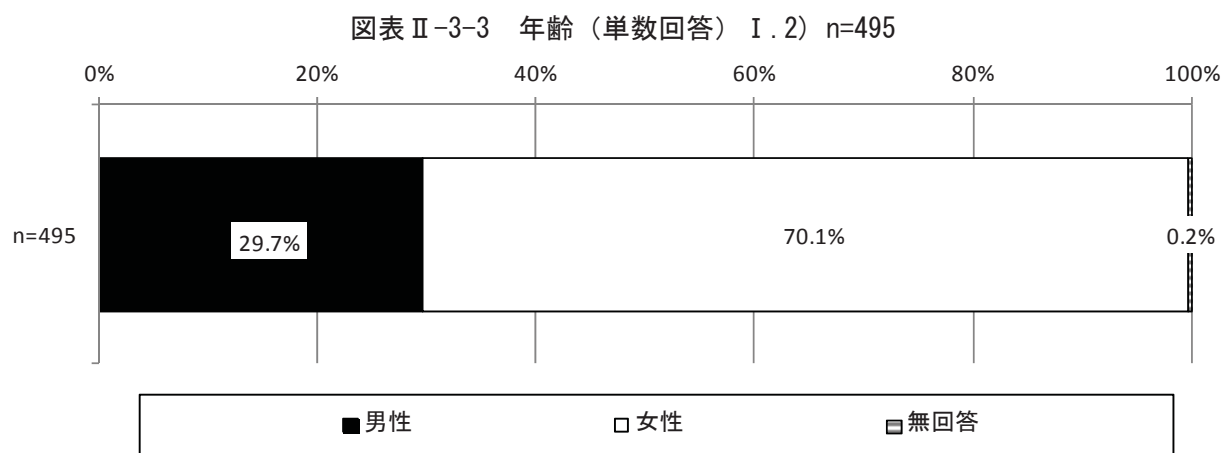
保有している資格別に年齢をみると、全体と比較して、「介護福祉士」は「30代」、「リハビリ職員」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「40代」、「看護職員」は「50代」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-2 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.1）n=495

	合計	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
全体	495 100.0%	44 8.9%	118 23.8%	154 31.1%	137 27.7%	42 8.5%	0 0.0%
リハビリ職員	121 100.0%	17 14.0%	36 29.8%	49 40.5%	15 12.4%	4 3.3%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	7 3.1%	30 13.2%	59 25.9%	99 43.4%	33 14.5%	0 0.0%
柔道整復師	32 100.0%	9 28.1%	9 28.1%	10 31.3%	4 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	0 0.0%	5 13.2%	18 47.4%	12 31.6%	3 7.9%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	0 0.0%	4 19.0%	10 47.6%	6 28.6%	1 4.8%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	9 9.3%	40 41.2%	29 29.9%	13 13.4%	6 6.2%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	3 27.3%	2 18.2%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	2 7.1%	6 21.4%	9 32.1%	8 28.6%	3 10.7%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 性別

性別は、「男性」が 29.7%、「女性」が 70.1%であった。



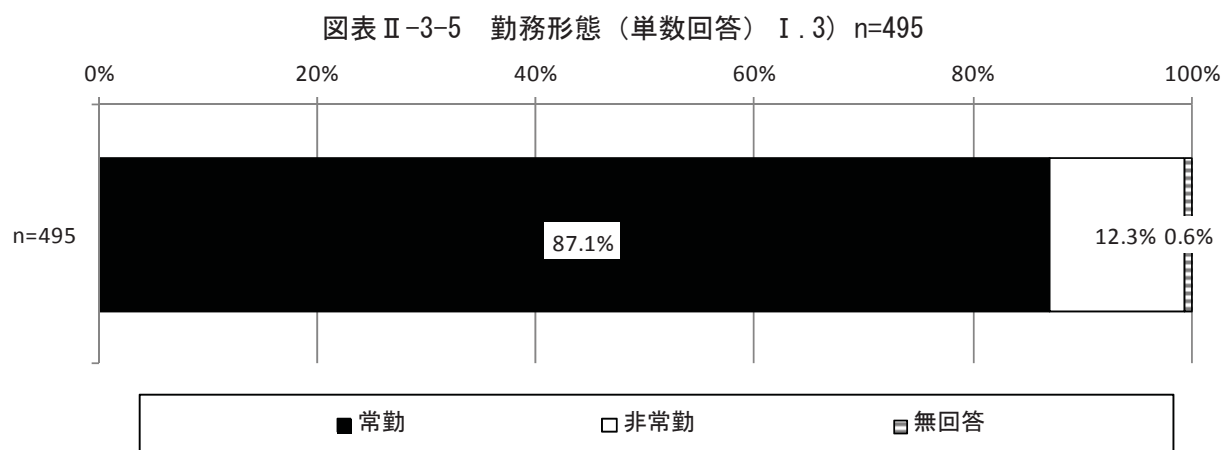
保有している資格別に性別をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「男性」、「看護職員」は「女性」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-4 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.2) n=495

	合計	男性	女性	無回答
全体	495 100.0%	147 29.7%	347 70.1%	1 0.2%
リハビリ職員	121 100.0%	51 42.1%	70 57.9%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	13 5.7%	214 93.9%	1 0.4%
柔道整復師	32 100.0%	26 81.3%	6 18.8%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	30 78.9%	8 21.1%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	17 81.0%	4 19.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	28 28.9%	69 71.1%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	9 81.8%	2 18.2%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	10 35.7%	18 64.3%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%

(3) 勤務形態

勤務形態は、「常勤」が 87.1%、「非常勤」が 12.3%であった。



図表Ⅱ-3-6 保有している資格別 勤務形態（単数回答）Ⅰ.3）n=495

	合計	常勤	非常勤	無回答
全体	495 100.0%	431 87.1%	61 12.3%	3 0.6%
リハビリ職員	121 100.0%	102 84.3%	19 15.7%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	197 86.4%	30 13.2%	1 0.4%
柔道整復師	32 100.0%	31 96.9%	1 3.1%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	32 84.2%	6 15.8%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	17 81.0%	4 19.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	93 95.9%	4 4.1%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	8 72.7%	2 18.2%	1 9.1%
健康運動指導士	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	23 82.1%	5 17.9%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%

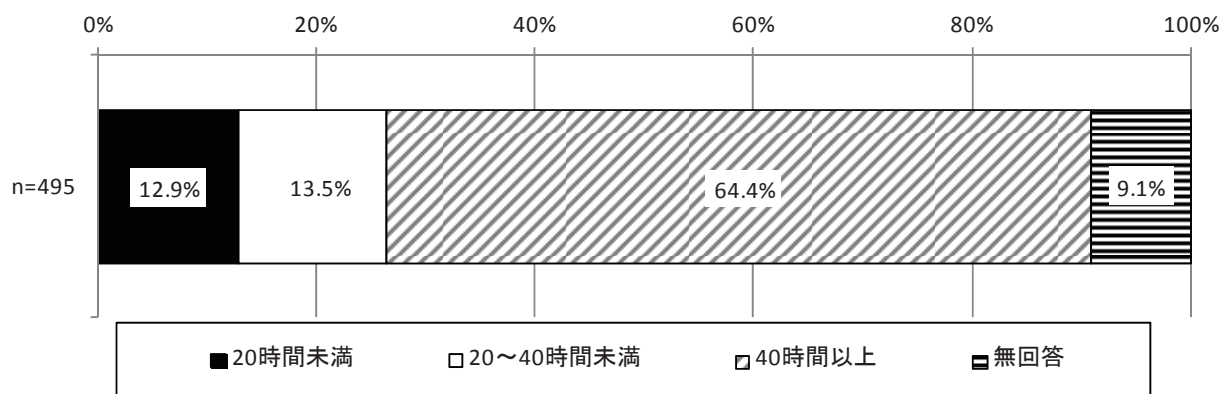
（４）１週間あたりの平均的な勤務時間

「１週間あたりの平均的な勤務時間」の平均値は、34.8 時間であった。「１週間あたりの平均的な勤務時間」は「40 時間以上」が 64.4%、「20～40 時間未満」が 13.5%で、「20 時間未満」が 12.9%であった。

図表Ⅱ-3-7 １週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4）n=450

件数	平均値	標準偏差	中央値
450	34.8	11.2	40.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	450	34.8	11.2	40.0
リハビリ職員	110	33.9	12.3	40.0
看護職員	209	35.5	10.2	40.0
柔道整復師	30	34.0	12.1	40.0
あん摩マッサージ指圧師	36	35.6	10.5	40.0
鍼灸師	21	32.7	12.8	40.0
介護福祉士	85	35.2	11.2	40.0
社会福祉士	9	37.5	11.7	40.0
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	5	40.0		40.0
介護職員初任者研修修了	11	30.4	13.5	40.0
健康運動指導士	4	29.1	11.9	33.3
その他	25	34.3	12.5	40.0
なし	1	40.0		40.0
無回答	4	30.4	19.3	40.0

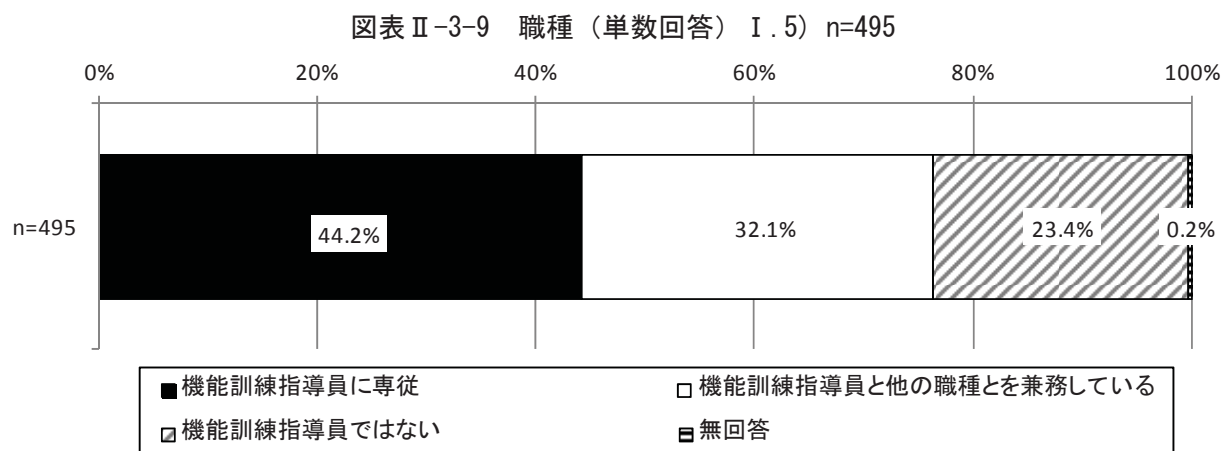


図表Ⅱ-3-8 保有している資格別 1週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4) n=495

	合計	20 時間未 満	20～40 時 間未満	40 時間以 上	無回答
全体	495 100.0%	64 12.9%	67 13.5%	319 64.4%	45 9.1%
リハビリ職員	121 100.0%	20 16.5%	12 9.9%	78 64.5%	11 9.1%
看護職員	228 100.0%	25 11.0%	35 15.4%	149 65.4%	19 8.3%
柔道整復師	32 100.0%	5 15.6%	4 12.5%	21 65.6%	2 6.3%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	4 10.5%	6 15.8%	26 68.4%	2 5.3%
鍼灸師	21 100.0%	4 19.0%	5 23.8%	12 57.1%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	11 11.3%	13 13.4%	61 62.9%	12 12.4%
社会福祉士	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	8 88.9%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	2 18.2%	3 27.3%	6 54.5%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	4 14.3%	5 17.9%	16 57.1%	3 10.7%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%

(5) 職種

職種は、「機能訓練指導員に専従」は 44.2%、「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」は 32.1%であった。



保有している資格別に職種をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「機能訓練指導員に専従」、「看護職員」は「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」、「介護福祉士」は「機能訓練指導員ではない」の割合が高くなっていた。

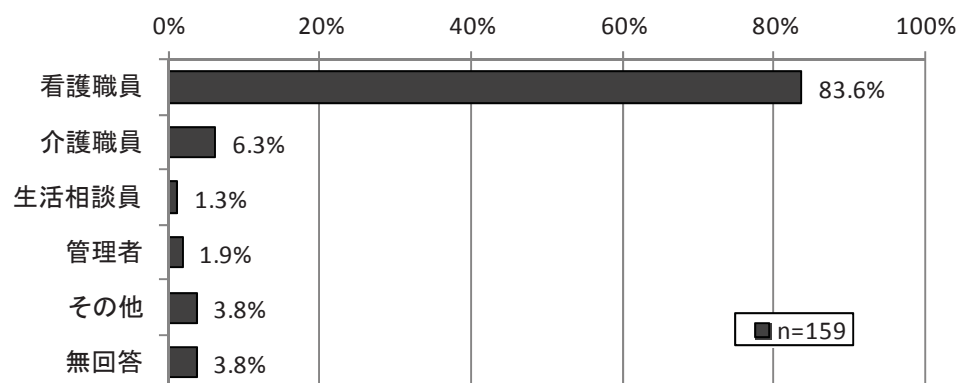
図表Ⅱ-3-10 保有している資格別 職種（単数回答） I.5) n=495

	合計	機能訓練 指導員に 専従	機能訓練 指導員と 他の職種 とを兼務 している	機能訓練 指導員で はない	無回答
全体	495 100.0%	219 44.2%	159 32.1%	116 23.4%	1 0.2%
リハビリ職員	121 100.0%	98 81.0%	18 14.9%	5 4.1%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	62 27.2%	138 60.5%	28 12.3%	0 0.0%
柔道整復師	32 100.0%	29 90.6%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	34 89.5%	4 10.5%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	19 90.5%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	12 12.4%	13 13.4%	72 74.2%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	4 36.4%	1 9.1%	5 45.5%	1 9.1%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	14 50.0%	8 28.6%	6 21.4%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%

（６）機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種は、「看護職員」が 83.6%、「介護職員」が 6.3%であった。

図表Ⅱ-3-11 機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答）Ⅰ.5)① n=159



保有している資格別に、機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種をみると、全体と比較して「看護職員」は「看護職員」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-12 保有している資格別

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答） I.5)① n=159

	合計	看護職員	介護職員	生活相談員	管理者	その他	無回答
全体	159 100.0%	133 83.6%	10 6.3%	2 1.3%	3 1.9%	6 3.8%	6 3.8%
リハビリ職員	18 100.0%	12 66.7%	1 5.6%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%
看護職員	138 100.0%	132 95.7%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	3 2.2%
柔道整復師	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
あん摩マッサージ指圧師	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
介護福祉士	13 100.0%	4 30.8%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%
社会福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	8 100.0%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(7) 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）

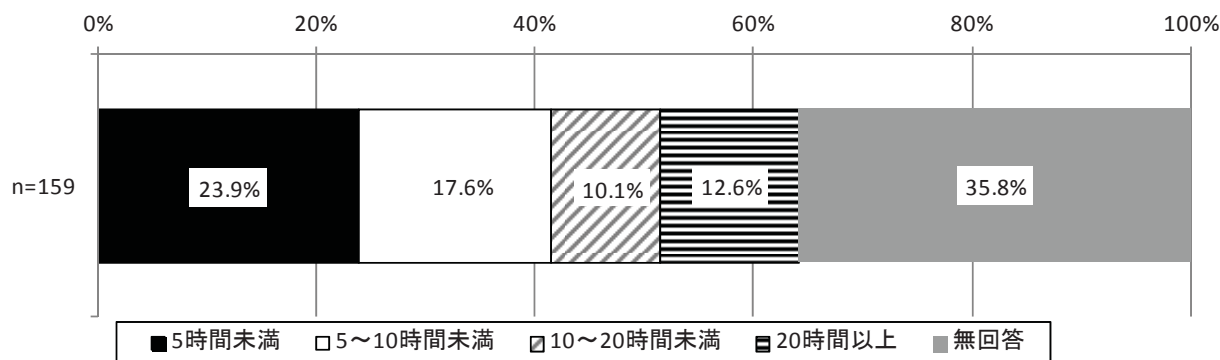
「機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）」の平均値は、9.5 時間であった。「機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）」は「5時間未満」が 23.9%、「5～10 時間未満」が 17.6%で、「20 時間以上」が 12.6%であった。

図表Ⅱ-3-13 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

件数	平均値	標準偏差	中央値
102	9.5	9.8	5.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	102	9.5	9.8	5.0
リハビリ職員	14	13.6	14.5	8.5
看護職員	86	8.0	8.0	5.0
柔道整復師	3	22.0	17.1	20.0
あん摩マッサージ指圧師	3	18.3	10.4	15.0
鍼灸師	2	20.0	14.1	20.0
介護福祉士	8	9.4	6.1	9.0
社会福祉士	0			
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	2	9.5	6.4	9.5
介護職員初任者研修修了	1	1.0		1.0
健康運動指導士	0			
その他	4	12.8	10.0	12.5

図表Ⅱ-3-14 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)② n=159



図表Ⅱ-3-15 保有している資格別

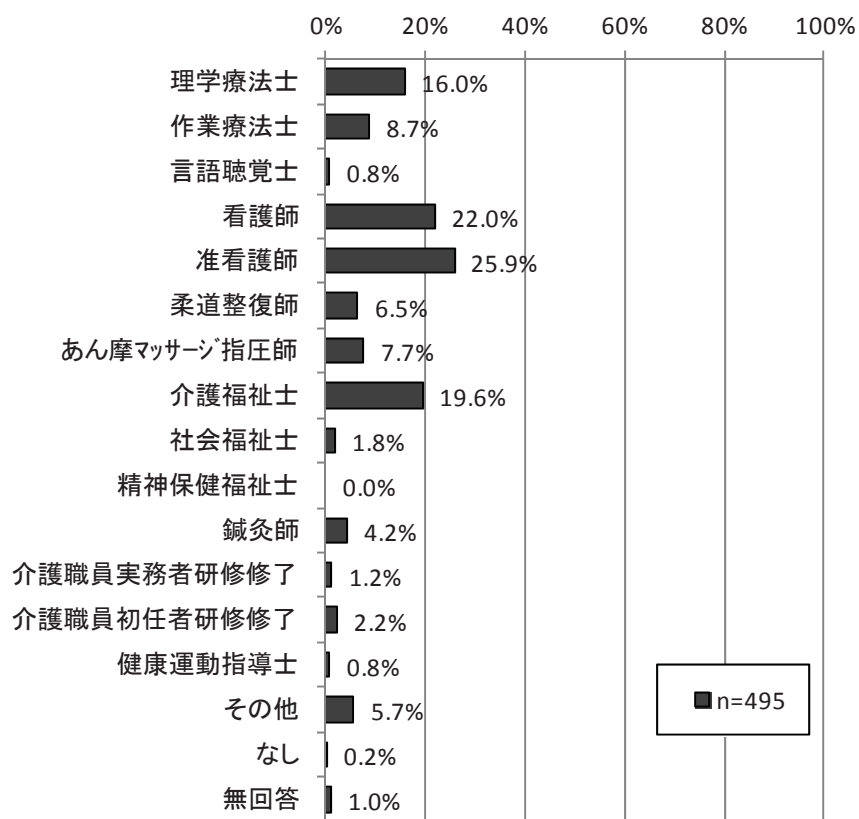
機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

	合計	5 時間未 満	5～10 時 間未満	10～20 時 間未満	20 時間以 上	無回答
全体	159 100.0%	38 23.9%	28 17.6%	16 10.1%	20 12.6%	57 35.8%
リハビリ職員	18 100.0%	5 27.8%	2 11.1%	3 16.7%	4 22.2%	4 22.2%
看護職員	138 100.0%	36 26.1%	25 18.1%	11 8.0%	14 10.1%	52 37.7%
柔道整復師	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	13 100.0%	1 7.7%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	5 38.5%
社会福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	8 100.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	4 50.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

（８）保有している資格

保有している資格は、「准看護師」が 25.9%、「看護師」が 22.0%、「介護福祉士」が 19.6%であった。

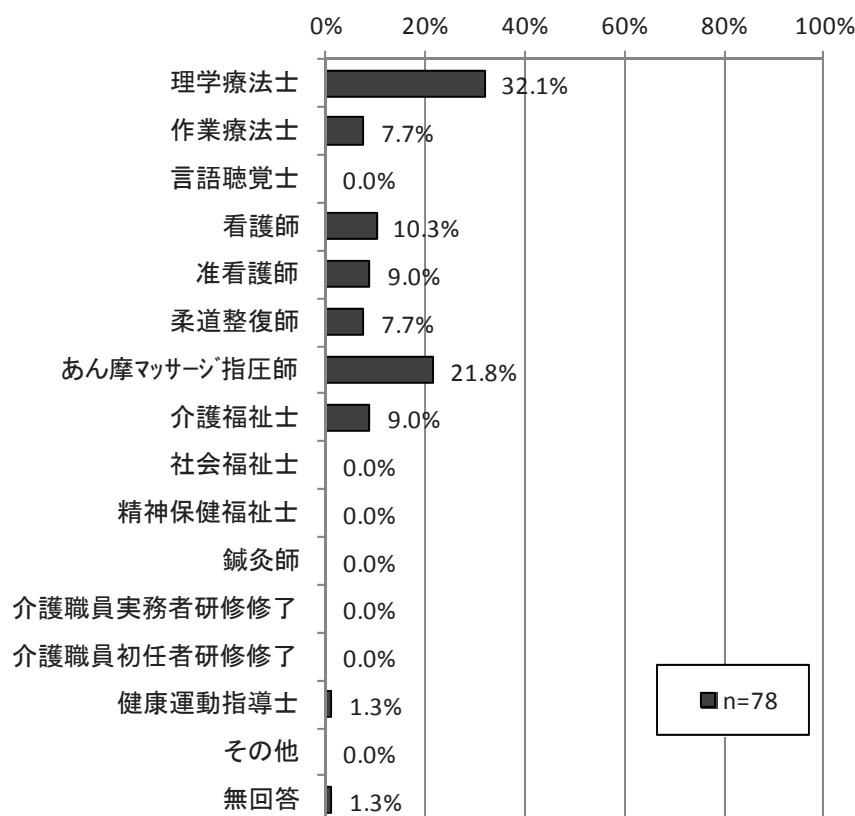
図表Ⅱ-3-16 保有している資格（複数回答）Ⅰ.6) n=495



（９）機能訓練を実施する上で役立っている資格

複数の資格を有している場合、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、をたずねたところ、回答が得られた 78 人について、その資格は、「理学療法士」が 32.1%で最も割合が高く、次いで「あん摩マッサージ指圧師」が 21.8%、「看護師」が 10.3%であった。

図表Ⅱ-3-17 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=78



保有している資格別に、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているかをたずねたところ、「リハビリ職員」は「理学療法士」が80.6%、「作業療法士」が19.4%であった。「看護職員」は「理学療法士」が43.3%、「看護師」が26.7%であった。

「あん摩マッサージ指圧師」は「あん摩マッサージ指圧師」が85.0%であった。「鍼灸師」は「あん摩マッサージ指圧師」が82.4%であった。

図表Ⅱ-3-18 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=78

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	准看護師	柔道整復師
全体	78 100.0%	25 32.1%	6 7.7%	0 0.0%	8 10.3%	7 9.0%	6 7.7%
リハビリ職員	31 100.0%	25 80.6%	6 19.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	30 100.0%	13 43.3%	0 0.0%	0 0.0%	8 26.7%	7 23.3%	1 3.3%
柔道整復師	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
あん摩マッサージ指圧師	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
鍼灸師	17 100.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	21 100.0%	5 23.8%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 14.3%	2 9.5%
社会福祉士	7 100.0%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%
健康運動指導士	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
その他	21 100.0%	3 14.3%	3 14.3%	0 0.0%	2 9.5%	5 23.8%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=78

	合計	あん摩マ ッサージ 指圧 師	介護福祉 士	社会福祉 士	精神保健 福祉士	鍼灸師	介護職員 実務者研 修修了
全体	78 100.0%	17 21.8%	7 9.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
リハビリ職員	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	30 100.0%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ 指圧師	20 100.0%	17 85.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	17 100.0%	14 82.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	21 100.0%	1 4.8%	7 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	7 100.0%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	21 100.0%	3 14.3%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=78

	合計	介護職員 初任者研 修修了	健康運動 指導士	その他	無回答
全体	78 100.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	1 1.3%
リハビリ職員	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	20 100.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%
鍼灸師	17 100.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%
介護福祉士	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	21 100.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

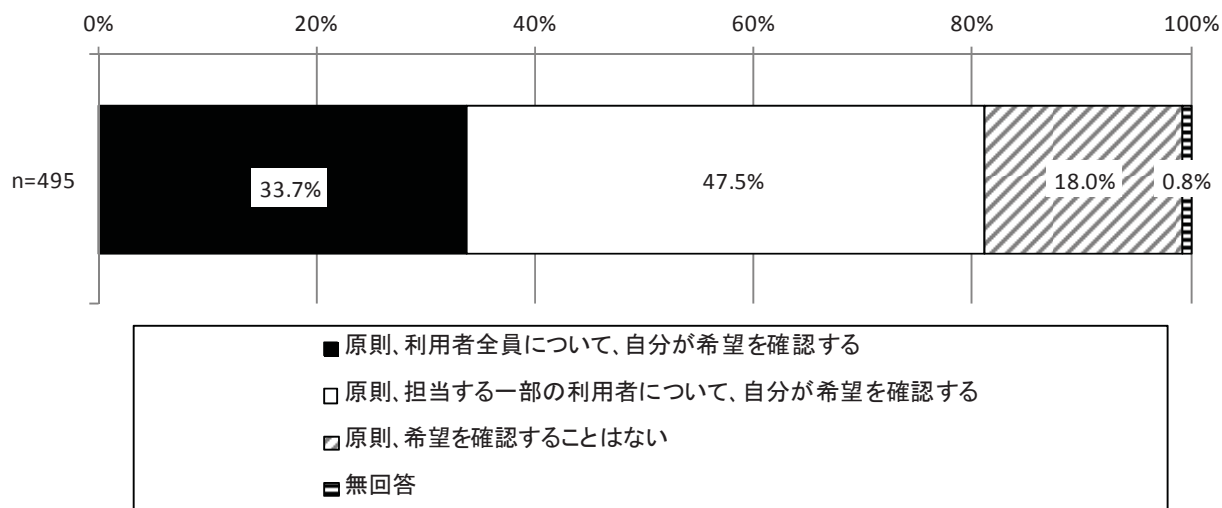
2. 機能訓練に関連して実施している業務

(1) ニーズ把握・情報収集

①機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」は 33.7%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する」は 47.5%、「原則、希望を確認することはない」は 18.0%であった。

図表Ⅱ-3-19 機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=495



保有している資格別に、機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」、「介護福祉士」は「原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-20 保有している資格別

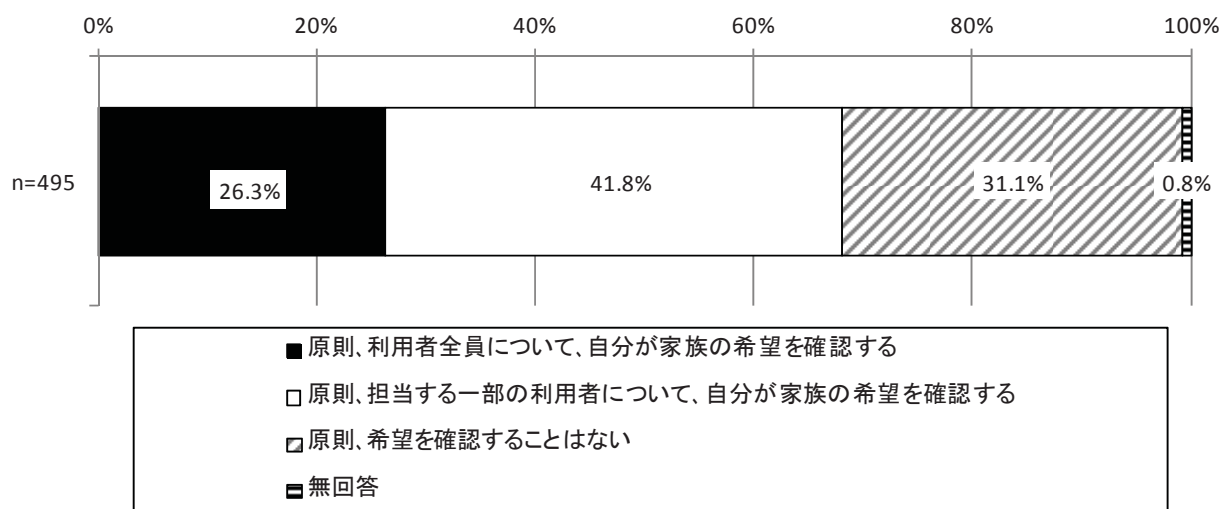
機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=495

	合計	原則、利用者全員について、自分が希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	495 100.0%	167 33.7%	235 47.5%	89 18.0%	4 0.8%
リハビリ職員	121 100.0%	61 50.4%	52 43.0%	8 6.6%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	63 27.6%	110 48.2%	52 22.8%	3 1.3%
柔道整復師	32 100.0%	17 53.1%	12 37.5%	2 6.3%	1 3.1%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	22 57.9%	14 36.8%	2 5.3%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	14 66.7%	5 23.8%	2 9.5%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	19 19.6%	56 57.7%	22 22.7%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	11 100.0%	6 54.5%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	14 50.0%	11 39.3%	3 10.7%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%

②機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」は26.3%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」は41.8%、「原則、希望を確認することはない」は31.1%であった。

図表Ⅱ-3-21 機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=495



機能訓練について、保有している資格別に、回答者が家族の希望を確認することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-22 保有している資格別

機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=495

	合計	原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	495 100.0%	130 26.3%	207 41.8%	154 31.1%	4 0.8%
リハビリ職員	121 100.0%	48 39.7%	55 45.5%	18 14.9%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	53 23.2%	94 41.2%	79 34.6%	2 0.9%
柔道整復師	32 100.0%	16 50.0%	7 21.9%	8 25.0%	1 3.1%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	13 34.2%	15 39.5%	9 23.7%	1 2.6%
鍼灸師	21 100.0%	8 38.1%	6 28.6%	7 33.3%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	15 15.5%	45 46.4%	37 38.1%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	4 36.4%	2 18.2%	5 45.5%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	7 25.0%	13 46.4%	8 28.6%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%

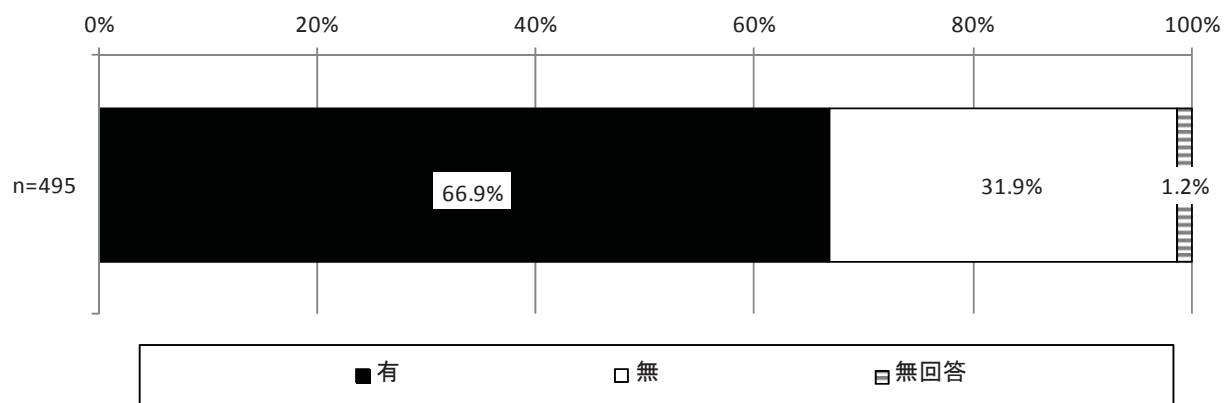
(2) アセスメント・評価

①機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをたずねたところ、「有」が 66.9%、「無」が 31.9%であった。

図表Ⅱ-3-23 機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

(単数回答) Ⅱ(2).9) n=495



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「有」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-24 保有している資格別

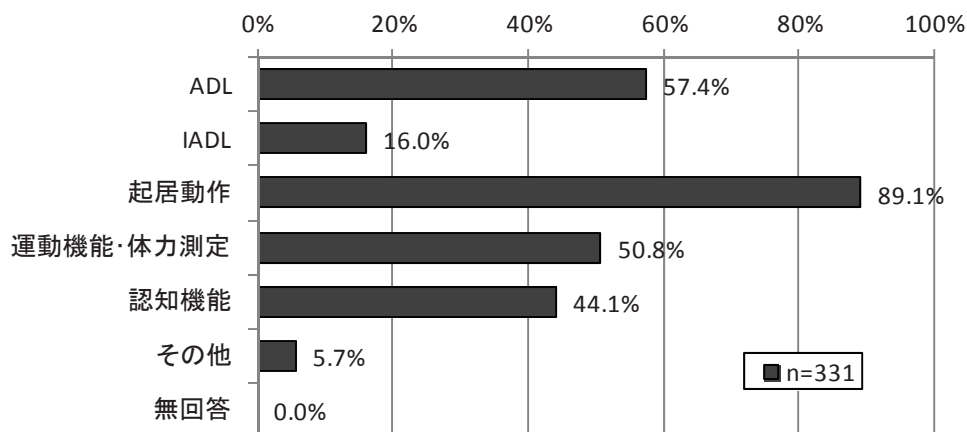
機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況（単数回答）Ⅱ(2).9) n=495

	合計	有	無	無回答
全体	495 100.0%	331 66.9%	158 31.9%	6 1.2%
リハビリ職員	121 100.0%	113 93.4%	7 5.8%	1 0.8%
看護職員	228 100.0%	139 61.0%	86 37.7%	3 1.3%
柔道整復師	32 100.0%	29 90.6%	3 9.4%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	30 78.9%	8 21.1%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	16 76.2%	5 23.8%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	46 47.4%	51 52.6%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	9 81.8%	2 18.2%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	19 67.9%	9 32.1%	0 0.0%
なし	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%

②機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをたずねたところ、「起居動作」が 89.1%、「ADL」が 57.4%、「運動機能・体力測定」が 50.8%、「認知機能」が 44.1%であった。

図表Ⅱ-3-25 機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=331



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」「あん摩マッサージ指圧師」は「運動機能・体力測定」、「介護福祉士」は「認知機能」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-26 保有している資格別

機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=331

	合計	ADL	IADL	起居動作
全体	331 100.0%	190 57.4%	53 16.0%	295 89.1%
リハビリ職員	113 100.0%	73 64.6%	15 13.3%	103 91.2%
看護職員	139 100.0%	83 59.7%	25 18.0%	124 89.2%
柔道整復師	29 100.0%	14 48.3%	8 27.6%	27 93.1%
あん摩マッサージ指圧師	30 100.0%	13 43.3%	2 6.7%	26 86.7%
鍼灸師	16 100.0%	4 25.0%	0 0.0%	15 93.8%
介護福祉士	46 100.0%	26 56.5%	10 21.7%	38 82.6%
社会福祉士	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	4 44.4%	1 11.1%	6 66.7%
健康運動指導士	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
その他	19 100.0%	12 63.2%	5 26.3%	18 94.7%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別

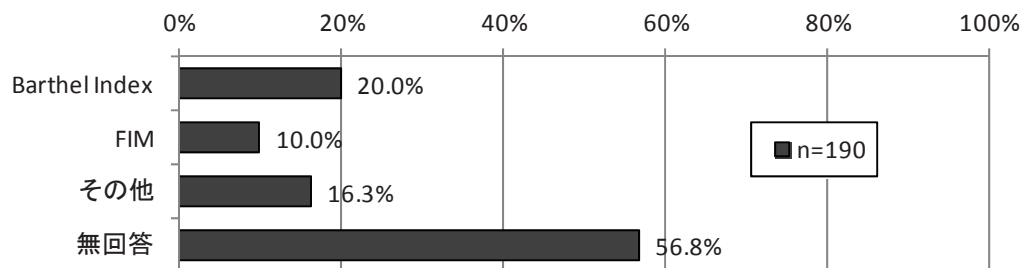
機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目 (複数回答) II (2). 9) ① n=331

	合計	運動機能・体力測定	認知機能	その他	無回答
全体	331 100.0%	168 50.8%	146 44.1%	19 5.7%	0 0.0%
リハビリ職員	113 100.0%	78 69.0%	57 50.4%	9 8.0%	0 0.0%
看護職員	139 100.0%	50 36.0%	59 42.4%	6 4.3%	0 0.0%
柔道整復師	29 100.0%	14 48.3%	7 24.1%	1 3.4%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	30 100.0%	18 60.0%	10 33.3%	2 6.7%	0 0.0%
鍼灸師	16 100.0%	6 37.5%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%
介護福祉士	46 100.0%	21 45.7%	25 54.3%	1 2.2%	0 0.0%
社会福祉士	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	19 100.0%	13 68.4%	13 68.4%	1 5.3%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③ A D L の評価に活用している評価指標

A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Barthel Index」は 20.0%、「FIM」は 10.0%であった。

図表Ⅱ-3-27 A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=190



保有している資格別に、ADLを活用して利用者の状態の評価を行っている場合の活用している評価指標をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「Barthel Index」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-28 保有している資格別

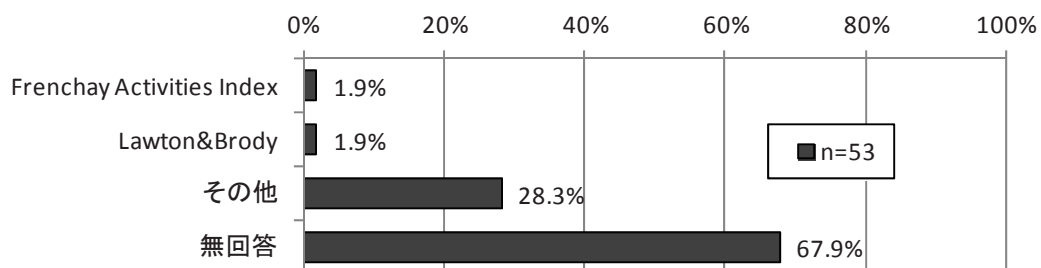
ADLの評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=190

	合計	Barthel Index	FIM	その他	無回答
全体	190 100.0%	38 20.0%	19 10.0%	31 16.3%	108 56.8%
リハビリ職員	73 100.0%	22 30.1%	12 16.4%	15 20.5%	28 38.4%
看護職員	83 100.0%	7 8.4%	4 4.8%	9 10.8%	63 75.9%
柔道整復師	14 100.0%	4 28.6%	2 14.3%	1 7.1%	8 57.1%
あん摩マッサージ指圧師	13 100.0%	3 23.1%	1 7.7%	5 38.5%	5 38.5%
鍼灸師	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%
介護福祉士	26 100.0%	4 15.4%	2 7.7%	4 15.4%	18 69.2%
社会福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
健康運動指導士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
その他	12 100.0%	3 25.0%	0 0.0%	2 16.7%	8 66.7%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④ I A D L の評価に活用している評価指標

I A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Frenchay Activities Index」、「Lawton&Brody」とも 1.9%であった。

図表Ⅱ-3-29 I A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=53



図表Ⅱ-3-30 保有している資格別

I A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ (2). 9) ① n=53

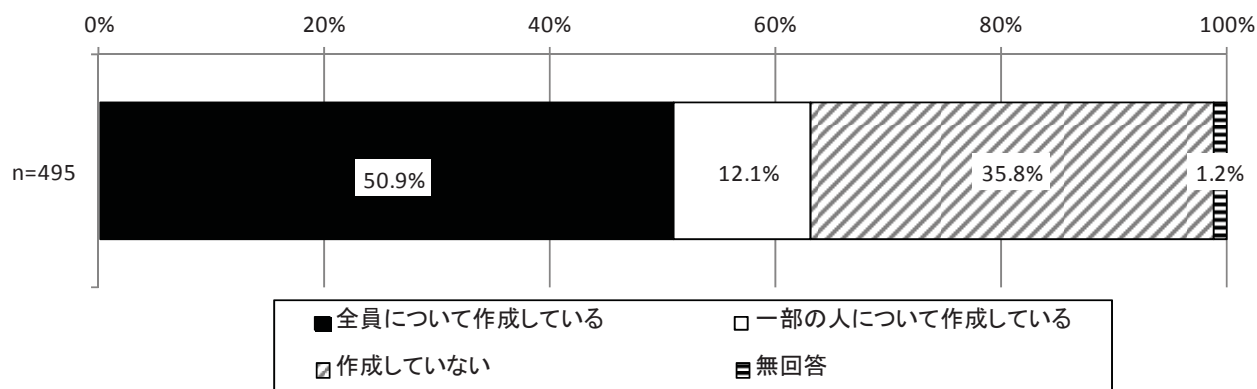
	合計	Frenchay Activities Index	Lawton&Brody	その他	無回答
全体	53 100.0%	1 1.9%	1 1.9%	15 28.3%	36 67.9%
リハビリ職員	15 100.0%	1 6.7%	0 0.0%	6 40.0%	8 53.3%
看護職員	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 24.0%	19 76.0%
柔道整復師	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	6 75.0%
あん摩マッサージ指 圧師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	10 100.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	7 70.0%
社会福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者 研修修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護職員初任者 研修修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 機能訓練計画の作成

①事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況

事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをたずねたところ、「全員について作成している」は 50.9%、「一部の人について作成している」は 12.1%、「作成していない」は 35.8%であった。

図表Ⅱ-3-31 事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=495



保有している資格別に、事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「全員について作成している」、「介護福祉士」は「作成していない」の割合が高くなっていた。

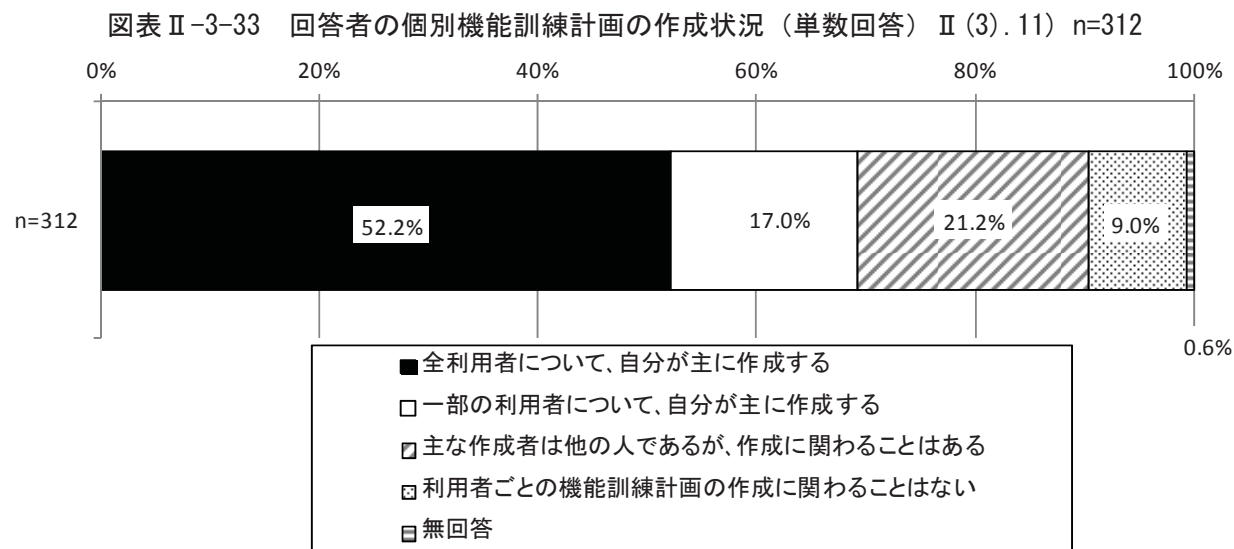
図表Ⅱ-3-32 保有している資格別

事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=495

	合計	全員について作成している	一部の人について作成している	作成していない	無回答
全体	495 100.0%	252 50.9%	60 12.1%	177 35.8%	6 1.2%
リハビリ職員	121 100.0%	88 72.7%	14 11.6%	19 15.7%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	93 40.8%	37 16.2%	96 42.1%	2 0.9%
柔道整復師	32 100.0%	27 84.4%	2 6.3%	2 6.3%	1 3.1%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	26 68.4%	5 13.2%	6 15.8%	1 2.6%
鍼灸師	21 100.0%	17 81.0%	2 9.5%	2 9.5%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	36 37.1%	9 9.3%	50 51.5%	2 2.1%
社会福祉士	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	11 100.0%	6 54.5%	0 0.0%	5 45.5%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	14 50.0%	4 14.3%	10 35.7%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%

②回答者の個別機能訓練計画の作成状況

回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをたずねたところ、「全利用者について、自分が主に作成する」は52.2%、「一部の利用者について、自分が主に作成する」は17.0%、「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」は21.2%、「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」は9.0%であった。回答者が主に計画を作成した利用者数の平均値は25.1人であった。



図表Ⅱ-3-34 回答者が主に計画を作成した利用者数（数値回答）Ⅱ(3).11) n=42

件数	平均値	標準偏差	中央値
42	25.1	21.4	22.5

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	42	25.1	21.4	22.5
リハビリ職員	21	23.8	18.4	21.0
看護職員	15	21.1	27.0	10.0
柔道整復師	6	38.5	11.4	40.0
あん摩マッサージ指圧師	3	20.0	10.5	19.0
鍼灸師	3	20.0	10.5	19.0
介護福祉士	3	22.7	18.0	24.0
社会福祉士	2	40.5	27.6	40.5
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	0			
介護職員初任者研修修了	1	60.0		60.0
健康運動指導士	0			
その他	2	27.5	4.9	27.5

保有している資格別に、回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」「あん摩マッサージ指圧師」は「全利用者について、自分が主に作成する」、「介護福祉士」は「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-35 保有している資格別 回答者の個別機能訓練計画の作成状況(単数回答)Ⅱ(3).11) n=312

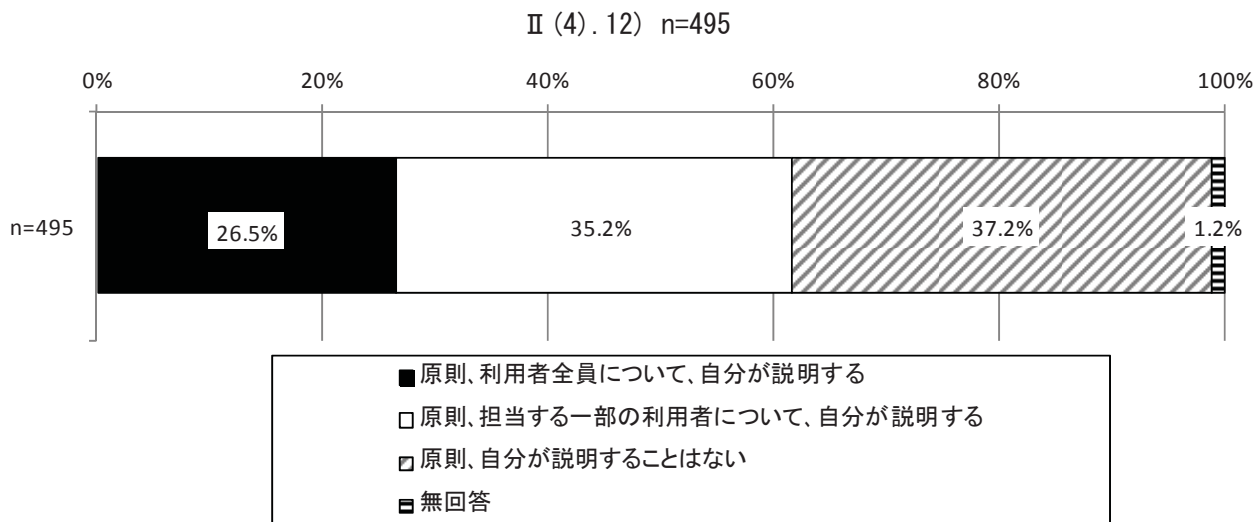
	合計	全利用者について、自分が主に作成する	一部の利用者について、自分が主に作成する	主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある	利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない	無回答
全体	312 100.0%	163 52.2%	53 17.0%	66 21.2%	28 9.0%	2 0.6%
リハビリ職員	102 100.0%	64 62.7%	24 23.5%	13 12.7%	1 1.0%	0 0.0%
看護職員	130 100.0%	62 47.7%	22 16.9%	32 24.6%	13 10.0%	1 0.8%
柔道整復師	29 100.0%	17 58.6%	6 20.7%	4 13.8%	1 3.4%	1 3.4%
あん摩マッサージ指圧師	31 100.0%	22 71.0%	4 12.9%	5 16.1%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	19 100.0%	11 57.9%	3 15.8%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	45 100.0%	12 26.7%	5 11.1%	17 37.8%	11 24.4%	0 0.0%
社会福祉士	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	12 66.7%	3 16.7%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 利用者または家族等への説明

①回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況

回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が説明する」は26.5%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する」は35.2%、「原則、自分が説明することはない」は37.2%であった。

図表Ⅱ-3-36 回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）



保有している資格別に、回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「原則、利用者全員について、自分が説明する」、「介護福祉士」は「原則、自分が説明することはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-37 保有している資格別

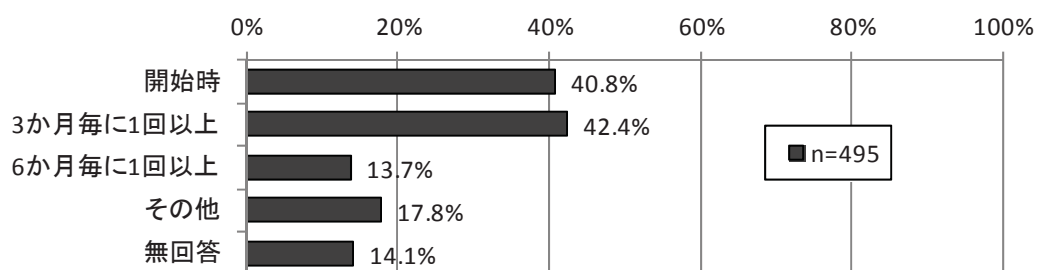
回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）Ⅱ(4).12) n=495

	合計	原則、利用者全員について、自分が説明する	原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する	原則、自分が説明することはない	無回答
全体	495 100.0%	131 26.5%	174 35.2%	184 37.2%	6 1.2%
リハビリ職員	121 100.0%	47 38.8%	47 38.8%	26 21.5%	1 0.8%
看護職員	228 100.0%	49 21.5%	78 34.2%	98 43.0%	3 1.3%
柔道整復師	32 100.0%	19 59.4%	9 28.1%	4 12.5%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	16 42.1%	16 42.1%	6 15.8%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	11 52.4%	6 28.6%	4 19.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	10 10.3%	38 39.2%	47 48.5%	2 2.1%
社会福祉士	9 100.0%	0 0.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修了	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%
介護職員初任者研修了	11 100.0%	3 27.3%	3 27.3%	5 45.5%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	11 39.3%	12 42.9%	5 17.9%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%

②利用者や家族等への説明頻度

利用者や家族等への説明の頻度は、「3 か月毎に1 回以上」が 42.4%、「開始時」が 40.8%であった。

図表Ⅱ-3-38 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=495



保有している資格別に、利用者や家族等への説明の頻度をみると、全体と比較して、「リハビリ職員」は「3 か月毎に 1 回以上」、「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「開始時」「3 か月毎に 1 回以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-39 保有している資格別 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=495

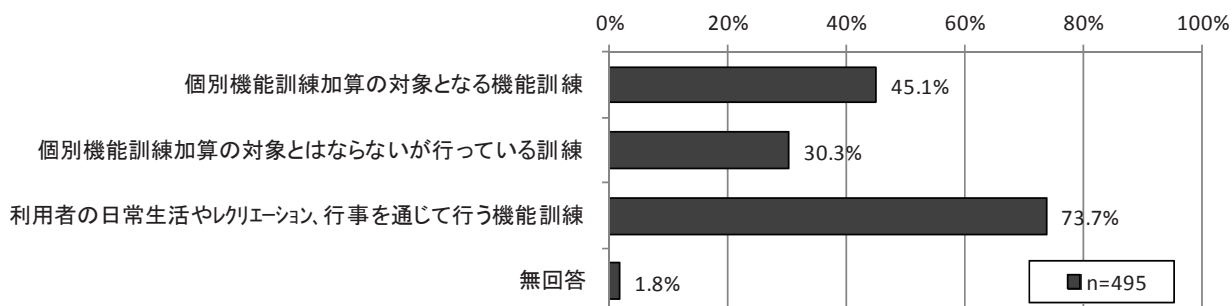
	合計	開始時	3 か月毎 に 1 回以上	6 か月毎 に 1 回以上	その他	無回答
全体	495 100.0%	202 40.8%	210 42.4%	68 13.7%	88 17.8%	70 14.1%
リハビリ職員	121 100.0%	60 49.6%	76 62.8%	19 15.7%	16 13.2%	6 5.0%
看護職員	228 100.0%	82 36.0%	72 31.6%	36 15.8%	42 18.4%	41 18.0%
柔道整復師	32 100.0%	20 62.5%	22 68.8%	0 0.0%	3 9.4%	1 3.1%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	22 57.9%	25 65.8%	3 7.9%	8 21.1%	1 2.6%
鍼灸師	21 100.0%	12 57.1%	15 71.4%	2 9.5%	2 9.5%	1 4.8%
介護福祉士	97 100.0%	36 37.1%	30 30.9%	11 11.3%	20 20.6%	19 19.6%
社会福祉士	9 100.0%	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	4 36.4%	4 36.4%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%
健康運動指導士	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	12 42.9%	11 39.3%	5 17.9%	7 25.0%	3 10.7%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%

(5) 機能訓練の実施状況

①回答者が実施することがある機能訓練

回答者が実施することがある機能訓練は、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」が 73.7%で最も割合が高く、次いで「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」が 45.1%、「個別機能訓練加算の対象とはならないが行っている訓練」が 30.3%であった。

図表Ⅱ-3-40 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ(5).14) n=495



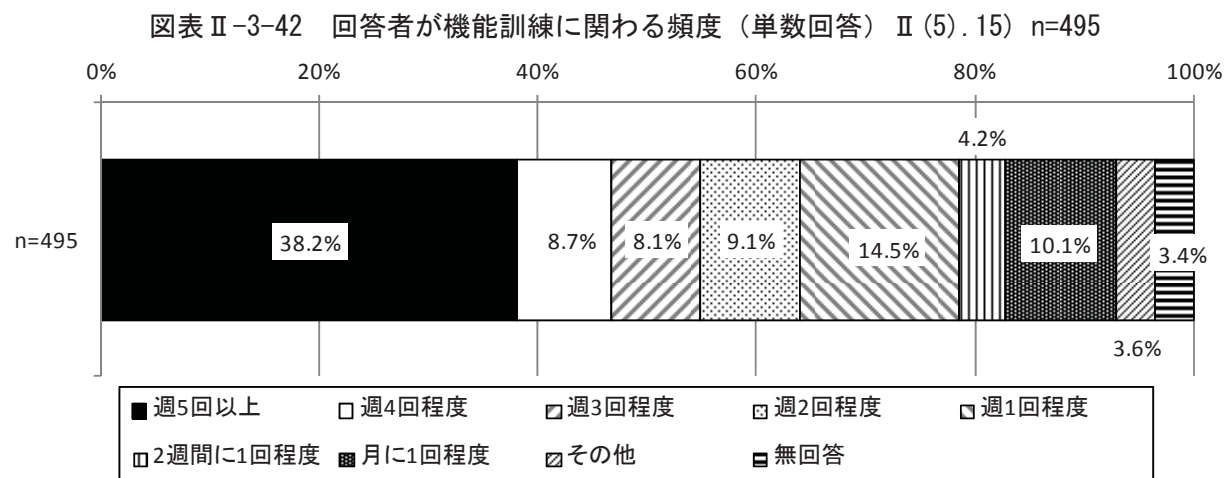
保有している資格別に回答者が実施することがある機能訓練をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」、「介護福祉士」は「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-41 保有している資格別 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ（5）. 14） n=495

	合計	個別機能 訓練加算 の対象と なる機能 訓練	個別機能 訓練加算 の対象と はならな いが行っ ている訓 練	利用者の 日常生活 やレクリエ ーション、行事 を通じて 行う機能 訓練	無回答
全体	495 100.0%	223 45.1%	150 30.3%	365 73.7%	9 1.8%
リハビリ職員	121 100.0%	83 68.6%	46 38.0%	76 62.8%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	78 34.2%	70 30.7%	170 74.6%	7 3.1%
柔道整復師	32 100.0%	27 84.4%	10 31.3%	24 75.0%	1 3.1%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	31 81.6%	10 26.3%	19 50.0%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	18 85.7%	5 23.8%	8 38.1%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	22 22.7%	27 27.8%	89 91.8%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	7 77.8%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	6 100.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	3 27.3%	2 18.2%	9 81.8%	1 9.1%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	17 60.7%	13 46.4%	18 64.3%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%

②回答者が機能訓練に関わる頻度

回答者が機能訓練に関わる頻度は、「週 5 回以上」が 38.2%、「週 1 回程度」が 14.5%、「月に 1 回程度」が 10.1%であった。



保有している資格別に、回答者が機能訓練に関わる頻度をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「週5回以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-43 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度（単数回答）Ⅱ(5).15) n=495

	合計	週5回以上	週4回程度	週3回程度	週2回程度	週1回程度
全体	495 100.0%	189 38.2%	43 8.7%	40 8.1%	45 9.1%	72 14.5%
リハビリ職員	121 100.0%	65 53.7%	7 5.8%	4 3.3%	13 10.7%	16 13.2%
看護職員	228 100.0%	64 28.1%	22 9.6%	20 8.8%	20 8.8%	35 15.4%
柔道整復師	32 100.0%	22 68.8%	3 9.4%	1 3.1%	2 6.3%	3 9.4%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	23 60.5%	4 10.5%	2 5.3%	1 2.6%	6 15.8%
鍼灸師	21 100.0%	13 61.9%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%	3 14.3%
介護福祉士	97 100.0%	26 26.8%	7 7.2%	13 13.4%	13 13.4%	17 17.5%
社会福祉士	9 100.0%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	5 45.5%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%
健康運動指導士	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
その他	28 100.0%	14 50.0%	5 17.9%	3 10.7%	0 0.0%	2 7.1%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%

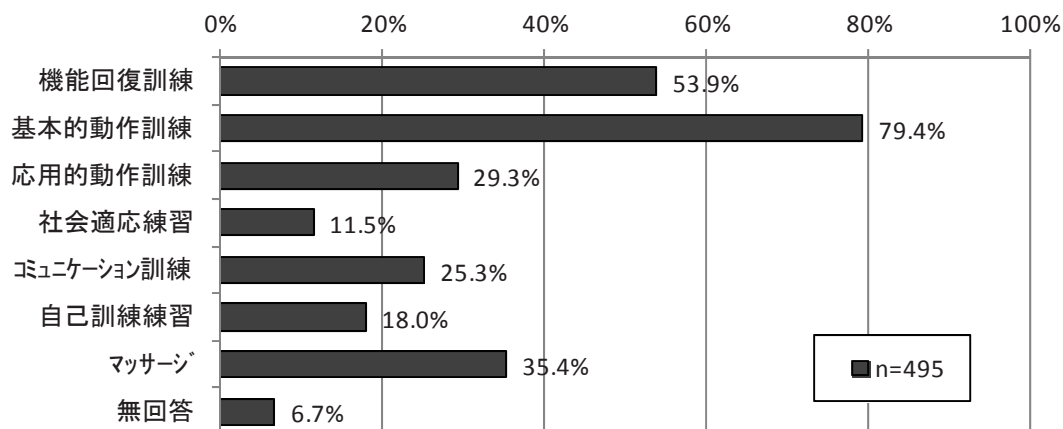
(つづき) 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度 (単数回答) II (5). 15) n=495

	合計	2週間に1 回程度	月に1回 程度	その他	無回答
全体	495 100.0%	21 4.2%	50 10.1%	18 3.6%	17 3.4%
リハビリ職員	121 100.0%	5 4.1%	6 5.0%	3 2.5%	2 1.7%
看護職員	228 100.0%	7 3.1%	35 15.4%	13 5.7%	12 5.3%
柔道整復師	32 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	1 2.6%
鍼灸師	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	9 9.3%	9 9.3%	2 2.1%	1 1.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%
健康運動指導士	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	1 3.6%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%

③回答者が実施した機能訓練の具体的内容

回答者が平成 28 年 10～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容は、「基本的動作訓練」が 79.4%で最も割合が高く、次いで「機能回復訓練」が 53.9%、「マッサージ」が 35.4%、「応用的動作訓練」が 29.3%であった。

図表Ⅱ-3-44 回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=495



保有している資格別に、回答者が平成28年10～12月に実施した機能訓練の具体的な内容をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」「応用的動作訓練」「自己訓練練習」「マッサージ」、「柔道整復師」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」、「あん摩マッサージ指圧師」は「機能回復訓練」「自己訓練練習」「マッサージ」、「鍼灸師」は「機能回復訓練」「マッサージ」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-45 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=495

	合計	機能回復 訓練	基本的動 作訓練	応用的動 作訓練	社会適応 練習
全体	495 100.0%	267 53.9%	393 79.4%	145 29.3%	57 11.5%
リハビリ職員	121 100.0%	99 81.8%	113 93.4%	60 49.6%	22 18.2%
看護職員	228 100.0%	91 39.9%	170 74.6%	52 22.8%	14 6.1%
柔道整復師	32 100.0%	29 90.6%	30 93.8%	8 25.0%	3 9.4%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	34 89.5%	33 86.8%	4 10.5%	1 2.6%
鍼灸師	21 100.0%	19 90.5%	18 85.7%	4 19.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	30 30.9%	71 73.2%	30 30.9%	17 17.5%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	1 11.1%	3 33.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	1 16.7%	4 66.7%	4 66.7%	2 33.3%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	7 63.6%	6 54.5%	3 27.3%	3 27.3%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%
その他	28 100.0%	20 71.4%	23 82.1%	10 35.7%	5 17.9%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容 (複数回答) II (5). 16) n=495

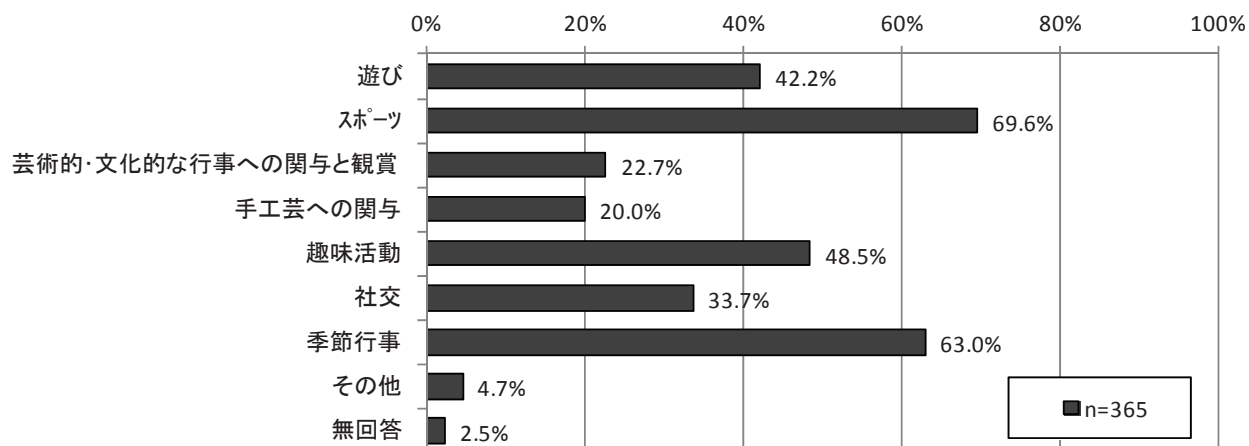
	合計	コミュニケーション訓練	自己訓練 練習	マッサージ	無回答
全体	495 100.0%	125 25.3%	89 18.0%	175 35.4%	33 6.7%
リハビリ職員	121 100.0%	33 27.3%	38 31.4%	62 51.2%	3 2.5%
看護職員	228 100.0%	59 25.9%	26 11.4%	53 23.2%	24 10.5%
柔道整復師	32 100.0%	9 28.1%	6 18.8%	22 68.8%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	4 10.5%	13 34.2%	32 84.2%	1 2.6%
鍼灸師	21 100.0%	3 14.3%	6 28.6%	17 81.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	30 30.9%	10 10.3%	19 19.6%	3 3.1%
社会福祉士	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	2 18.2%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%
健康運動指導士	4 100.0%	1 25.0%	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	4 14.3%	4 14.3%	9 32.1%	1 3.6%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%

④利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練（指導）

回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等は、「スポーツ」が69.6%で最も割合が高く、次いで「季節行事」が63.0%、「趣味活動」が48.5%、「遊び」が42.2%であった。

図表Ⅱ-3-46 要支援1または2の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）

（複数回答）Ⅱ(5).17) n=365



保有している資格別に、回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等をみると、全体と比較して「あん摩マッサージ指圧師」は「スポーツ」、「介護福祉士」は「趣味活動」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-47 保有している資格別 要支援１または２の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）
（複数回答）Ⅱ(5).17) n=365

	合計	遊び	スポーツ	芸術的・ 文化的な 行事への 関与と観 賞	手工芸へ の関与	趣味活動
全体	365 100.0%	154 42.2%	254 69.6%	83 22.7%	73 20.0%	177 48.5%
リハビリ職員	76 100.0%	22 28.9%	53 69.7%	18 23.7%	18 23.7%	36 47.4%
看護職員	170 100.0%	75 44.1%	112 65.9%	37 21.8%	25 14.7%	74 43.5%
柔道整復師	24 100.0%	7 29.2%	18 75.0%	2 8.3%	4 16.7%	13 54.2%
あん摩マッサージ指圧師	19 100.0%	7 36.8%	16 84.2%	3 15.8%	3 15.8%	5 26.3%
鍼灸師	8 100.0%	4 50.0%	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%
介護福祉士	89 100.0%	44 49.4%	62 69.7%	28 31.5%	25 28.1%	56 62.9%
社会福祉士	7 100.0%	5 71.4%	5 71.4%	4 57.1%	2 28.6%	6 85.7%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	4 66.7%	5 83.3%	3 50.0%	2 33.3%	4 66.7%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	1 11.1%	2 22.2%	5 55.6%
健康運動指導士	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%
その他	18 100.0%	6 33.3%	15 83.3%	5 27.8%	3 16.7%	6 33.3%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	5 100.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%

(つづき) 保有している資格別 要支援 1 または 2 の利用者に対して回答者が行う機能訓練 (指導)

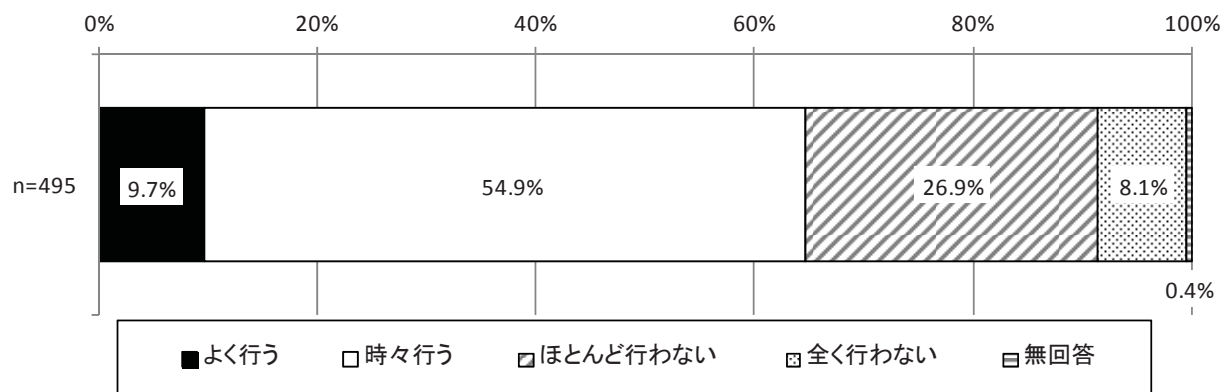
(複数回答) II (5). 17) n=365

	合計	社交	季節行事	その他	無回答
全体	365 100.0%	123 33.7%	230 63.0%	17 4.7%	9 2.5%
リハビリ職員	76 100.0%	30 39.5%	43 56.6%	6 7.9%	2 2.6%
看護職員	170 100.0%	59 34.7%	117 68.8%	5 2.9%	5 2.9%
柔道整復師	24 100.0%	4 16.7%	10 41.7%	1 4.2%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	19 100.0%	5 26.3%	7 36.8%	2 10.5%	0 0.0%
鍼灸師	8 100.0%	5 62.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%
介護福祉士	89 100.0%	30 33.7%	63 70.8%	6 6.7%	3 3.4%
社会福祉士	7 100.0%	2 28.6%	6 85.7%	1 14.3%	1 14.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	5 83.3%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	7 38.9%	12 66.7%	3 16.7%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑤他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況

回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをたずねたところ、「時々行う」が54.9%、「ほとんど行わない」が26.9%であった。

図表Ⅱ-3-48 他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=495



保有している資格別に、回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「よく行う」「時々行う」、「介護福祉士」は「ほとんど行わない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-49 保有している資格別

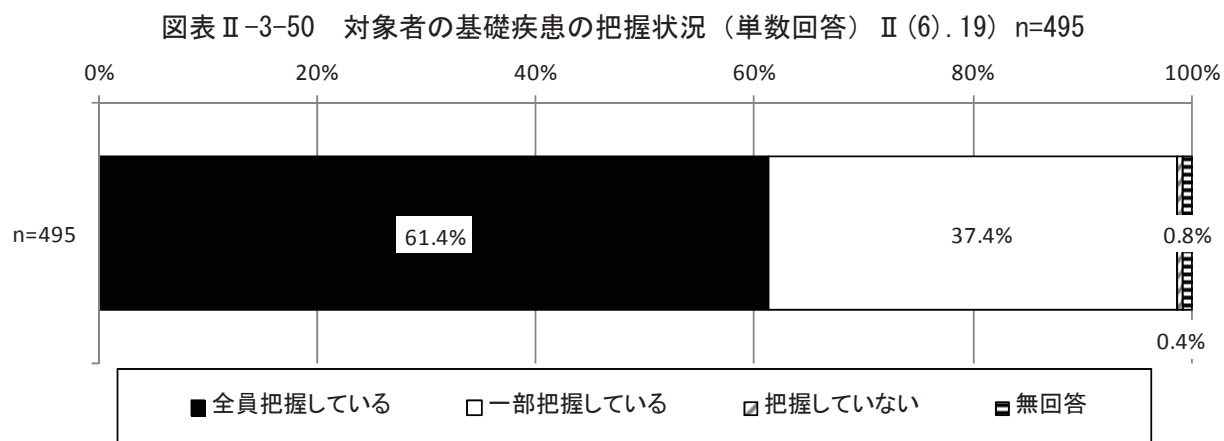
他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=495

	合計	よく行う	時々行う	ほとんど 行わない	全く行わ ない	無回答
全体	495 100.0%	48 9.7%	272 54.9%	133 26.9%	40 8.1%	2 0.4%
リハビリ職員	121 100.0%	23 19.0%	80 66.1%	17 14.0%	1 0.8%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	19 8.3%	132 57.9%	65 28.5%	10 4.4%	2 0.9%
柔道整復師	32 100.0%	3 9.4%	19 59.4%	5 15.6%	5 15.6%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	3 7.9%	22 57.9%	9 23.7%	4 10.5%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	3 14.3%	9 42.9%	6 28.6%	3 14.3%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	3 3.1%	36 37.1%	41 42.3%	17 17.5%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	0 0.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	1 9.1%	8 72.7%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	1 3.6%	18 64.3%	8 28.6%	1 3.6%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

(6) 機能訓練を実施する際の留意点

①対象者の基礎疾患の把握状況

回答者の対象者の基礎疾患の把握状況が、「全員把握している」が61.4%、「一部把握している」が37.4%であった。



保有している資格別に、回答者の対象者の基礎疾患の把握状況をみると、全体と比較して「看護職員」は「全員把握している」、「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」「介護福祉士」は「一部把握している」の割合が高くなっていた。

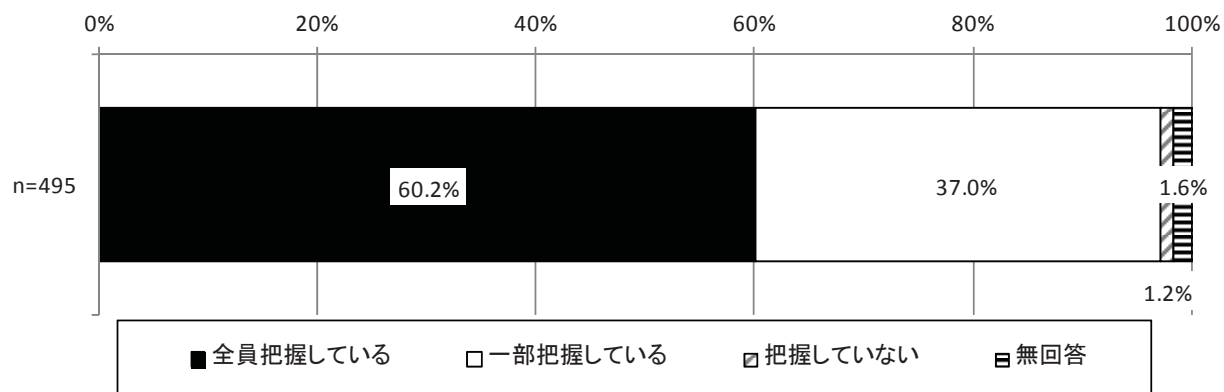
図表Ⅱ-3-51 保有している資格別 対象者の基礎疾患の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).19) n=495

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	495 100.0%	304 61.4%	185 37.4%	2 0.4%	4 0.8%
リハビリ職員	121 100.0%	83 68.6%	38 31.4%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	161 70.6%	63 27.6%	0 0.0%	4 1.8%
柔道整復師	32 100.0%	18 56.3%	14 43.8%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	19 50.0%	19 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	10 47.6%	11 52.4%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	46 47.4%	50 51.5%	1 1.0%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	5 45.5%	5 45.5%	1 9.1%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	23 82.1%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

②対象者が認知症の場合の留意点の把握状況

回答者の対象者が認知症の場合の留意点の把握状況は、「全員把握している」が 60.2%、「一部把握している」が 37.0%であった。

図表Ⅱ-3-52 対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20 n=495



図表Ⅱ-3-53 保有している資格別

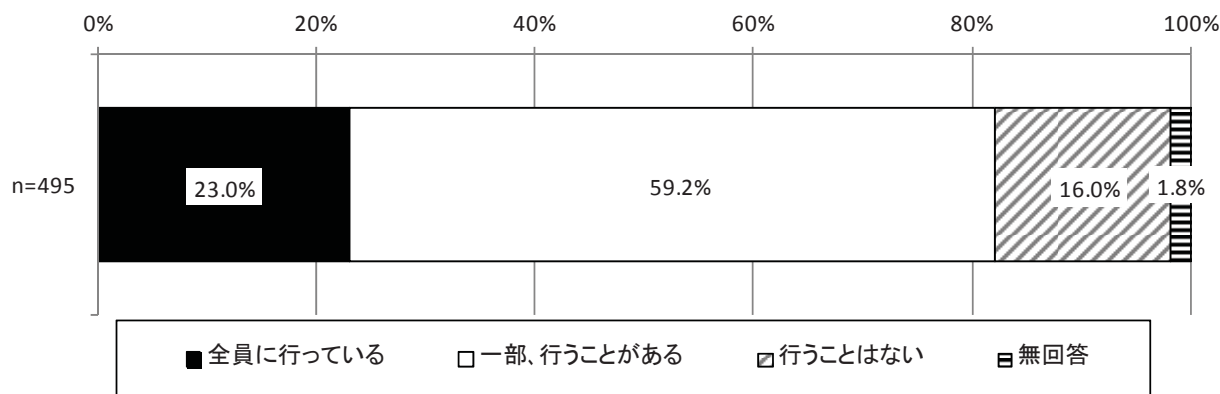
対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20) n=495

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	495 100.0%	298 60.2%	183 37.0%	6 1.2%	8 1.6%
リハビリ職員	121 100.0%	80 66.1%	39 32.2%	0 0.0%	2 1.7%
看護職員	228 100.0%	143 62.7%	79 34.6%	1 0.4%	5 2.2%
柔道整復師	32 100.0%	21 65.6%	10 31.3%	0 0.0%	1 3.1%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	23 60.5%	14 36.8%	1 2.6%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	12 57.1%	8 38.1%	1 4.8%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	52 53.6%	41 42.3%	3 3.1%	1 1.0%
社会福祉士	9 100.0%	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	5 45.5%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%
健康運動指導士	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	18 64.3%	9 32.1%	0 0.0%	1 3.6%
なし	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

③機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況

回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをたずねたところ、「全員に行っている」が23.0%、「一部、行うことがある」が59.2%であった。

図表Ⅱ-3-54 機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=495



保有している資格別に、回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「一部、行うことがある」、「介護福祉士」は「行うことはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-55 保有している資格別

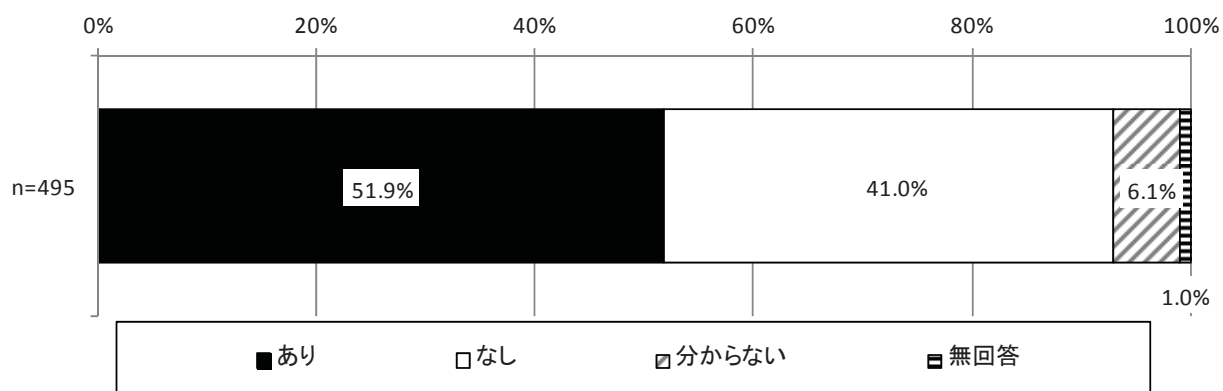
機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=495

	合計	全員に行っている	一部、行うことがある	行うことはない	無回答
全体	495 100.0%	114 23.0%	293 59.2%	79 16.0%	9 1.8%
リハビリ職員	121 100.0%	25 20.7%	87 71.9%	9 7.4%	0 0.0%
看護職員	228 100.0%	60 26.3%	131 57.5%	28 12.3%	9 3.9%
柔道整復師	32 100.0%	9 28.1%	18 56.3%	5 15.6%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	8 21.1%	24 63.2%	6 15.8%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	5 23.8%	12 57.1%	4 19.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	19 19.6%	47 48.5%	31 32.0%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	6 100.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	11 100.0%	2 18.2%	6 54.5%	3 27.3%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	6 21.4%	18 64.3%	4 14.3%	0 0.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%

④機能訓練の際のヒヤリハットの経験

回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験は、「あり」は 51.9%であった。

図表Ⅱ-3-56 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=495



保有している資格別に、回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「あり」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-3-57 保有している資格別 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=495

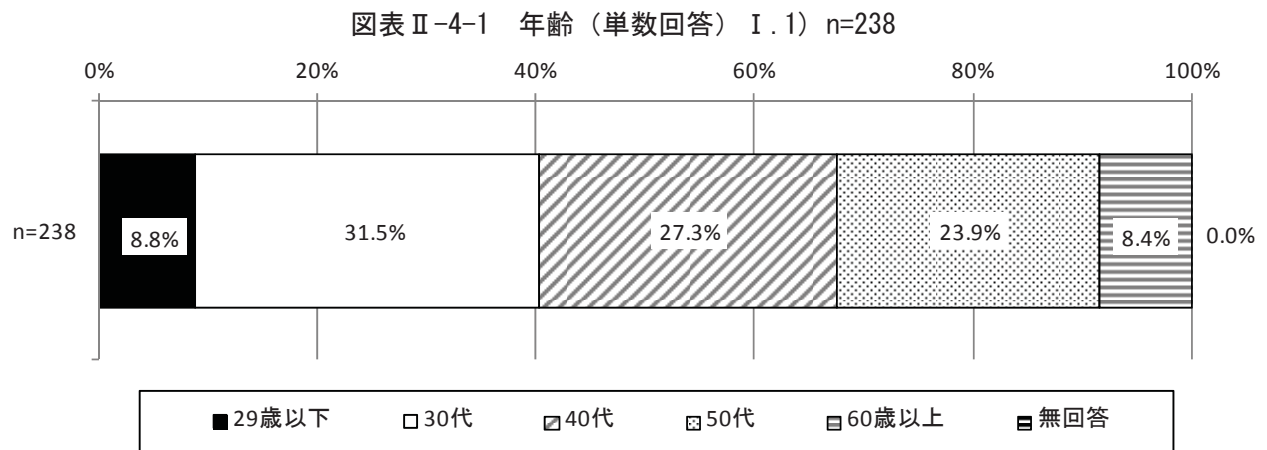
	合計	あり	なし	分からない	無回答
全体	495 100.0%	257 51.9%	203 41.0%	30 6.1%	5 1.0%
リハビリ職員	121 100.0%	78 64.5%	38 31.4%	4 3.3%	1 0.8%
看護職員	228 100.0%	90 39.5%	111 48.7%	23 10.1%	4 1.8%
柔道整復師	32 100.0%	22 68.8%	10 31.3%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	38 100.0%	26 68.4%	11 28.9%	1 2.6%	0 0.0%
鍼灸師	21 100.0%	13 61.9%	8 38.1%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	97 100.0%	55 56.7%	39 40.2%	3 3.1%	0 0.0%
社会福祉士	9 100.0%	5 55.6%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	11 100.0%	8 72.7%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%
健康運動指導士	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	28 100.0%	19 67.9%	9 32.1%	0 0.0%	0 0.0%
なし	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

第4節 短期入所生活介護事業所

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年齢は、「30代」が31.5%、「40代」が27.3%、「50代」が23.9%であった。



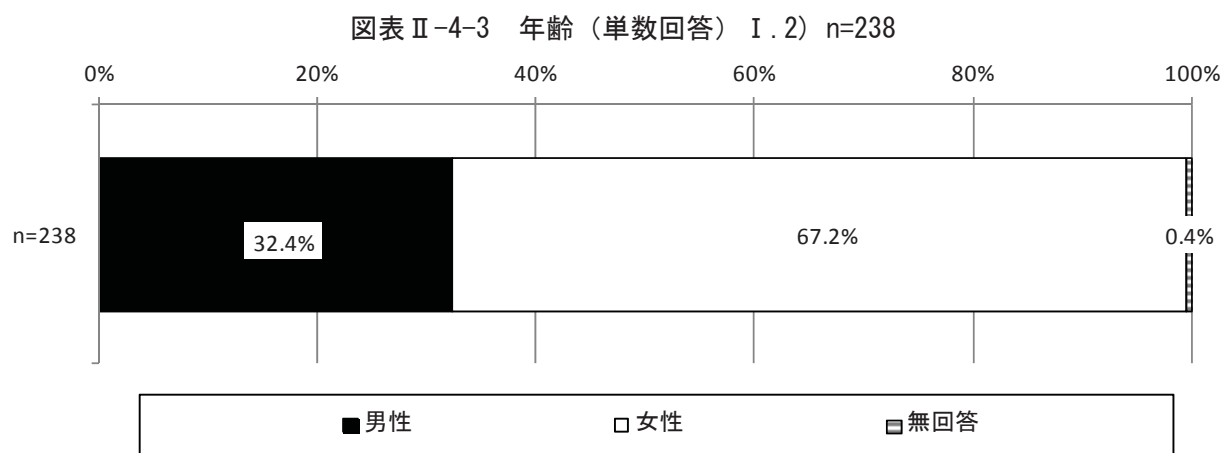
保有している資格別に年齢をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「介護福祉士」は「30代」、「看護職員」は「50代」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-2 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.1）n=238

	合計	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
全体	238 100.0%	21 8.8%	75 31.5%	65 27.3%	57 23.9%	20 8.4%	0 0.0%
リハビリ職員	46 100.0%	5 10.9%	20 43.5%	12 26.1%	8 17.4%	1 2.2%	0 0.0%
看護職員	117 100.0%	4 3.4%	23 19.7%	31 26.5%	41 35.0%	18 15.4%	0 0.0%
柔道整復師	10 100.0%	3 30.0%	4 40.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	1 10.0%	2 20.0%	7 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	64 100.0%	7 10.9%	29 45.3%	16 25.0%	11 17.2%	1 1.6%	0 0.0%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	0 0.0%	7 38.9%	7 38.9%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 性別

性別は、「男性」が 32.4%、「女性」が 67.2%であった。



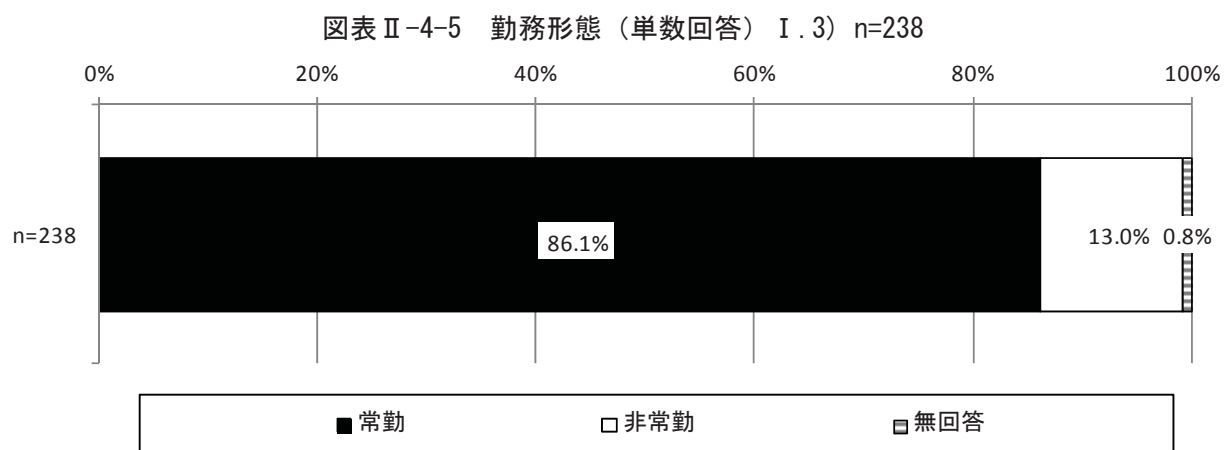
保有している資格別に性別をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「介護福祉士」は「男性」、「看護職員」は「女性」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-4 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.2) n=238

	合計	男性	女性	無回答
全体	238 100.0%	77 32.4%	160 67.2%	1 0.4%
リハビリ職員	46 100.0%	21 45.7%	25 54.3%	0 0.0%
看護職員	117 100.0%	11 9.4%	105 89.7%	1 0.9%
柔道整復師	10 100.0%	8 80.0%	2 20.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護福祉士	64 100.0%	34 53.1%	30 46.9%	0 0.0%
社会福祉士	8 100.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	5 27.8%	13 72.2%	0 0.0%
なし	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

(3) 勤務形態

勤務形態は、「常勤」が 86.1%、「非常勤」が 13.0%であった。



保有している資格別に勤務形態をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「非常勤」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-6 保有している資格別 勤務形態（単数回答） I.3) n=238

	合計	常勤	非常勤	無回答
全体	238 100.0%	205 86.1%	31 13.0%	2 0.8%
リハビリ職員	46 100.0%	35 76.1%	11 23.9%	0 0.0%
看護職員	117 100.0%	97 82.9%	18 15.4%	2 1.7%
柔道整復師	10 100.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	64 100.0%	64 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	8 100.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	17 94.4%	1 5.6%	0 0.0%
なし	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

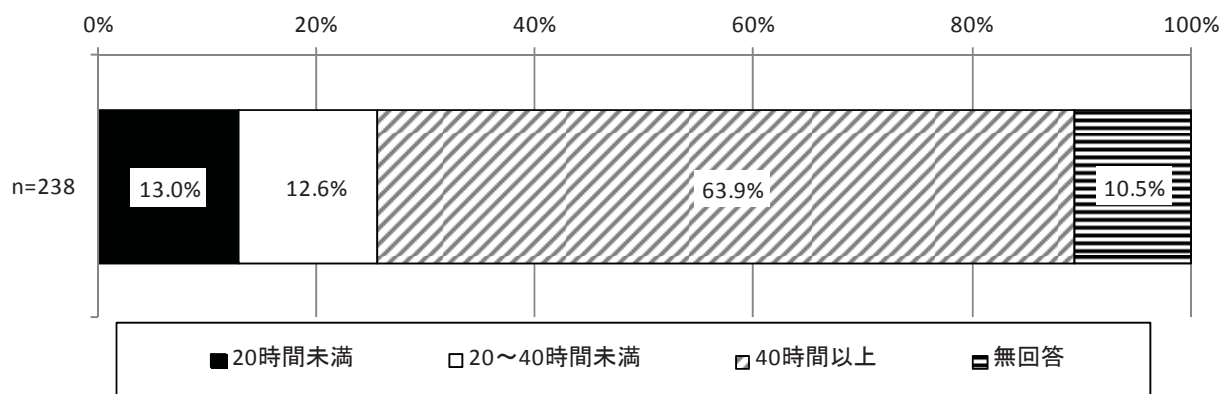
（４）１週間あたりの平均的な勤務時間

「１週間あたりの平均的な勤務時間」の平均値は、34.7 時間であった。「１週間あたりの平均的な勤務時間」は「40 時間以上」が 63.9%、「20 時間未満」が 13.0%で、「20～40 時間未満」が 12.6%であった。

図表Ⅱ-4-7 １週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4）n=213

件数	平均値	標準偏差	中央値
213	34.7	11.3	40.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	213	34.7	11.3	40.0
リハビリ職員	46	29.6	15.0	40.0
看護職員	100	35.6	9.5	40.0
柔道整復師	10	36.9	9.8	40.0
あん摩マッサージ指圧師	9	34.4	12.7	40.0
鍼灸師	5	40.0		40.0
介護福祉士	58	38.1	7.8	40.0
社会福祉士	8	40.0		40.0
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	3	34.0	23.6	40.0
介護職員初任者研修修了	3	44.7	8.1	40.0
健康運動指導士	2	40.0		40.0
その他	16	35.9	8.2	40.0
なし	3	37.3	4.6	40.0
無回答	3	29.3	19.1	35.0



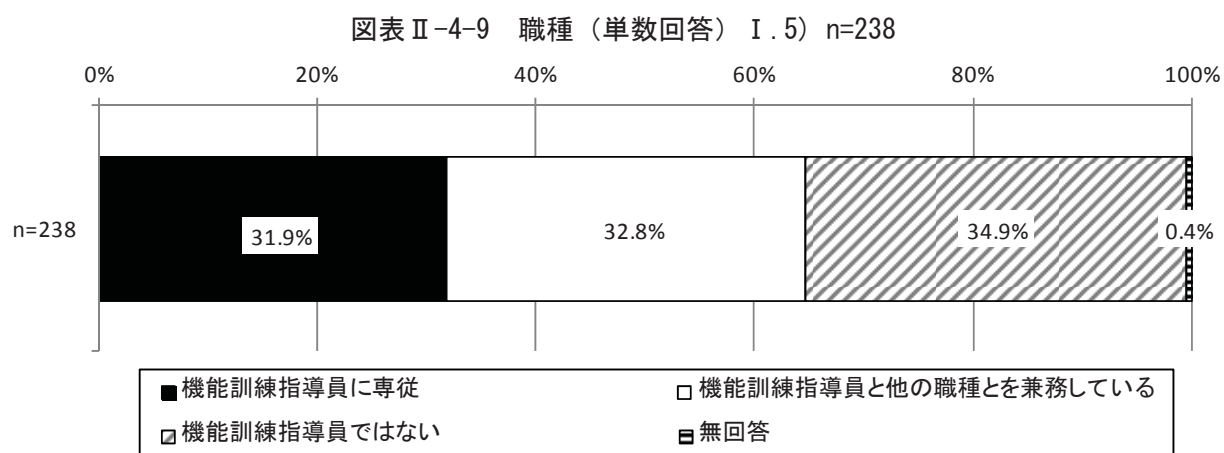
保有している資格別に1週間あたりの平均的な勤務時間をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「20時間未満」、「介護福祉士」は「40時間以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-8 保有している資格別 1週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4）n=238

	合計	20時間未満	20～40時間未満	40時間以上	無回答
全体	238 100.0%	31 13.0%	30 12.6%	152 63.9%	25 10.5%
リハビリ職員	46 100.0%	13 28.3%	6 13.0%	27 58.7%	0 0.0%
看護職員	117 100.0%	11 9.4%	16 13.7%	73 62.4%	17 14.5%
柔道整復師	10 100.0%	1 10.0%	0 0.0%	9 90.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	2 20.0%	0 0.0%	7 70.0%	1 10.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
介護福祉士	64 100.0%	3 4.7%	7 10.9%	48 75.0%	6 9.4%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	1 5.6%	5 27.8%	10 55.6%	2 11.1%
なし	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%

（５）職種

職種は、「機能訓練指導員ではない」は 34.9%、「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」は 32.8%であった。



保有している資格別に職種をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」は「機能訓練指導員に専従」、「看護職員」は「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」、「介護福祉士」は「機能訓練指導員ではない」の割合が高くなっていた。

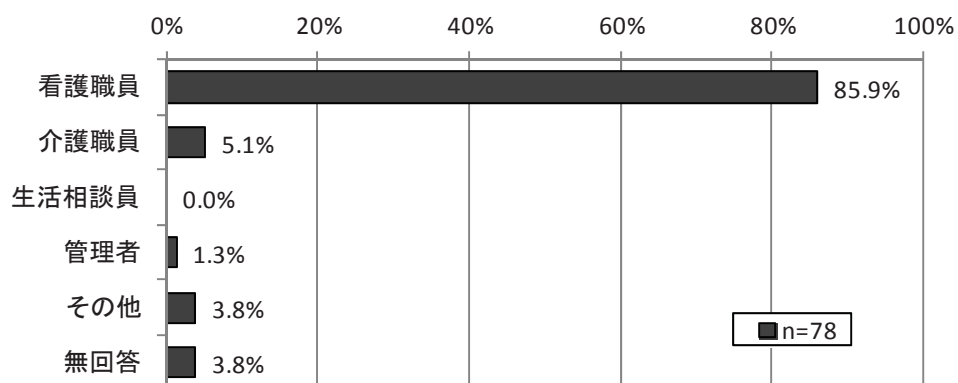
図表Ⅱ-4-10 保有している資格別 職種（単数回答） I.5) n=238

	合計	機能訓練 指導員に 専従	機能訓練 指導員と 他の職種 とを兼務 している	機能訓練 指導員で はない	無回答
全体	238 100.0%	76 31.9%	78 32.8%	83 34.9%	1 0.4%
リハビリ職員	46 100.0%	33 71.7%	5 10.9%	8 17.4%	0 0.0%
看護職員	117 100.0%	25 21.4%	70 59.8%	22 18.8%	0 0.0%
柔道整復師	10 100.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護福祉士	64 100.0%	3 4.7%	10 15.6%	50 78.1%	1 1.6%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	4 22.2%	3 16.7%	10 55.6%	1 5.6%
なし	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%

（６）機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種は、「看護職員」が 85.9%、「介護職員」が 5.1%であった。

図表Ⅱ-4-11 機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答）Ⅰ.5)① n=78



保有している資格別に、機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種をみると、「看護職員」は「看護職員」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-12 保有している資格別

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答）Ⅰ.5)① n=78

	合計	看護職員	介護職員	生活相談員	管理者	その他	無回答
全体	78 100.0%	67 85.9%	4 5.1%	0 0.0%	1 1.3%	3 3.8%	3 3.8%
リハビリ職員	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%
看護職員	70 100.0%	67 95.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.9%
柔道整復師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	10 100.0%	4 40.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%
社会福祉士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(7) 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）

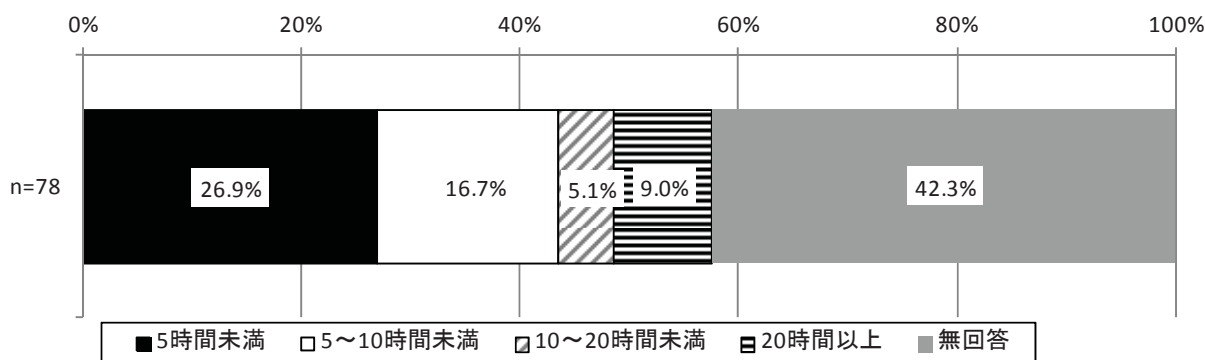
「機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）」の平均値は、9.6 時間であった。「機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）」は「5時間未満」が 26.9%、「5～10 時間未満」が 16.7%で、「20 時間以上」が 9.0%であった。

図表Ⅱ-4-13 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

件数	平均値	標準偏差	中央値
45	9.6	12.1	5.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	45	9.6	12.1	5.0
リハビリ職員	3	26.7	23.1	40.0
看護職員	41	9.3	11.6	5.0
柔道整復師	0			
あん摩マッサージ指圧師	0			
鍼灸師	0			
介護福祉士	7	8.4	14.1	3.0
社会福祉士	1	2.0		2.0
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	0			
介護職員初任者研修修了	0			
健康運動指導士	0			
その他	3	23.0	19.3	27.0

図表Ⅱ-4-14 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)② n=78



図表Ⅱ-4-15 保有している資格別

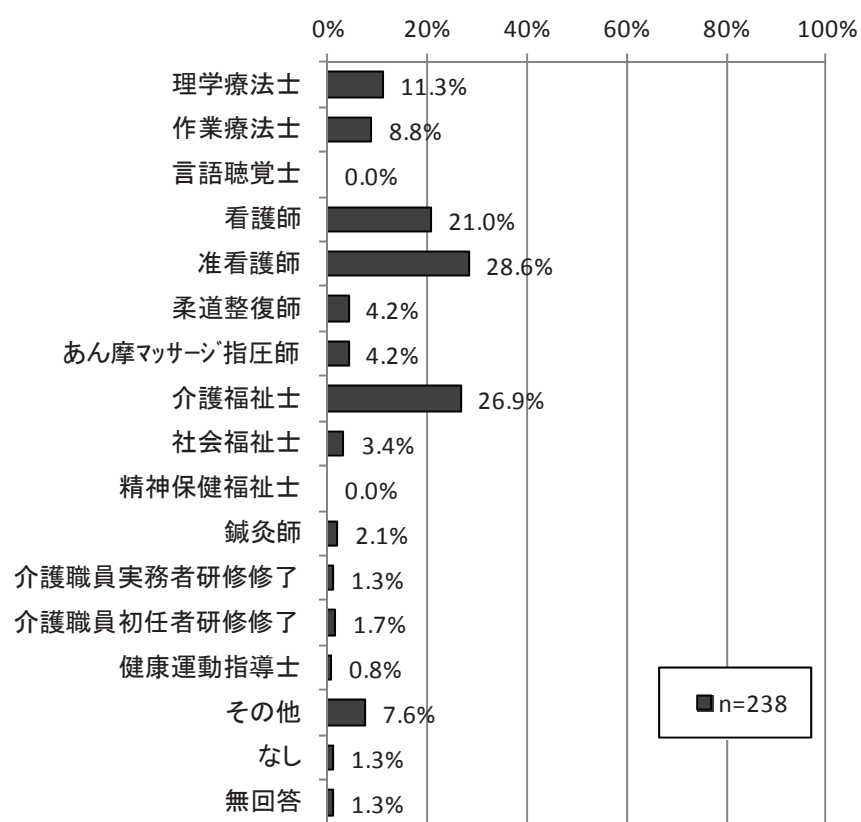
機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

	合計	5 時間未 満	5～10 時 間未満	10～20 時 間未満	20 時間以 上	無回答
全体	78 100.0%	21 26.9%	13 16.7%	4 5.1%	7 9.0%	33 42.3%
リハビリ職員	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%
看護職員	70 100.0%	19 27.1%	12 17.1%	4 5.7%	6 8.6%	29 41.4%
柔道整復師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ 指圧師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
鍼灸師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護福祉士	10 100.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	3 30.0%
社会福祉士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
その他	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（８）保有している資格

保有している資格は、「准看護師」が 28.6%、「介護福祉士」が 26.9%、「看護師」が 21.0%であった。

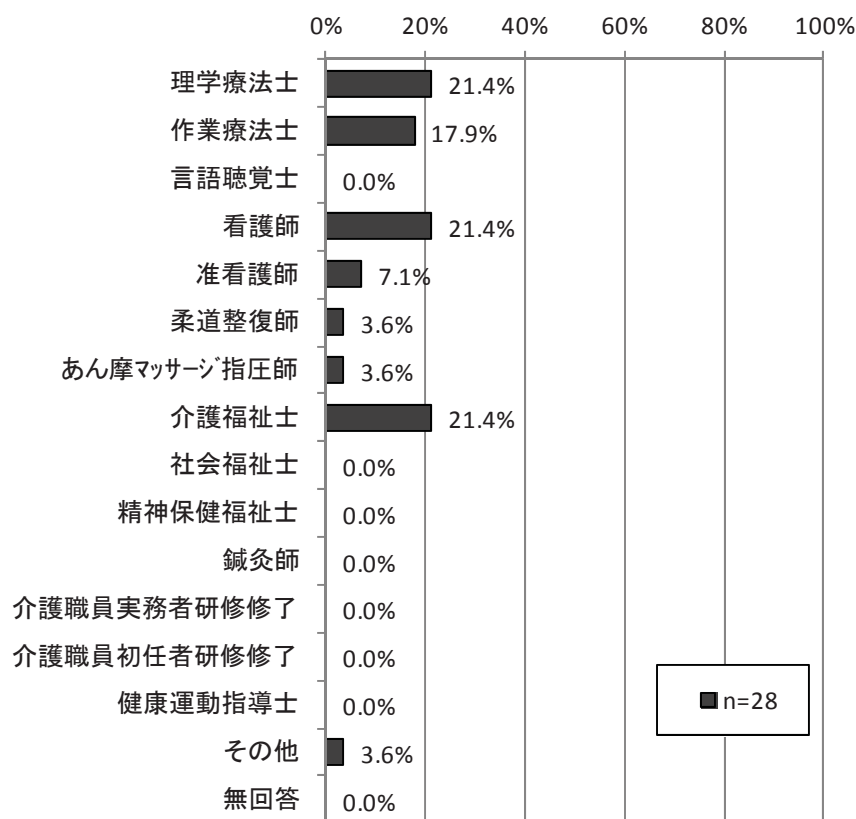
図表Ⅱ-4-16 保有している資格（複数回答）Ⅰ.6) n=238



（９）機能訓練を実施する上で役立っている資格

複数の資格を有している場合、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、をたずねたところ、回答が得られた 28 人について、その資格は、「理学療法士」、「看護師」、「介護福祉士」が 21.4% で最も割合が高かった。

図表Ⅱ-4-17 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=28



保有している資格別に、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、をたずねたところ、「リハビリ職員」は「理学療法士」が 54.5%、「作業療法士」が 45.5%であった。「看護職員」は「看護師」が 40.0%、「理学療法士」が 26.7%、「作業療法士」が 20.0%であった。

図表Ⅱ-4-18 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=28

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	准看護師	柔道整復師
全体	28 100.0%	6 21.4%	5 17.9%	0 0.0%	6 21.4%	2 7.1%	1 3.6%
リハビリ職員	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	15 100.0%	4 26.7%	3 20.0%	0 0.0%	6 40.0%	2 13.3%	0 0.0%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
あん摩マッサージ指圧師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
鍼灸師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
介護福祉士	12 100.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	10 100.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=28

	合計	あん摩マ ッサージ 指圧 師	介護福祉 士	社会福祉 士	精神保健 福祉士	鍼灸師	介護職員 実務者研 修修了
全体	28 100.0%	1 3.6%	6 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
リハビリ職員	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ 指圧師	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	12 100.0%	1 8.3%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	10 100.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=28

	合計	介護職員 初任者研 修修了	健康運動 指導士	その他	無回答
全体	28 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%
リハビリ職員	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
鍼灸師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
介護福祉士	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

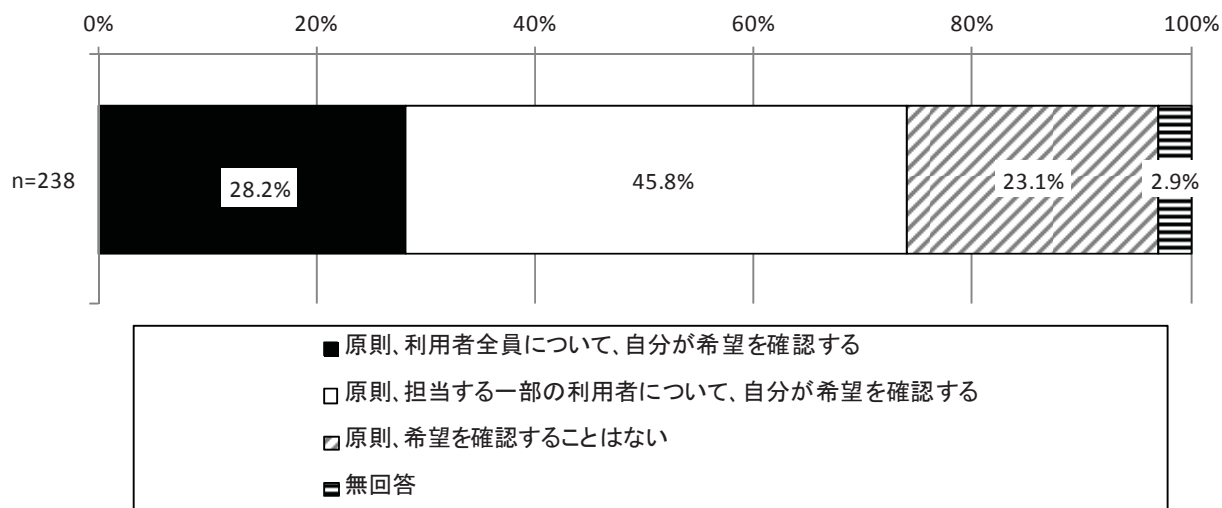
2. 機能訓練に関連して実施している業務

(1) ニーズ把握・情報収集

①機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」は28.2%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する」は45.8%、「原則、希望を確認することはない」は23.1%であった。

図表Ⅱ-4-19 機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=238



図表Ⅱ-4-20 保有している資格別

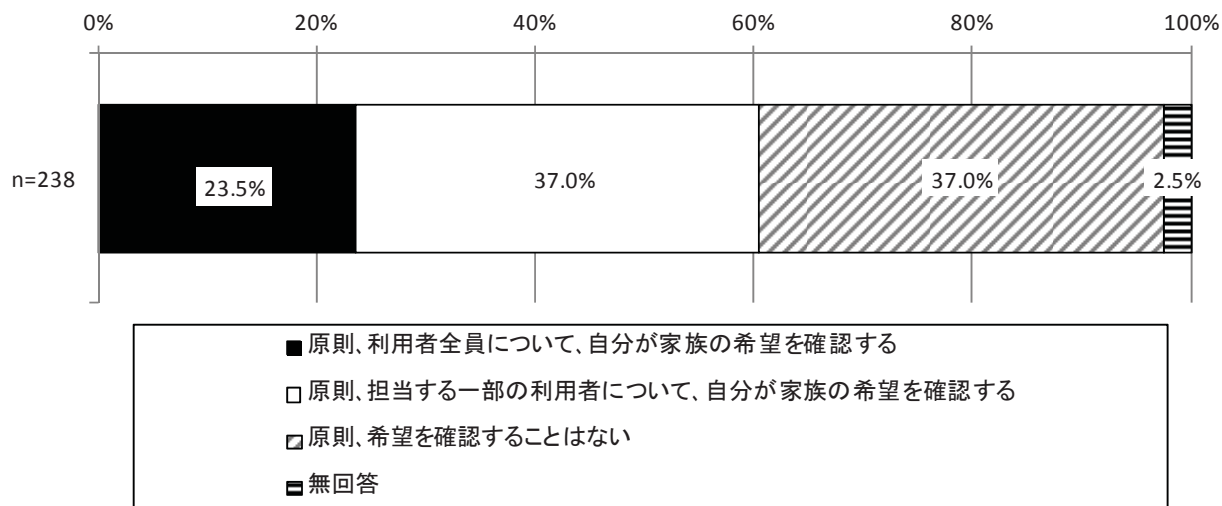
機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=238

	合計	原則、利用者全員について、自分が希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	238 100.0%	67 28.2%	109 45.8%	55 23.1%	7 2.9%
リハビリ職員	46 100.0%	17 37.0%	22 47.8%	6 13.0%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	33 28.2%	50 42.7%	31 26.5%	3 2.6%
柔道整復師	10 100.0%	6 60.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	5 50.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	10 15.6%	32 50.0%	20 31.3%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	6 33.3%	5 27.8%	7 38.9%	0 0.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

②機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」は23.5%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する」、「原則、希望を確認することはない」は37.0%であった。

図表Ⅱ-4-21 機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=238



図表Ⅱ-4-22 保有している資格別

機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=238

	合計	原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	238 100.0%	56 23.5%	88 37.0%	88 37.0%	6 2.5%
リハビリ職員	46 100.0%	15 32.6%	16 34.8%	14 30.4%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	26 22.2%	44 37.6%	44 37.6%	3 2.6%
柔道整復師	10 100.0%	5 50.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	4 40.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	8 12.5%	23 35.9%	31 48.4%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	5 27.8%	6 33.3%	7 38.9%	0 0.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

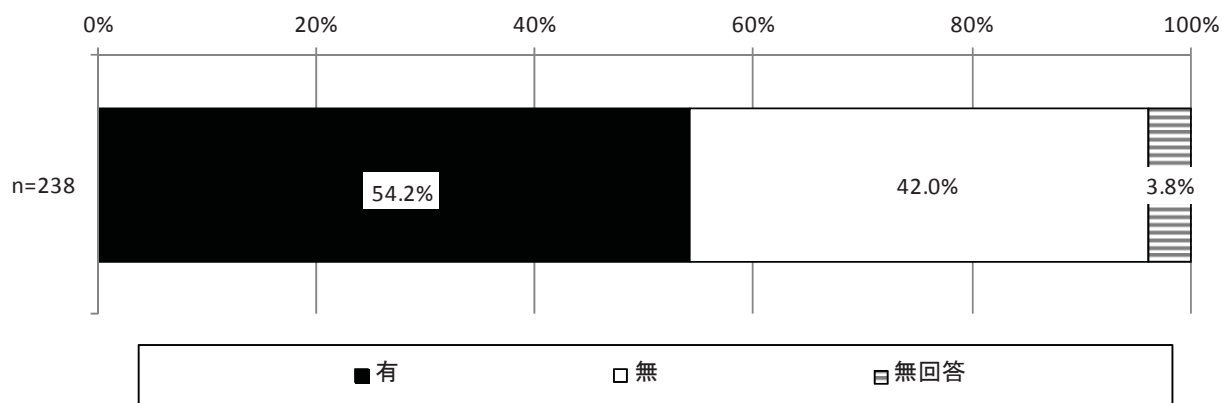
(2) アセスメント・評価

①機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをたずねたところ、「有」が 54.2%、「無」が 42.0%であった。

図表Ⅱ-4-23 機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

(単数回答) Ⅱ(2).9) n=238



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「有」、「介護福祉士」は「無」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-24 保有している資格別

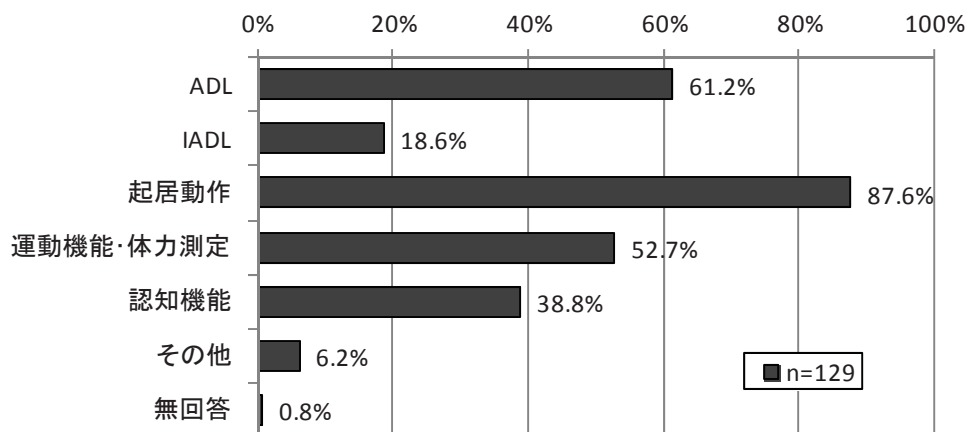
機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況（単数回答）Ⅱ(2).9) n=238

	合計	有	無	無回答
全体	238 100.0%	129 54.2%	100 42.0%	9 3.8%
リハビリ職員	46 100.0%	41 89.1%	5 10.9%	0 0.0%
看護職員	117 100.0%	58 49.6%	53 45.3%	6 5.1%
柔道整復師	10 100.0%	8 80.0%	2 20.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	21 32.8%	41 64.1%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	2 25.0%	6 75.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	9 50.0%	8 44.4%	1 5.6%
なし	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

②機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをたずねたところ、「起居動作」が 87.6%、「ADL」が 61.2%、「運動機能・体力測定」が 52.7%、「認知機能」が 38.8%であった。

図表Ⅱ-4-25 機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=129



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「ADL」「運動機能・体力測定」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-26 保有している資格別

機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=129

	合計	ADL	IADL	起居動作
全体	129 100.0%	79 61.2%	24 18.6%	113 87.6%
リハビリ職員	41 100.0%	32 78.0%	9 22.0%	38 92.7%
看護職員	58 100.0%	28 48.3%	5 8.6%	46 79.3%
柔道整復師	8 100.0%	6 75.0%	5 62.5%	8 100.0%
あん摩マッサージ指圧師	9 100.0%	7 77.8%	3 33.3%	7 77.8%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
介護福祉士	21 100.0%	11 52.4%	3 14.3%	18 85.7%
社会福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護職員初任者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
健康運動指導士	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%
その他	9 100.0%	8 88.9%	4 44.4%	9 100.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%

(つづき) 保有している資格別

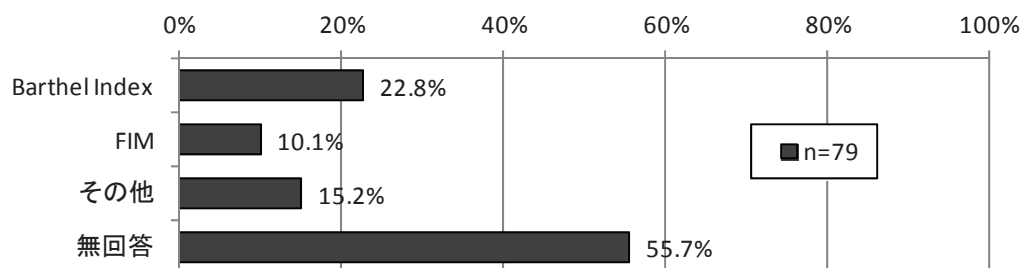
機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目(複数回答)Ⅱ(2).9)① n=129

	合計	運動機能・体力測定	認知機能	その他	無回答
全体	129 100.0%	68 52.7%	50 38.8%	8 6.2%	1 0.8%
リハビリ職員	41 100.0%	30 73.2%	18 43.9%	5 12.2%	1 2.4%
看護職員	58 100.0%	20 34.5%	21 36.2%	4 6.9%	1 1.7%
柔道整復師	8 100.0%	5 62.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	9 100.0%	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	21 100.0%	11 52.4%	12 57.1%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	5 55.6%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%
なし	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

③ A D L の評価に活用している評価指標

A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Barthel Index」は 22.8%、「FIM」は 10.1%であった。

図表Ⅱ-4-27 A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=79



保有している資格別に、ADLを活用して利用者の状態の評価を行っている場合の活用している評価指標をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「Barthel Index」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-28 保有している資格別

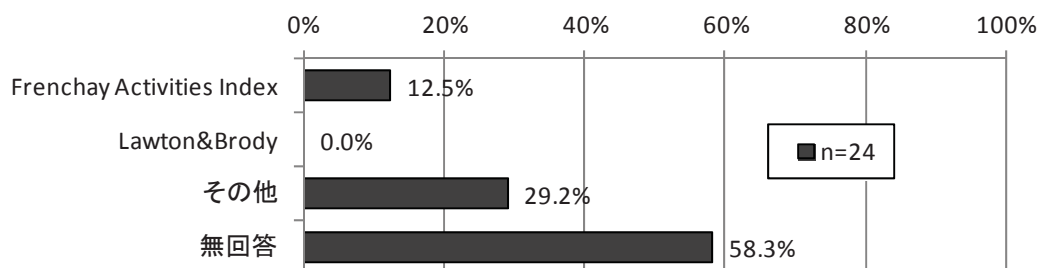
ADLの評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=79

	合計	Barthel Index	FIM	その他	無回答
全体	79 100.0%	18 22.8%	8 10.1%	12 15.2%	44 55.7%
リハビリ職員	32 100.0%	17 53.1%	5 15.6%	3 9.4%	10 31.3%
看護職員	28 100.0%	1 3.6%	2 7.1%	4 14.3%	21 75.0%
柔道整復師	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%
あん摩マッサージ指圧師	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	3 42.9%
鍼灸師	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護福祉士	11 100.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	10 90.9%
社会福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
その他	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	6 75.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

④ I A D L の評価に活用している評価指標

I A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Frenchay Activities Index」が 12.5%、「Lawton&Brody」は 0.0%であった。

図表Ⅱ-4-29 I A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=24



図表Ⅱ-4-30 保有している資格別

I A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ (2). 9) ① n=24

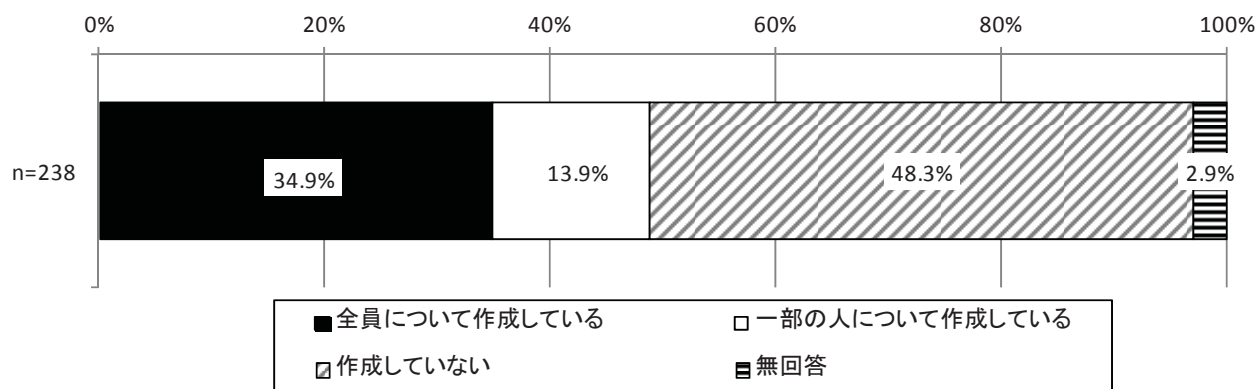
	合計	Frenchay Activities Index	Lawton&Brody	その他	無回答
全体	24 100.0%	3 12.5%	0 0.0%	7 29.2%	14 58.3%
リハビリ職員	9 100.0%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	6 66.7%
看護職員	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%
柔道整復師	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%
あん摩マッサージ指 圧師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
社会福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者 研修修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者 研修修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 機能訓練計画の作成

①事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況

事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをたずねたところ、「全員について作成している」は 34.9%、「一部の人について作成している」は 13.9%、「作成していない」は 48.3%であった。

図表Ⅱ-4-31 事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=238



保有している資格別に、事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「全員について作成している」の割合が高くなっていた。

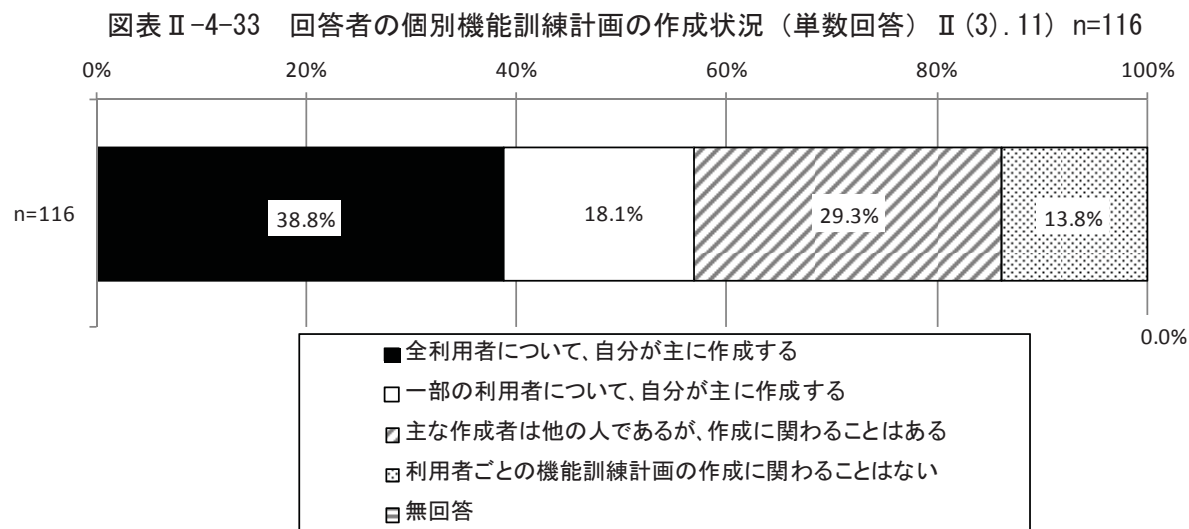
図表Ⅱ-4-32 保有している資格別

事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=238

	合計	全員について作成している	一部の人について作成している	作成していない	無回答
全体	238 100.0%	83 34.9%	33 13.9%	115 48.3%	7 2.9%
リハビリ職員	46 100.0%	28 60.9%	8 17.4%	10 21.7%	0 0.0%
看護職員	117 100.0%	37 31.6%	16 13.7%	60 51.3%	4 3.4%
柔道整復師	10 100.0%	8 80.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	6 60.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	9 14.1%	6 9.4%	47 73.4%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	2 25.0%	0 0.0%	6 75.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	4 22.2%	2 11.1%	11 61.1%	1 5.6%
なし	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

②回答者の個別機能訓練計画の作成状況

回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをたずねたところ、「全利用者について、自分が主に作成する」は 38.8%、「一部の利用者について、自分が主に作成する」は 18.1%、「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」は 29.3%、「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」は 13.8%であった。回答者が主に計画を作成した利用者数の平均値は 16.2 件であった。



図表Ⅱ-4-34 回答者が主に計画を作成した利用者数（数値回答）Ⅱ(3).11) n=9

件数	平均値	標準偏差	中央値
9	16.2	22.5	3.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	9	16.2	22.5	3.0
リハビリ職員	1	2.0		2.0
看護職員	3	4.3	5.9	2.0
柔道整復師	2	29.0	36.8	29.0
あん摩マッサージ指圧師	1	15.0		15.0
鍼灸師	0			
介護福祉士	0			
社会福祉士	0			
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	0			
介護職員初任者研修修了	0			
健康運動指導士	0			
その他	1	11.0		11.0
なし	2	29.0	36.8	29.0

図表Ⅱ-4-35 保有している資格別 回答者の個別機能訓練計画の作成状況(単数回答)Ⅱ(3).11) n=116

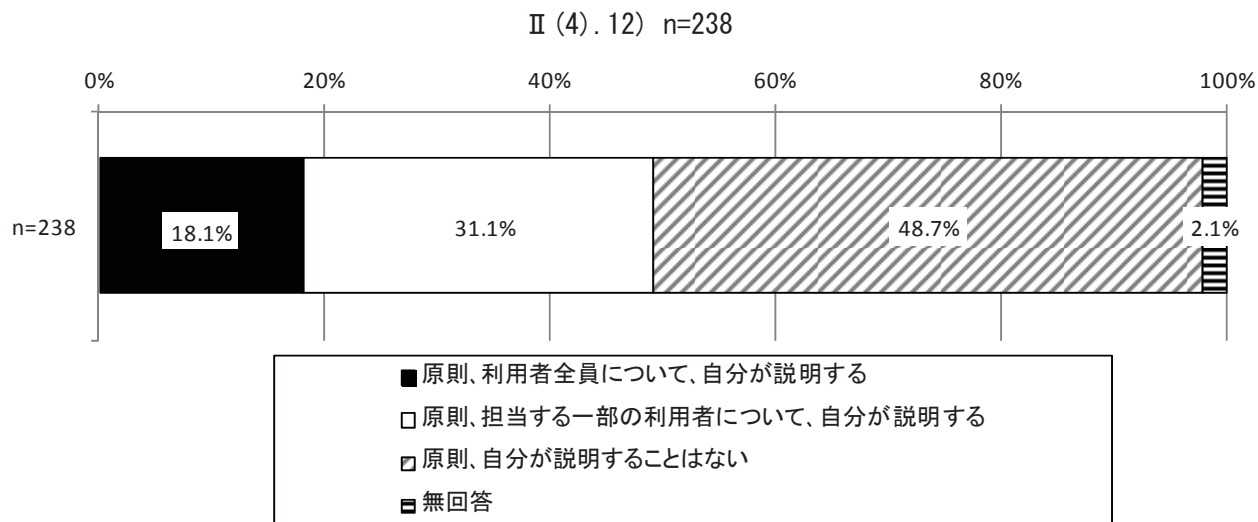
	合計	全利用者について、自分が主に作成する	一部の利用者について、自分が主に作成する	主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある	利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない	無回答
全体	116 100.0%	45 38.8%	21 18.1%	34 29.3%	16 13.8%	0 0.0%
リハビリ職員	36 100.0%	17 47.2%	5 13.9%	11 30.6%	3 8.3%	0 0.0%
看護職員	53 100.0%	21 39.6%	9 17.0%	18 34.0%	5 9.4%	0 0.0%
柔道整復師	8 100.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	8 100.0%	4 50.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	15 100.0%	1 6.7%	2 13.3%	6 40.0%	6 40.0%	0 0.0%
社会福祉士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 利用者または家族等への説明

①回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況

回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が説明する」は18.1%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する」は31.1%、「原則、自分が説明することはない」は48.7%であった。

図表Ⅱ-4-36 回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）



保有している資格別に、回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをみると、全体と比較して「介護福祉士」は「原則、自分が説明することはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-37 保有している資格別

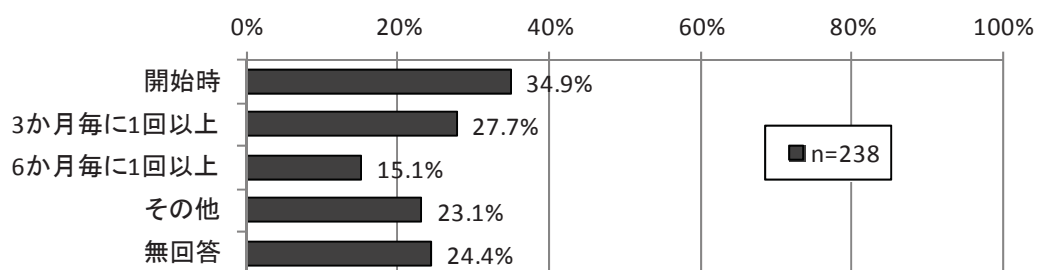
回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）Ⅱ(4).12) n=238

	合計	原則、利用者全員について、自分が説明する	原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する	原則、自分が説明することはない	無回答
全体	238 100.0%	43 18.1%	74 31.1%	116 48.7%	5 2.1%
リハビリ職員	46 100.0%	12 26.1%	18 39.1%	15 32.6%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	19 16.2%	39 33.3%	56 47.9%	3 2.6%
柔道整復師	10 100.0%	6 60.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	4 40.0%	2 20.0%	4 40.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	4 6.3%	18 28.1%	42 65.6%	0 0.0%
社会福祉士	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	6 75.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修了	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修了	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	4 22.2%	4 22.2%	10 55.6%	0 0.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

②利用者や家族等への説明頻度

利用者や家族等への説明の頻度は、「開始時」が 34.9%、「3 か月毎に 1 回以上」が 27.7%であった。

図表Ⅱ-4-38 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=238



保有している資格別に、利用者や家族等への説明の頻度をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」は「3 か月毎に 1 回以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-39 保有している資格別 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=238

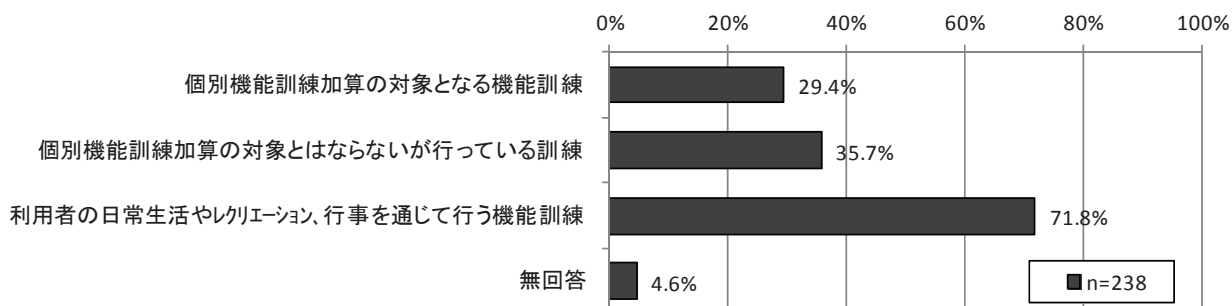
	合計	開始時	3 か月毎 に 1 回以上	6 か月毎 に 1 回以上	その他	無回答
全体	238 100.0%	83 34.9%	66 27.7%	36 15.1%	55 23.1%	58 24.4%
リハビリ職員	46 100.0%	18 39.1%	21 45.7%	9 19.6%	13 28.3%	5 10.9%
看護職員	117 100.0%	36 30.8%	27 23.1%	19 16.2%	24 20.5%	32 27.4%
柔道整復師	10 100.0%	5 50.0%	7 70.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%
介護福祉士	64 100.0%	15 23.4%	9 14.1%	9 14.1%	18 28.1%	21 32.8%
社会福祉士	8 100.0%	2 25.0%	0 0.0%	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	3 16.7%	7 38.9%	3 16.7%	8 44.4%	2 11.1%
なし	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%

(5) 機能訓練の実施状況

①回答者が実施することがある機能訓練

回答者が実施することがある機能訓練は、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」が71.8%で最も割合が高く、次いで「個別機能訓練加算の対象とはならないが行っている訓練」が35.7%、「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」が29.4%であった。

図表Ⅱ-4-40 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ(5).14) n=238



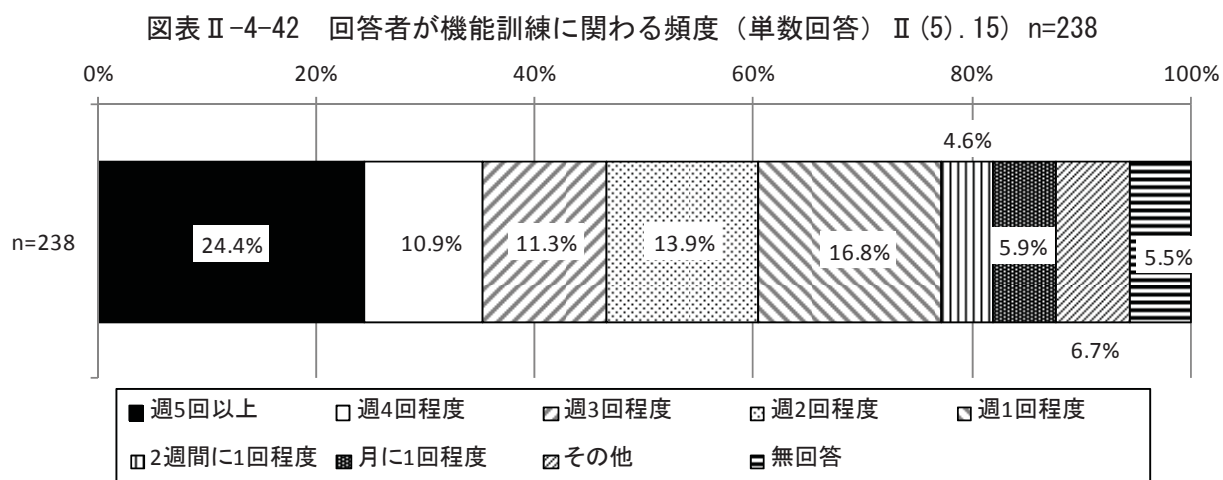
保有している資格別に回答者が実施することがある機能訓練をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-41 保有している資格別 回答者が実施することがある機能訓練(複数回答)Ⅱ(5).14) n=238

	合計	個別機能 訓練加算 の対象と なる機能 訓練	個別機能 訓練加算 の対象と はならな いが行っ ている訓 練	利用者の 日常生活 やレクリエ ーション、行事 を通じて 行う機能 訓練	無回答
全体	238 100.0%	70 29.4%	85 35.7%	171 71.8%	11 4.6%
リハビリ職員	46 100.0%	28 60.9%	15 32.6%	24 52.2%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	30 25.6%	46 39.3%	83 70.9%	7 6.0%
柔道整復師	10 100.0%	8 80.0%	4 40.0%	7 70.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	6 60.0%	3 30.0%	4 40.0%	1 10.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%
介護福祉士	64 100.0%	4 6.3%	16 25.0%	58 90.6%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	8 100.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	6 33.3%	4 22.2%	14 77.8%	2 11.1%
なし	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%

②回答者が機能訓練に関わる頻度

回答者が機能訓練に関わる頻度は、「週5回以上」が24.4%、「週1回程度」が16.8%、「週2回程度」が13.9%であった。



保有している資格別に、回答者が機能訓練に関わる頻度をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「週5回以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-43 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度（単数回答）Ⅱ(5).15) n=238

	合計	週5回以上	週4回程度	週3回程度	週2回程度	週1回程度
全体	238 100.0%	58 24.4%	26 10.9%	27 11.3%	33 13.9%	40 16.8%
リハビリ職員	46 100.0%	22 47.8%	1 2.2%	1 2.2%	3 6.5%	11 23.9%
看護職員	117 100.0%	26 22.2%	15 12.8%	16 13.7%	21 17.9%	12 10.3%
柔道整復師	10 100.0%	7 70.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護福祉士	64 100.0%	4 6.3%	7 10.9%	7 10.9%	9 14.1%	15 23.4%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	3 37.5%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	4 22.2%
なし	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%

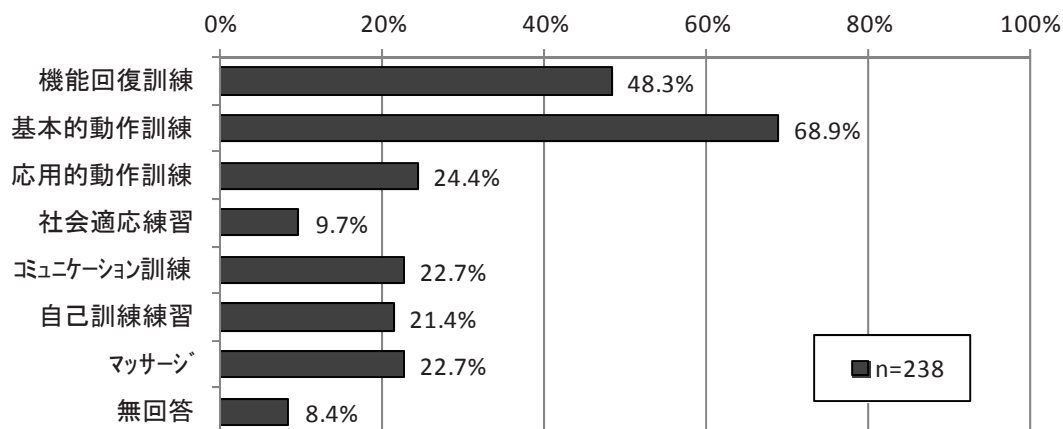
(つづき) 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度 (単数回答) II (5). 15) n=238

	合計	2週間に1 回程度	月に1回 程度	その他	無回答
全体	238 100.0%	11 4.6%	14 5.9%	16 6.7%	13 5.5%
リハビリ職員	46 100.0%	1 2.2%	2 4.3%	2 4.3%	3 6.5%
看護職員	117 100.0%	5 4.3%	8 6.8%	8 6.8%	6 5.1%
柔道整復師	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%
介護福祉士	64 100.0%	6 9.4%	5 7.8%	8 12.5%	3 4.7%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	1 5.6%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%
なし	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③回答者が実施した機能訓練の具体的内容

回答者が平成 28 年 10～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容は、「基本的動作訓練」が 68.9%で最も割合が高く、次いで「機能回復訓練」が 48.3%、「応用的動作訓練」が 24.4%、「コミュニケーション訓練」、「マッサージ」が 22.7%であった。

図表Ⅱ-4-44 回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=238



保有している資格別に、回答者が平成 28 年 10～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」「応用的動作訓練」「自己訓練練習」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-45 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=238

	合計	機能回復 訓練	基本的動 作訓練	応用的動 作訓練	社会適応 練習
全体	238 100.0%	115 48.3%	164 68.9%	58 24.4%	23 9.7%
リハビリ職員	46 100.0%	35 76.1%	42 91.3%	21 45.7%	6 13.0%
看護職員	117 100.0%	49 41.9%	77 65.8%	20 17.1%	7 6.0%
柔道整復師	10 100.0%	9 90.0%	8 80.0%	3 30.0%	1 10.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	7 70.0%	6 60.0%	3 30.0%	2 20.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護福祉士	64 100.0%	17 26.6%	38 59.4%	11 17.2%	5 7.8%
社会福祉士	8 100.0%	2 25.0%	5 62.5%	4 50.0%	2 25.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	8 44.4%	9 50.0%	6 33.3%	2 11.1%
なし	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%
無回答	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容 (複数回答) II (5). 16) n=238

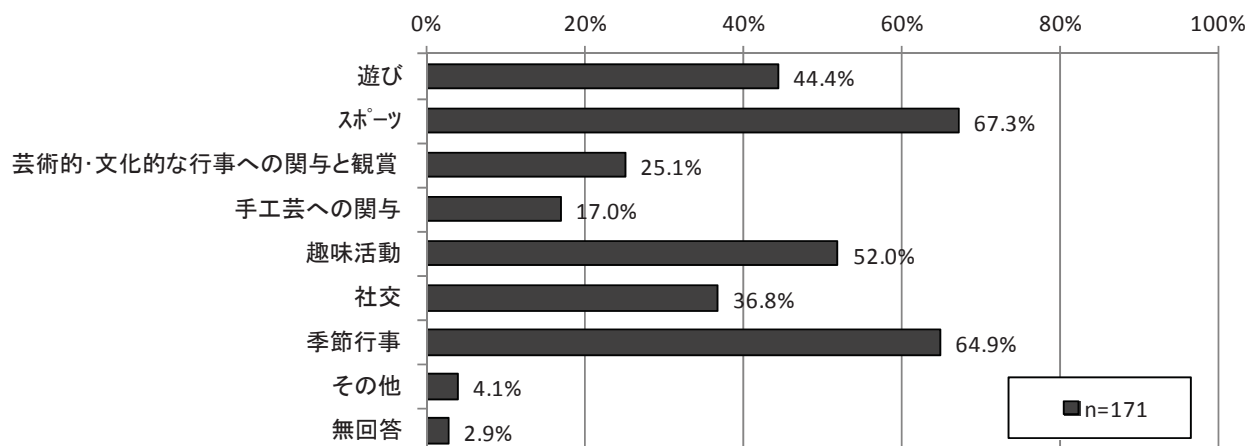
	合計	コミュニケーション訓練	自己訓練 練習	マッサージ	無回答
全体	238 100.0%	54 22.7%	51 21.4%	54 22.7%	20 8.4%
リハビリ職員	46 100.0%	7 15.2%	17 37.0%	13 28.3%	2 4.3%
看護職員	117 100.0%	25 21.4%	25 21.4%	22 18.8%	12 10.3%
柔道整復師	10 100.0%	1 10.0%	3 30.0%	5 50.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	0 0.0%	1 10.0%	7 70.0%	1 10.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%
介護福祉士	64 100.0%	18 28.1%	8 12.5%	8 12.5%	6 9.4%
社会福祉士	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	7 38.9%	6 33.3%	3 16.7%	3 16.7%
なし	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練（指導）

回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等は、「スポーツ」が 67.3%で最も割合が高く、次いで「季節行事」が 64.9%、「趣味活動」が 52.0%、「遊び」が 44.4%であった。

図表Ⅱ-4-46 要支援1または2の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）

（複数回答）Ⅱ(5).17) n=171



保有している資格別に、回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「スポーツ」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-47 保有している資格別 要支援１または２の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）
（複数回答）Ⅱ(5).17) n=171

	合計	遊び	スポーツ	芸術的・ 文化的な 行事への 関与と観 賞	手工芸へ の関与	趣味活動
全体	171 100.0%	76 44.4%	115 67.3%	43 25.1%	29 17.0%	89 52.0%
リハビリ職員	24 100.0%	7 29.2%	20 83.3%	4 16.7%	5 20.8%	10 41.7%
看護職員	83 100.0%	34 41.0%	52 62.7%	19 22.9%	15 18.1%	43 51.8%
柔道整復師	7 100.0%	2 28.6%	6 85.7%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%
あん摩マッサージ指圧師	4 100.0%	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	2 50.0%
鍼灸師	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%
介護福祉士	58 100.0%	29 50.0%	37 63.8%	14 24.1%	8 13.8%	31 53.4%
社会福祉士	8 100.0%	3 37.5%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
健康運動指導士	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%
その他	14 100.0%	6 42.9%	12 85.7%	5 35.7%	2 14.3%	9 64.3%
なし	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%

(つづき) 保有している資格別 要支援 1 または 2 の利用者に対して回答者が行う機能訓練 (指導)

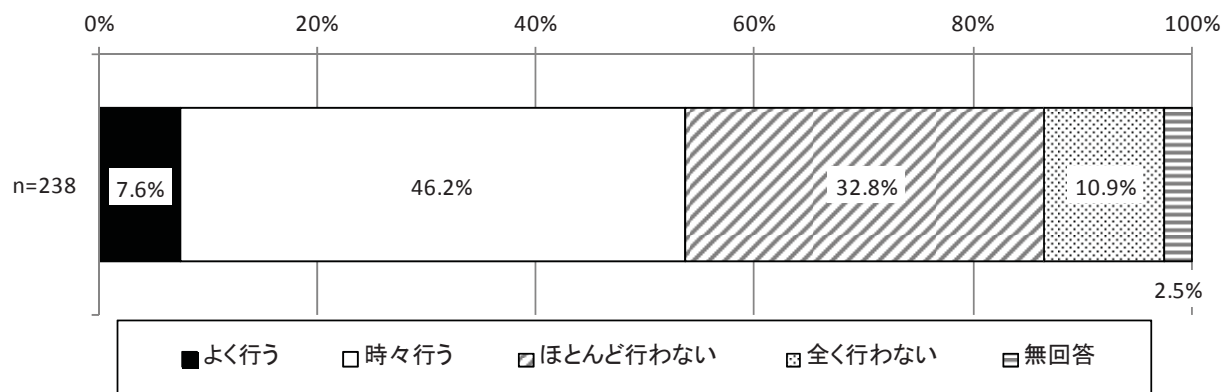
(複数回答) Ⅱ (5). 17) n=171

	合計	社交	季節行事	その他	無回答
全体	171 100.0%	63 36.8%	111 64.9%	7 4.1%	5 2.9%
リハビリ職員	24 100.0%	6 25.0%	9 37.5%	2 8.3%	0 0.0%
看護職員	83 100.0%	33 39.8%	57 68.7%	4 4.8%	3 3.6%
柔道整復師	7 100.0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%	1 14.3%
あん摩マッサージ指圧師	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	58 100.0%	22 37.9%	39 67.2%	2 3.4%	1 1.7%
社会福祉士	8 100.0%	3 37.5%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	14 100.0%	6 42.9%	10 71.4%	1 7.1%	0 0.0%
なし	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

⑤他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況

回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをたずねたところ、「時々行う」が46.2%、「ほとんど行わない」が32.8%であった。

図表Ⅱ-4-48 他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=238



保有している資格別に、回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをみると、全体と比較して「介護福祉士」は「ほとんど行わない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-49 保有している資格別

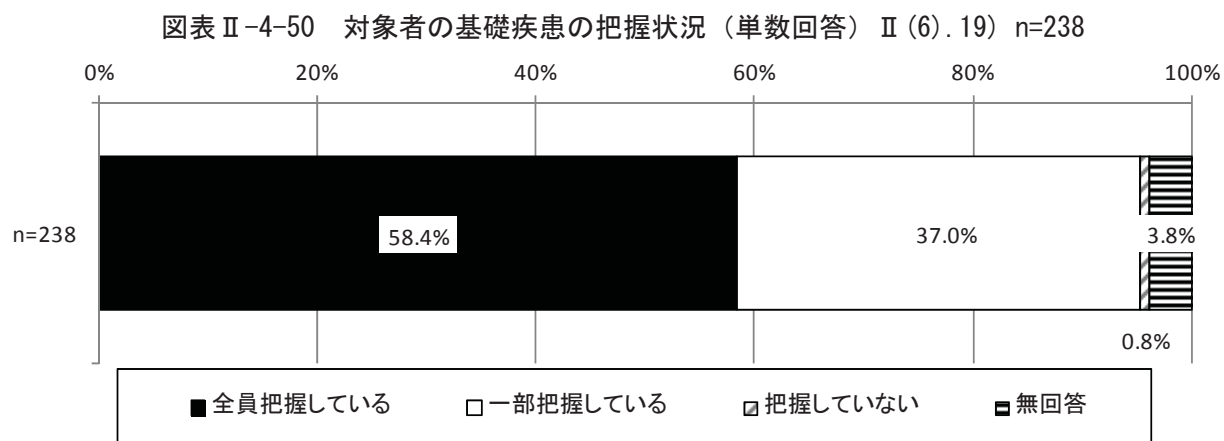
他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=238

	合計	よく行う	時々行う	ほとんど行わない	全く行わない	無回答
全体	238 100.0%	18 7.6%	110 46.2%	78 32.8%	26 10.9%	6 2.5%
リハビリ職員	46 100.0%	6 13.0%	25 54.3%	13 28.3%	1 2.2%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	10 8.5%	57 48.7%	32 27.4%	14 12.0%	4 3.4%
柔道整復師	10 100.0%	2 20.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	0 0.0%	6 60.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	1 1.6%	25 39.1%	27 42.2%	10 15.6%	1 1.6%
社会福祉士	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	1 5.6%	8 44.4%	7 38.9%	2 11.1%	0 0.0%
なし	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(6) 機能訓練を実施する際の留意点

①対象者の基礎疾患の把握状況

回答者の対象者の基礎疾患の把握状況は、「全員把握している」が 58.4%、「一部把握している」が 37.0%であった。



保有している資格別に、回答者の対象者の基礎疾患の把握状況をみると、全体と比較して「介護福祉士」は「一部把握している」の割合が高くなっていた。

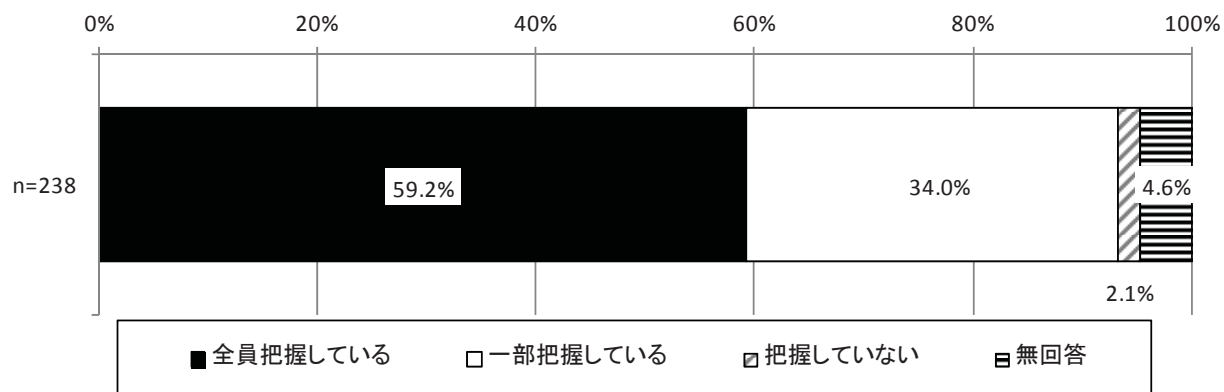
図表Ⅱ-4-51 保有している資格別 対象者の基礎疾患の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).19) n=238

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	238 100.0%	139 58.4%	88 37.0%	2 0.8%	9 3.8%
リハビリ職員	46 100.0%	30 65.2%	15 32.6%	0 0.0%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	79 67.5%	32 27.4%	0 0.0%	6 5.1%
柔道整復師	10 100.0%	7 70.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	4 40.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	24 37.5%	37 57.8%	1 1.6%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	10 55.6%	6 33.3%	1 5.6%	1 5.6%
なし	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

②対象者が認知症の場合の留意点の把握状況

回答者の対象者が認知症の場合の留意点の把握状況は、「全員把握している」が 59.2%、「一部把握している」が 34.0%であった。

図表Ⅱ-4-52 対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20) n=238



図表Ⅱ-4-53 保有している資格別

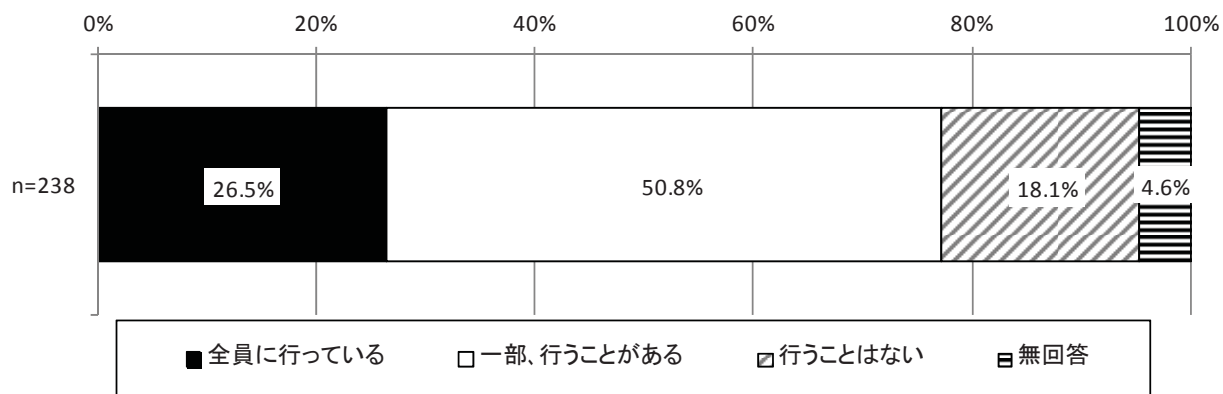
対象者の認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20) n=238

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	238 100.0%	141 59.2%	81 34.0%	5 2.1%	11 4.6%
リハビリ職員	46 100.0%	29 63.0%	14 30.4%	2 4.3%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	76 65.0%	30 25.6%	3 2.6%	8 6.8%
柔道整復師	10 100.0%	8 80.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	5 50.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	27 42.2%	35 54.7%	0 0.0%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	9 50.0%	6 33.3%	1 5.6%	2 11.1%
なし	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

③機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況

回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをたずねたところ、「全員に行っている」が26.5%、「一部、行うことがある」が50.8%であった。

図表Ⅱ-4-54 機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=238



保有している資格別に、回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「一部、行うことがある」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-55 保有している資格別

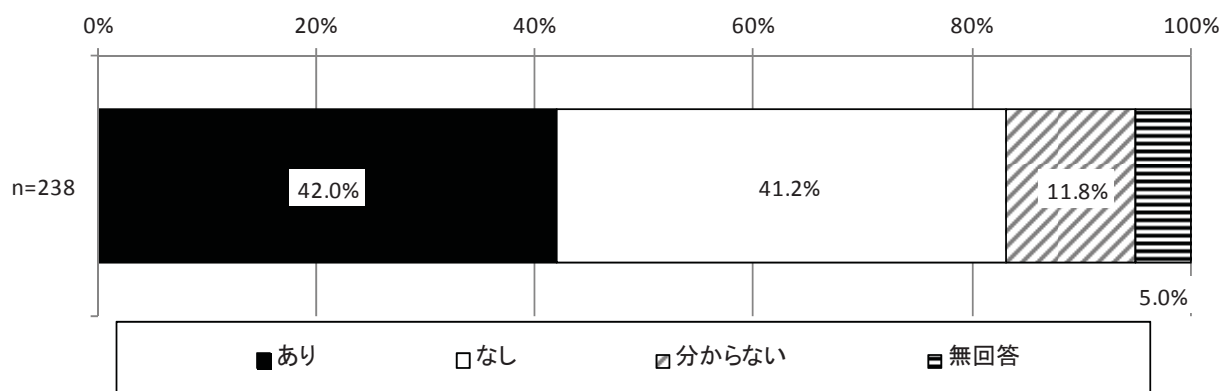
機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=238

	合計	全員に行 っている	一部、行 うことが ある	行うこと はない	無回答
全体	238 100.0%	63 26.5%	121 50.8%	43 18.1%	11 4.6%
リハビリ職員	46 100.0%	12 26.1%	29 63.0%	4 8.7%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	40 34.2%	54 46.2%	15 12.8%	8 6.8%
柔道整復師	10 100.0%	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	3 30.0%	4 40.0%	3 30.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	8 12.5%	34 53.1%	20 31.3%	2 3.1%
社会福祉士	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	3 16.7%	8 44.4%	6 33.3%	1 5.6%
なし	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

④機能訓練の際のヒヤリハットの経験

回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験は、「あり」は42.0%であった。

図表Ⅱ-4-56 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=238



保有している資格別に、回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「あり」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-4-57 保有している資格別 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=238

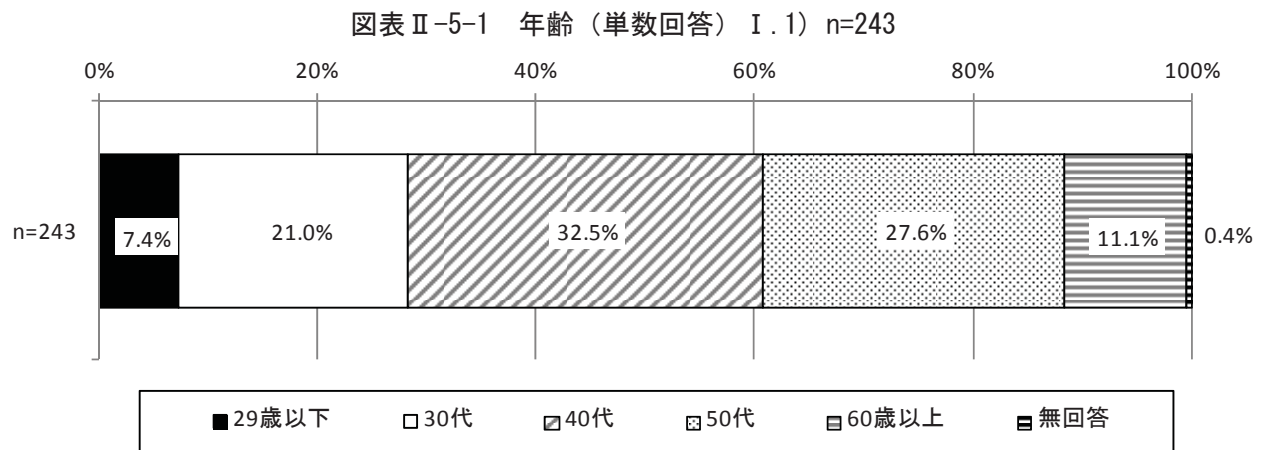
	合計	あり	なし	分からない	無回答
全体	238 100.0%	100 42.0%	98 41.2%	28 11.8%	12 5.0%
リハビリ職員	46 100.0%	32 69.6%	8 17.4%	5 10.9%	1 2.2%
看護職員	117 100.0%	38 32.5%	53 45.3%	18 15.4%	8 6.8%
柔道整復師	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	10 100.0%	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%
介護福祉士	64 100.0%	25 39.1%	28 43.8%	8 12.5%	3 4.7%
社会福祉士	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%
健康運動指導士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18 100.0%	9 50.0%	8 44.4%	0 0.0%	1 5.6%
なし	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

第5節 特定施設入居者生活介護

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年齢は、「40代」が32.5%、「50代」が27.6%、「30代」が21.0%であった。



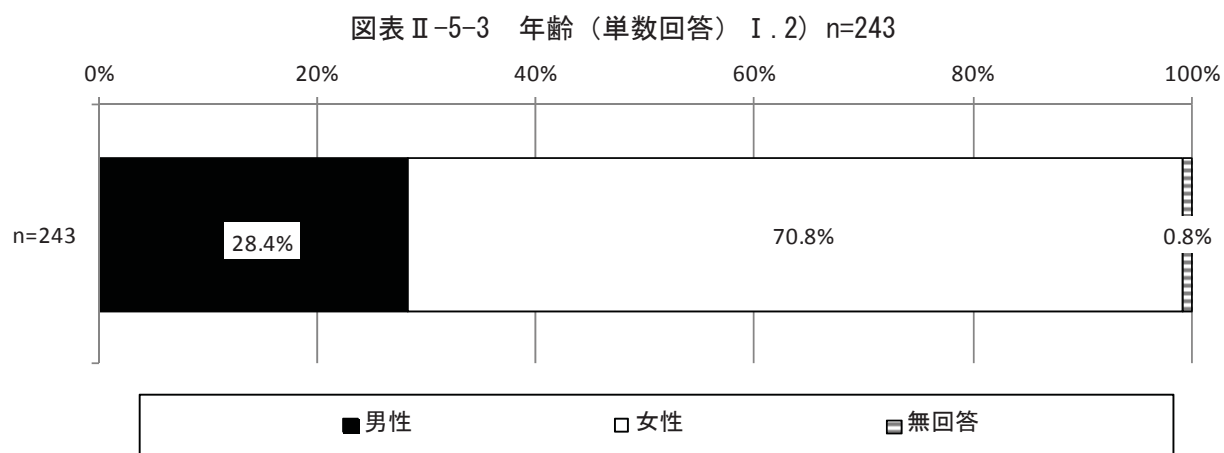
保有している資格別に年齢をみると、全体と比較して「介護福祉士」は「30代」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-2 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.1）n=243

	合計	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
全体	243 100.0%	18 7.4%	51 21.0%	79 32.5%	67 27.6%	27 11.1%	1 0.4%
リハビリ職員	54 100.0%	8 14.8%	16 29.6%	16 29.6%	11 20.4%	3 5.6%	0 0.0%
看護職員	107 100.0%	0 0.0%	14 13.1%	34 31.8%	38 35.5%	21 19.6%	0 0.0%
柔道整復師	17 100.0%	3 17.6%	5 29.4%	6 35.3%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	6 10.7%	18 32.1%	19 33.9%	9 16.1%	3 5.4%	1 1.8%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	1 6.3%	4 25.0%	4 25.0%	3 18.8%	4 25.0%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 性別

性別は、「男性」が 28.4%、「女性」が 70.8%であった。



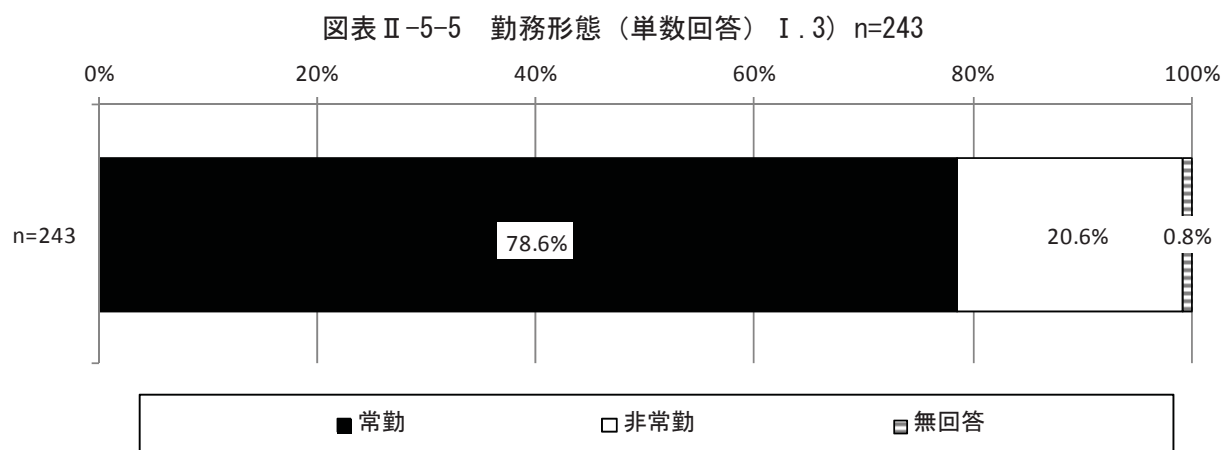
保有している資格別に性別をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「介護福祉士」は「男性」、「看護職員」は「女性」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-4 保有している資格別 年齢（単数回答）Ⅰ.2) n=243

	合計	男性	女性	無回答
全体	243 100.0%	69 28.4%	172 70.8%	2 0.8%
リハビリ職員	54 100.0%	21 38.9%	33 61.1%	0 0.0%
看護職員	107 100.0%	6 5.6%	100 93.5%	1 0.9%
柔道整復師	17 100.0%	11 64.7%	6 35.3%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	10 83.3%	2 16.7%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	23 41.1%	32 57.1%	1 1.8%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	5 31.3%	11 68.8%	0 0.0%
なし	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%

(3) 勤務形態

勤務形態は、「常勤」が 78.6%、「非常勤」が 20.6%であった。



保有している資格別に勤務形態をみると、全体と比較して「柔道整復師」「介護福祉士」は「常勤」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-6 保有している資格別 勤務形態（単数回答） I.3) n=243

	合計	常勤	非常勤	無回答
全体	243 100.0%	191 78.6%	50 20.6%	2 0.8%
リハビリ職員	54 100.0%	42 77.8%	12 22.2%	0 0.0%
看護職員	107 100.0%	76 71.0%	30 28.0%	1 0.9%
柔道整復師	17 100.0%	15 88.2%	2 11.8%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	10 83.3%	2 16.7%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	52 92.9%	3 5.4%	1 1.8%
社会福祉士	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	13 81.3%	3 18.8%	0 0.0%
なし	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%

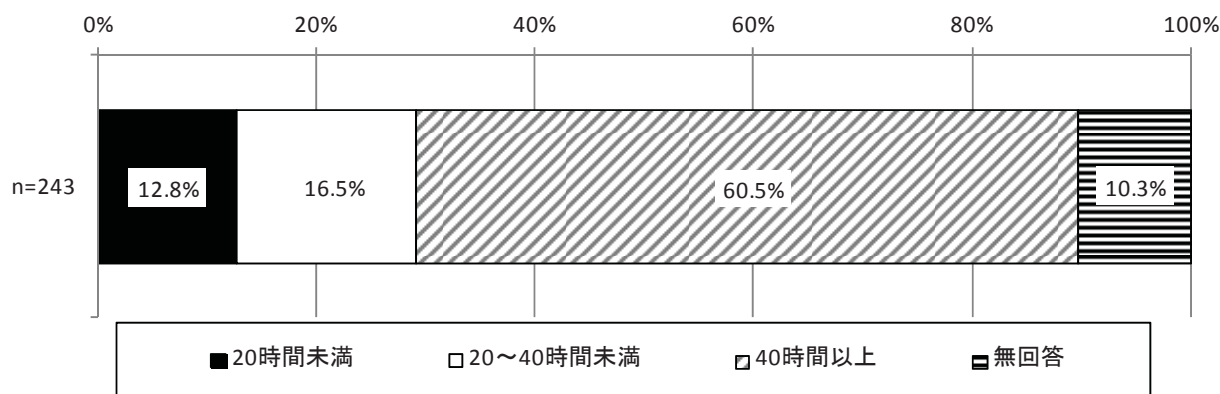
（４）１週間あたりの平均的な勤務時間

「１週間あたりの平均的な勤務時間」の平均値は、34.5 時間であった。「１週間あたりの平均的な勤務時間」は「40 時間以上」が 60.5%、「20～40 時間未満」が 16.5%で、「20 時間未満」が 12.8%であった。

図表Ⅱ-5-7 １週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4）n=218

件数	平均値	標準偏差	中央値
218	34.5	11.4	40.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	218	34.5	11.4	40.0
リハビリ職員	51	31.0	13.9	40.0
看護職員	99	34.4	11.1	40.0
柔道整復師	15	34.5	12.4	40.0
あん摩マッサージ指圧師	10	30.6	15.5	40.0
鍼灸師	3	40.0		40.0
介護福祉士	46	38.3	6.6	40.0
社会福祉士	3	40.7	1.2	40.0
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	4	41.3	2.5	40.0
介護職員初任者研修修了	8	39.7	0.9	40.0
健康運動指導士	0			
その他	14	34.4	12.3	40.0
なし	2	37.5		37.5
無回答	5	33.5	14.5	40.0



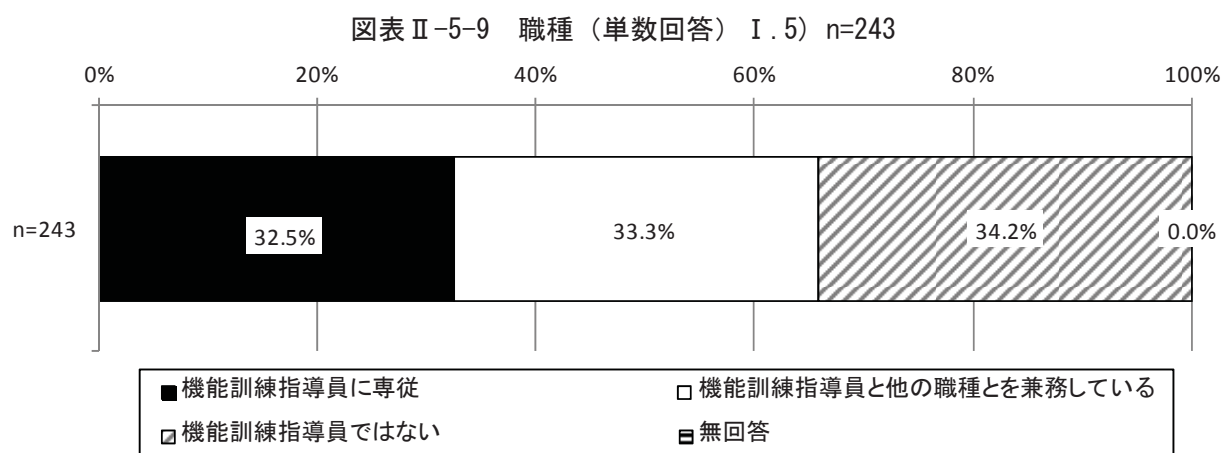
保有している資格別に1週間あたりの平均的な勤務時間をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「20 時間未満」、「柔道整復師」は「40 時間以上」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-8 保有している資格別 1週間あたりの平均的な勤務時間（数値回答）Ⅰ.4）n=243

	合計	20 時間未満	20～40 時間未満	40 時間以上	無回答
全体	243 100.0%	31 12.8%	40 16.5%	147 60.5%	25 10.3%
リハビリ職員	54 100.0%	13 24.1%	8 14.8%	30 55.6%	3 5.6%
看護職員	107 100.0%	14 13.1%	19 17.8%	66 61.7%	8 7.5%
柔道整復師	17 100.0%	2 11.8%	1 5.9%	12 70.6%	2 11.8%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	3 25.0%	0 0.0%	7 58.3%	2 16.7%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%
介護福祉士	56 100.0%	1 1.8%	11 19.6%	34 60.7%	10 17.9%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	7 77.8%	1 11.1%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	2 12.5%	2 12.5%	10 62.5%	2 12.5%
なし	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	1 16.7%

（５）職種

職種は、「機能訓練指導員ではない」は 34.2%、「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」は 33.3%であった。



保有している資格別に職種をみると、「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」は「機能訓練指導員に専従」、「看護職員」は「機能訓練指導員と他の職種とを兼務している」の割合が高くなっていた。

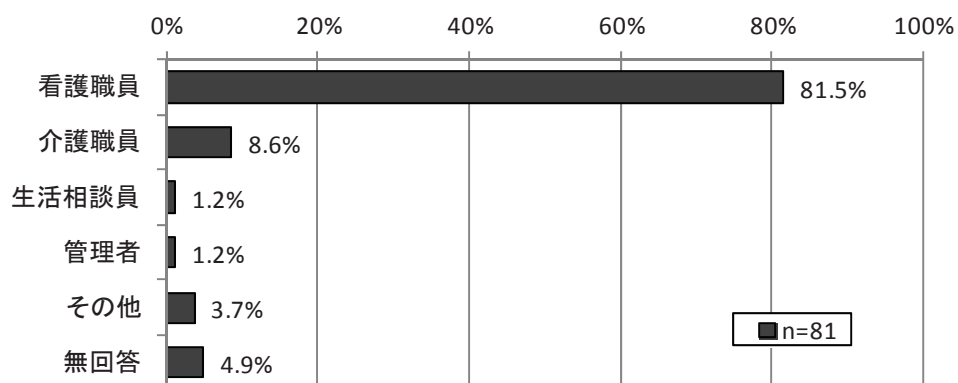
図表Ⅱ-5-10 保有している資格別 職種（単数回答） I.5) n=243

	合計	機能訓練 指導員に 専従	機能訓練 指導員と 他の職種 とを兼務 している	機能訓練 指導員で はない	無回答
全体	243 100.0%	79 32.5%	81 33.3%	83 34.2%	0 0.0%
リハビリ職員	54 100.0%	36 66.7%	11 20.4%	7 13.0%	0 0.0%
看護職員	107 100.0%	18 16.8%	71 66.4%	18 16.8%	0 0.0%
柔道整復師	17 100.0%	14 82.4%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	2 3.6%	6 10.7%	48 85.7%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	8 88.9%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	3 18.8%	4 25.0%	9 56.3%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%

（６）機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種は、「看護職員」が 81.5%、「介護職員」が 8.6%であった。

図表Ⅱ-5-11 機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答）Ⅰ.5)① n=81



保有している資格別に、機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の、兼務している職種をみると、全体と比較して「看護職員」は「看護職員」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-12 保有している資格別

機能訓練指導員と他の職種を兼務している場合の職種（複数回答）Ⅰ.5)① n=81

	合計	看護職員	介護職員	生活相談員	管理者	その他	無回答
全体	81 100.0%	66 81.5%	7 8.6%	1 1.2%	1 1.2%	3 3.7%	4 4.9%
リハビリ職員	11 100.0%	8 72.7%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
看護職員	71 100.0%	66 93.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	4 5.6%
柔道整復師	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(7) 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）

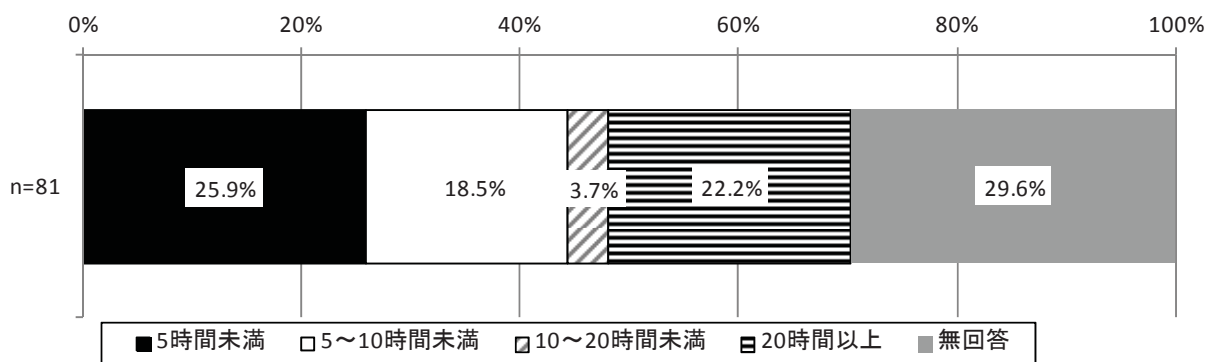
「機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）」の平均値は、12.3時間であった。「機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）」は「5時間未満」が25.9%、「20時間以上」が22.2%で、「5～10時間未満」が18.5%であった。

図表Ⅱ-5-13 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

件数	平均値	標準偏差	中央値
57	12.3	12.6	6.5

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	57	12.3	12.6	6.5
リハビリ職員	6	14.1	16.7	6.5
看護職員	49	10.6	12.2	5.0
柔道整復師	2	15.0	21.2	15.0
あん摩マッサージ指圧師	0			
鍼灸師	0			
介護福祉士	5	16.0	6.2	20.0
社会福祉士	0			
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	0			
介護職員初任者研修修了	1	8.0		8.0
健康運動指導士	0			
その他	3	8.7	9.9	4.0

図表Ⅱ-5-14 機能訓練指導員としての勤務時間（1週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)② n=81



保有している資格別に、「機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）」をみると、全体と比較して「看護職員」は「５時間未満」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-15 保有している資格別

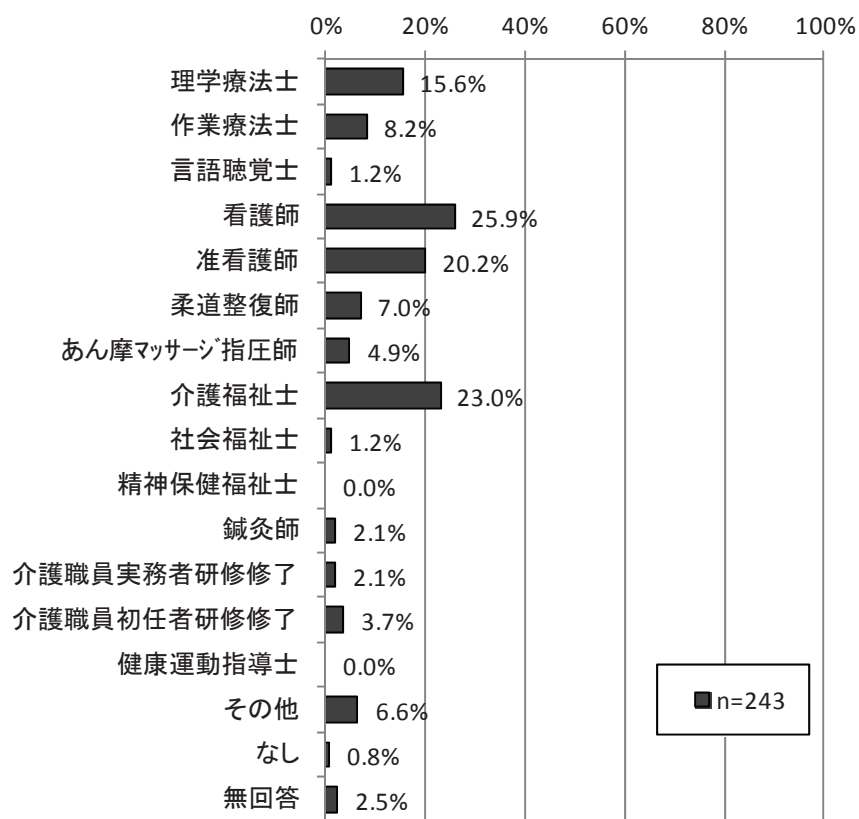
機能訓練指導員としての勤務時間（１週間あたりの平均）（数値回答）Ⅰ.5)②

	合計	５時間未満	５～１０時間未満	１０～２０時間未満	２０時間以上	無回答
全体	81 100.0%	21 25.9%	15 18.5%	3 3.7%	18 22.2%	24 29.6%
リハビリ職員	11 100.0%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	2 18.2%	5 45.5%
看護職員	71 100.0%	21 29.6%	14 19.7%	2 2.8%	12 16.9%	22 31.0%
柔道整復師	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%
社会福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（８）保有している資格

保有している資格は、「看護師」が 25.9%、「介護福祉士」が 23.0%、「准看護師」が 20.2%であった。

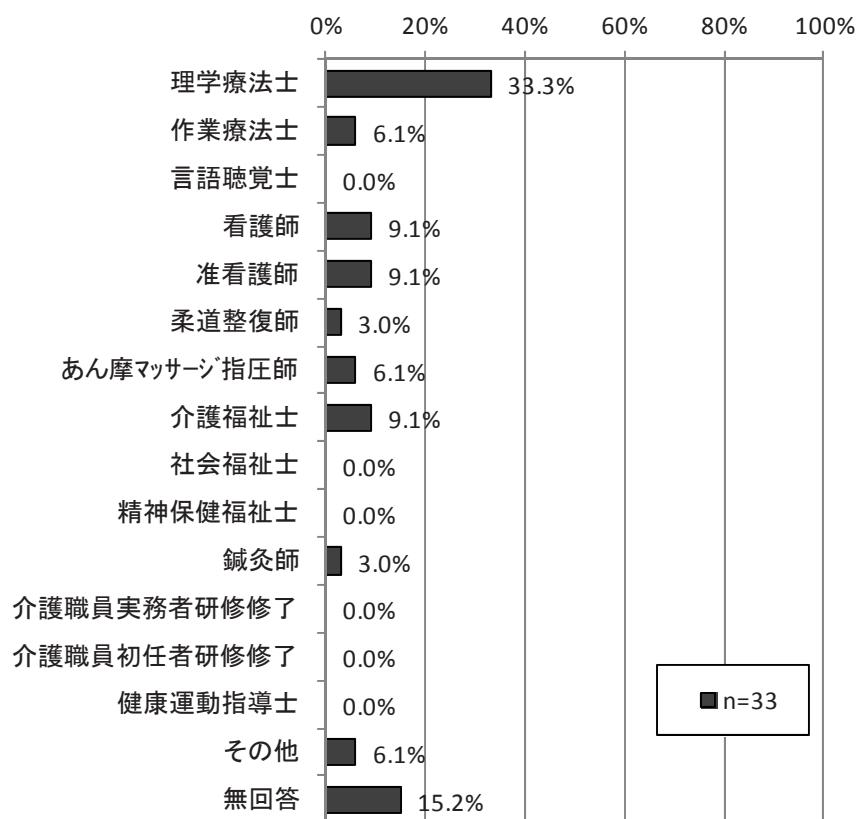
図表Ⅱ-5-16 保有している資格（複数回答）Ⅰ.6) n=243



（９）機能訓練を実施する上で役立っている資格

複数の資格を有している場合、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、をたずねたところ、回答が得られた 33 人について、その資格は、「理学療法士」が 33.3%で最も割合が高く、次いで「看護師」、「准看護師」、「介護福祉士」が 9.1%であった。

図表Ⅱ-5-17 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6) n=33



保有している資格別に、機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っているか、たずねたところと、「リハビリ職員」は「理学療法士」が61.1%であった。「看護職員」は「理学療法士」が35.3%、「看護師」「准看護師」で合わせて35.2%であった。

図表Ⅱ-5-18 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格（単数回答）Ⅰ.6）n=33

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	准看護師	柔道整復師
全体	33 100.0%	11 33.3%	2 6.1%	0 0.0%	3 9.1%	3 9.1%	1 3.0%
リハビリ職員	18 100.0%	11 61.1%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	17 100.0%	6 35.3%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%
柔道整復師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
あん摩マッサージ指圧師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	11 100.0%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
社会福祉士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	8 100.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=33

	合計	あん摩マ ッサージ 指圧 師	介護福祉 士	社会福祉 士	精神保健 福祉士	鍼灸師	介護職員 実務者研 修修了
全体	33 100.0%	2 6.1%	3 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%
リハビリ職員	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
柔道整復師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ 指圧師	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
鍼灸師	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
介護福祉士	11 100.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(つづき) 保有している資格別 機能訓練を実施する上で役立っている資格 (単数回答) I.6) n=33

	合計	介護職員 初任者研 修修了	健康運動 指導士	その他	無回答
全体	33 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.1%	5 15.2%
リハビリ職員	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 27.8%
看護職員	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 23.5%
柔道整復師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
あん摩マッサージ指圧師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	2 18.2%
社会福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

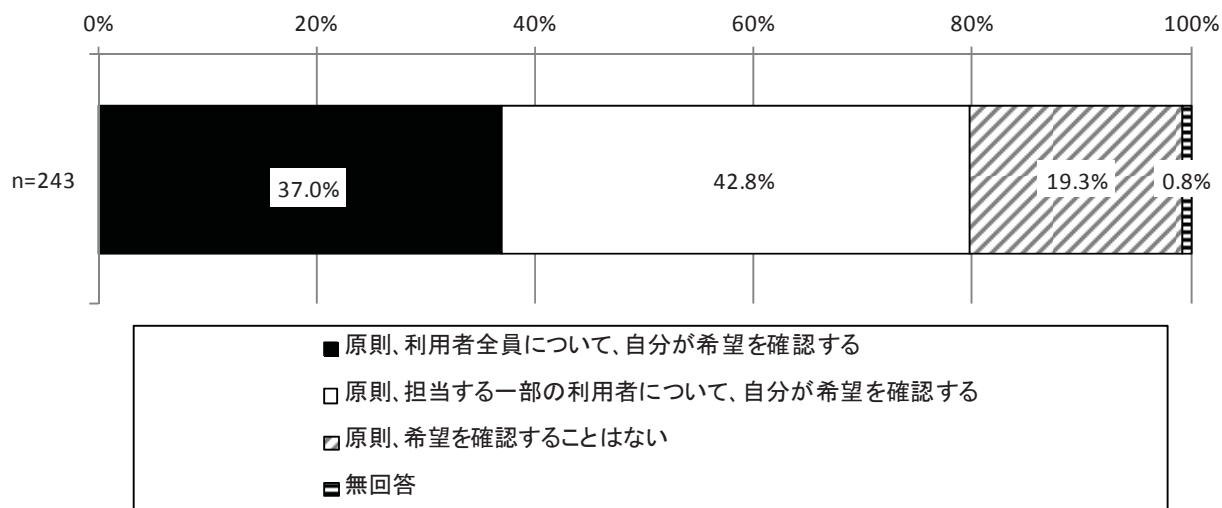
2. 機能訓練に関連して実施している業務

(1) ニーズ把握・情報収集

①機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」は 37.0%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する」は 42.8%、「原則、希望を確認することはない」は 19.3%であった。

図表Ⅱ-5-19 機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=243



保有している資格別に、機能訓練について、回答者が本人の希望を確認することがあるかをみると、全体と比較して、「リハビリ職員」「柔道整復師」は「原則、利用者全員について、自分が希望を確認する」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-20 保有している資格別

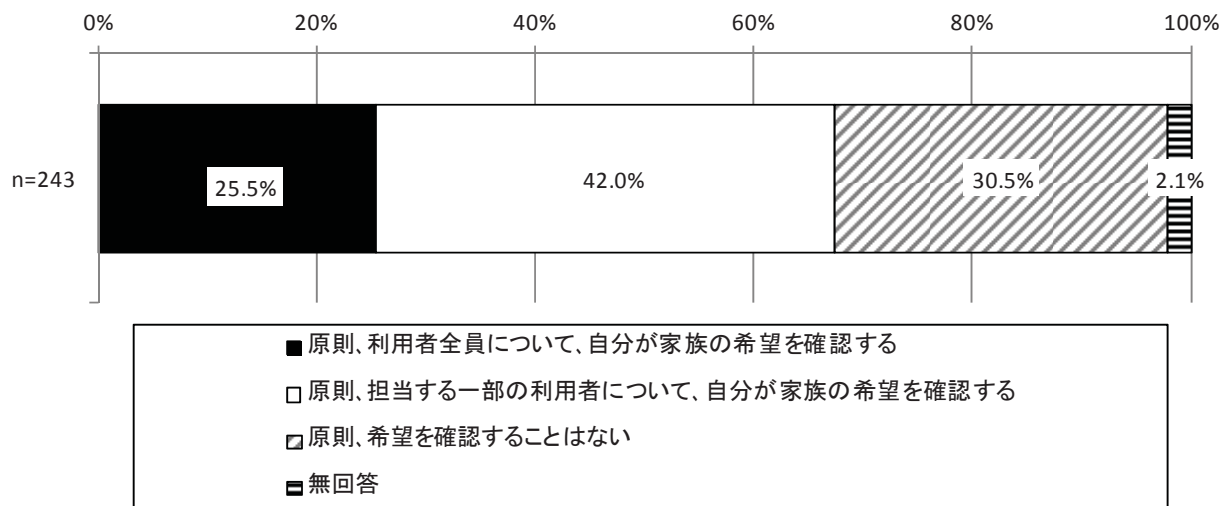
機能訓練に関する回答者による本人の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).7) n=243

	合計	原則、利用者全員について、自分が希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	243 100.0%	90 37.0%	104 42.8%	47 19.3%	2 0.8%
リハビリ職員	54 100.0%	27 50.0%	21 38.9%	6 11.1%	0 0.0%
看護職員	107 100.0%	33 30.8%	46 43.0%	28 26.2%	0 0.0%
柔道整復師	17 100.0%	11 64.7%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	8 66.7%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	13 23.2%	28 50.0%	13 23.2%	2 3.6%
社会福祉士	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修了	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修了	9 100.0%	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	4 25.0%	8 50.0%	4 25.0%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%

②機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況

機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する」は25.5%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」は42.0%、「原則、希望を確認することはない」は30.5%であった。

図表Ⅱ-5-21 機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=243



保有している資格別に、機能訓練について、回答者が家族の希望を確認することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する」、「介護福祉士」は「原則、希望を確認することはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-22 保有している資格別

機能訓練に関する回答者による家族の希望確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(1).8) n=243

	合計	原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する	原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する	原則、希望を確認することはない	無回答
全体	243 100.0%	62 25.5%	102 42.0%	74 30.5%	5 2.1%
リハビリ職員	54 100.0%	15 27.8%	29 53.7%	10 18.5%	0 0.0%
看護職員	107 100.0%	30 28.0%	45 42.1%	30 28.0%	2 1.9%
柔道整復師	17 100.0%	5 29.4%	6 35.3%	6 35.3%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	4 33.3%	5 41.7%	3 25.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	8 14.3%	21 37.5%	24 42.9%	3 5.4%
社会福祉士	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	5 31.3%	5 31.3%	6 37.5%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%

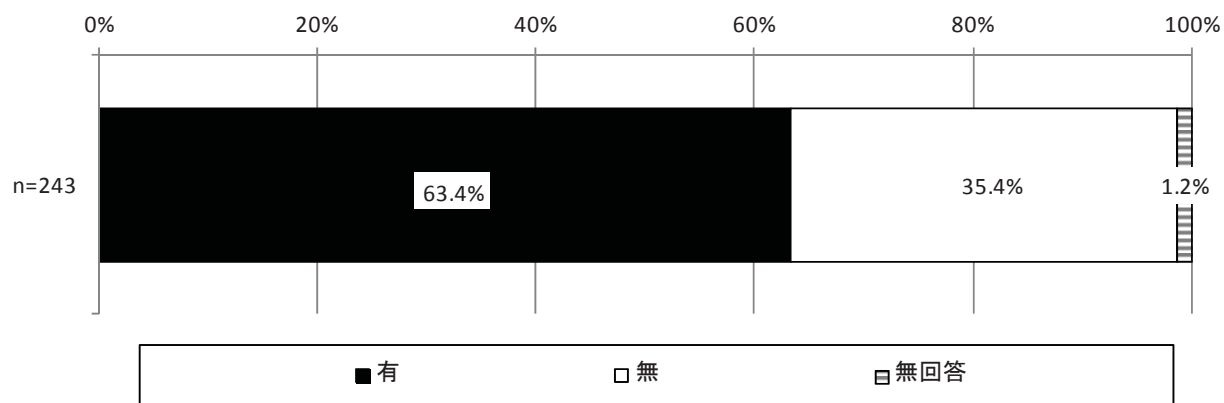
(2) アセスメント・評価

①機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをたずねたところ、「有」が63.4%、「無」が35.4%であった。

図表Ⅱ-5-23 機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況

(単数回答) Ⅱ(2).9) n=243



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」「鍼灸師」は「有」、「介護福祉士」は「無」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-24 保有している資格別

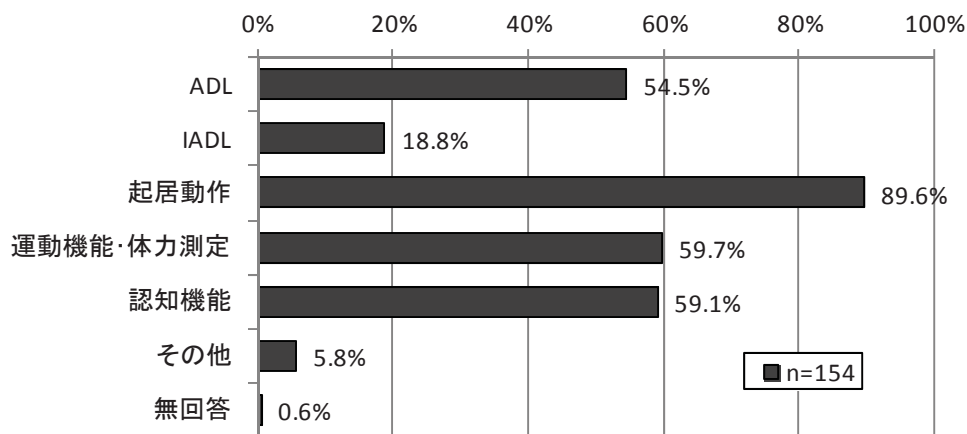
機能訓練を開始する利用者に対する回答者による状態評価の実施状況（単数回答）Ⅱ(2).9) n=243

	合計	有	無	無回答
全体	243 100.0%	154 63.4%	86 35.4%	3 1.2%
リハビリ職員	54 100.0%	46 85.2%	7 13.0%	1 1.9%
看護職員	107 100.0%	65 60.7%	40 37.4%	2 1.9%
柔道整復師	17 100.0%	14 82.4%	2 11.8%	1 5.9%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	11 91.7%	1 8.3%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	23 41.1%	31 55.4%	2 3.6%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	9 56.3%	7 43.8%	0 0.0%
なし	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%

②機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目

機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをたずねたところ、「起居動作」が89.6%、「運動機能・体力測定」が59.7%、「認知機能」が59.1%、「ADL」が54.5%であった。

図表Ⅱ-5-25 機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=154



保有している資格別に、機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価を回答者が行うことがある場合、どのような項目について評価を実施しているかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「ADL」「運動機能・体力測定」「認知機能」、「柔道整復師」は「ADL」、「介護福祉士」は「認知機能」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-26 保有している資格別

機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=154

	合計	ADL	IADL	起居動作
全体	154 100.0%	84 54.5%	29 18.8%	138 89.6%
リハビリ職員	46 100.0%	32 69.6%	9 19.6%	42 91.3%
看護職員	65 100.0%	28 43.1%	12 18.5%	58 89.2%
柔道整復師	14 100.0%	10 71.4%	2 14.3%	12 85.7%
あん摩マッサージ指圧師	11 100.0%	6 54.5%	0 0.0%	10 90.9%
鍼灸師	5 100.0%	3 60.0%	0 0.0%	4 80.0%
介護福祉士	23 100.0%	13 56.5%	7 30.4%	22 95.7%
社会福祉士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
介護職員初任者研修 修了	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	9 100.0%
なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

(つづき) 保有している資格別

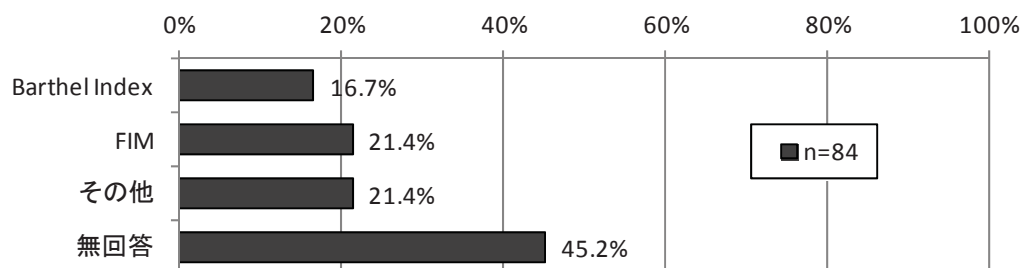
機能訓練を開始する利用者に対する状態評価の項目 (複数回答) II (2).9)① n=154

	合計	運動機能・体力測定	認知機能	その他	無回答
全体	154 100.0%	92 59.7%	91 59.1%	9 5.8%	1 0.6%
リハビリ職員	46 100.0%	36 78.3%	34 73.9%	4 8.7%	0 0.0%
看護職員	65 100.0%	35 53.8%	35 53.8%	3 4.6%	0 0.0%
柔道整復師	14 100.0%	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	11 100.0%	6 54.5%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	23 100.0%	11 47.8%	16 69.6%	1 4.3%	0 0.0%
社会福祉士	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%
なし	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

③ A D L の評価に活用している評価指標

A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Barthel Index」は 16.7%、「FIM」は 21.4%であった。

図表Ⅱ-5-27 A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=84



図表Ⅱ-5-28 保有している資格別

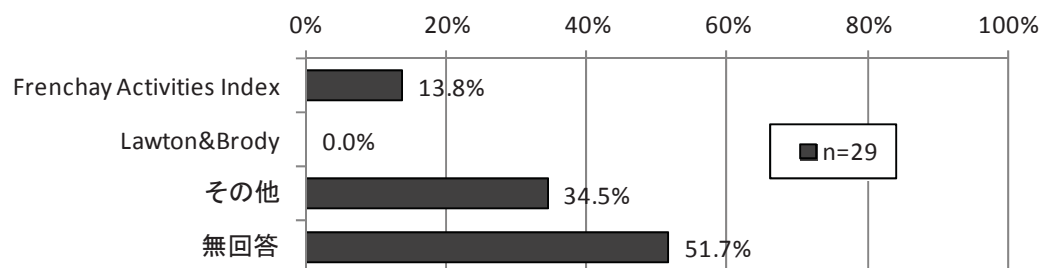
A D Lの評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=84

	合計	Barthel Index	FIM	その他	無回答
全体	84 100.0%	14 16.7%	18 21.4%	18 21.4%	38 45.2%
リハビリ職員	32 100.0%	6 18.8%	10 31.3%	9 28.1%	9 28.1%
看護職員	28 100.0%	1 3.6%	2 7.1%	7 25.0%	19 67.9%
柔道整復師	10 100.0%	2 20.0%	4 40.0%	0 0.0%	4 40.0%
あん摩マッサージ指圧師	6 100.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%
鍼灸師	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
介護福祉士	13 100.0%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	9 69.2%
社会福祉士	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
介護職員初任者研修 修了	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④ I A D L の評価に活用している評価指標

I A D L を活用して利用者の状態の評価を行っている場合、活用している評価指標は、「Frenchay Activities Index」が 13.8%、「Lawton&Brody」は 0.0%であった。

図表Ⅱ-5-29 I A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ(2).9)① n=29



図表Ⅱ-5-30 保有している資格別

Ⅰ A D L の評価に活用している評価指標（複数回答）Ⅱ (2). 9) ① n=29

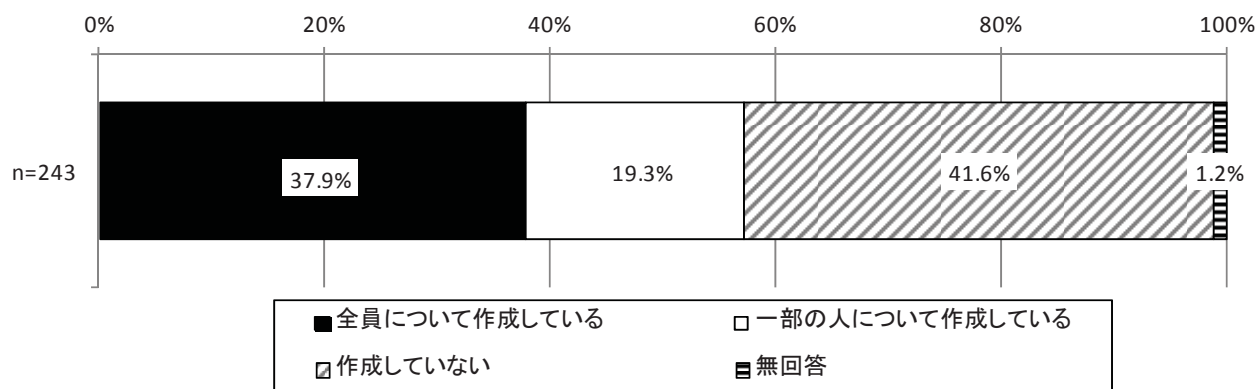
	合計	Frenchay Activities Index	Lawton&Brody	その他	無回答
全体	29 100.0%	4 13.8%	0 0.0%	10 34.5%	15 51.7%
リハビリ職員	9 100.0%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%
看護職員	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 50.0%	6 50.0%
柔道整復師	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
あん摩マッサージ指 圧師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	5 71.4%
社会福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者 研修修了	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者 研修修了	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 機能訓練計画の作成

①事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況

事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをたずねたところ、「全員について作成している」は 37.9%、「一部の人について作成している」は 19.3%、「作成していない」は 41.6%であった。

図表Ⅱ-5-31 事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=243



保有している資格別に、事業所で利用者ごとに個別機能訓練計画を作成しているかをみると、全体と比較して「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」は「全員について作成している」の割合が高くなっていた。

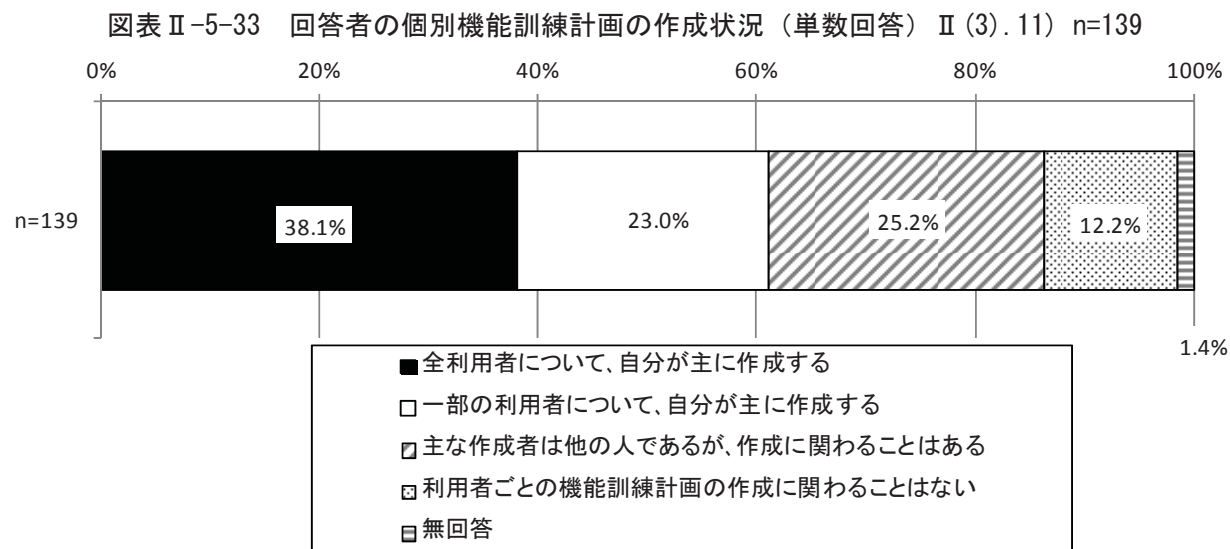
図表Ⅱ-5-32 保有している資格別

事業所における利用者ごとの個別機能訓練計画の作成状況（単数回答）Ⅱ(3).10) n=243

	合計	全員について作成している	一部の人について作成している	作成していない	無回答
全体	243 100.0%	92 37.9%	47 19.3%	101 41.6%	3 1.2%
リハビリ職員	54 100.0%	24 44.4%	11 20.4%	18 33.3%	1 1.9%
看護職員	107 100.0%	29 27.1%	25 23.4%	52 48.6%	1 0.9%
柔道整復師	17 100.0%	11 64.7%	1 5.9%	5 29.4%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	11 91.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	17 30.4%	11 19.6%	27 48.2%	1 1.8%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	6 37.5%	4 25.0%	5 31.3%	1 6.3%
なし	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%

②回答者の個別機能訓練計画の作成状況

回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをたずねたところ、「全利用者について、自分が主に作成する」は38.1%、「一部の利用者について、自分が主に作成する」は23.0%、「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」は25.2%、「利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない」は12.2%であった。回答者が主に計画を作成した利用者数の平均値は14.6人であった。



図表Ⅱ-5-34 回答者が主に計画を作成した利用者数（数値回答）Ⅱ(3).11) n=25

件数	平均値	標準偏差	中央値
25	14.6	13.6	15.0

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	25	14.6	13.6	15.0
リハビリ職員	10	21.7	17.5	15.0
看護職員	10	5.8	4.9	4.0
柔道整復師	1	20.0		20.0
あん摩マッサージ指圧師	2	20.0	7.1	20.0
鍼灸師	2	20.0	7.1	20.0
介護福祉士	3	10.3	10.5	10.0
社会福祉士	0			
精神保健福祉士	0			
介護職員実務者研修修了	0			
介護職員初任者研修修了	0			
健康運動指導士	0			
その他	2	11.0	14.1	11.0

保有している資格別に、回答者が利用者の個別機能訓練計画を作成することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「一部の利用者について、自分が主に作成する」、「介護福祉士」は「主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-35 保有している資格別 回答者の個別機能訓練計画の作成状況(単数回答)Ⅱ(3).11) n=139

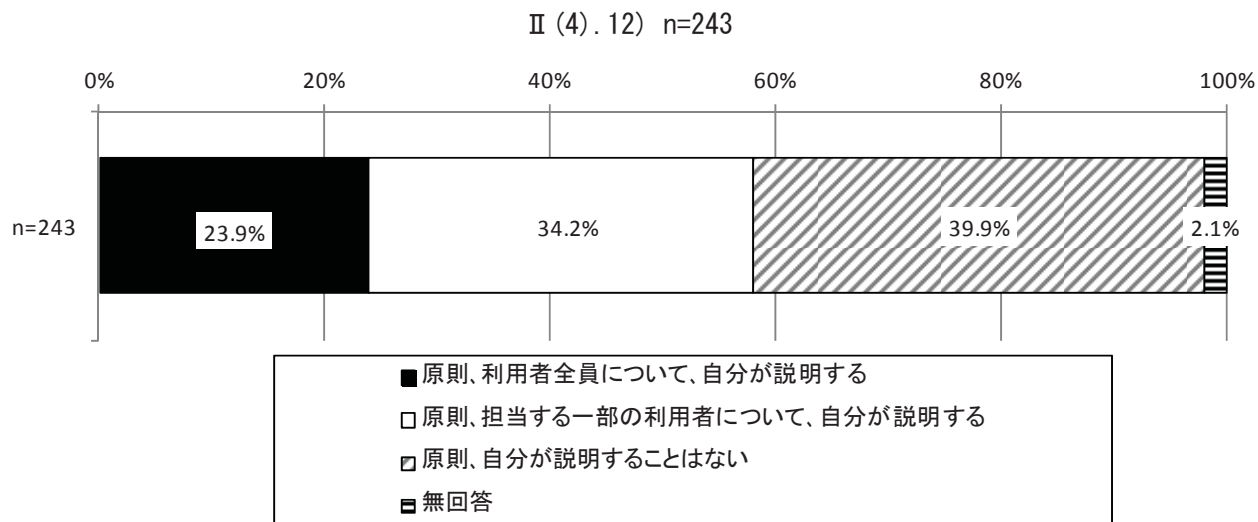
	合計	全利用者について、自分が主に作成する	一部の利用者について、自分が主に作成する	主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある	利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない	無回答
全体	139 100.0%	53 38.1%	32 23.0%	35 25.2%	17 12.2%	2 1.4%
リハビリ職員	35 100.0%	15 42.9%	12 34.3%	4 11.4%	3 8.6%	1 2.9%
看護職員	54 100.0%	22 40.7%	11 20.4%	16 29.6%	5 9.3%	0 0.0%
柔道整復師	12 100.0%	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	11 100.0%	5 45.5%	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	28 100.0%	2 7.1%	6 21.4%	12 42.9%	7 25.0%	1 3.6%
社会福祉士	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修修了	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
介護職員初任者研修修了	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	10 100.0%	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	4 40.0%	0 0.0%
なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 利用者または家族等への説明

①回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況

回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをたずねたところ、「原則、利用者全員について、自分が説明する」は 23.9%、「原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する」は 34.2%、「原則、自分が説明することはない」は 39.9%であった。

図表Ⅱ-5-36 回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）



保有している資格別に、回答者が機能訓練について、利用者や家族等へ説明することがあるかをみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する」、「介護福祉士」は「原則、自分が説明することはない」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-37 保有している資格別

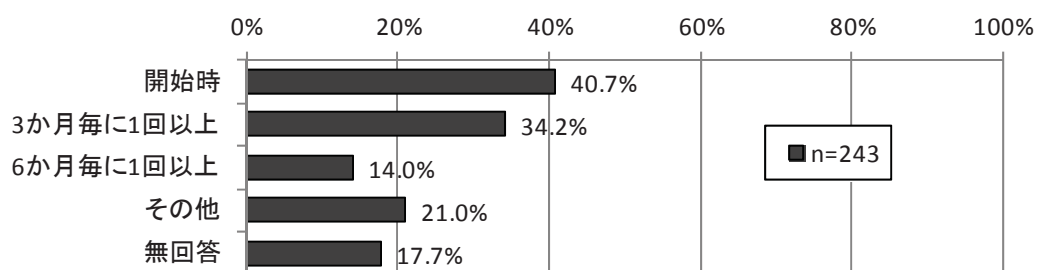
回答者による利用者や家族等への機能訓練に関する説明状況（単数回答）Ⅱ(4).12) n=243

	合計	原則、利用者全員について、自分が説明する	原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する	原則、自分が説明することはない	無回答
全体	243 100.0%	58 23.9%	83 34.2%	97 39.9%	5 2.1%
リハビリ職員	54 100.0%	14 25.9%	27 50.0%	12 22.2%	1 1.9%
看護職員	107 100.0%	24 22.4%	37 34.6%	45 42.1%	1 0.9%
柔道整復師	17 100.0%	8 47.1%	4 23.5%	5 29.4%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	6 50.0%	3 25.0%	3 25.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	5 8.9%	19 33.9%	31 55.4%	1 1.8%
社会福祉士	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修了	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修了	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	3 18.8%	6 37.5%	7 43.8%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%

②利用者や家族等への説明頻度

利用者や家族等への説明の頻度は、「開始時」が 40.7%、「3 か月毎に 1 回以上」が 34.2%であった。

図表Ⅱ-5-38 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=243



保有している資格別に、利用者や家族等への説明の頻度をみると、全体と比較して「柔道整復師」は「開始時」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-39 保有している資格別 利用者や家族等への説明頻度（複数回答）Ⅱ(4).13) n=243

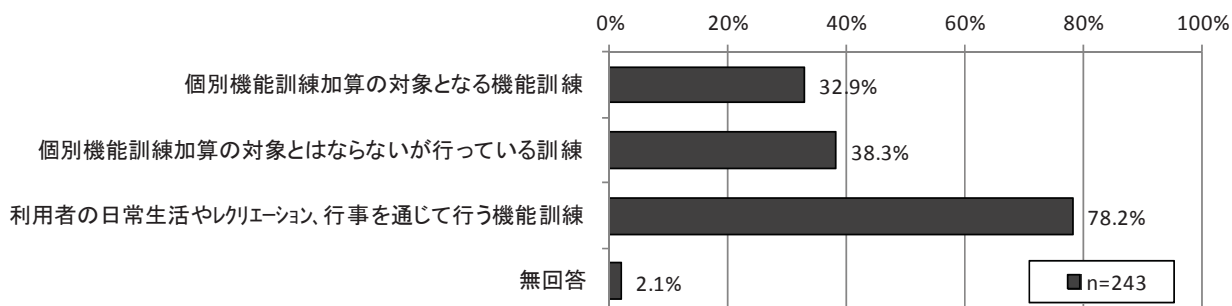
	合計	開始時	3 か月毎 に 1 回以上	6 か月毎 に 1 回以上	その他	無回答
全体	243 100.0%	99 40.7%	83 34.2%	34 14.0%	51 21.0%	43 17.7%
リハビリ職員	54 100.0%	26 48.1%	20 37.0%	10 18.5%	12 22.2%	3 5.6%
看護職員	107 100.0%	39 36.4%	33 30.8%	15 14.0%	29 27.1%	14 13.1%
柔道整復師	17 100.0%	10 58.8%	9 52.9%	1 5.9%	7 41.2%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	7 58.3%	10 83.3%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	4 80.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	19 33.9%	12 21.4%	8 14.3%	9 16.1%	17 30.4%
社会福祉士	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	4 25.0%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	6 37.5%
なし	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%

(5) 機能訓練の実施状況

①回答者が実施することがある機能訓練

回答者が実施することがある機能訓練は、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」が78.2%で最も割合が高く、次いで「個別機能訓練加算の対象とはならないが行っている訓練」が38.3%、「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」が32.9%であった。

図表Ⅱ-5-40 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ(5).14) n=243



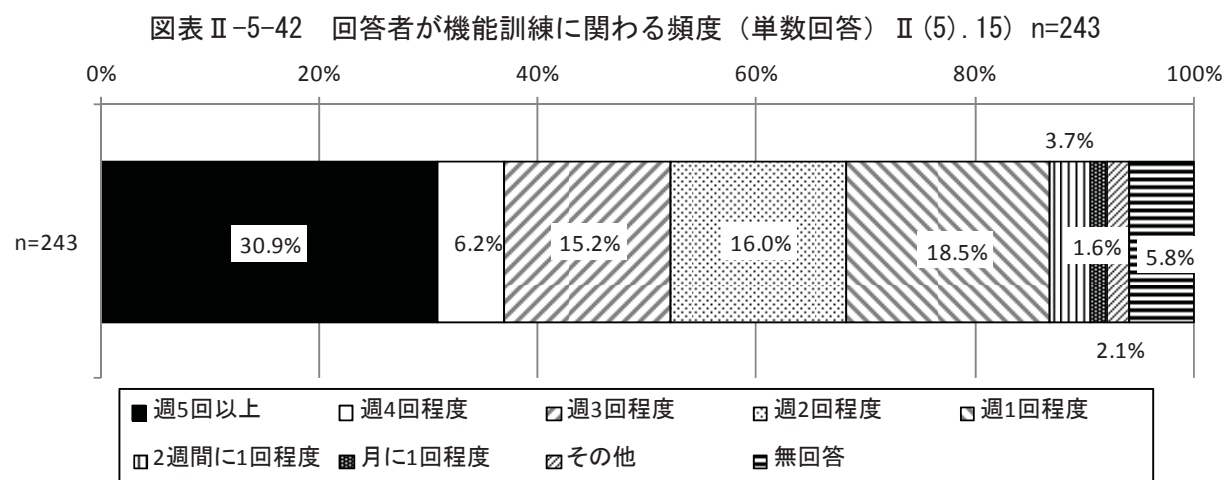
保有している資格別に回答者が実施することがある機能訓練をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」「あん摩マッサージ指圧師」は「個別機能訓練加算の対象となる機能訓練」、「介護福祉士」は「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-41 保有している資格別 回答者が実施することがある機能訓練（複数回答）Ⅱ（5）. 14） n=243

	合計	個別機能 訓練加算 の対象と なる機能 訓練	個別機能 訓練加算 の対象と はならな いが行っ ている訓 練	利用者の 日常生活 やレクリエ ーション、行事 を通じて 行う機能 訓練	無回答
全体	243 100.0%	80 32.9%	93 38.3%	190 78.2%	5 2.1%
リハビリ職員	54 100.0%	28 51.9%	23 42.6%	47 87.0%	1 1.9%
看護職員	107 100.0%	28 26.2%	46 43.0%	80 74.8%	2 1.9%
柔道整復師	17 100.0%	11 64.7%	5 29.4%	10 58.8%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	12 100.0%	4 33.3%	8 66.7%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	2 40.0%	4 80.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	5 8.9%	17 30.4%	50 89.3%	1 1.8%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	8 88.9%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	2 12.5%	6 37.5%	13 81.3%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	6 100.0%	0 0.0%

②回答者が機能訓練に関わる頻度

回答者が機能訓練に関わる頻度は、「週5回以上」が30.9%、「週1回程度」が18.5%、「週2回程度」が16.0%であった。



保有している資格別に、回答者が機能訓練に関わる頻度をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「週5回以上」、「介護福祉士」は「週2回程度」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-43 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度（単数回答）Ⅱ(5).15) n=243

	合計	週5回以上	週4回程度	週3回程度	週2回程度	週1回程度
全体	243 100.0%	75 30.9%	15 6.2%	37 15.2%	39 16.0%	45 18.5%
リハビリ職員	54 100.0%	22 40.7%	3 5.6%	7 13.0%	9 16.7%	7 13.0%
看護職員	107 100.0%	24 22.4%	8 7.5%	25 23.4%	13 12.1%	17 15.9%
柔道整復師	17 100.0%	8 47.1%	5 29.4%	0 0.0%	1 5.9%	1 5.9%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	9 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	13 23.2%	1 1.8%	5 8.9%	15 26.8%	13 23.2%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	2 22.2%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	3 33.3%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	6 37.5%	1 6.3%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
無回答	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%

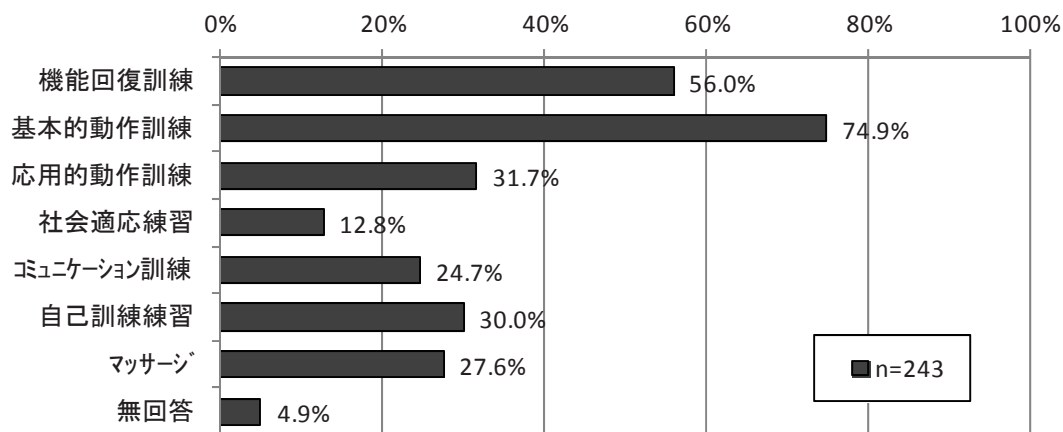
(つづき) 保有している資格別 回答者が機能訓練に関わる頻度 (単数回答) II (5).15) n=243

	合計	2週間に1 回程度	月に1回 程度	その他	無回答
全体	243 100.0%	9 3.7%	4 1.6%	5 2.1%	14 5.8%
リハビリ職員	54 100.0%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	3 5.6%
看護職員	107 100.0%	7 6.5%	3 2.8%	4 3.7%	6 5.6%
柔道整復師	17 100.0%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	4 7.1%	1 1.8%	1 1.8%	3 5.4%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%
なし	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%

③回答者が実施した機能訓練の具体的内容

回答者が平成 28 年 10～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容は、「基本的動作訓練」が 74.9% で最も割合が高く、次いで「機能回復訓練」が 56.0%、「応用的動作訓練」が 31.7%、「自己訓練練習」が 30.0%であった。

図表Ⅱ-5-44 回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=243



保有している資格別に、回答者が平成28年10～12月に実施した機能訓練の具体的な内容をみると、全体と比較して「リハビリ職員」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」「応用的動作訓練」「自己訓練練習」「マッサージ」、「柔道整復師」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」、「あん摩マッサージ指圧師」は「機能回復訓練」「基本的動作訓練」「マッサージ」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-45 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容（複数回答）Ⅱ(5).16) n=243

	合計	機能回復 訓練	基本的動 作訓練	応用的動 作訓練	社会適応 練習
全体	243 100.0%	136 56.0%	182 74.9%	77 31.7%	31 12.8%
リハビリ職員	54 100.0%	38 70.4%	50 92.6%	32 59.3%	10 18.5%
看護職員	107 100.0%	54 50.5%	76 71.0%	20 18.7%	8 7.5%
柔道整復師	17 100.0%	15 88.2%	16 94.1%	4 23.5%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	12 100.0%	11 91.7%	6 50.0%	1 8.3%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%
介護福祉士	56 100.0%	19 33.9%	36 64.3%	16 28.6%	8 14.3%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	2 22.2%	4 44.4%	3 33.3%	4 44.4%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	7 43.8%	11 68.8%	4 25.0%	0 0.0%
なし	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	1 16.7%	1 16.7%

(つづき) 保有している資格別

回答者が実施した機能訓練の具体的内容 (複数回答) II (5). 16) n=243

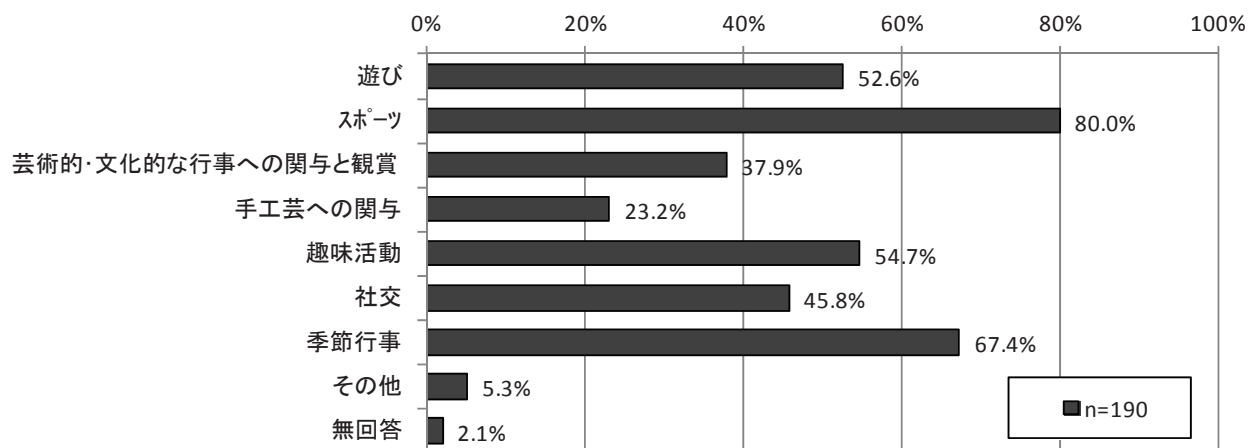
	合計	コミュニケーション訓練	自己訓練 練習	マッサージ	無回答
全体	243 100.0%	60 24.7%	73 30.0%	67 27.6%	12 4.9%
リハビリ職員	54 100.0%	18 33.3%	32 59.3%	28 51.9%	1 1.9%
看護職員	107 100.0%	25 23.4%	26 24.3%	14 13.1%	3 2.8%
柔道整復師	17 100.0%	3 17.6%	2 11.8%	9 52.9%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	2 16.7%	7 58.3%	11 91.7%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	4 80.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	17 30.4%	9 16.1%	4 7.1%	5 8.9%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	3 18.8%	4 25.0%	3 18.8%	3 18.8%
なし	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%

④利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練（指導）

回答者が機能訓練（指導）のために行っている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等は、「スポーツ」が80.0%で最も割合が高く、次いで「季節行事」が67.4%、「趣味活動」が54.7%、「遊び」が52.6%であった。

図表Ⅱ-5-46 要支援1または2の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）

（複数回答）Ⅱ(5).17) n=190



図表Ⅱ-5-47 保有している資格別 要支援1または2の利用者に対して回答者が行う機能訓練（指導）
（複数回答）Ⅱ(5).17) n=190

	合計	遊び	スポーツ	芸術的・ 文化的な 行事への 関与と観 賞	手工芸へ の関与	趣味活動
全体	190 100.0%	100 52.6%	152 80.0%	72 37.9%	44 23.2%	104 54.7%
リハビリ職員	47 100.0%	24 51.1%	38 80.9%	19 40.4%	14 29.8%	28 59.6%
看護職員	80 100.0%	44 55.0%	61 76.3%	28 35.0%	20 25.0%	44 55.0%
柔道整復師	10 100.0%	4 40.0%	9 90.0%	3 30.0%	4 40.0%	6 60.0%
あん摩マッサージ指圧師	8 100.0%	0 0.0%	8 100.0%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%
鍼灸師	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
介護福祉士	50 100.0%	30 60.0%	38 76.0%	18 36.0%	8 16.0%	27 54.0%
社会福祉士	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	3 60.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%
介護職員初任者研修 修了	8 100.0%	6 75.0%	7 87.5%	4 50.0%	2 25.0%	5 62.5%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	13 100.0%	4 30.8%	10 76.9%	4 30.8%	0 0.0%	6 46.2%
なし	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	6 100.0%	5 83.3%	5 83.3%	5 83.3%	2 33.3%	4 66.7%

(つづき) 保有している資格別

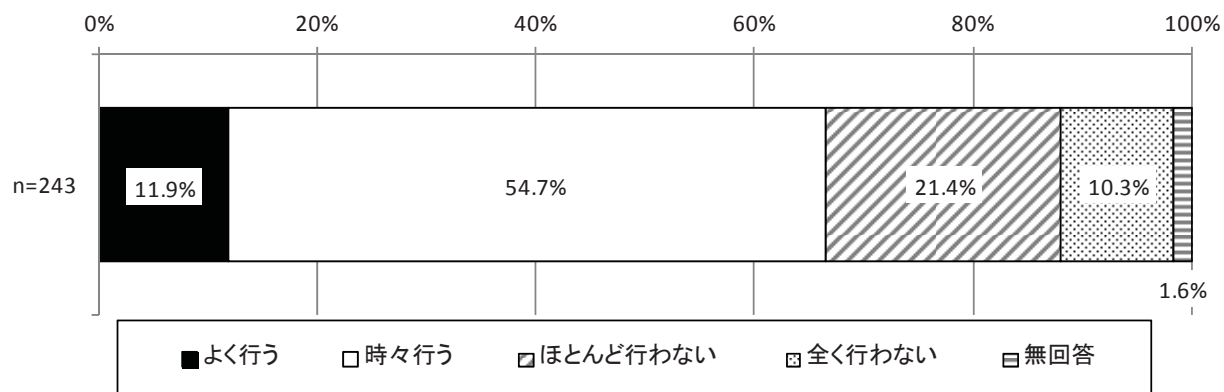
要支援 1 または 2 の利用者に対して回答者が行う機能訓練 (指導) (複数回答) II (5). 17) n=190

	合計	社交	季節行事	その他	無回答
全体	190 100.0%	87 45.8%	128 67.4%	10 5.3%	4 2.1%
リハビリ職員	47 100.0%	23 48.9%	29 61.7%	3 6.4%	3 6.4%
看護職員	80 100.0%	39 48.8%	52 65.0%	3 3.8%	2 2.5%
柔道整復師	10 100.0%	2 20.0%	8 80.0%	1 10.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	8 100.0%	0 0.0%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	50 100.0%	20 40.0%	35 70.0%	3 6.0%	1 2.0%
社会福祉士	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	8 100.0%	5 62.5%	5 62.5%	1 12.5%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	13 100.0%	4 30.8%	10 76.9%	1 7.7%	1 7.7%
なし	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	4 66.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%

⑤他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況

回答者が機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことがあるかをたずねたところ、「時々行う」が54.7%、「ほとんど行わない」が21.4%であった。

図表Ⅱ-5-48 他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=243



図表Ⅱ-5-49 保有している資格別

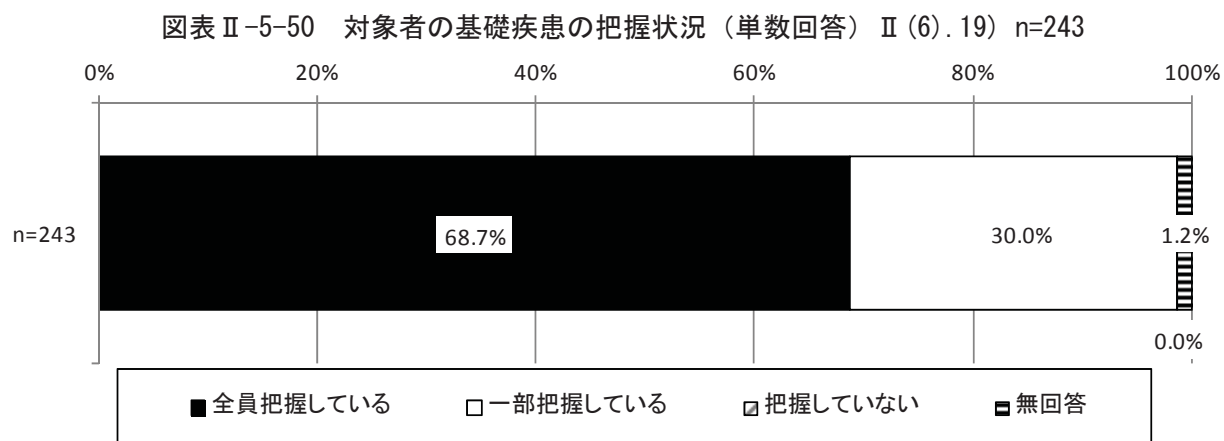
他の職員に対する機能訓練の実施に関する指導の状況（単数回答）Ⅱ(5).18) n=243

	合計	よく行う	時々行う	ほとんど 行わない	全く行わ ない	無回答
全体	243 100.0%	29 11.9%	133 54.7%	52 21.4%	25 10.3%	4 1.6%
リハビリ職員	54 100.0%	9 16.7%	30 55.6%	8 14.8%	5 9.3%	2 3.7%
看護職員	107 100.0%	12 11.2%	57 53.3%	25 23.4%	11 10.3%	2 1.9%
柔道整復師	17 100.0%	4 23.5%	7 41.2%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	4 7.1%	29 51.8%	13 23.2%	10 17.9%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	1 11.1%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	4 25.0%	6 37.5%	4 25.0%	2 12.5%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%

(6) 機能訓練を実施する際の留意点

①対象者の基礎疾患の把握状況

回答者の対象者の基礎疾患の把握状況は、「全員把握している」が68.7%、「一部把握している」が30.0%であった。



保有している資格別に、回答者の対象者の基礎疾患の把握状況をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「看護職員」「柔道整復師」は「全員把握している」、「介護福祉士」は「一部把握している」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-51 保有している資格別

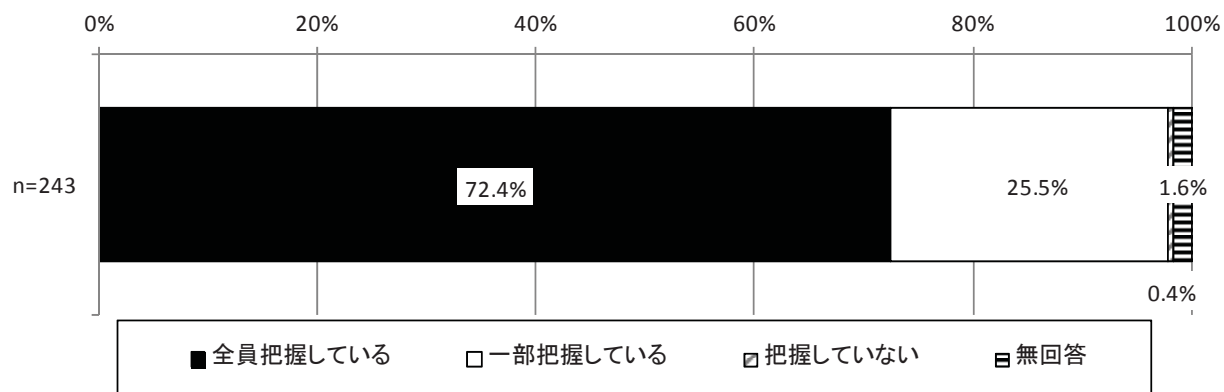
対象者の基礎疾患の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).19) n=243

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	243 100.0%	167 68.7%	73 30.0%	0 0.0%	3 1.2%
リハビリ職員	54 100.0%	42 77.8%	11 20.4%	0 0.0%	1 1.9%
看護職員	107 100.0%	85 79.4%	20 18.7%	0 0.0%	2 1.9%
柔道整復師	17 100.0%	13 76.5%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	7 58.3%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	30 53.6%	26 46.4%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	11 68.8%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%
なし	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

②対象者が認知症の場合の留意点の把握状況

回答者の対象者が認知症の場合の留意点の把握状況は、「全員把握している」が72.4%、「一部把握している」が25.5%であった。

図表Ⅱ-5-52 対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20 n=243



保有している資格別に、回答者の対象者が認知症の場合の留意点の把握状況をみると、全体と比較して「柔道整復師」は「全員把握している」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-53 保有している資格別

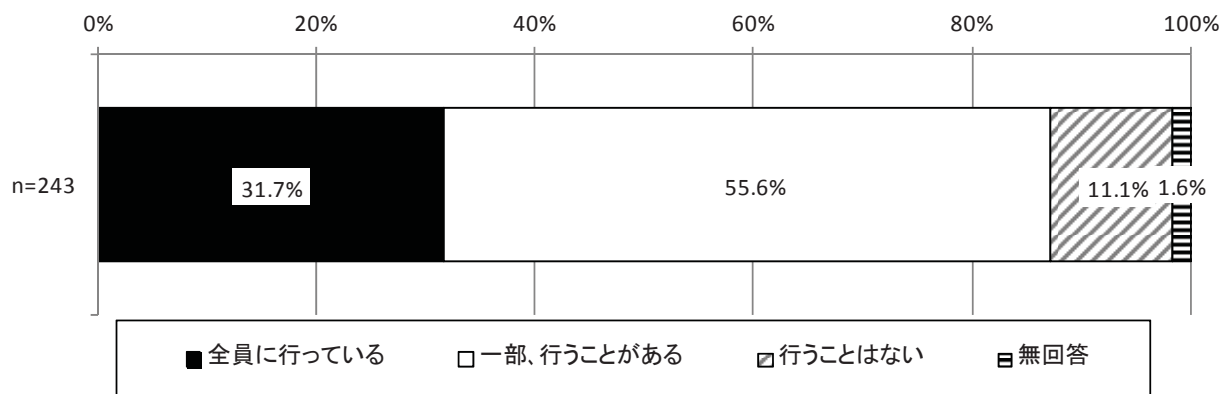
対象者が認知症の場合の留意点の把握状況（単数回答）Ⅱ(6).20 n=243

	合計	全員把握 している	一部把握 している	把握して いない	無回答
全体	243 100.0%	176 72.4%	62 25.5%	1 0.4%	4 1.6%
リハビリ職員	54 100.0%	43 79.6%	9 16.7%	0 0.0%	2 3.7%
看護職員	107 100.0%	83 77.6%	22 20.6%	0 0.0%	2 1.9%
柔道整復師	17 100.0%	15 88.2%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	7 58.3%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	35 62.5%	20 35.7%	1 1.8%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	14 87.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
なし	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

③機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況

回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをたずねたところ、「全員に行っている」が31.7%、「一部、行うことがある」が55.6%であった。

図表Ⅱ-5-54 機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=243



保有している資格別に、回答者が機能訓練を実施する前に対象者のバイタルを確認しているかをみると、全体と比較して「看護職員」は「全員に行っている」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-55 保有している資格別

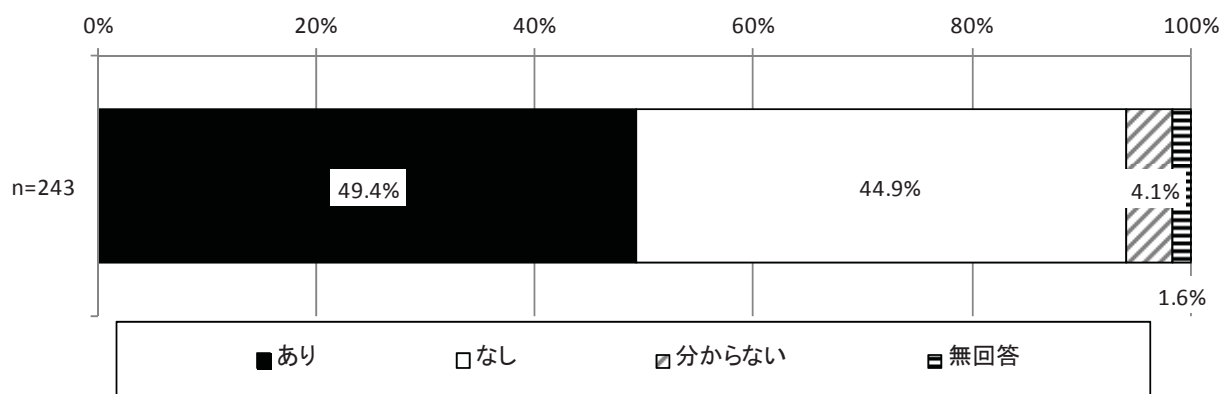
機能訓練開始前の対象者のバイタル確認の実施状況（単数回答）Ⅱ(6).21) n=243

	合計	全員に行 っている	一部、行 うことが ある	行うこと はない	無回答
全体	243 100.0%	77 31.7%	135 55.6%	27 11.1%	4 1.6%
リハビリ職員	54 100.0%	17 31.5%	31 57.4%	4 7.4%	2 3.7%
看護職員	107 100.0%	45 42.1%	53 49.5%	7 6.5%	2 1.9%
柔道整復師	17 100.0%	6 35.3%	9 52.9%	2 11.8%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	1 8.3%	8 66.7%	3 25.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	15 26.8%	28 50.0%	13 23.2%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	4 25.0%	9 56.3%	3 18.8%	0 0.0%
なし	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%

④機能訓練の際のヒヤリハットの経験

回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験は、「あり」は 49.4%であった。

図表Ⅱ-5-56 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=243



保有している資格別に、回答者の機能訓練の際のヒヤリハットの経験をみると、全体と比較して「リハビリ職員」「柔道整復師」は「あり」、「介護福祉士」は「なし」の割合が高くなっていた。

図表Ⅱ-5-57 保有している資格別 機能訓練の際のヒヤリハットの経験（単数回答）Ⅱ(6).22) n=243

	合計	あり	なし	分からない	無回答
全体	243 100.0%	120 49.4%	109 44.9%	10 4.1%	4 1.6%
リハビリ職員	54 100.0%	36 66.7%	17 31.5%	0 0.0%	1 1.9%
看護職員	107 100.0%	47 43.9%	51 47.7%	6 5.6%	3 2.8%
柔道整復師	17 100.0%	11 64.7%	5 29.4%	1 5.9%	0 0.0%
あん摩マッサージ指圧師	12 100.0%	9 75.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
鍼灸師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護福祉士	56 100.0%	21 37.5%	32 57.1%	3 5.4%	0 0.0%
社会福祉士	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員実務者研修 修了	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員初任者研修 修了	9 100.0%	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%
健康運動指導士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	4 25.0%	9 56.3%	3 18.8%	0 0.0%
なし	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

調 査 票

平成28年度 老人保健健康増進等事業 介護サービスにおける機能訓練の実態調査

① 通所介護事業所 票

※本調査票は、貴事業所の管理者の方がご記入下さい。
※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていた場合、質問文に「複数回答可」と記載しています。
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。
※調査時点は、平成29年1月11日または、質問に記載している期間とします。
1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県
2) 事業開始年	西暦 () 年
3) 開設主体	1 都道府県、市区町村、広域連合、一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人 (杜協以外) 4 医療法人 5 社団法人・財団法人 6 協同組合及び連合会 7 営利法人 (会社) 8 特定非営利活動法人 (NPO) 9 その他
4) 規模等	1 地域密着型 2 通常規模型 (月平均利用延人員数 750人以下) 3 大規模事業所 (Ⅰ) (月平均利用延人員数 751人以上 900人以下) 4 大規模事業所 (Ⅱ) (月平均利用延人員数 901人以上)
5) 1日あたりの定員	() 人
6) 平成28年12月の通所介護の実施日数	() 日

2. 貴事業所の職員体制についてお伺いします。

貴事業所の職員数について、実人数と常勤換算数をご記入下さい。(平成29年1月11日現在)

※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷貴事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。常勤と非常勤の合計人数をご記入下さい。職種を兼任している場合は、勤務実施に応じて、按分して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

職種	機能訓練指導員	看護職員	介護職員	その他の職員
実人数				
常勤換算数				

機能訓練指導員が有する資格別人数(実人数)

看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	柔道整復師	あん摩マッサージ指圧師
人	人	人	人	人	人	人

貴事業所の職員全体について、おうかがいします。

次の資格を有する職員がいる場合には、実人数をご記入下さい。いない場合には、「0」人とご記入下さい。

介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	鍼灸師	実務者研修修了者	介護職員初任者研修修了者	介護職員健康運動指導士
人	人	人	人	人	人	人

機能訓練指導員以外の職員が機能訓練※を実施することがありますか。

1 実施している	2 していない
1 介護福祉士 2 社会福祉士 3 精神保健福祉士 4 鍼灸師 5 介護職員実務者研修修了者 6 介護職員初任者研修修了者 7 健康運動指導士 8 その他 () 9 資格はない	

※ここでの機能訓練とは、個別機能訓練加算の対象となる機能訓練だけでなく、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」等も含みます。

3. 平成29年1月11日時点の利用登録者数(実人数)と平成28年12月1か月間の延べ利用回数についてお伺いします。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
人	人	人	人	人	人	人	人
人回	人回	人回	人回	人回	人回	人回	人回

4. 加算の届出の有無及び算定人数・回数(平成28年12月分)についてお伺いします。

(1) 要介護

1) 個別機能訓練加算Ⅰ	0 届出無 1 届出有	➡1)ー①をご記入下さい	算定人数 () 人、延べ回数 () 回
1)ー① 届出をしていない場合:理由(複数回答可)			
1 機能訓練指導員を常勤・専従で配置することが難しい	2 個別機能訓練計画の作成が難しい		
3 居宅訪問ができない	4 収益が見込めない		
5 必要な利用者がいない	6 利用者負担が増える		
7 事業所の理念と異なる	8 多職種との連携が難しい		
9 その他 ()			
2) 個別機能訓練加算Ⅱ	0 届出無 1 届出有	➡2)ー①をご記入下さい	算定人数 () 人、延べ回数 () 回
2)ー① 届出をしていない場合:理由(複数回答可)			
1 機能訓練指導員を専従で配置することが難しい	2 個別機能訓練計画の作成が難しい		
3 居宅訪問ができない	4 収益が見込めない		
5 必要な利用者がいない	6 利用者負担が増える		
7 事業所の理念と異なる	8 多職種との連携が難しい		
9 その他 ()			
3) 口腔機能向上加算	0 届出無 1 届出有	➡算定人数 () 人	
4) 中重度者ケア体制加算	0 届出無 1 届出有		
5) 認知症加算	0 届出無 1 届出有	➡算定人数 () 人	
6) 若年性認知症利用者受入加算	0 届出無 1 届出有	➡算定人数 () 人	
7) 栄養改善加算	0 届出無 1 届出有	➡算定人数 () 人	

(2) 要支援

1) 運動器機能向上加算	0 届出無 1 届出有	➡算定人数 () 人
2) 口腔機能向上加算	0 届出無 1 届出有	➡算定人数 () 人
3) 選択的サ ービス複 数実施加 算Ⅰ	運動器機能向上及び栄養改善 運動器機能向上及び口腔機能 向上 栄養改善及び口腔機能向上 栄養改善及び口腔機能向上Ⅱ	0 届出無 1 届出有 ➡算定人数 () 人 0 届出無 1 届出有 ➡算定人数 () 人 0 届出無 1 届出有 ➡算定人数 () 人 0 届出無 1 届出有 ➡算定人数 () 人
4) 選択的サ ービス複 数実施加 算Ⅱ	0 届出無 1 届出有	➡算定人数 () 人

記入内容についてお伺いする場合があります。事業所名と連絡先をご記入下さい。

事業所名	電話番号
------	------

以上で質問は終わります。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、職員票とあわせて、ご返送下さい。
ご協力ありがとうございました。

平成28年度 老人保健健康増進等事業 介護サービスにおける機能訓練の実態調査

② 認知症対応型通所介護事業所票

※本調査票は、貴事業所の管理者の方がご記入下さい。

※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていた場合、質問文に「複数回答可」と記載しています。

※具体的な数値等をご記入いただいた部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。分らない場合は「-」とご記入下さい。

※調査時点は、平成 29 年 1 月 11 日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県
2) 事業開始年	西暦 () 年
3) 開設主体	1 都道府県、市区町村、広域連合、一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人（杜協以外） 4 医療法人 5 社団法人・財団法人 6 協同組合及び連合会 7 営利法人（会社） 8 特定非営利活動法人（NPO） 9 その他
4) 種類等	1 単独型 2 併設型 3 共用型
5) 1日あたりの定員	() 人
6) 平成 28 年 12 月の認知症対応型通所介護の実施日数	() 日

2. 貴事業所の職員体制についてお伺いします。

貴事業所の職員数について、実人数と常勤換算数をご記入下さい。（平成 29 年 1 月 11 日現在）									
※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延長時間÷貴事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。常勤と非常勤の合計人数をご記入下さい。職種を兼任している場合は、勤務表態に応じて、按分して下さい。得られた総量が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。									
職種	機能訓練指導員	看護職員	介護職員	その他の職員					
実人数									
常勤換算数									
機能訓練指導員が有する資格別人数(実人数)									
看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	柔道整復師	あん摩マッサージ指圧師			
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
貴事業所の職員全体について、おうかがいします。									
次の資格を有する職員がいる場合には、実人数をご記入下さい。いない場合には、「0」人のご記入下さい。									
介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	鍼灸師	介護職員実務者研修修了者	介護職員初任者研修修了者	介護職員健康運動指導士			
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
機能訓練指導員以外の職員が機能訓練※									
を実施することがありますか。									
1 ある 2 ない									
「1 ある」に○を付けた場合：									
実施者が保有する資格									
(複数回答可)									
1 介護福祉士 2 社会福祉士 3 精神保健福祉士									
4 鍼灸師 5 介護職員実務者研修修了者									
6 介護職員初任者研修修了者 7 健康運動指導士									
8 その他 ()									
9 資格はない									

※ここでの機能訓練とは、個別機能訓練加算の対象となる機能訓練だけでなく、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」等も含みます。

3. 平成 29 年 1 月 11 日時点の利用登録者数（実人数）と平成 28 年 12 月 1 か月間の延べ利用回数についてお伺いします。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
1月11日時点の 利用登録者数	人	人	人	人	人	人	人	人
12月分の 延べ利用回数	人回	人回	人回	人回	人回	人回	人回	人回

4. 加算の届出の有無及び算定人数・回数（平成 28 年 12 月分）についてお伺いします。

1) 個別機能訓練加算	0 届出無 ➡1)ー①をご記入ください。	1 届出有 ➡算定人数 () 人、延べ回数 () 回
1)ー① 届出をしていない場合:理由(複数回答可)		
1 機能訓練指導員を専従で配置することが難しい	2 個別機能訓練計画の作成が難しい	
3 収益が見込めない	4 必要な利用者がいない	
5 利用者負担が増える	6 事業所の理念と異なる	
7 多職種との連携が難しい		
8 その他 ()		
2) 若年性認知症利用者受入加算	0 届出無 1 届出有	
3) 口腔機能向上加算	0 届出無 1 届出有 ➡算定人数 () 人	

記入内容についてお伺いする場合があります。事業所名と連絡先をご記入下さい。

事業所名	電話番号
------	------

以上で質問は終わります。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、職員票とあわせて、ご返送下さい。
ご協力ありがとうございます。

平成28年度 老人保健健康増進等事業 介護サービスにおける機能訓練の実態調査

③ 特別養護老人ホーム票

※本調査票は、貴施設の管理者の方がご記入下さい。
※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。
※分からない場合は「-」とご記入下さい。
※調査時点は、平成 29 年 1 月 11 日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県
2) 開設年	西暦 () 年
3) 開設主体	1 市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉法人 3 その他 ()
4) 介護報酬上の届出	1 介護福祉施設 2 小規模介護福祉施設 3 ユニット型介護福祉施設 4 ユニット型小規模介護福祉施設
5) 入所定員	() 人
6) 機能訓練室の有無	1 専用の機能訓練室がある 2 食堂と兼用の機能訓練室がある 3 無 4 その他 ()

2. 貴施設の職員体制についてお伺いします。

貴事業所の職員数について、実人数と常勤換算数をご記入下さい。(平成 29 年 1 月 11 日現在)									
※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延長時間÷貴施設において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで下記下さい。常勤と非常勤の合計人数をご記入下さい。職種を兼務している場合は、勤務実態に応じて、区分して下さい。併せられた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。									
職種	機能訓練指導員	看護職員	介護職員	その他の職員					
実人数									
常勤換算数									
機能訓練指導員が有する資格別人数(実人数)									
看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	柔道整復師	あん摩マツサージ指圧師			
人	人	人	人	人	人	人			
貴事業所の職員全体について、おうかがいします。									
次の資格を有する職員がいる場合には、実人数をご記入下さい。いない場合には、「0」人とご記入下さい。									
介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	鍼灸師	介護職員実務者研修修了者	介護職員初任者研修修了者	介護職員健康運動指導士			
人	人	人	人	人	人	人			
機能訓練指導員以外の職員が機能訓練※を実施することがありますか。									
1 ある「」に○を付けた場合：実施者が保有する資格(複数回答可)		1 介護福祉士 2 社会福祉士 3 精神保健福祉士 4 鍼灸師 5 介護職員実務者研修修了者 6 介護職員初任者研修修了者 7 健康運動指導士 8 その他 () 9 資格はない							

※ここでの機能訓練とは、個別機能訓練加算の対象となる機能訓練だけでなく、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」等も含みます。

3. 平成 29 年 1 月 11 日時点の利用登録者数（実人数）と平成 28 年 12 月 1 か月間の延べ利用回数についてお伺いします。

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
1 月 11 日時点の利用登録者数	人	人	人	人	人	人
12 月分の延べ利用回数	人回	人回	人回	人回	人回	人回

4. 加算の届出の有無及び算定人数・回数（平成 28 年 12 月分）についてお伺いします。

1) 個別機能訓練加算	0 届出無 ➡ 1) - ① をご記入ください	1 届出有 ➡ 算定人数 () 人、延べ回数 () 回
1) - ① 届出をしていない場合: 理由(複数回答可)		
1 機能訓練指導員を常勤・専従で配置することが難しい	2 個別機能訓練計画の作成が難しい	
3 収益が見込めない	4 必要な利用者がいない	
5 利用者負担が増える	6 施設理念と異なる	
7 多職種との連携が難しい		
8 その他 ()		
2) 在宅復帰支援機能加算	算定人数 () 人	
3) 経口移行加算	算定人数 () 人	
4) 経口維持加算	算定人数 () 人	
5) 認知症専門ケア加算	0 届出無 1 届出有	

記入内容についてお伺いする場合があります。施設名と連絡先をご記入下さい。

施設名	電話番号
-----	------

以上で質問は終わります。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、職員票とあわせて、ご返送下さい。
ご協力ありがとうございました。

平成28年度 老人保健健康増進等事業 介護サービスにおける機能訓練の実態調査

※本調査票は、貴事業所の管理者の方がご記入下さい。

※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。

※具体的な数値等をご記入ください。該当がない場合は必ず「0」とご記入下さい。

分らない場合は「一」とご記入下さい。

※調査時点は、平成29年1月11日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県
2) 事業開始年	西暦 () 年
3) 開設主体	1 市区町村、広域連合・一都務務組合 2 社会福祉法人 3 医療法人 4 その他 ()
4) 設置形態	1 単独型 2 併設型 3 空床型 4 単独型ユニット型 5 併設型ユニット型 6 空床型ユニット型
5) 利用定員	() 人 ※空床型の場合は記入不要です。

2. 貴事業所の職員体制について伺います。

貴事業所の職員数について、実人数と常勤換算数をご記入下さい。(平成 29 年 1 月 11 日現在)

※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延長時間÷貴事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。常勤と非常勤の合計人数で記入下さい。職種を兼務している場合は、勤務実態に応じて、按分して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、0.1と計上して下さい。

職種	機能訓練指導員	看護職員	介護職員	その他の職員
実人数				
常勤換算数				

機能訓練指導員が有する資格別人数(実人数)

看護師	人	准看護師	人	理学療法士	人	作業療法士	人	言語聴覚士	人	柔道整復師	人	あん摩マッサージ指圧師	人
-----	---	------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------------	---

貴事業所の職員全体について、おうかがいします。

次の資格を有する職員がいる場合には、「0」人とご記入下さい。

介護福祉士	人	社会福祉士	人	精神保健福祉士	人	鍼灸師	人	介護職員 実務者研修 修了者	人	介護職員 初任者研修 修了者	人	健康運動 指導士	人
-------	---	-------	---	---------	---	-----	---	----------------------	---	----------------------	---	-------------	---

機能訓練指導員以外の職員が実施することがあります。

「1 ある」に○を付けた場合：
実施者が保有する資格
(複数回答可)

1	介護福祉士	2	社会福祉士	3	精神保健福祉士
4	鍼灸師	5	介護職員実務者研修終了者		
6	介護職員初任者研修終了者	7	健康運動指導士		
8	その他（ 複数回答可）				

※ここでの機能訓練とは、個別機能訓練加算の対象となる機能訓練だけでなく、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」等も含みます。

3. 平成29年1月11日時点の利用登録者数(実人数)と平成28年12月1か月間の延べ利用回数についてお伺いします。

[illegible]

4. 加算の届出の有無及び算定人数・回数（平成28年12月分）について伺います。

1) 機能訓練指導員加算	0 届出無 ■1-①をご記入ください 1 届出有
1)-① 届出をしていない場合：理由(複数回答可)	
1 機能訓練指導員を常勤・専従で配置することが難しい	2 収益が見込めない
3 利用者負担が増える	
4 その他 ()	
2) 個別機能訓練加算	0 届出無 ■2-①をご記入ください 1 届出有 ■算定人数 () 人、延べ回数 () 回
2)-① 届出をしていない場合：理由(複数回答可)	
1 機能訓練指導員を専従で配置することが難しい	2 個別機能訓練計画の作成が難しい
3 居宅訪問ができない	4 収益が見込めない
5 必要な利用者がいない	6 利用者負担が増える
7 事業所の理念と異なる	8 多職種との連携が難しい
9 その他 ()	
3) 医療連携強化加算	0 届出無 1 届出有 ➡算定人数 () 人
4) 認知症行動・心理症状緊急対応加算	算定人数 () 人
5) 若年性認知症利用者受入加算	0 届出無 1 届出有 ➡算定人数 () 人
6) 緊急短期入所受入加算	算定人数 () 人

記入内容についてお伺いする場合があります。事業所名と連絡先をご記入下さい。

事業所名	電話番号
------	------

以上で質問は終わります。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、職員票とあわせて、ご返送下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成28年度 老人保健健康増進等事業 介護サービスにおける機能訓練の実態調査

⑤ 特定施設入居者生活介護の施設票

※本調査票は、貴施設の管理者の方がご記入下さい。
※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていた場合、質問文に「複数回答可」と記載しています。
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。
※調査時点は、平成29年1月11日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	() 都・道・府・県
2) 事業開始年	西暦 () 年
3) 開設主体	1 都道府県、市区町村、広域連合、一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人 (社協以外) 4 医療法人 5 社団法人・財団法人 6 協同組合及び連合会 7 営利法人 (会社) 8 特定非営利活動法人 (NPO) 9 その他
4) 施設の形態	1 サービス付き高齢者向け住宅 2 有料老人ホーム (1に該当するものを除く) 3 軽費老人ホーム 4 養護老人ホーム
5) 特定施設入居者生活介護の指定 (複数回答可)	1 一般型 (介護) 2 一般型 (介護予防) 3 地域密着型
6) 指定の種類	1 一般型 2 外部サービス利用型
7) 入居者定員	() 人

2. 貴施設の職員体制についてお伺いします。

貴事業所の職員数について、実人数と常勤換算数をご記入下さい。(平成29年1月11日現在)									
※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷貴施設において常勤の従事が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。常勤と非常勤の合計人数をご記入下さい。職種を兼務している場合は、勤務実態に応じて、被分して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、0.1と計上して下さい。									
職種	機能訓練指導員		看護職員		介護職員		その他の職員		
実人数									
常勤換算数									
機能訓練指導員が有する資格別人数(実人数)									
看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	作業療法士	柔道整復師	あん摩マッサージ指圧師		
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
貴施設の職員全体について、おうかがいします。									
次の資格を有する職員がいる場合には、実人数をご記入下さい。いない場合には、「0」人とご記入下さい。									
介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	鍼灸師	介護職員実務者研修修了者	介護職員初任者研修修了者	介護職員健康運動指導士			
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

機能訓練指導員以外の職員が機能訓練※を実施することがありますか。		1 ある	■実施することがある職員数 () 人	
		2 ない		
「1 ある」に○を付けた場合：実施者が保有する資格 (複数回答可)		1 介護福祉士	2 社会福祉士	3 精神保健福祉士
		4 鍼灸師	5 介護職員実務者研修終了者	
		6 介護職員初任者研修終了者	7 健康運動指導士	
		8 その他 ()		
		9 資格はない		

※ここでの機能訓練とは、個別機能訓練加算の対象となる機能訓練だけでなく、「利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練」等も含まれます。

3. 平成29年1月11日時点の利用登録者数 (実人数) と平成28年12月1か月間の延べ利用回数についてお伺いします。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
1月11日時点の利用登録者数	人	人	人	人	人	人	人	人
12月分の延べ利用回数	人回	人回	人回	人回	人回	人回	人回	人回

4. 加算の届出の有無及び算定人数・回数 (平成28年12月分) についてお伺いします。

1) 個別機能訓練加算	0 届出無	1) ①をご記入ください						
	1 届出有	■算定人数 () 人、延べ回数 () 回						
1) ① 届出をしていない場合:理由(複数回答可)								
1 機能訓練指導員を常勤・専従で配置することが難しい	2 個別機能訓練計画の作成が難しい	3 収益が見込めない	4 必要な入居者がいない	5 利用者負担が増える	6 施設の理念と異なる	7 多職種との連携が難しい	8 その他 ()	
2) 認知症専門ケア加算								
	0 無	1 I を算定	2 II を算定					

記入内容についてお伺いする場合があります。施設名と連絡先をご記入下さい。

施設名	電話番号
-----	------

以上で質問は終わります。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、職員票とあわせて、ご返送下さい。
ご協力ありがとうございました。

平成28年度 老人保健健康増進等事業 介護サービスにおける機能訓練の実態調査

⑪ 通 所 介 護 職 員 票

※調査の対象者は、貴事業所の「機能訓練指導員」または「機能訓練指導員以外で、機能訓練を実施することがある職員」です。詳しくは調査要項をご確認ください。
※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んでください。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。
※分らない場合は「-」と記入してください。
※調査時点は、平成29年1月11日または、質問に記載している期間とします。

I 回答者（あなた）についておうかがいします。

1) 年齢	1 29歳以下	2 30代	3 40代	4 50代	5 60歳以上	
2) 性別	1 男性	2 女性				
3) 勤務形態	1 常勤	2 非常勤				
4) 1週間あたりの平均的な勤務時間	約（ ）時間					
5) あなたの職種	1 機能訓練指導員に専従	2 機能訓練指導員と他の職種とを兼務している				
3 機能訓練指導員ではない						
(機能訓練指導員と他の職種とを兼務している場合)						
① 兼務している職種						
② 機能訓練指導員としての勤務時間(1週間あたりの平均)						
約（ ）時間/週						
6) 保有している資格 (複数回答可)	1 理学療法士	2 作業療法士	3 言語聴覚士	4 看護師		
	5 准看護師	6 柔道整復師	7 あん摩マッサージ指圧師			
	8 介護福祉士	9 社会福祉士	10 精神保健福祉士	11 鍼灸師		
	12 介護職員実務者研修修了	13 介護職員初任者研修修了				
	14 健康運動指導士	15 その他	16 なし			
(複数の資格を有している場合)あなたが機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っていると思いますか。						
1 上記の選択肢の（ ）						
2 どれともいえない						

II あなたが機能訓練に関連して実施している業務についてお伺いします。

(1) ニーズ把握・情報収集について

7) 機能訓練について、あなたが本人の希望を確認することはありますか。	1 原則、利用者全員について、自分が希望を確認する
	2 原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する
	3 原則、希望を確認することはない

(2) アセスメント・評価について

8) 機能訓練について、あなたが、家族の希望を確認することはありますか。	1 原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する
	2 原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する
	3 原則、希望を確認することはない

(3) 機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価をあなたが行うことはありますか

1 有	2 無
-----	-----

(4) アセスメント・評価について

9) 機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価をあなたが行うことはありますか	1 有	2 無
--	-----	-----

(5) 評価について

10) あなたの事業所では利用者ごとに個別機能訓練計画を作成していますか	1 全員について作成している
	2 一部の人のみについて作成している
	3 作成していない(間12)へ進んでください

平成 28 年度 老人保健健康増進等事業 介護サービスにおける機能訓練の実態調査

⑫ 職 員 票

※調査の対象者は、貴施設・事業所の「機能訓練指導員」または「機能訓練指導員以外で、機能訓練を実施することがある職員」です。詳しくは調査要項をご確認ください。
※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んでください。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。
※具体的な数値等を記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。
※調査時点は、平成 29 年 1 月 11 日または、質問に記載している期間とします。

I 回答者（あなた）についておうかがいします。

1) 年齢	1 29 歳以下	2 30 代	3 40 代	4 50 代	5 60 歳以上
2) 性別	1 男性	2 女性			
3) 勤務形態	1 常勤	2 非常勤			
4) 1週間あたりの平均的な勤務時間	約 () 時間				
5) あなたの職種	1 機能訓練指導員に専従	2 機能訓練指導員と他の職種とを兼務している	3 機能訓練指導員ではない		
(機能訓練指導員と他の職種とを兼務している場合)					
①兼務している職種	1 看護職員	2 介護職員	3 生活相談員	4 管理者 5 その他 ()	
②機能訓練指導員としての勤務時間(1週間あたりの平均)	約 () 時間 / 週				
6) 保有している資格 (複数回答可)	1 理学療法士	2 作業療法士	3 言語聴覚士	4 看護師	5 准看護師
	6 柔道整復師	7 あん摩マッサージ指圧師	8 介護福祉士	9 社会福祉士	10 精神保健福祉士
	11 鍼灸師	12 介護職員実務者研修修了	13 介護職員初任者研修修了	14 健康運動指導士	15 その他 16 なし
(複数の資格を有している場合)あなたが機能訓練を実施する上で、どの資格としての知識、技術が最も役立っていると思いますか。					
1 上記の選択肢の () 2 どれともいえない					

II あなたが機能訓練に関連して実施している業務についてお伺いします。

(1)ニーズ把握・情報収集について

7) 機能訓練について、あなたが本人の希望を確認することはあります。	1 原則、利用者全員について、自分が希望を確認する	2 原則、担当する一部の利用者について、自分が希望を確認する	3 原則、希望を確認することはない
8) 機能訓練について、あなたが、家族の希望を確認することはありますか。	1 原則、利用者全員について、自分が家族の希望を確認する	2 原則、担当する一部の利用者について、自分が家族の希望を確認する	3 原則、希望を確認することはない

(2)アセスメント・評価について

9) 機能訓練を開始する利用者に対して、利用者の状態の評価をあなたが行うことはありますか	1 有	2 無
(有の場合)		
➡ 活用している評価指標 (11 Barthel Index 12 FIM 13 その他 ())		
➡ 活用している評価指標 (21 Frenchay Activities Index 22 Lawton&Brody 23 その他 ())		
3 起居動作 (起き上がり、座位保持、立ち上がり、立位保持等)		
4 運動機能・体力測定		
5 認知機能		
6 その他 ()		

(3)機能訓練計画の作成について

10) あなたの施設・事業所では利用者ごとに個別機能訓練計画を作成していますか	1 全員について作成している	2 一部の人について作成している	3 作成していない(➡問 12)へ進んでください
---	----------------	------------------	--------------------------

1) あなたは利用者の個別機能訓練計画を作成することはありますか

1 全利用者について、自分が主に作成する

2 一部の利用者について、自分が主に作成する

3 主な作成者は他の人であるが、作成に関わることはある

4 利用者ごとの機能訓練計画の作成に関わることはない

(4)利用者または家族等への説明について

12) あなたは、機能訓練について、本人または家族等へ説明をしますか

1 原則、利用者全員について、自分が説明する

2 原則、担当する一部の利用者について、自分が説明する

3 原則、自分が説明することはない

13) 本人または家族等への説明の頻度等(複数回答可)

1 開始時 2 3 か月毎に1回以上 3 6 か月毎に1回以上 4 その他 ()

(5)機能訓練の実施状況について

14) あなたが、実施することがある機能訓練についてご回答ください(複数回答可)

1 個別機能訓練(加算の対象となる機能訓練)

2 個別機能訓練(加算の対象とはならないが行っている機能訓練 (3以外) 答へない(複数回答可))

3 利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練

15) あなたが機能訓練に関わる頻度

1 週 5 回以上 2 週 4 回程度 3 週 3 回程度 4 週 2 回程度 5 週 1 回程度 6 2 週間に1回程度 7 月に1回程度 8 その他 ()

16) あなたが平成 28 年 10 月～12 月に実施した機能訓練の具体的な内容(複数回答可)

1 機能回復訓練 2 基本的動作訓練 3 応用的動作訓練 4 社会適応練習 5 コミュニケーション訓練 6 自己訓練練習 7 マッサージ

注) 機能回復訓練：呼吸機能訓練、体力向上訓練、滑順等の改善訓練、関節可動域訓練、筋力向上訓練、筋緊張緩和訓練、筋持久力向上訓練、運動機能改善訓練、痛みの緩和訓練、認知機能改善訓練、意欲の向上訓練、構音機能訓練、聴覚機能訓練、摂食嚥下機能訓練、言語機能訓練

基本的動作訓練：姿勢の保持訓練、起居・移乗動作訓練、歩行・移動訓練、階段昇降練習、公共交通機関利用練習

応用的動作訓練：一連の入浴行為練習、一連の整容行為練習、一連の排泄行為練習、一連の更衣行為練習、一連の食事行為練習、一連の調理行為練習、一連の洗濯行為練習、一連の掃除・整理整頓行為練習、家の手入れ練習、買物練習

社会適応練習：対人関係改善練習、余暇活動練習、仕事練習

17) 14)で3を選んだ場合、回答してください。あなたが、機能訓練(指導)のためにやっている、利用者の日常生活やレクリエーション、行事等をお選びください。(複数回答可)

1 遊び (ゲーム、囲碁、将棋、マージャン、トランプ、ルーレット、パチンコ等)

2 スポーツ (ボーリング・ベタング、散歩、体操、運動、ゲートボール、プール、卓球、ダンス・踊り等)

3 芸術的・文化的な行事への関与と観賞 (演劇、映画、博物館・美術館、読書、楽器演奏、合唱等)

4 手工芸への関与 (陶芸・編み物・針仕事等)

5 趣味活動 (書道・絵手紙・絵画・写生・写真、華道、俳句、カラオケ、パソコン等)

6 社交 (友人たちのおしゃべり、集まり等)

7 季節行事 (バスハイイク、誕生会、誕生会、運動会、盆踊り、納涼祭、忘年会、新年会、花見等)

8 その他 ()

18) あなたは機能訓練の実施について、他の職員に指導を行うことはありますか

1 よく行う 2 時々行う 3 ほとんど行わない 4 全く行わない

(6)機能訓練を実施する際の留意点等について

19) あなたは対象者の基礎疾患を把握していますか

1 全員把握している 2 一部把握している 3 把握していない

20) あなたは対象者が認知症の場合、留意点を把握していますか

1 全員把握している 2 一部把握している 3 把握していない

21) あなたは機能訓練を実施する前に対象者のバイタル(心拍数、呼吸数、血圧、体温)を確認していますか

1 全員に行っている 2 一部、行うことがある 3 行うことはない

22) あなたは機能訓練の際、ヒヤリハットの経験はありますか

1 あり 2 なし 3 分からない

質問は以上で終わります。ご協力ありがとうございました。

平成 28 年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

介護サービスにおける機能訓練の実態調査

報 告 書

平成 29（2017）年 3 月

三菱ＵＦＪリサーチ&コンサルティング株式会社

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2

電話：03-6733-1024